

鴨川市
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
策定のための調査結果報告書

令和5年3月

鴨 川 市

【目次】

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査仕様.....	2
3 回収結果.....	2
4 報告書の見方.....	3
5 調査結果の概要.....	4
第2章 一般高齢者調査の結果	7
1 年齢や性別等について.....	8
2 日常生活について.....	13
3 健康の状況や意識等について.....	23
4 社会参加等について.....	38
5 介護保険について.....	47
6 今後の高齢者施策について.....	49
第3章 若年層調査の結果	53
1 年齢や家族構成等について.....	54
2 住まいについて.....	56
3 健康の状況や意識等について.....	58
4 社会参加について.....	70
5 介護保険について.....	73
6 今後の高齢者施策について.....	75
第4章 要介護・要支援認定者調査の結果	77
1 年齢や性別等について.....	79
2 日常生活について.....	85
3 居宅サービスの利用状況について.....	87
4 今後の介護や福祉の制度のあり方について.....	95
5 介護の状況について.....	98
第5章 介護サービス提供事業所調査の結果	105
1 事業所の基本的なことについて.....	106
2 実施している事業について.....	109
3 事業運営について.....	111

第6章 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の結果	125
1 年齢や業務状況等について	126
第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果	141
1 事業所について	142
2 事業所の職員採用（退職）状況について	146
3 外国人介護職員の受け入れについて	151
第8章 経年比較	155
1 一般高齢者調査	156
2 若年層調査	158
3 要介護・要支援認定者調査	160
4 介護サービス提供事業所調査	162
5 介護支専門員（ケアマネジャー）調査	162
資料編	163
1 一般高齢者調査 調査票	164
2 若年層調査 調査票	172
3 要介護・要支援認定者調査 調査票	178
4 介護サービス提供事業所調査 調査票	186
5 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査 調査票	190
6 介護人材雇用に関するアンケート調査 調査票	194

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、第9期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定するにあたって、生活状況や福祉ニーズなどを伺うことを目的に、本調査を実施しました。

2 調査仕様

調査種類	調査対象者	配布数	抽出方法	調査方法
一般高齢者調査	65歳以上の市民 (要介護・要支援認定者を除く)	2,500	無作為抽出法	郵送法
若年層調査	40～64歳までの市民 (要介護・要支援認定者を除く)	1,000	無作為抽出法	郵送法
要介護・要支援認定者調査	市内の要介護・要支援認定者 (在宅者)	1,250	無作為抽出法	郵送法
介護サービス提供事業所調査	鴨川市の認定者がサービスを受けている介護サービス提供事業所	64	全数調査	郵送法
介護支援専門員(ケアマネジャー)調査	市内事業所の介護支援専門員	45	全数調査	直接配付 郵送回収
介護人材雇用に関するアンケート調査	鴨川市の認定者がサービスを受けている介護サービス提供事業所	84	全数調査	電子メール

3 回収結果

調査種類	配布数	有効回収数	有効回収率 (%)
一般高齢者調査	2,500	1,579	63.2
若年層調査	1,000	430	43.0
要介護・要支援認定者調査	1,250	544	43.5
介護サービス提供事業所調査	64	51	79.7
介護支援専門員(ケアマネジャー)調査	45	39	86.7
介護人材雇用に関するアンケート調査	84	74	88.1

4 報告書の見方

- 回答結果として示す割合は、各設問の集計対象者総数に占める、それぞれの回答数の割合です。この数値は、小数点以下第2位で四捨五入したものであるため、単数回答（複数の選択肢から1つを選ぶ方式）の設問であっても合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上を選べる方式）の設問の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n (number of cases)」は、集計対象者総数を表しています。回答者を限定する設問については、限定条件に該当する回答者を対象に集計しているため、このnの値が他の設問と異なっています。
- 一部の設問については、集計対象者の属性ごと（例：年齢別）に集計する「クロス集計」を基に分析しています。その際、その設問自体には回答している回答者であっても、属性を判明させるための設問に「無回答」だった場合（例：年齢が無回答だった場合）、クロス集計上は表示しません。そのため、属性ごとの集計対象者数の合計が、設問の集計対象者総数と一致しない場合があります。
- 設問の文章や選択肢の文章が長いものもあるため、グラフ中ではこれを省略している箇所もあります。
- 図表中の「不明・無回答」は、集計の上で判別がつかなかった回答及び無回答を表しています。一方、一部の設問においては、調査票に「不明」という選択肢があり、回答結果においても「不明」という表現のまま示していますが、これは「不明・無回答」とは異なります。

5 調査結果の概要

(1) 家族構成や住まいについて

「夫婦2人暮らし」は一般高齢者で41.1%、若年層で22.1%、認定者で22.4%となっています。また、「1人暮らし」は、若年層で12.1%であるのに対し、一般高齢者で19.3%、認定者で31.8%と高くなっています。

一般高齢者・若年層ともに、住まいは「持家（一戸建て）」が最も多くなっていますが、一般高齢者では83.5%、若年層では76.0%と、割合に差が生じています。

（一般高齢者：問4、問9① 若年層：問3、問6① 認定者：問4）

(2) 健康について

現在の健康状態は、「とてもよい」が若年層では19.1%であるのに対し、一般高齢者では7.3%と低くなっています。

老後の生活で不安なことは、「自分や家族の健康に関すること」が一般高齢者・若年層ともに6割台で最も多くなっています。また認定者のうち日常生活全般で不安を感じる方についても、不安の内容は「健康のこと」が75.7%と最も多くなっており、いずれの調査においても健康に対する不安が高くなっています。

健康について主に知りたいことは、一般高齢者・若年層ともに、「認知症の予防について」「がんや高血圧にならないための工夫について」「望ましい食生活について」が多く、3割～4割台となっています。

また、介護予防の取り組みとしては、「認知症予防教室」「運動教室」の利用意向が高く、特に「運動教室」については一般高齢者・若年層・認定者のいずれも4割を超えています。

（一般高齢者：問18、問33、問34、問55 若年層：問7、問20、問21、問36
認定者：問12-1、問19）

(3) 社会参加・仕事について

就業状況について、何らかの仕事に就いている人は、一般高齢者では約3割、若年層では約8割となっています。

各種の会・グループへの参加頻度について、月1回以上参加している割合が1割を超えているのは、一般高齢者では「収入のある仕事」「趣味関係のグループ」「スポーツや体操など運動のグループなど」、若年層では「収入のある仕事」のみとなっています。

今後の意向として、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動について「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた割合が、若年層では57.5%である一方、一般高齢者では41.6%となっています。また、企画・運営としての参加意向については、一般高齢者・若年層ともに、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた割合が3割強となっています。

（一般高齢者：問5、問39、問40、問41 若年層：問4、問30、問31、問32）

(4) 生活の状況について

認定者が現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「買い物（宅配は含まない）」「外出同行（通院、買い物など）」が比較的多くなっています。また、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについても、「移送サービス」や「外出同行」が上位であり、外出・移動に関する支援が求められています。

一般高齢者では、地区によって外出頻度の差が生じており、「週5回以上」の割合は最大で20ポイント程度の差が生じています。また、年齢が高いほど外出を控えている割合が高くなっています。

一般高齢者の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が64.2%で最も多く、次いで「徒歩」、「自動車（人に乗せてもらう）」が2～3割台となっています。

（一般高齢者：問11、問13、問14　認定者：問21、問22）

(5) 高齢者施策について

鴨川市で優先すべき対策は、一般高齢者・若年層ともに、「運転免許返納者への外出支援」が5割台と最も多くなっており、次いで「一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守りなどの充実」、「24時間対応の在宅医療の充実」となっています。

また、「とても重要」とされた高齢者施策については、一般高齢者・認定者ともに、「緊急時などにも困らない医療・福祉サービス」が5割台半ばと最も多く、次いで、一般高齢者では「運転免許返納者に対する外出支援」、認定者では「通院介助等の移送サービス」が多くなっています。

（一般高齢者：問54、問56　若年層：問35　認定者：問24）

(6) 家族介護について

認定者では、家族・親族からの介護が「ほぼ毎日ある」割合が32.4%となっており、主な介護者としては「子」が52.9%、「配偶者」が25.8%となっています。主な介護者の年齢は、50代以下が30.1%、60代が33.6%、70代以上が34.6%となっています。現在の生活の継続にあたり主な介護者が不安を感じる介護としては、「認知症状への対応」が27.5%と最も多くなっていますが、幅広い項目が同じく2割台となっています。

また、認定者について、主な介護者の勤務形態は「フルタイムで働いている」が26.4%、「パートタイムで働いている」が19.7%となっており、これらの勤務形態の方について、今後も働きながら介護を「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の割合は合計で18.4%となっています。

介護を主な理由として仕事を辞めた経験の有無については、一般高齢者で8.5%、若年層で6.7%となっています。また認定者については、過去1年の間に「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.1%となっています。

（一般高齢者：問7　若年層：問5

認定者：問25、問26、問27、問30、問31、問31-3、問32）

第1章 調査の概要

(7) 介護保険サービスについて

介護が必要になった原因は、一般高齢者・認定者ともに「高齢による衰弱」が最も多く、次いで一般高齢者では「糖尿病」、認定者では「骨折・転倒」が多くなっています。

認定者について、直近1か月間の介護保険サービスの利用状況（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）は、「利用した」が55.3%、「利用していない」が35.1%となっており、特に要支援1では「利用していない」が59.5%と多くなっています。「利用していない」理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.0%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が13.6%となっています。

介護保険のサービスと保険料の関係についての考えは、一般高齢者・若年層は「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が3割前後で最も多くなっている一方、認定者は「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が33.8%と最も多くなっています。また、「保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ」はいずれも1割以下となっています。

（一般高齢者：問6-1、問53 若年層：問34 認定者：問6、問14、問14-2、問20）

(8) 事業所・介護支援専門員（ケアマネジャー）について

事業所が円滑な事業運営を進めていく上で困難を感じていることは「従事者の確保が難しい」が最も多く、70.6%となっています。

介護従事者の資格取得時の費用補助や勤務時間について「配慮している」は78.4%、介護従事者の処遇改善を「実施している」は72.5%と、介護従事者への支援は多くの事業所で行われています。

また、ケアマネジャーについて、円滑な事業運営を進めていく上での問題点としては、「ケアプラン作成の事務量が多い」が59.0%と最も多く、次いで「介護報酬に結びつかない業務が多い」が56.4%となっています。

ケアマネジャーの活動を通し、サービスの待機状況が市内で多いと感じるかについては、「多いと感じる」「どちらかというとも多いと感じる」を合計して66.6%となっています。

今後の市や住民等との関係についての事業所の意向としては「市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい」が54.9%、ケアマネジャーとして行政に望むことは「最新の確かな情報の提供」が56.4%とそれぞれ最も多く、いずれも情報の共有・提供についての要望となっています。

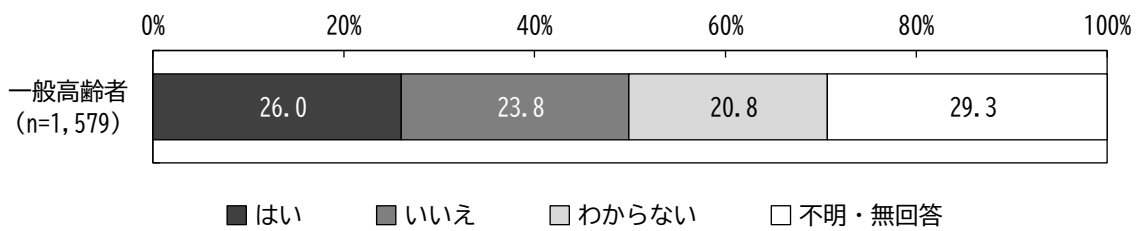
（事業所：問5、問9⑫、問9⑰、問11 介護支援専門員：問13、問24、問25）

第2章 一般高齢者調査の結果

1 年齢や性別等について

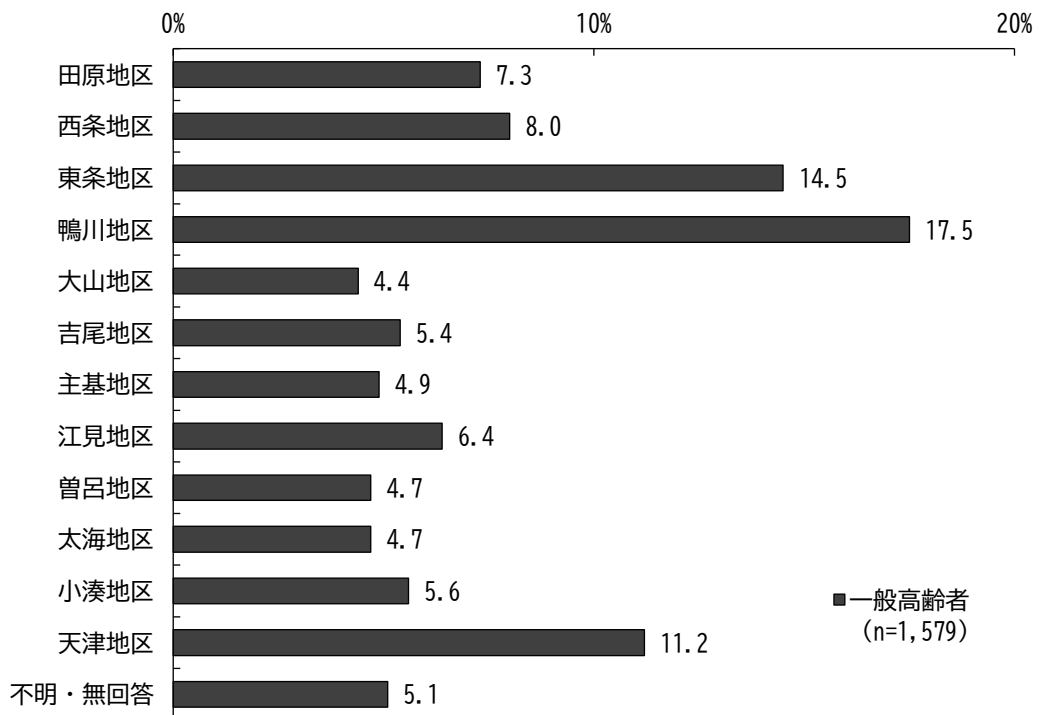
はじめに、あなたは総合事業対象者ですか。 (単数回答)

総合事業対象者と回答しているのは26.0%となっています。



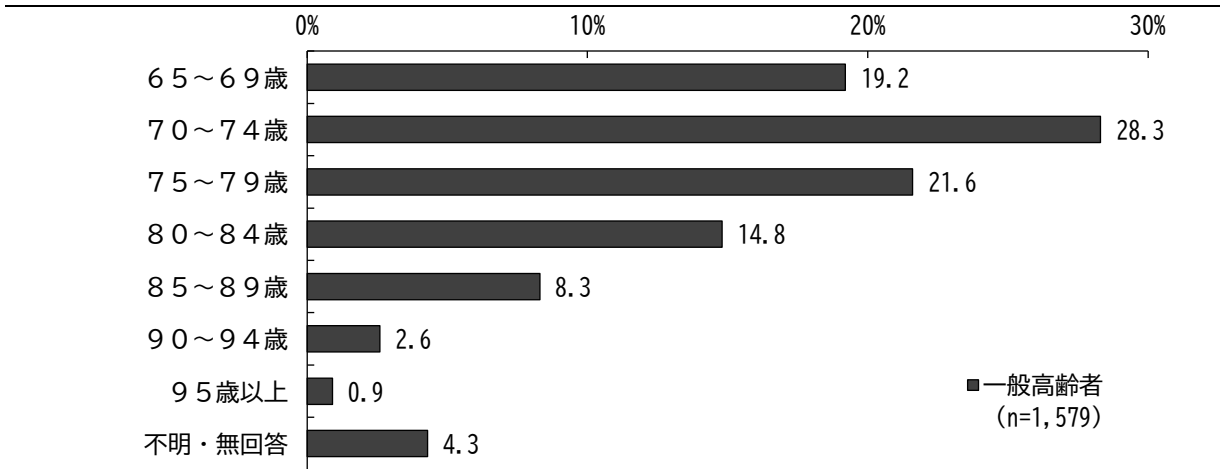
問1 お住まいの地区はどこですか。 (単数回答)

「鴨川地区」が17.5%で最も多く、次いで「東条地区」が14.5%となっています。



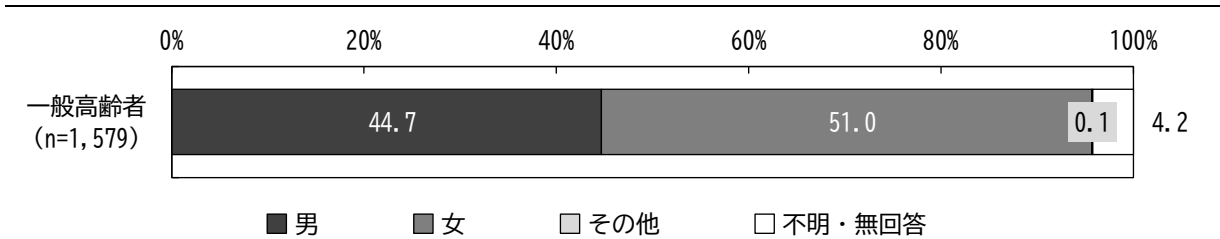
問2 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。(単数回答)

「70～74歳」が28.3%で最も多く、次いで「75～79歳」が21.6%、「65～69歳」が19.2%となっています。



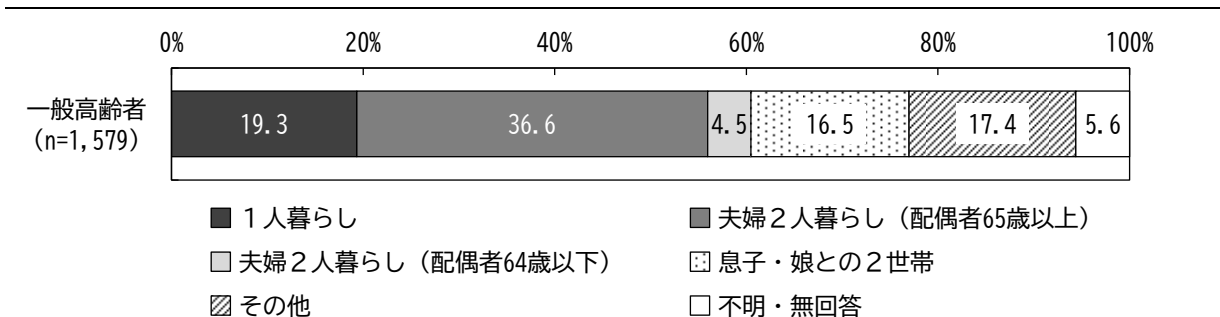
問3 性別をお答えください。(単数回答)

男性が44.7%、女性が51.0%となっています。



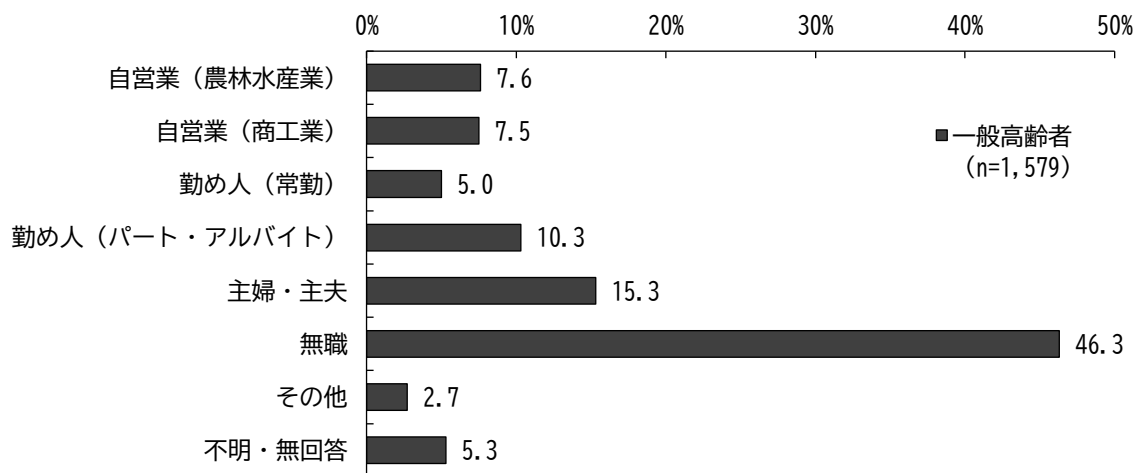
問4 家族構成をお答えください。(単数回答)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が36.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」が19.3%となっています。



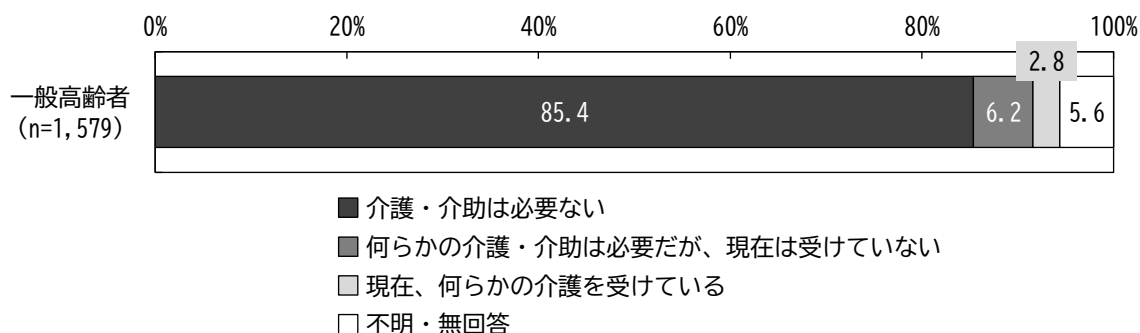
問5 あなたの主な就業形態をお答えください。 (単数回答)

「無職」が46.3%で最も多くなっています。「自営業」「勤め人」として就労している人の合計は、30.4%となっています。



問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。 (単数回答)

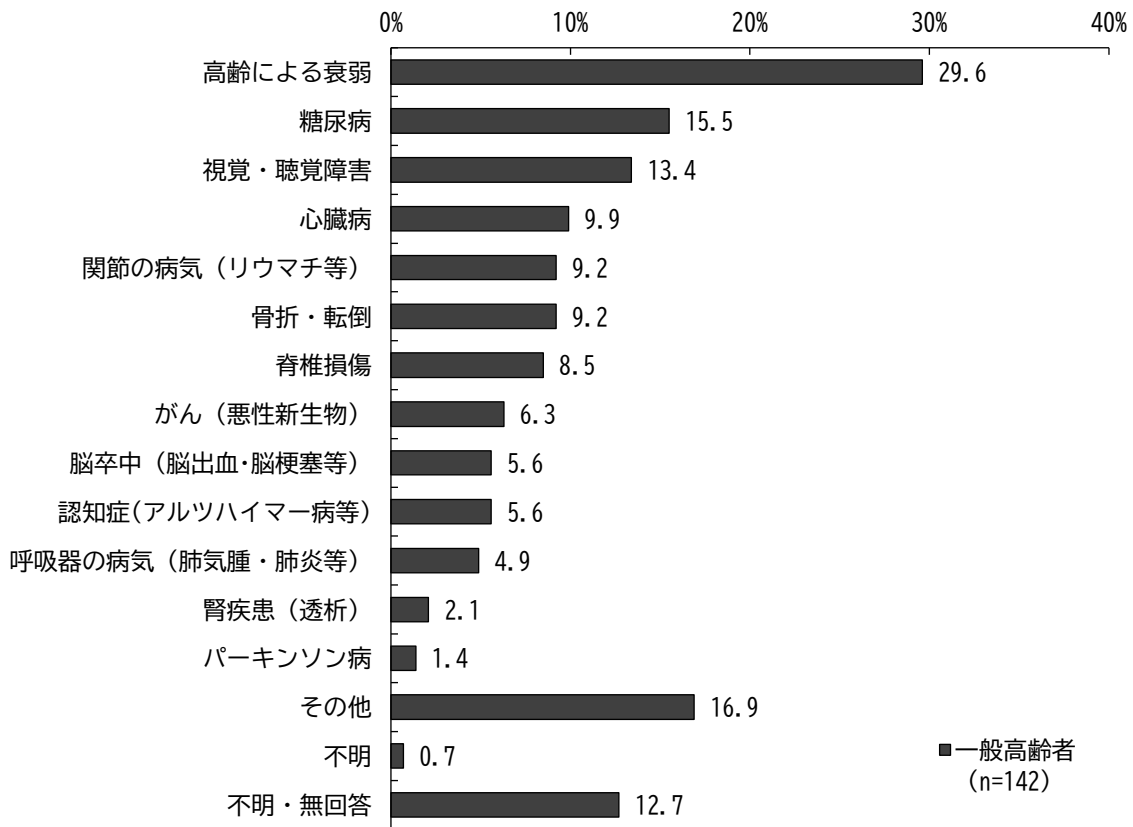
「介護・介助は必要ない」が85.4%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.2%となっています。



【問6で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と答えた人のみ】

問6-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。 (複数回答)

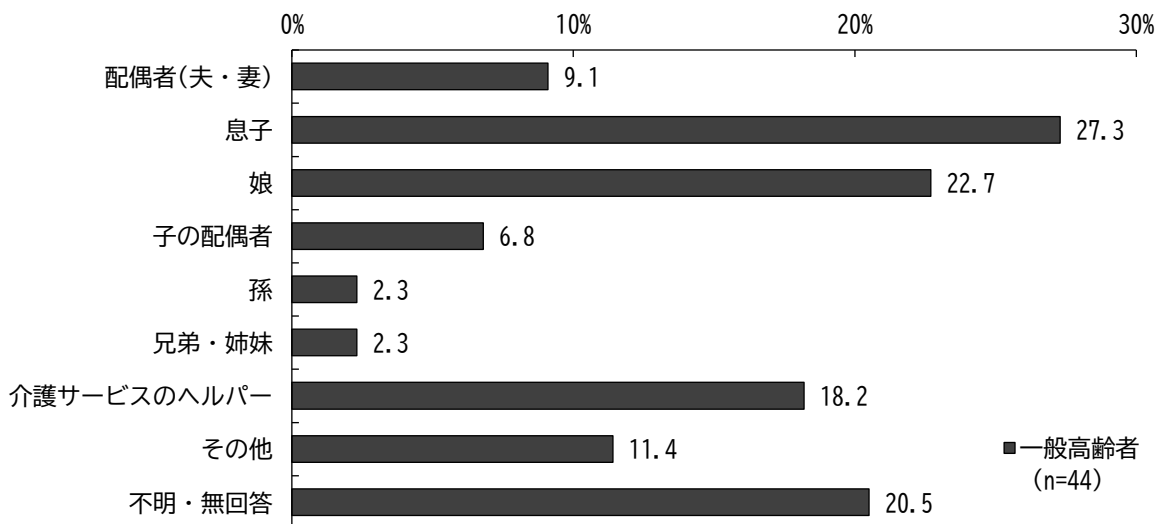
「高齢による衰弱」が29.6%で最も多く、次いで「糖尿病」が15.5%、「視覚・聴覚障害」が13.4%となっています。



【問6で「現在、何らかの介護を受けている」と答えた人のみ】

問6-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。 (複数回答)

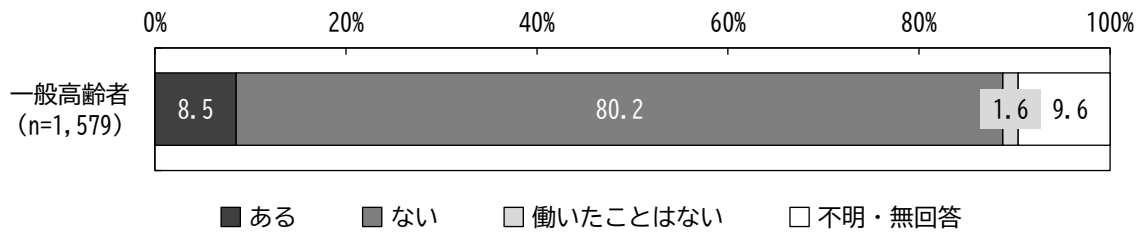
「息子」が27.3%で最も多く、次いで「娘」が22.7%となっています。



第2章 一般高齢者調査の結果

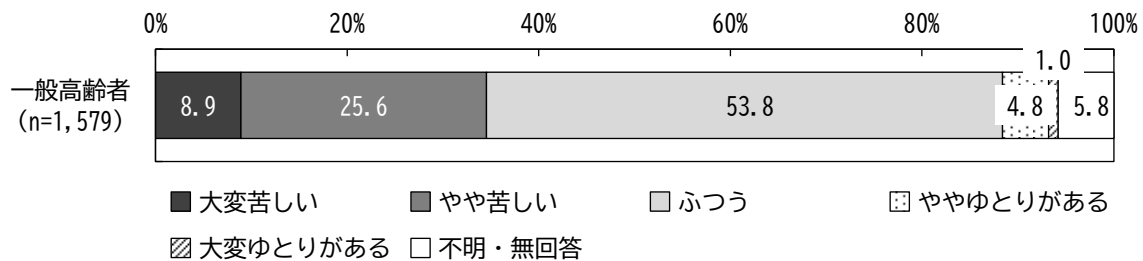
問7 ご家族やご親族の介護を主な理由として、仕事を辞めた経験はありますか。
(単数回答)

「ある」が8.5%となっています。



問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
(単数回答)

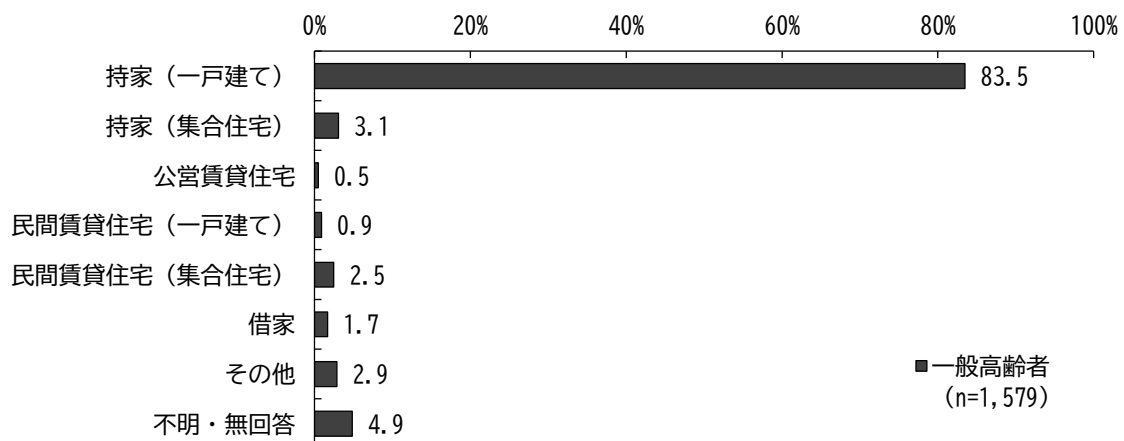
「ふつう」が53.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が25.6%となっています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合計すると、34.5%が経済的に苦しいと回答しています。



問9 住まいの状況についておたずねします。

①お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。
(単数回答)

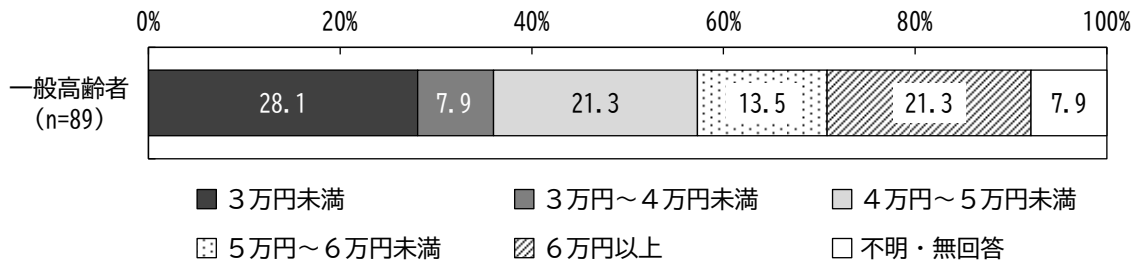
「持家（一戸建て）」が83.5%で最も多くなっています。



【問9①で「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅（一戸建て）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」「借家」と答えた人のみ】

②家賃はいくらですか。 (単数回答)

「3万円未満」が28.1%で最も多く、次いで「4万円～5万円未満」「6万円以上」がともに21.3%となっています。

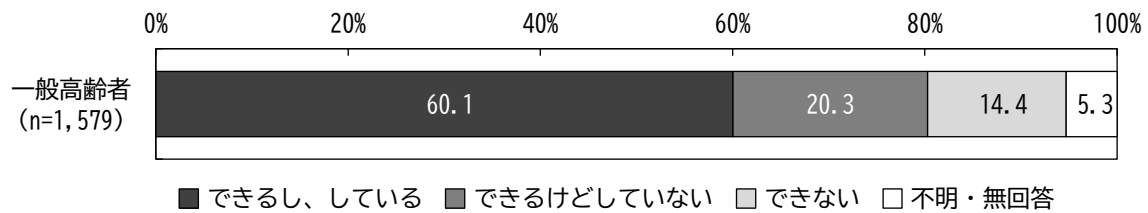


2 日常生活について

問10 日常生活の状況について、①～⑭それぞれに回答してください。

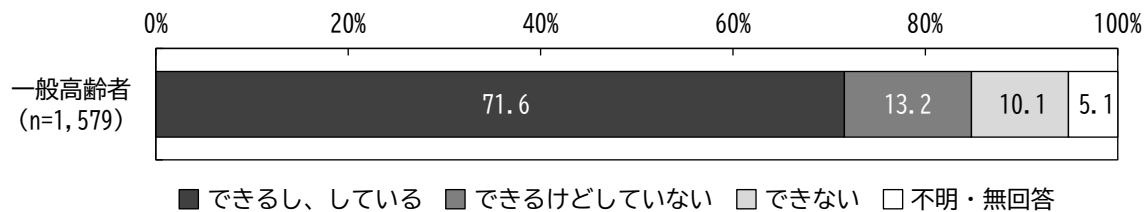
①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 (単数回答)

「できるし、している」が60.1%、「できるけどしていない」が20.3%となっています。



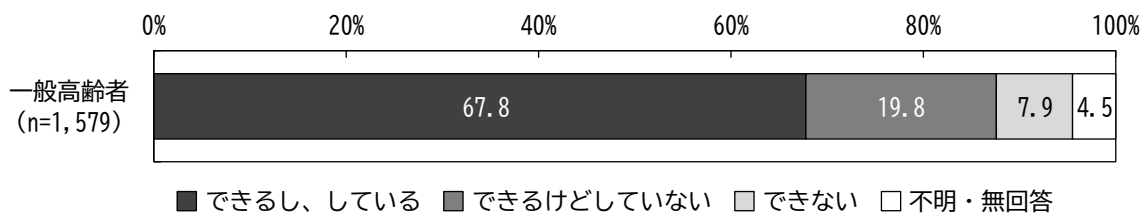
②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 (単数回答)

「できるし、している」が71.6%、「できるけどしていない」が13.2%となっています。



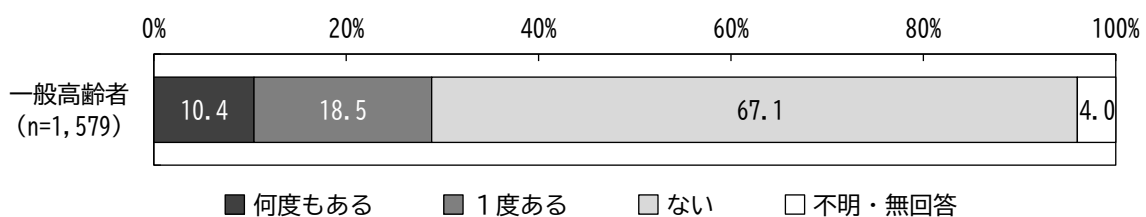
③15分位続けて歩いていますか。 (単数回答)

「できるし、している」が67.8%、「できるけどしていない」が19.8%となっています。



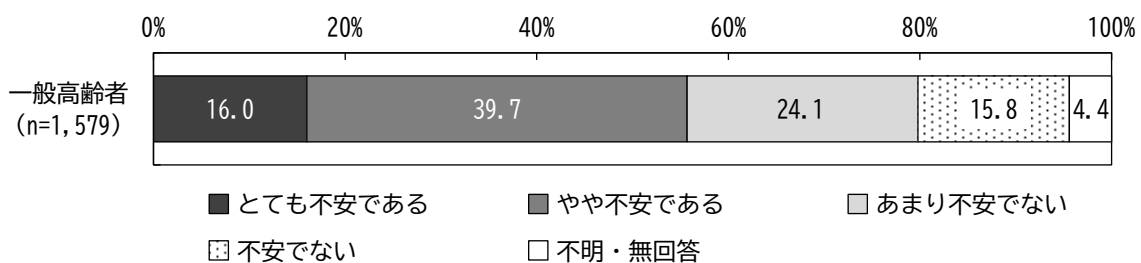
④過去1年間に転んだ経験がありますか。 (単数回答)

「ない」が67.1%、「1度ある」が18.5%となっています。



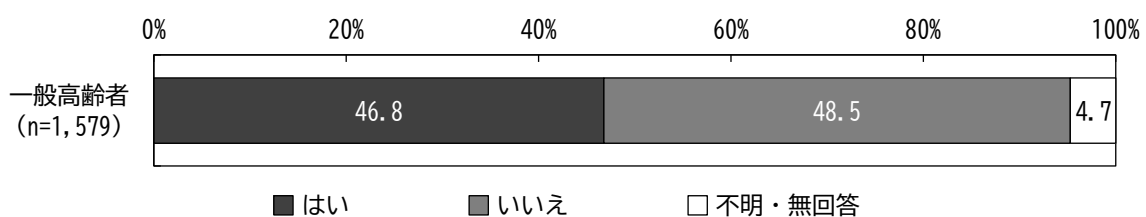
⑤転倒に対する不安は大きいですか。 (単数回答)

「とても不安である」が16.0%、「やや不安である」が39.7%となっており、55.7%が転倒に対する不安があると回答しています。



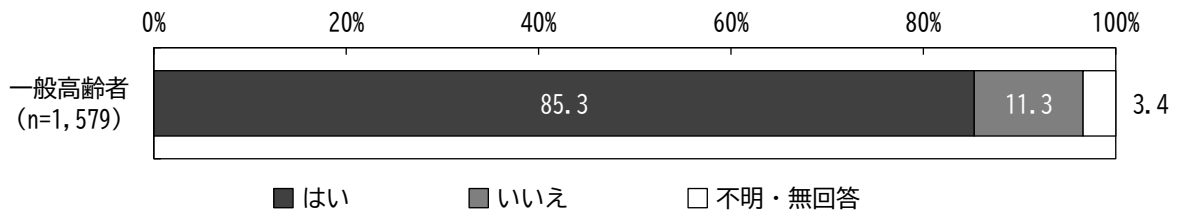
⑥物忘れが多いと感じますか。 (単数回答)

「はい」が46.8%、「いいえ」が48.5%となっています。



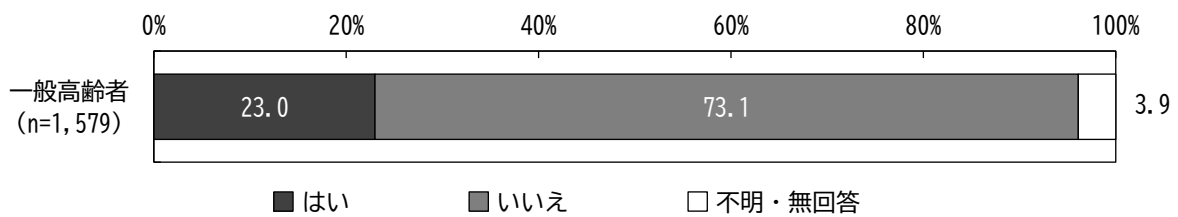
⑦自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 (単数回答)

「はい」が85.3%、「いいえ」が11.3%となっています。



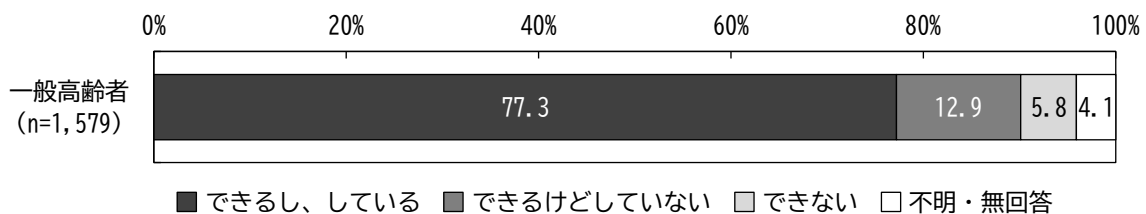
⑧今日が何月何日かわからない時がありますか。 (単数回答)

「はい」が23.0%、「いいえ」が73.1%となっています。



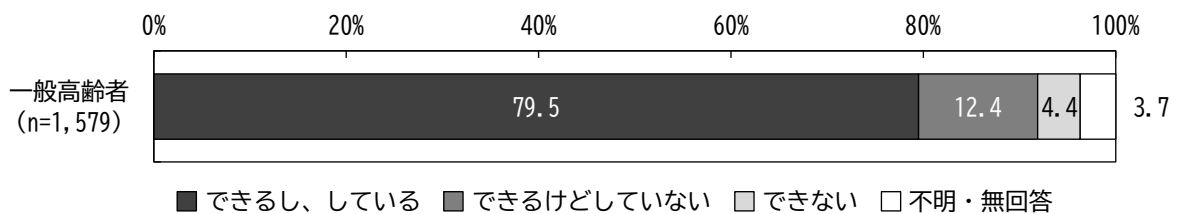
⑨バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。 (単数回答)

「できるし、している」が77.3%、「できるけどしていない」が12.9%となっています。



⑩自分で食品・日用品の買物をしていますか。 (単数回答)

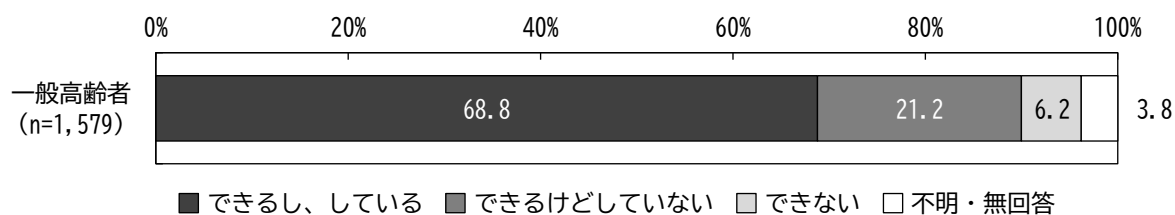
「できるし、している」が79.5%、「できるけどしていない」が12.4%となっています。



第2章 一般高齢者調査の結果

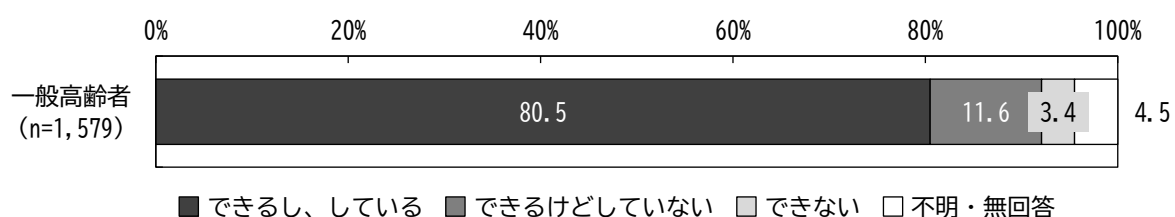
⑪自分で食事の用意をしていますか。 (単数回答)

「できるし、している」が68.8%、「できるけどしていない」が21.2%となっています。



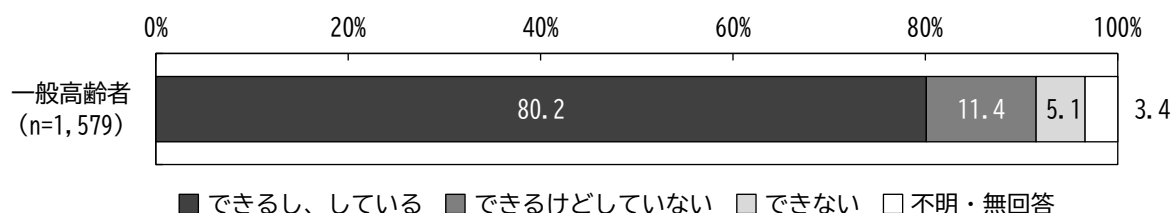
⑫自分で請求書の支払いをしていますか。 (単数回答)

「できるし、している」が80.5%、「できるけどしていない」が11.6%となっています。



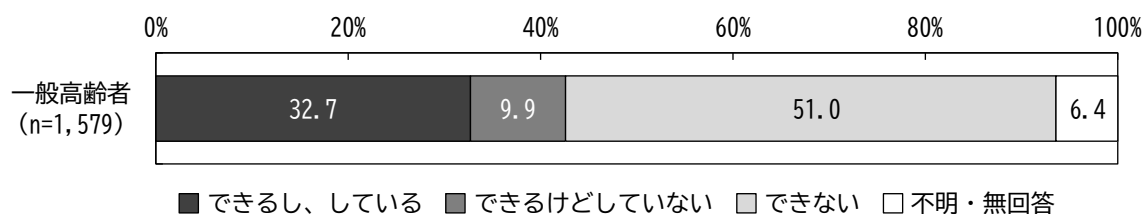
⑬自分で預貯金の出し入れをしていますか。 (単数回答)

「できるし、している」が80.2%、「できるけどしていない」が11.4%となっています。



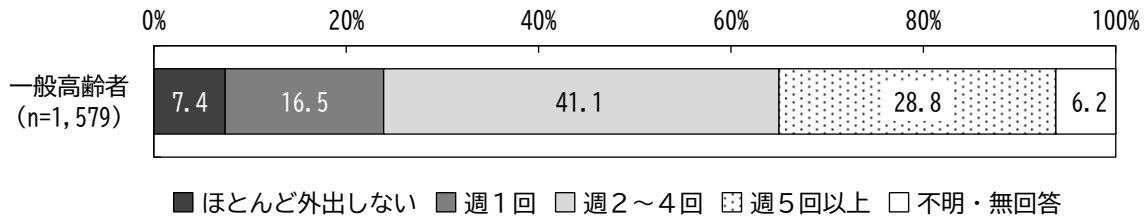
⑭インターネットで情報収集していますか。 (単数回答)

「できない」が51.0%、「できるし、している」が32.7%となっています。



問11 週に1回以上は外出していますか。 (単数回答)

「週2～4回」が41.1%で最も多く、次いで「週5回以上」が28.8%となっています。一方、「ほとんど外出しない」は7.4%となっています。



◆年齢別・地区別にみた外出頻度

年齢別にみると、より高い年齢区分で「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。地区別にみると、吉尾地区、太海地区、小湊地区で「ほとんど外出しない」が10%を超えており、最も低かった大山地区（1.4%）と比べて10ポイント以上の差が生じています。また、「週5回以上」の割合は地区間の差が大きく、最大で20ポイント程度の差が生じています

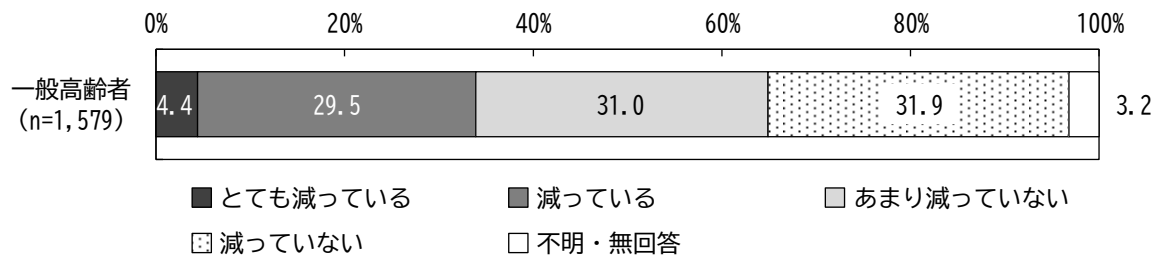
単位：%

	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	4.6	9.9	35.6	44.9	5.0
70～74歳 (n=447)	3.6	13.9	42.1	34.7	5.8
75～79歳 (n=341)	6.5	18.5	45.2	24.6	5.3
80～84歳 (n=234)	8.5	21.8	47.4	16.7	5.6
85～89歳 (n=131)	17.6	26.7	35.9	13.7	6.1
90歳以上 (n=55)	34.5	14.5	25.5	9.1	16.4
田原地区 (n=116)	7.8	16.4	44.8	26.7	4.3
西条地区 (n=126)	7.9	14.3	38.9	34.9	4.0
東条地区 (n=229)	7.4	14.0	33.6	38.0	7.0
鴨川地区 (n=277)	5.1	17.7	42.2	28.2	6.9
大山地区 (n=69)	1.4	23.2	50.7	23.2	1.4
吉尾地区 (n=86)	15.1	15.1	33.7	31.4	4.7
主基地区 (n=78)	7.7	14.1	46.2	26.9	5.1
江見地区 (n=101)	5.9	17.8	41.6	25.7	8.9
曾呂地区 (n=75)	4.0	10.7	50.7	30.7	4.0
太海地区 (n=75)	14.7	13.3	48.0	18.7	5.3
小湊地区 (n=89)	12.4	23.6	36.0	20.2	7.9
天津地区 (n=177)	7.3	16.4	41.2	28.2	6.8

第2章 一般高齢者調査の結果

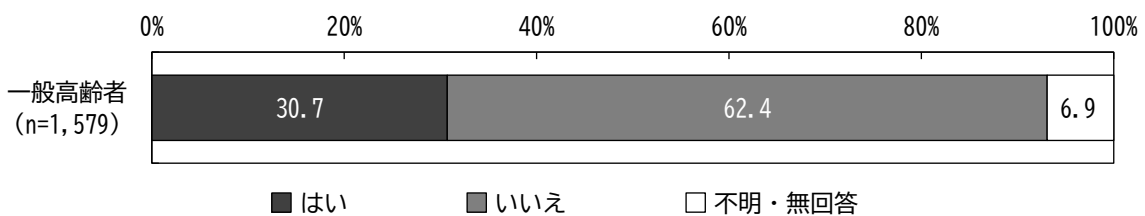
問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

「とても減っている」が4.4%、「減っている」が29.5%となっており、33.9%が昨年より外出の回数が減っていると回答しています。



問13 外出を控えていますか。(単数回答)

外出を控えている人が30.7%となっています。



◆年齢別にみた外出控えの状況

より高い年齢区分で、外出を控えている割合が高くなっています。

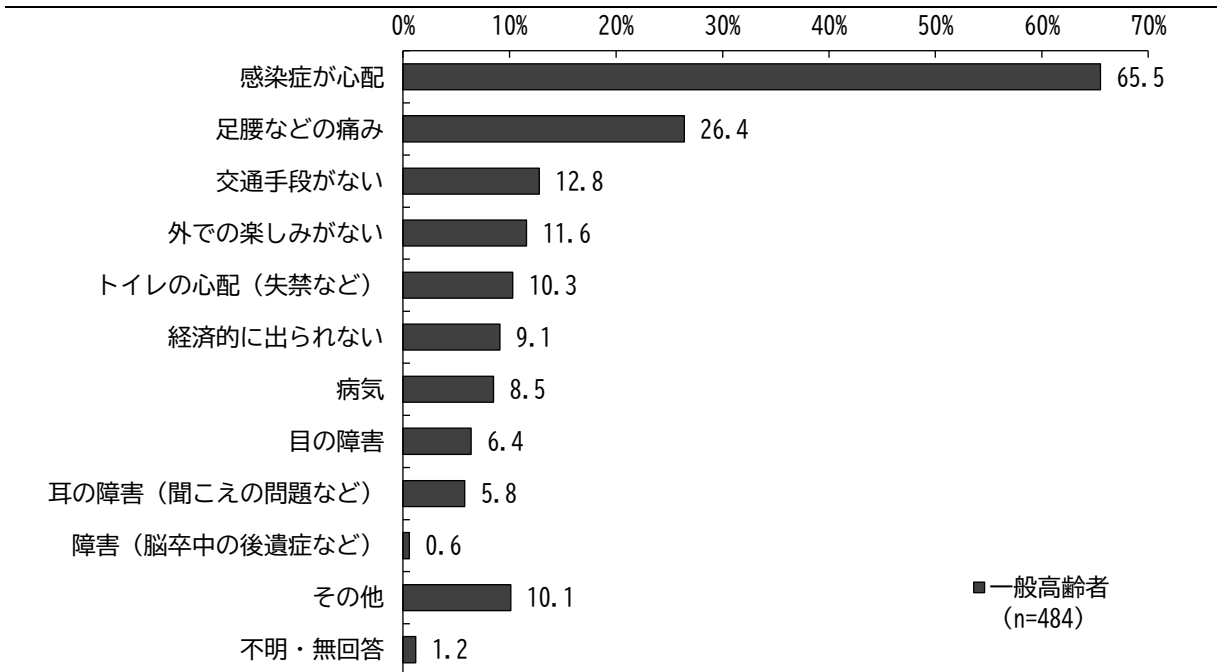
単位：%

	はい	いいえ	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	23.1	73.6	3.3
70～74歳 (n=447)	28.0	67.6	4.5
75～79歳 (n=341)	29.0	63.6	7.3
80～84歳 (n=234)	30.8	57.3	12.0
85～89歳 (n=131)	47.3	42.0	10.7
90歳以上 (n=55)	60.0	29.1	10.9

【問13で「はい（外出を控えている）」と答えた人のみ】

問13-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。 (複数回答)

「感染症が心配」が65.5%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が26.4%となっています。



◆年齢別にみた外出を控えている理由

「感染症が心配」はより高い年齢区分で回答割合が低くなっており、90歳以上では「足腰などの痛み」の割合の方が高くなっています。

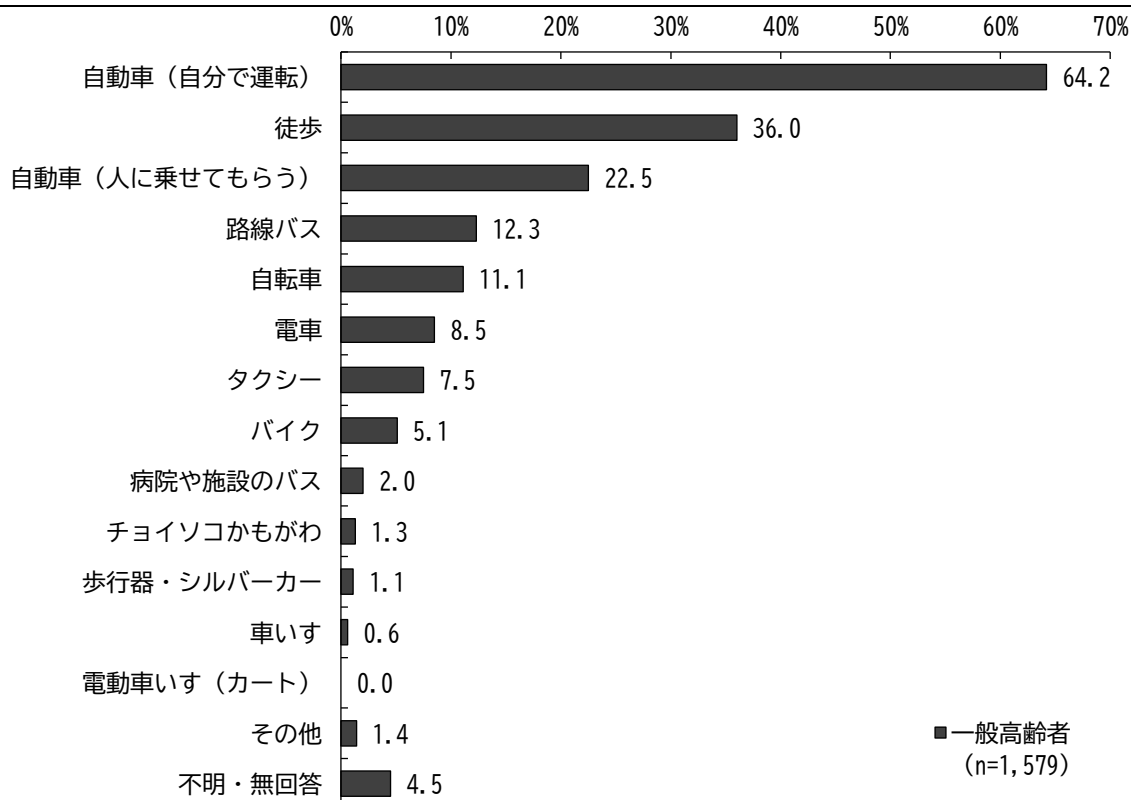
単位：%

	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない
65～69歳 (n=70)	8.6	2.9	12.9	4.3	0.0	0.0	8.6
70～74歳 (n=125)	5.6	0.8	17.6	7.2	3.2	4.0	8.8
75～79歳 (n=99)	4.0	0.0	23.2	11.1	6.1	10.1	14.1
80～84歳 (n=72)	12.5	0.0	38.9	15.3	5.6	11.1	13.9
85～89歳 (n=62)	11.3	0.0	35.5	11.3	9.7	4.8	9.7
90歳以上 (n=33)	12.1	0.0	57.6	24.2	24.2	9.1	18.2

	経済的に出られない	交通手段がない	感染症が心配	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=70)	11.4	7.1	80.0	7.1	1.4
70～74歳 (n=125)	16.0	4.8	68.8	11.2	0.8
75～79歳 (n=99)	7.1	13.1	65.7	9.1	1.0
80～84歳 (n=72)	6.9	16.7	65.3	11.1	1.4
85～89歳 (n=62)	3.2	27.4	54.8	8.1	1.6
90歳以上 (n=33)	0.0	21.2	42.4	15.2	3.0

問14 外出する際の移動手段は何ですか。 (複数回答)

「自動車（自分で運転）」が64.2%で最も多く、次いで「徒歩」が36.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が22.5%となっています。



◆年齢別にみた外出する際の移動手段

年齢別にみると、より高い年齢区分で「自動車（自分で運転）」の割合が低く、また「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっています。

単位：%

	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス
65～69歳 (n=303)	31.4	11.6	5.0	81.2	14.9	9.2	7.3	0.3
70～74歳 (n=447)	36.5	9.8	5.1	77.2	16.3	11.6	10.5	1.8
75～79歳 (n=341)	39.9	12.6	5.6	61.3	24.0	8.2	15.2	1.2
80～84歳 (n=234)	36.8	12.0	4.7	52.6	28.6	6.0	13.2	3.8
85～89歳 (n=131)	35.1	11.5	3.8	32.8	35.1	6.9	21.4	5.3
90歳以上 (n=55)	38.2	9.1	3.6	10.9	50.9	0.0	14.5	1.8

	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	チョイソコかもがわ	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	0.3	0.0	0.0	1.3	0.3	1.0	4.6
70～74歳 (n=447)	0.4	0.0	0.0	4.0	0.7	1.1	3.4
75～79歳 (n=341)	0.0	0.0	1.5	11.1	1.5	1.2	3.8
80～84歳 (n=234)	0.4	0.0	0.4	12.8	2.1	0.9	6.0
85～89歳 (n=131)	0.0	0.0	5.3	13.7	3.1	6.1	2.3
90歳以上 (n=55)	7.3	0.0	5.5	12.7	1.8	0.0	9.1

◆地区別にみた外出する際の移動手段

「徒歩」「自動車（自分で運転）」については地区間の差が大きく、それぞれ最大で20ポイント以上の差が生じています。

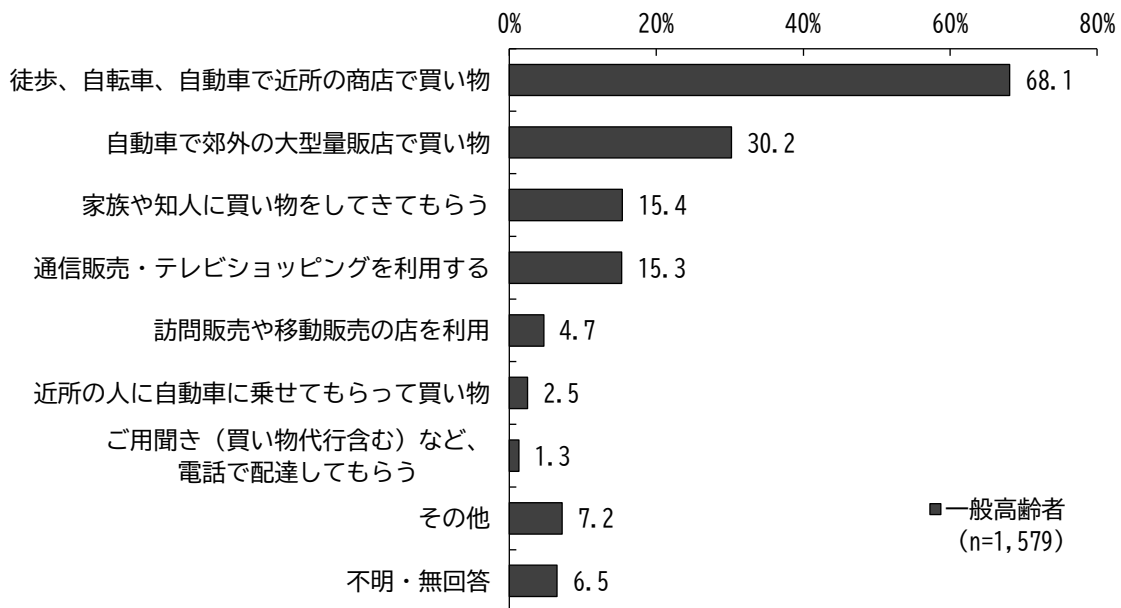
単位：%

	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス
田原地区 (n=116)	28.4	6.9	5.2	71.6	24.1	3.4	9.5	0.0
西条地区 (n=126)	33.3	11.1	5.6	74.6	19.8	9.5	11.9	1.6
東条地区 (n=229)	42.8	17.0	4.8	63.3	24.9	7.4	8.7	0.9
鴨川地区 (n=277)	44.4	15.9	7.6	50.9	24.2	10.5	15.2	5.1
大山地区 (n=69)	26.1	5.8	1.4	75.4	21.7	5.8	15.9	1.4
吉尾地区 (n=86)	29.1	8.1	2.3	67.4	22.1	5.8	8.1	1.2
主基地区 (n=78)	24.4	3.8	1.3	80.8	14.1	1.3	5.1	0.0
江見地区 (n=101)	33.7	12.9	5.0	70.3	16.8	15.8	10.9	2.0
曾呂地区 (n=75)	18.7	5.3	5.3	78.7	21.3	1.3	5.3	0.0
太海地区 (n=75)	34.7	5.3	5.3	60.0	29.3	10.7	13.3	1.3
小湊地区 (n=89)	44.9	13.5	3.4	56.2	22.5	20.2	23.6	4.5
天津地区 (n=177)	39.0	9.6	5.1	57.1	24.3	8.5	16.9	0.6

	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	チョイソコ かもがわ	その他	不明・無回答
田原地区 (n=116)	0.0	0.0	0.9	6.0	0.0	1.7	2.6
西条地区 (n=126)	0.0	0.0	0.8	11.9	0.0	0.8	3.2
東条地区 (n=229)	0.0	0.0	0.9	10.5	0.0	1.7	4.4
鴨川地区 (n=277)	0.0	0.0	1.1	14.8	0.0	1.4	6.1
大山地区 (n=69)	0.0	0.0	1.4	0.0	13.0	2.9	4.3
吉尾地区 (n=86)	2.3	0.0	1.2	2.3	5.8	2.3	3.5
主基地区 (n=78)	0.0	0.0	2.6	1.3	6.4	0.0	6.4
江見地区 (n=101)	1.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0	2.0
曾呂地区 (n=75)	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	1.3
太海地区 (n=75)	2.7	0.0	4.0	9.3	0.0	1.3	2.7
小湊地区 (n=89)	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	5.6
天津地区 (n=177)	1.7	0.0	0.6	6.2	0.0	2.3	5.1

問15 毎日の買い物をどのようにしていますか。(複数回答)

「徒歩、自転車、自動車で近所の商店で買い物」が68.1%で最も多く、次いで「自動車で郊外の大型量販店で買い物」が30.2%となっています。



◆年齢別・地区別にみた毎日の買い物の方法

年齢別にみると、より高い年齢区分で「家族や知人に買い物をしてくれよう」の割合が高くなっています。

地区別にみると、「訪問販売や移動販売の店を利用」は小湊地区で約2割と、他の地区に比べて高くなっています。

単位：%

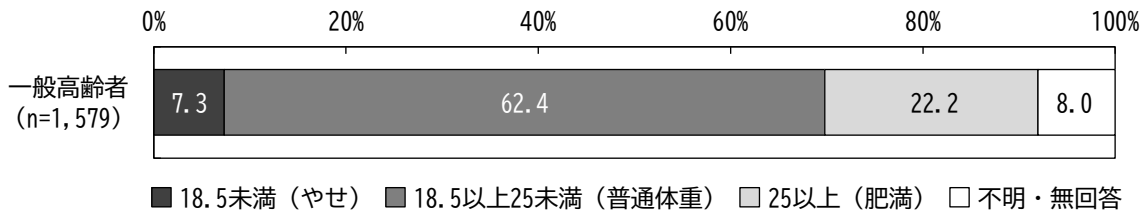
	徒歩、自転車、自動車で近所の商店で買い物	ご用聞き（買い物代行含む）など、電話で配達してもらう	訪問販売や移動販売の店を利用	近所の人に自動車で乗せてもらって買い物	自動車で郊外の大型量販店で買い物	通信販売・テレビショッピングを利用する	家族や知人に買い物をしてくれよう	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	78.2	0.7	3.6	1.0	32.3	21.1	8.9	6.9	3.6
70～74歳 (n=447)	73.8	0.9	4.5	1.6	31.1	16.6	11.6	5.4	5.6
75～79歳 (n=341)	66.9	1.5	5.9	2.9	37.2	13.5	14.1	7.6	6.7
80～84歳 (n=234)	61.5	0.4	5.1	3.4	32.1	13.7	17.9	7.7	9.8
85～89歳 (n=131)	55.7	2.3	6.9	5.3	16.0	9.9	26.7	9.9	6.9
90歳以上 (n=55)	29.1	5.5	3.6	1.8	7.3	5.5	52.7	18.2	9.1
田原地区 (n=116)	60.3	1.7	2.6	0.9	32.8	16.4	19.8	6.0	6.0
西条地区 (n=126)	67.5	0.0	4.0	3.2	31.7	17.5	13.5	7.9	7.9
東条地区 (n=229)	76.9	0.9	3.1	2.2	23.6	14.8	12.7	6.1	7.9
鴨川地区 (n=277)	73.6	1.4	4.7	1.4	19.9	17.3	18.1	7.9	7.6
大山地区 (n=69)	72.5	1.4	1.4	2.9	37.7	10.1	4.3	14.5	4.3
吉尾地区 (n=86)	77.9	2.3	2.3	2.3	30.2	14.0	11.6	3.5	1.2
主基地区 (n=78)	80.8	2.6	1.3	1.3	24.4	19.2	11.5	6.4	3.8
江見地区 (n=101)	76.2	0.0	4.0	0.0	37.6	14.9	9.9	4.0	5.0
曾呂地区 (n=75)	61.3	0.0	2.7	1.3	44.0	13.3	18.7	4.0	2.7
太海地区 (n=75)	54.7	2.7	8.0	2.7	34.7	12.0	22.7	6.7	9.3
小湊地区 (n=89)	55.1	1.1	18.0	4.5	34.8	14.6	22.5	12.4	6.7
天津地区 (n=177)	50.8	0.6	7.3	5.6	41.8	13.6	17.5	9.0	7.3

3 健康の状況や意識等について

問16 あなたの身長・体重はいくつですか。

(数量回答)

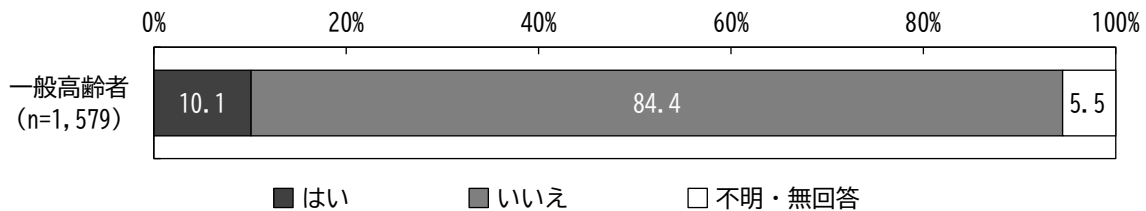
身長・体重から算出されるBMI (Body Mass Index) についてみると、普通体重の範囲とされる18.5以上25未満が62.4%となっており、肥満の範囲とされる25以上は22.2%、やせの範囲とされる18.5未満は7.3%となっています。



問17 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

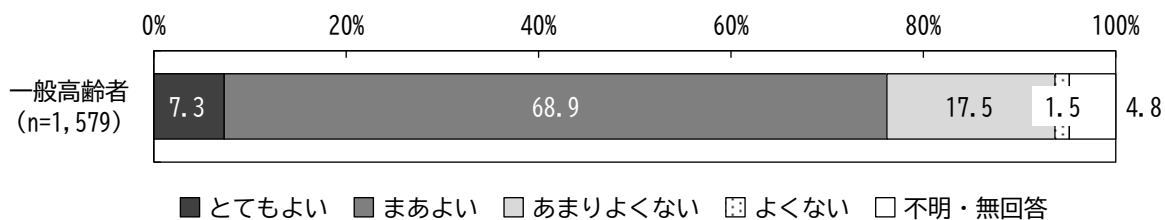
(単数回答)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人が10.1%となっています。



問18 現在のあなたの健康状態はいかがですか。 (単数回答)

「まあよい」が68.9%で最も多い一方、「よくない」が1.5%、「あまりよくない」が17.5%となっており、合計すると19.0%が健康状態がよくないと回答しています。



◆年齢別にみた健康状態

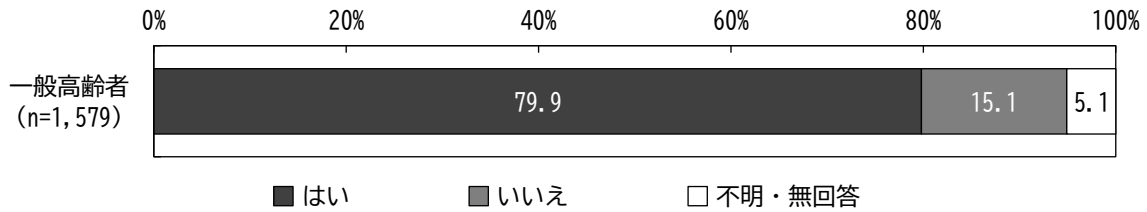
年齢別にみると、「とてもよい」と「まあよい」を合計した割合は、より高い年齢区分で比較的低い傾向にあり、65～69歳と90歳以上では10ポイント以上の差が生じています。

単位：%

年齢区分	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	9.2	72.6	12.9	1.7	3.6
70～74歳 (n=447)	6.7	72.5	16.1	1.6	3.1
75～79歳 (n=341)	5.6	67.2	20.2	1.5	5.6
80～84歳 (n=234)	9.8	68.8	17.5	0.9	3.0
85～89歳 (n=131)	4.6	67.2	20.6	2.3	5.3
90歳以上 (n=55)	3.6	63.6	23.6	1.8	7.3

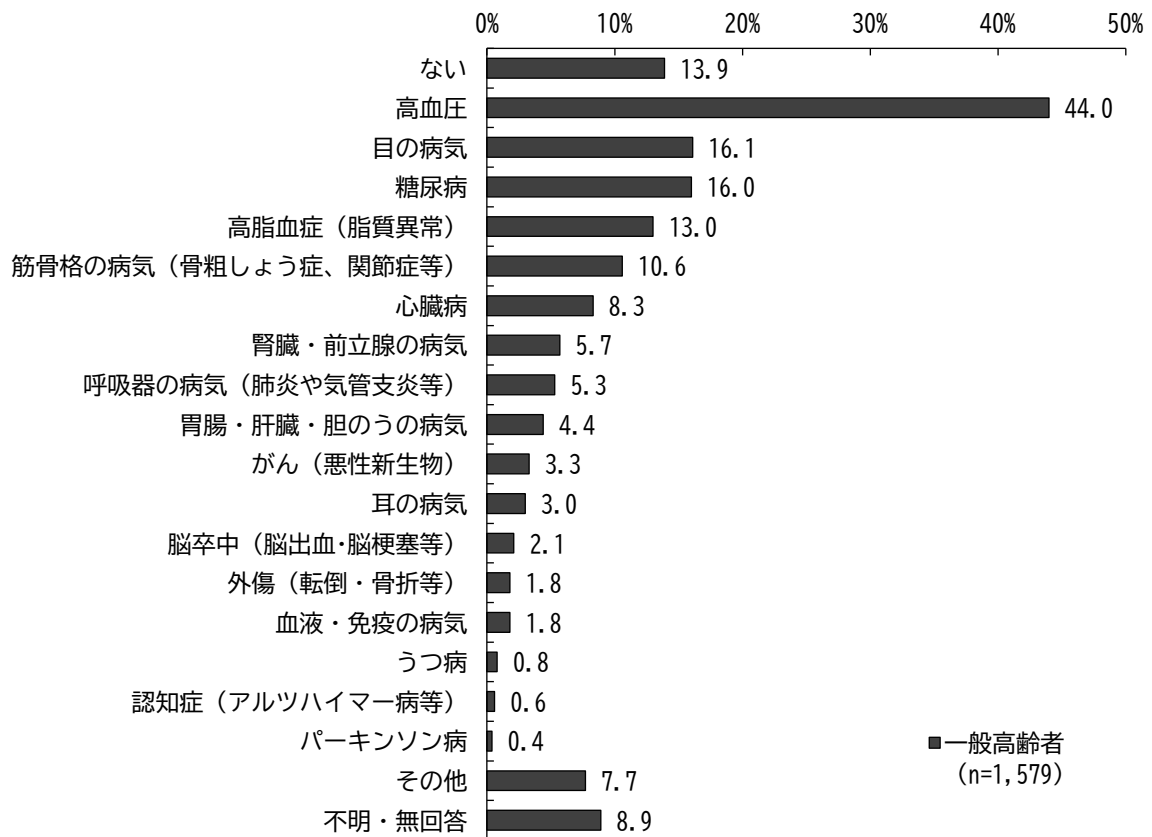
問19 かかりつけ医はいますか（歯科医は除く）。 （単数回答）

かかりつけ医がいる人が79.9%となっています。



問20 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。 （複数回答）

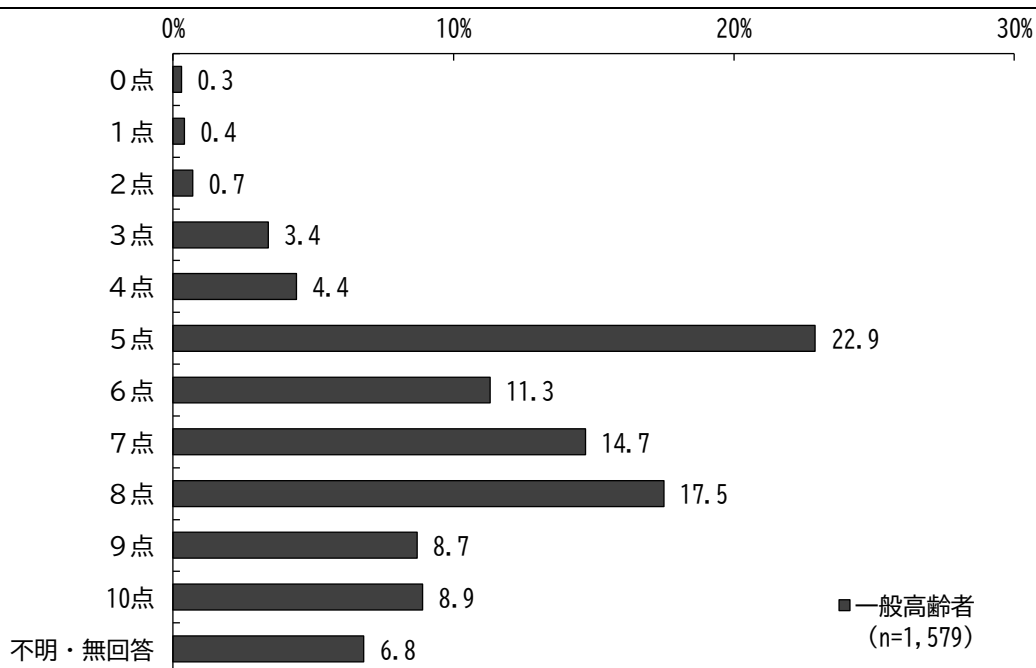
「高血圧」が44.0%で最も多くなっています。「ない」は13.9%となっています。



第2章 一般高齢者調査の結果

問21 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とする）。（単数回答）

「5点」が22.9%で最も多く、次いで「8点」が17.5%となっています。



◆家族構成別にみた幸福度

4点以下の割合は「1人暮らし」で14.1%と最も多くなっています。

単位：%

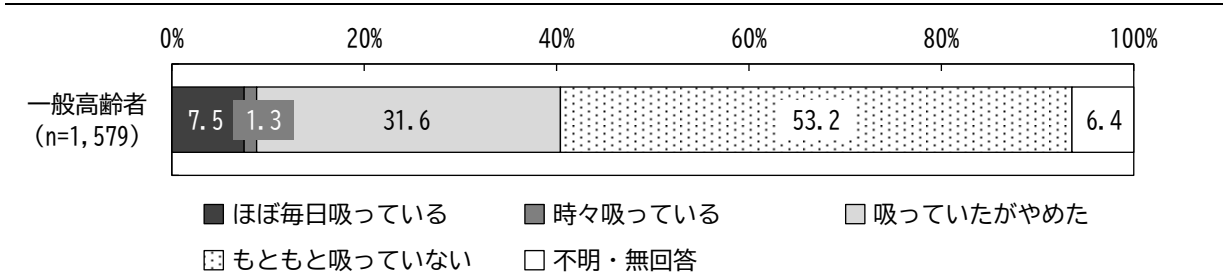
家族構成	0点 ~ 5点					
	0点	1点	2点	3点	4点	5点
1人暮らし (n=305)	0.0	1.0	0.7	5.2	7.2	25.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=578)	0.5	0.2	0.9	1.4	3.5	20.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=71)	0.0	1.4	0.0	2.8	1.4	28.2
息子・娘との2世帯 (n=261)	0.0	0.4	0.8	4.6	3.1	22.6
その他 (n=275)	0.4	0.0	0.4	5.8	5.5	25.1

家族構成	6点 ~ 不明・無回答					
	6点	7点	8点	9点	10点	不明・無回答
1人暮らし (n=305)	12.5	12.8	13.1	8.5	7.2	6.2
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=578)	11.9	14.7	21.6	10.4	8.7	5.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=71)	11.3	11.3	18.3	11.3	7.0	7.0
息子・娘との2世帯 (n=261)	10.7	17.2	17.2	5.7	12.3	5.4
その他 (n=275)	10.9	15.6	14.2	7.6	7.3	7.3

問22 あなたの生活習慣についておたずねします。

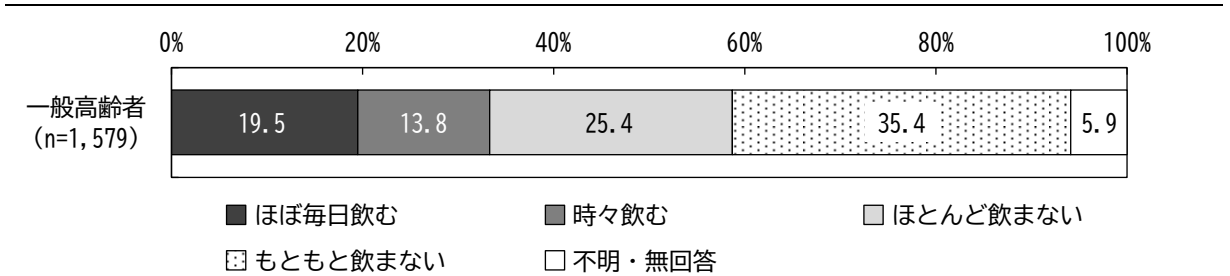
①たばこ (単数回答)

「もともと吸っていない」が53.2%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.6%となっています。



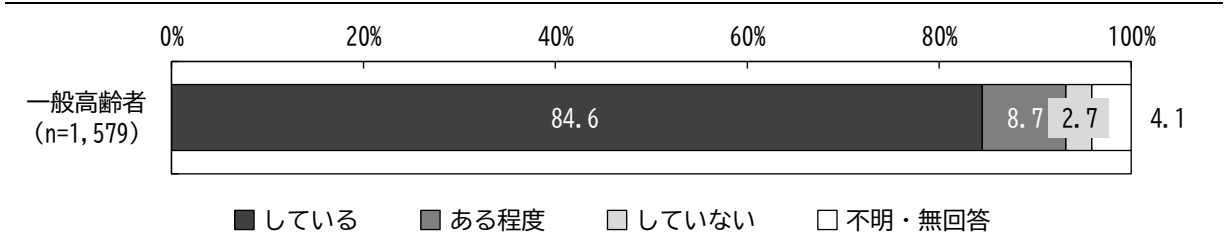
②お酒・アルコール (単数回答)

「もともと飲まない」が35.4%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.4%となっています。



③三度の食事 (単数回答)

「している」が84.6%で最も多く、次いで「ある程度」が8.7%となっています。

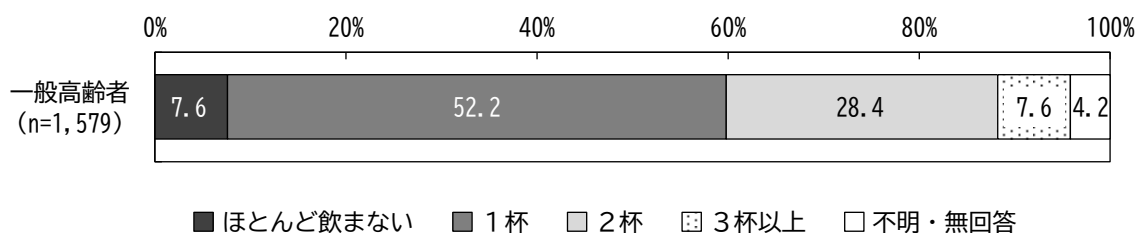


第2章 一般高齢者調査の結果

④一日の汁物

(単数回答)

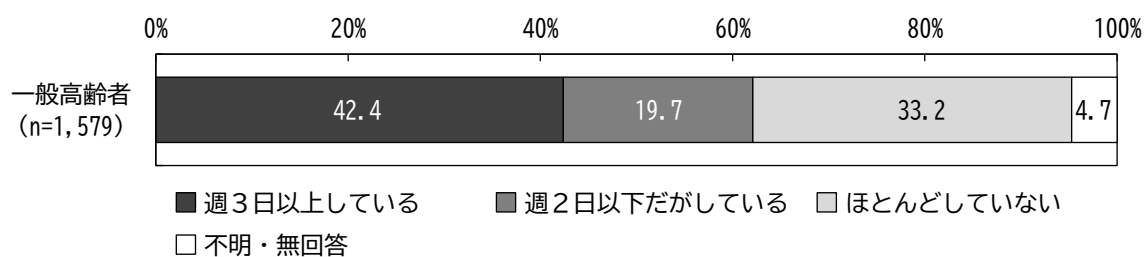
「1杯」が52.2%で最も多く、次いで「2杯」が28.4%となっています。



⑤定期的な運動（散歩など軽いものを含む）

(単数回答)

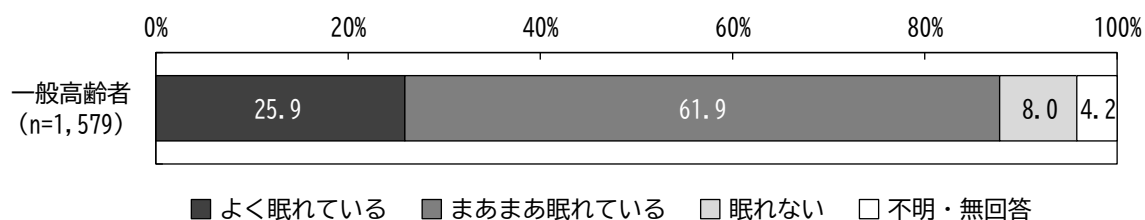
「週3日以上している」が42.4%で最も多く、次いで「ほとんどしていない」が33.2%となっています。



⑥睡眠

(単数回答)

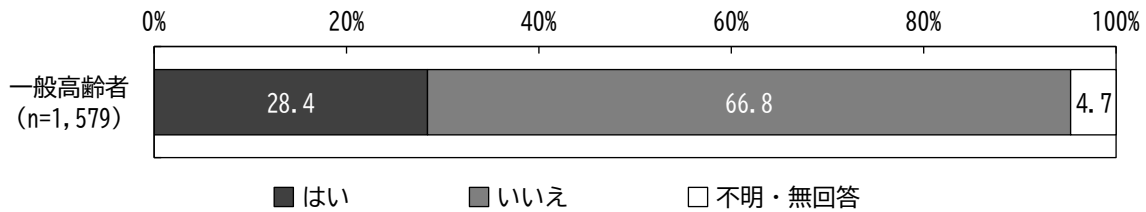
「眠れない」が8.0%となっています。「よく眠れている」と「まあまあ眠れている」の合計は87.8%となっています。



問23 健康状態や食べることについて、①～⑦それぞれに回答してください。

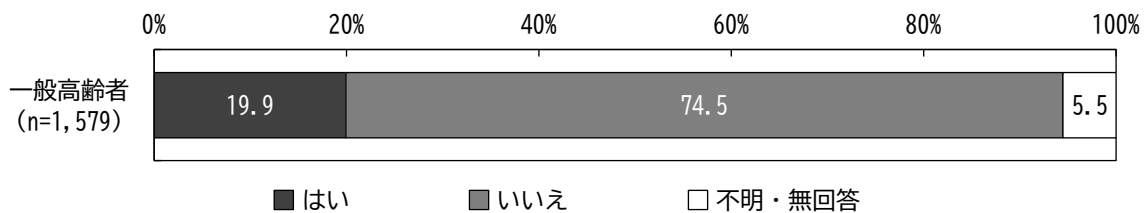
①この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(単数回答)

「はい」が28.4%となっています。



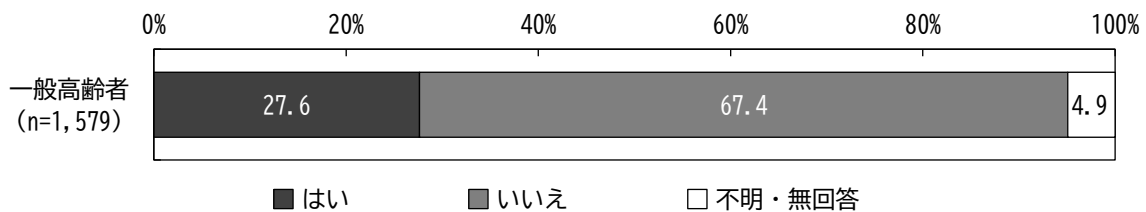
②この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。
(単数回答)

「はい」が19.9%となっています。



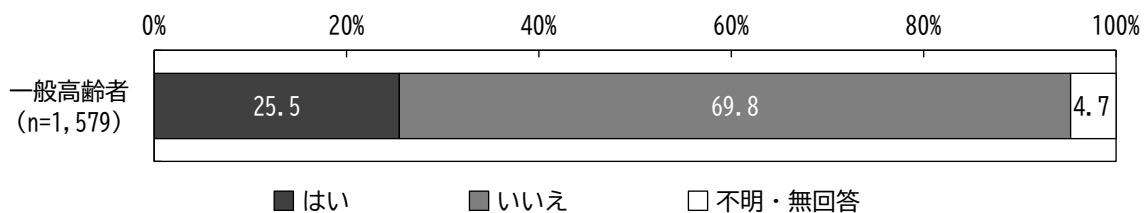
③半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
(単数回答)

「はい」が27.6%となっています。



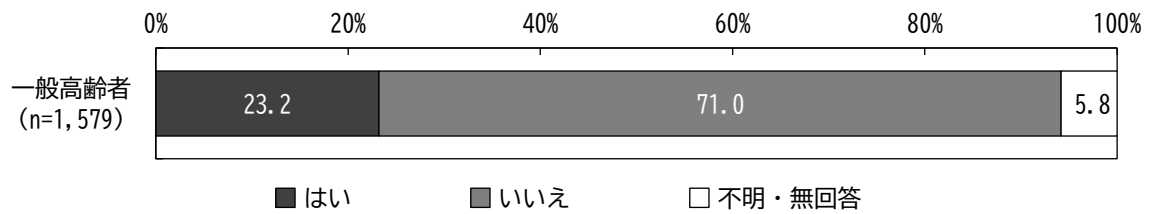
④お茶や汁物等でむせることがありますか。
(単数回答)

「はい」が25.5%となっています。



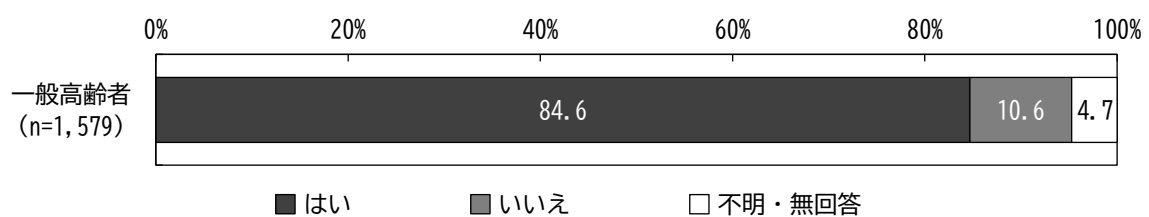
⑤口の渇きが気になりますか。 (単数回答)

「はい」が23.2%となっています。



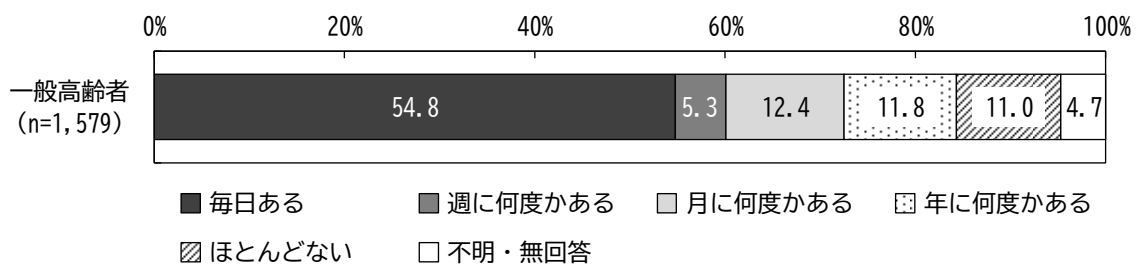
⑥歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。 (単数回答)

「はい」が84.6%となっています。



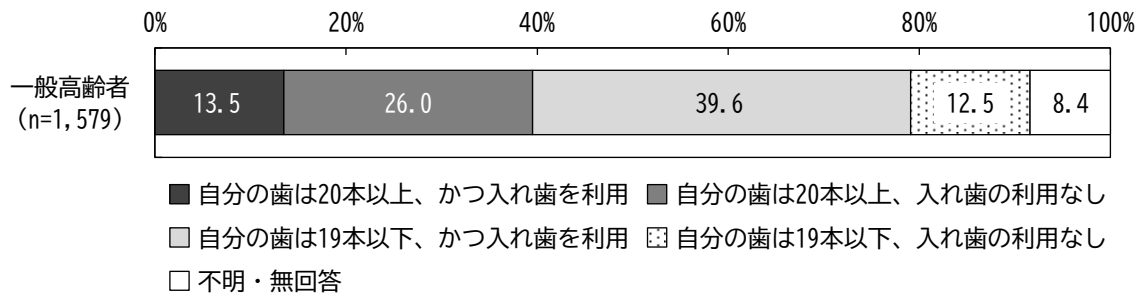
⑦どなたかと食事をとにもする機会がありますか。 (単数回答)

「月に何度か以下」(「月に何度かある」「年に何度かある」「ほとんどない」の合計)が35.2%となっています。



問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (単数回答)

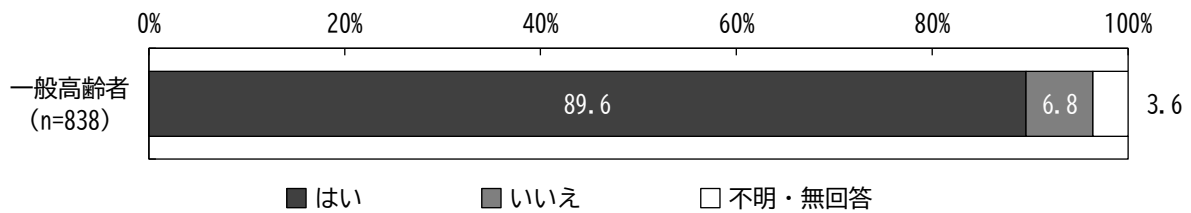
「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 39.6%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 26.0%となっています。



【問 24 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた人のみ】

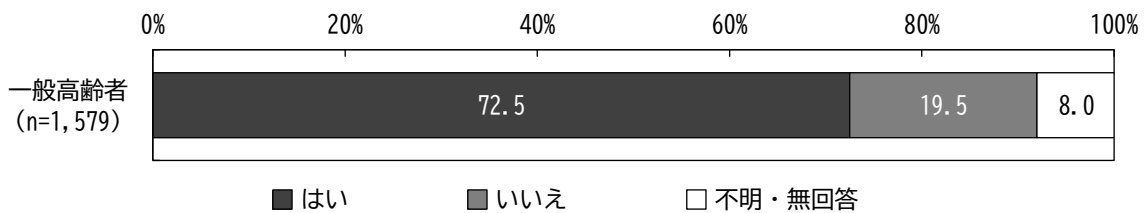
問 24-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。 (単数回答)

毎日入れ歯の手入れをしている人が 89.6%となっています。



問 25 噛み合わせは良いですか。 (単数回答)

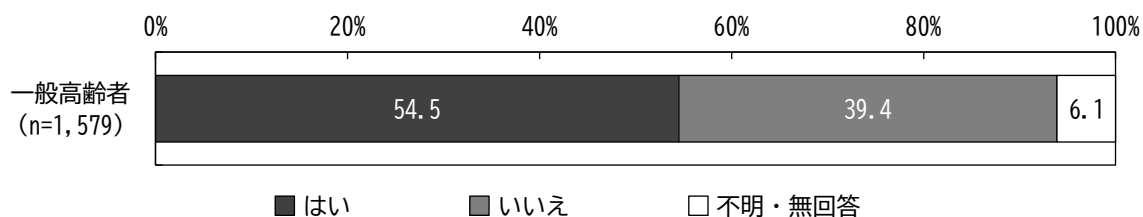
噛み合わせが良いという人が 72.5%となっています。



第2章 一般高齢者調査の結果

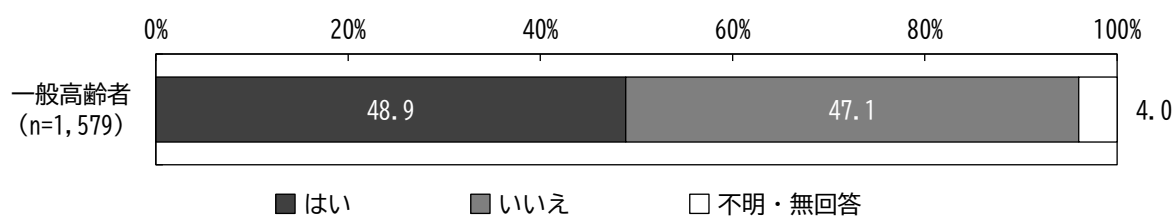
問26 歯間清掃用具（デンタルフロス、糸楊枝、歯間ブラシ）を使っていますか。
（単数回答）

歯間清掃用具を使っている人は54.5%となっています。



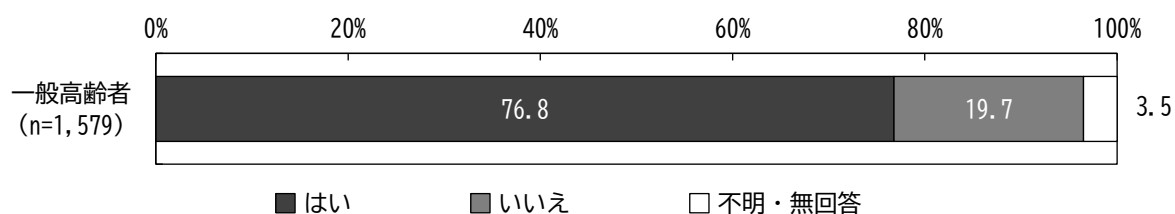
問27 定期的に歯科検診を受けていますか（1年に1回以上程度）。（単数回答）

1年に1回以上程度歯科検診を受けている人は48.9%となっています。



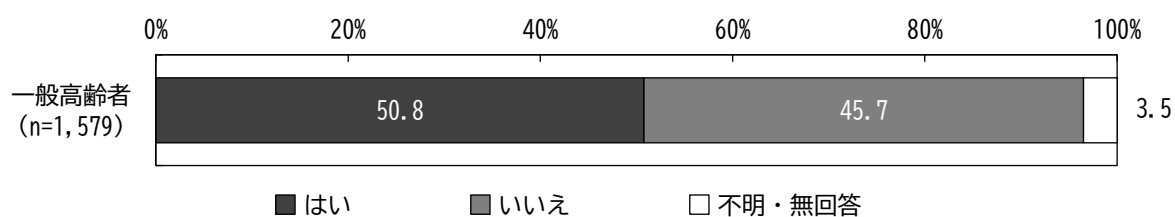
問28 かかりつけの歯科医はいますか。（単数回答）

かかりつけの歯科医がいる人は76.8%となっています。



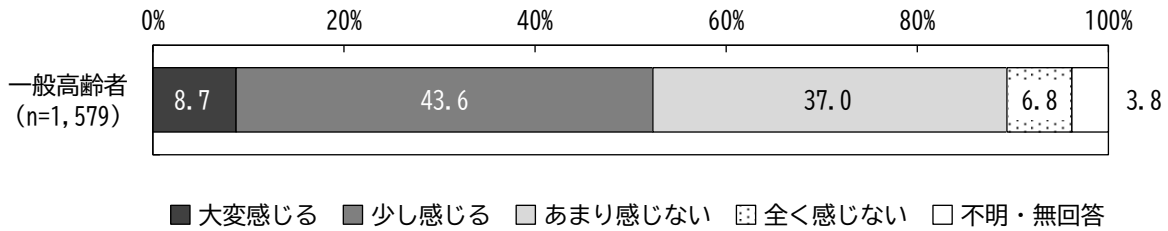
問29 1年以内に歯科医院等で歯石除去や歯の清掃を行いましたか。（単数回答）

1年以内に歯科医院等で歯石除去や歯の清掃を行った人は50.8%となっています。



問 30 普段の生活でストレスを感じますか。 (単数回答)

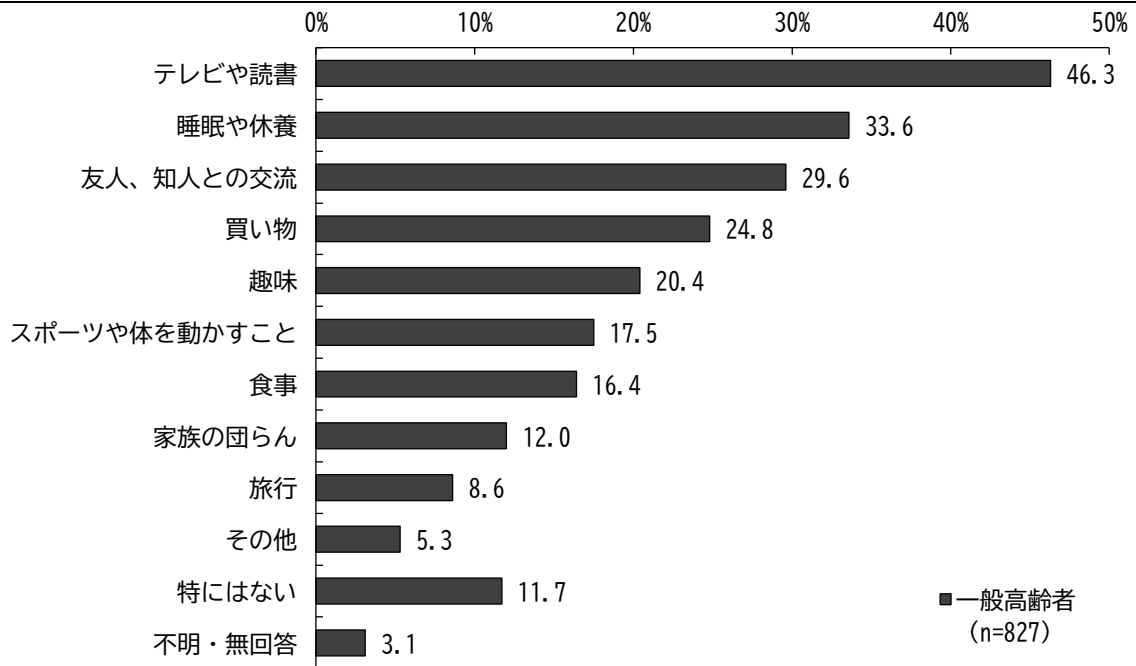
「少し感じる」が43.6%で最も多く、次いで「あまり感じない」が37.0%となっています。



【問 30 で「大変感じる」「少し感じる」と答えた人のみ】

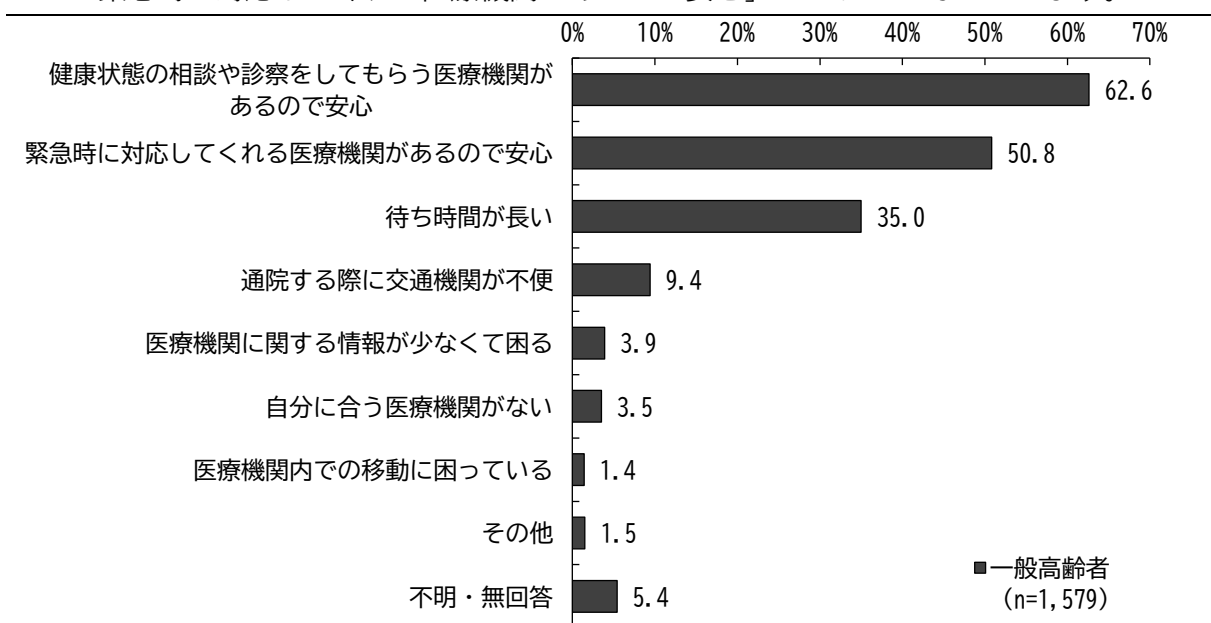
問 30-1 ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。 (複数回答)

「テレビや読書」が46.3%で最も多く、次いで「睡眠や休養」が33.6%、「友人、知人との交流」が29.6%となっています。



問31 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。 (複数回答)

「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が62.6%で最も多く、次いで「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が50.8%となっています。



◆地区別にみた近隣の医療機関についての感じ方

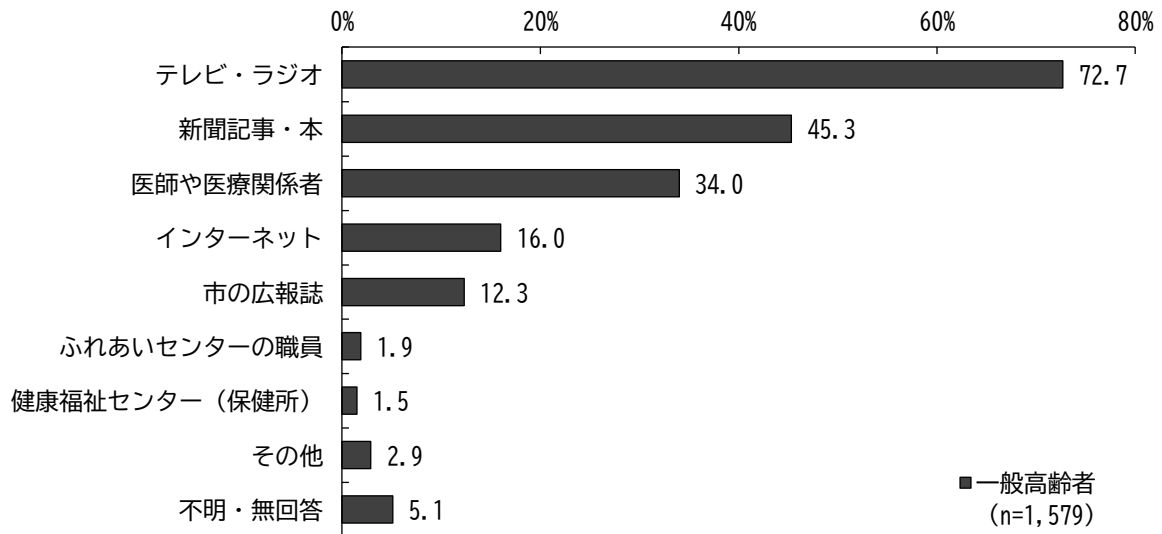
「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」「待ち時間が長い」については地区間の差が大きく、それぞれ最大で20ポイント以上の差が生じています。

単位：%

	健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	自分に合う医療機関がない	医療機関に関する情報が少なくて困る	待ち時間が長い	通院する際に交通機関が不便	医療機関内での移動に困っている	その他	不明・無回答
田原地区 (n=116)	58.6	50.9	3.4	3.4	35.3	10.3	0.9	1.7	6.9
西条地区 (n=126)	65.1	55.6	3.2	2.4	32.5	15.9	3.2	0.0	5.6
東条地区 (n=229)	65.5	55.5	3.1	2.6	38.4	3.5	0.4	1.7	4.8
鴨川地区 (n=277)	67.9	47.7	3.6	3.2	35.7	8.3	1.8	2.2	4.7
大山地区 (n=69)	55.1	50.7	5.8	5.8	24.6	15.9	1.4	1.4	10.1
吉尾地区 (n=86)	50.0	48.8	5.8	10.5	31.4	7.0	0.0	0.0	5.8
主基地区 (n=78)	64.1	50.0	2.6	0.0	26.9	6.4	0.0	0.0	5.1
江見地区 (n=101)	57.4	38.6	6.9	7.9	27.7	13.9	1.0	2.0	8.9
曾呂地区 (n=75)	53.3	52.0	2.7	4.0	46.7	13.3	1.3	1.3	6.7
大海地区 (n=75)	66.7	38.7	5.3	8.0	34.7	10.7	1.3	4.0	2.7
小湊地区 (n=89)	65.2	57.3	0.0	0.0	44.9	13.5	1.1	2.2	4.5
天津地区 (n=177)	65.5	58.8	1.1	3.4	33.9	8.5	2.3	1.1	4.0

問32 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。(複数回答)

「テレビ・ラジオ」が72.7%で最も多く、次いで「新聞記事・本」が45.3%となっています。



◆年齢別にみた健康に関する情報源

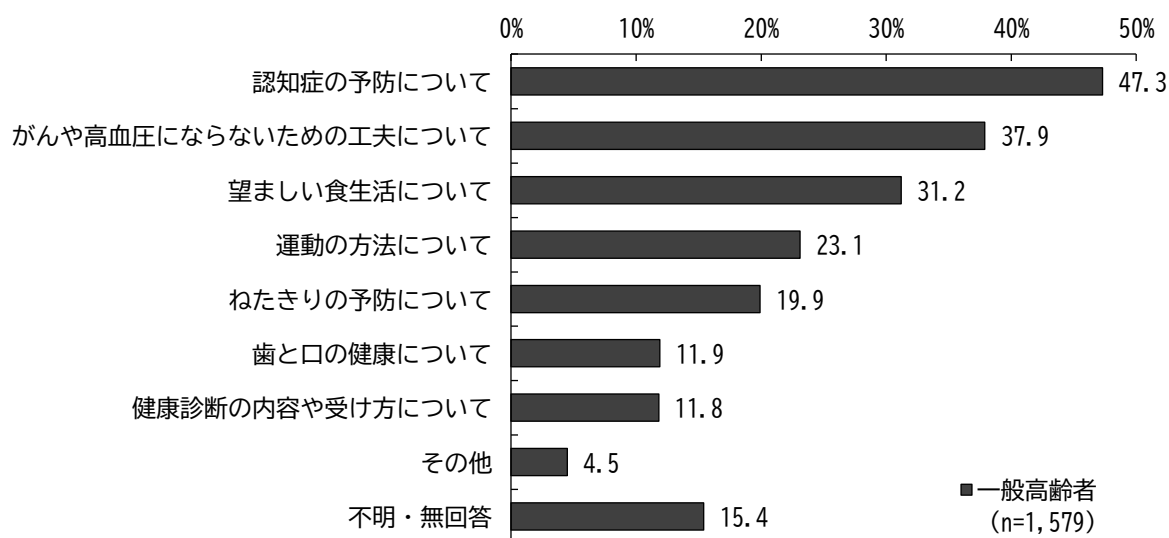
「インターネット」は65～69歳では35.0%となっています。

単位：%

年齢	テレビ・ラジオ	新聞記事・本	医師や医療関係者	市の広報誌	ふれあいセンターの職員	健康福祉センター（保健所）	インターネット	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	78.2	38.0	24.4	8.3	1.0	0.7	35.0	2.6	4.0
70～74歳 (n=447)	73.6	44.5	31.5	12.3	1.6	1.6	17.7	3.1	4.0
75～79歳 (n=341)	73.3	58.1	38.7	14.7	0.9	0.9	12.0	2.6	4.4
80～84歳 (n=234)	71.8	44.0	37.6	12.8	3.0	2.1	5.6	1.3	6.0
85～89歳 (n=131)	62.6	39.7	45.0	14.5	6.1	1.5	2.3	5.3	7.6
90歳以上 (n=55)	65.5	32.7	36.4	10.9	1.8	3.6	0.0	7.3	14.5

問33 健康について主に知りたいことは何ですか。 (複数回答)

「認知症の予防について」が47.3%で最も多く、次いで「がんや高血圧にならないための工夫について」が37.9%となっています。



◆年齢別にみた健康について主に知りたいこと

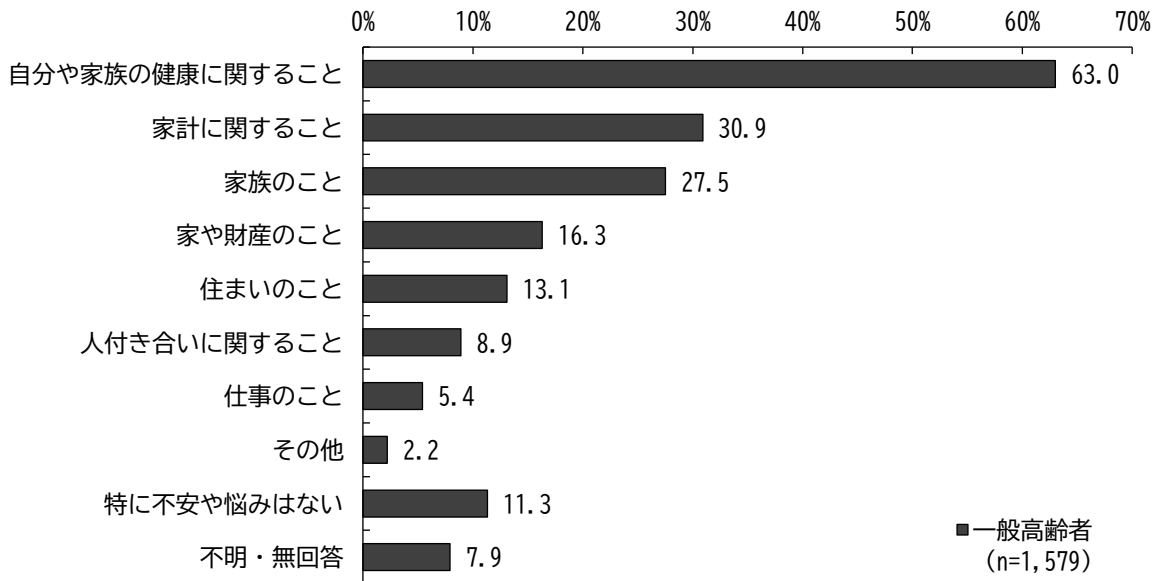
65～69歳では、「がんや高血圧にならないための工夫について」が40.9%と最も多くなっており、他の年齢区分では「認知症の予防について」が最も多くなっています。

単位：%

	がんや高血圧にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断の内容や受け方について	ねたきりの予防について	歯と口の健康について	認知症の予防について	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	40.9	31.7	23.8	12.5	12.9	13.2	39.9	6.3	14.2
70～74歳 (n=447)	37.6	28.9	27.1	10.3	18.8	12.8	48.3	3.6	16.6
75～79歳 (n=341)	40.5	37.0	25.2	14.1	21.1	10.6	50.1	3.5	13.5
80～84歳 (n=234)	36.3	25.6	15.4	10.7	26.9	12.8	49.6	4.7	14.1
85～89歳 (n=131)	30.5	36.6	22.1	11.5	23.7	9.2	54.2	6.1	18.3
90歳以上 (n=55)	25.5	23.6	12.7	12.7	32.7	12.7	40.0	7.3	20.0

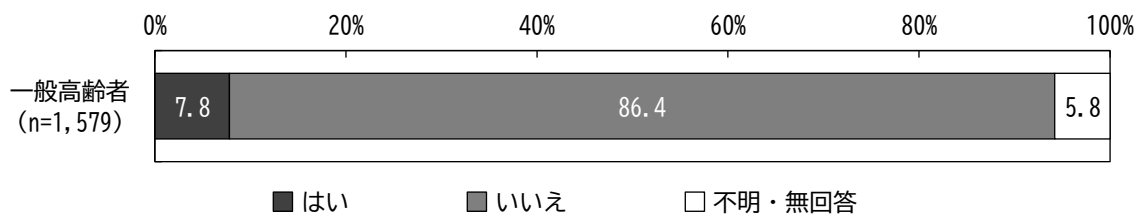
問 34 老後の生活でどのようなことが不安ですか。 (複数回答)

「自分や家族の健康に関すること」が63.0%で最も多く、次いで「家計に関すること」が30.9%、「家族のこと」が27.5%となっています。



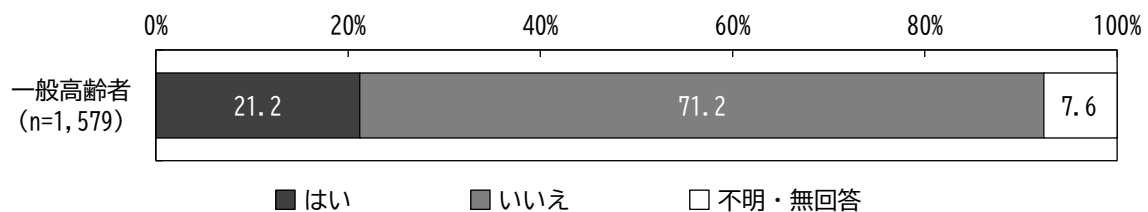
問 35 あなた本人かご家族の中に、認知症の症状がある人がいますか。 (単数回答)

自分または家族に認知症の症状がある人は7.8%となっています。



問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。 (単数回答)

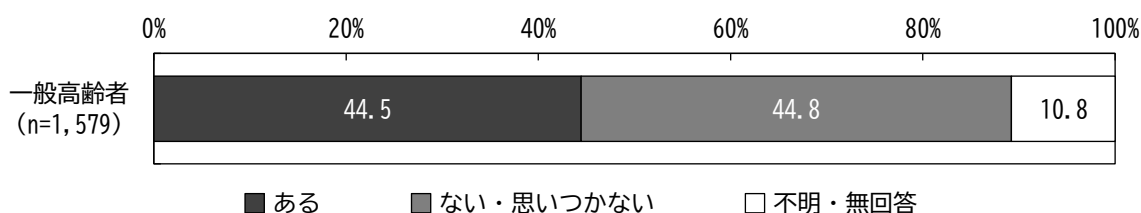
認知症に関する相談窓口を知っている人は21.2%となっています。



4 社会参加等について

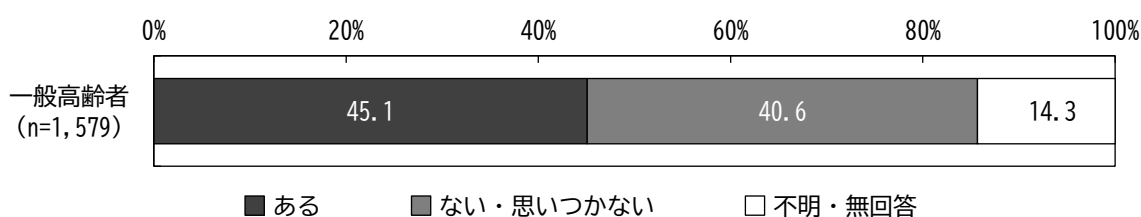
問 37 趣味はありますか。 (単数回答)

趣味がある人は44.5%となっています。



問 38 生きがいはありますか。 (単数回答)

生きがいがある人は45.1%となっています。



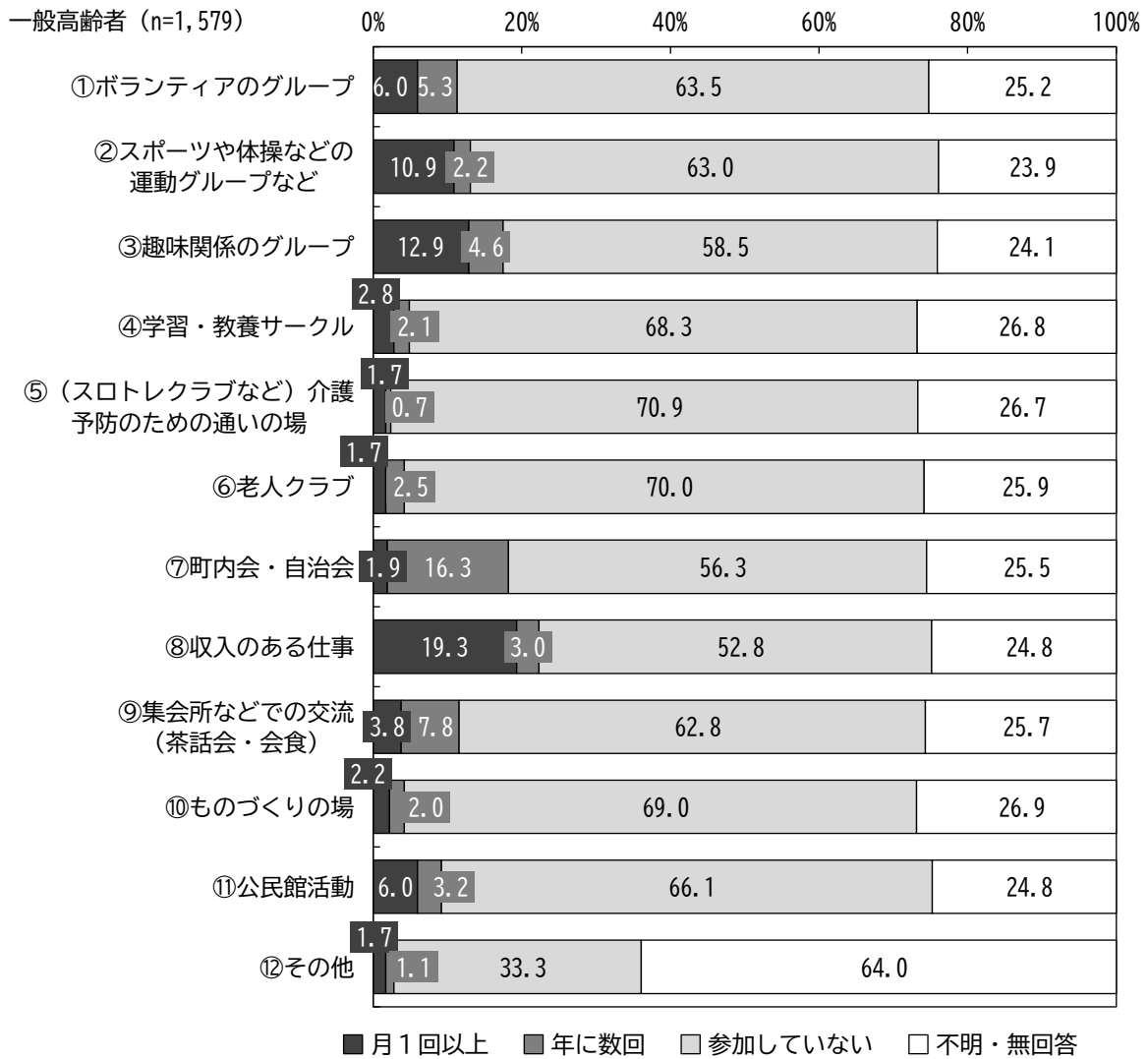
問 39 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 (単数回答)

月1回以上の参加が最も多いのは「収入のある仕事」の19.3%、次いで「趣味関係のグループ」が12.9%、「スポーツや体操などの運動グループなど」が10.9%となっています。

単位：%

一般高齢者 (n=1,579)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
①ボランティアのグループ	0.4	0.3	0.7	4.6	5.3	63.5	25.2
②スポーツや体操などの運動グループなど	1.5	4.1	2.5	2.8	2.2	63.0	23.9
③趣味関係のグループ	0.2	2.2	2.6	7.9	4.6	58.5	24.1
④学習・教養サークル	0.1	0.3	0.8	1.6	2.1	68.3	26.8
⑤(スロトレクラブなど)介護予防のための通いの場	0.1	0.3	0.9	0.4	0.7	70.9	26.7
⑥老人クラブ	0.1	0.1	0.3	1.2	2.5	70.0	25.9
⑦町内会・自治会	0.1	0.0	0.1	1.7	16.3	56.3	25.5
⑧収入のある仕事	11.4	5.1	1.3	1.5	3.0	52.8	24.8
⑨集会所などでの交流(茶話会・会食)	0.1	0.3	0.2	3.2	7.8	62.8	25.7
⑩ものづくりの場	0.3	0.1	0.3	1.5	2.0	69.0	26.9
⑪公民館活動	0.3	0.4	0.9	4.4	3.2	66.1	24.8
⑫その他	0.3	0.2	0.3	0.9	1.1	33.3	64.0

◇「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」を「月1回以上」としてまとめたグラフ



第2章 一般高齢者調査の結果

◆地区別にみた「町内会・自治会」への参加状況

大山地区、吉尾地区、主基地区、太海地区では、「年に数回」が2割を超えており、他の地区と比べて参加割合が高くなっています。

	単位：%						
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
田原地区 (n=116)	0.0	0.0	0.0	0.9	18.1	56.9	24.1
西条地区 (n=126)	0.0	0.0	0.8	0.8	19.0	52.4	27.0
東条地区 (n=229)	0.0	0.0	0.0	0.9	11.8	62.4	24.9
鴨川地区 (n=277)	0.4	0.0	0.0	2.2	7.6	62.5	27.4
大山地区 (n=69)	0.0	0.0	0.0	5.8	27.5	47.8	18.8
吉尾地区 (n=86)	0.0	0.0	0.0	1.2	26.7	43.0	29.1
主基地区 (n=78)	0.0	0.0	0.0	3.8	25.6	56.4	14.1
江見地区 (n=101)	0.0	0.0	0.0	1.0	14.9	56.4	27.7
曾呂地区 (n=75)	0.0	0.0	0.0	2.7	16.0	62.7	18.7
太海地区 (n=75)	1.3	0.0	1.3	0.0	21.3	50.7	25.3
小湊地区 (n=89)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	56.2	27.0
天津地区 (n=177)	0.0	0.0	0.0	2.3	18.1	53.7	26.0

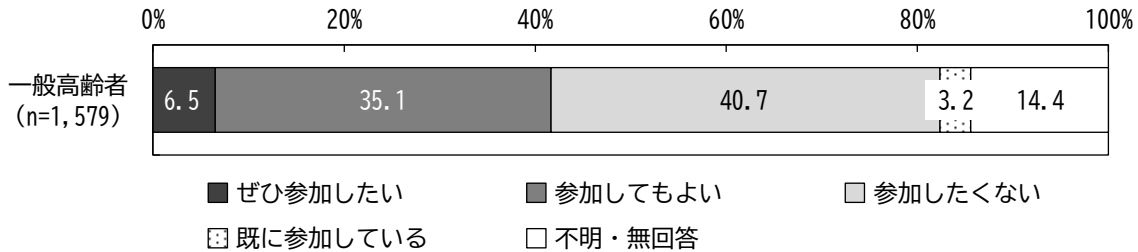
◆地区別にみた「集会所などでの交流」への参加状況

大山地区、吉尾地区、曾呂地区では年に数回以上の参加が2割を超えており、他の地区と比べて参加割合が高くなっています。

	単位：%						
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
田原地区 (n=116)	0.0	1.7	0.0	3.4	8.6	58.6	27.6
西条地区 (n=126)	0.0	0.0	0.0	2.4	12.7	59.5	25.4
東条地区 (n=229)	0.0	0.0	0.0	1.7	3.5	69.9	24.9
鴨川地区 (n=277)	0.0	0.0	0.7	1.8	1.4	68.6	27.4
大山地区 (n=69)	0.0	0.0	0.0	8.7	15.9	56.5	18.8
吉尾地区 (n=86)	0.0	0.0	1.2	5.8	18.6	43.0	31.4
主基地区 (n=78)	1.3	0.0	0.0	5.1	11.5	67.9	14.1
江見地区 (n=101)	0.0	1.0	0.0	3.0	11.9	57.4	26.7
曾呂地区 (n=75)	0.0	1.3	0.0	5.3	14.7	62.7	16.0
太海地区 (n=75)	0.0	0.0	0.0	5.3	9.3	60.0	25.3
小湊地区 (n=89)	0.0	0.0	0.0	1.1	6.7	65.2	27.0
天津地区 (n=177)	0.0	0.0	0.0	4.5	4.0	66.1	25.4

問 40 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。 (単数回答)

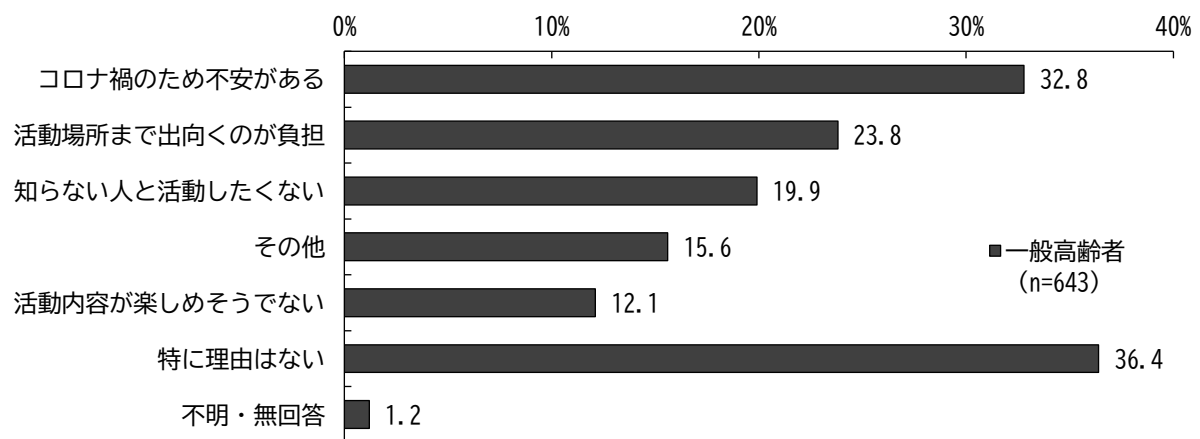
「ぜひ参加したい」が6.5%であり、「参加してもよい」と合計すると、41.6%が今後の参加に前向きな回答をしています。



【問 40 で「参加したくない」と答えた人のみ】

問 40-1 参加したくない理由は何ですか。 (複数回答)

「特に理由はない」が36.4%で最も多く、次いで「コロナ禍のため不安がある」が32.8%となっています。



◆年齢別にみた参加したくない理由

年齢区分によって、最も多かった回答は異なります。

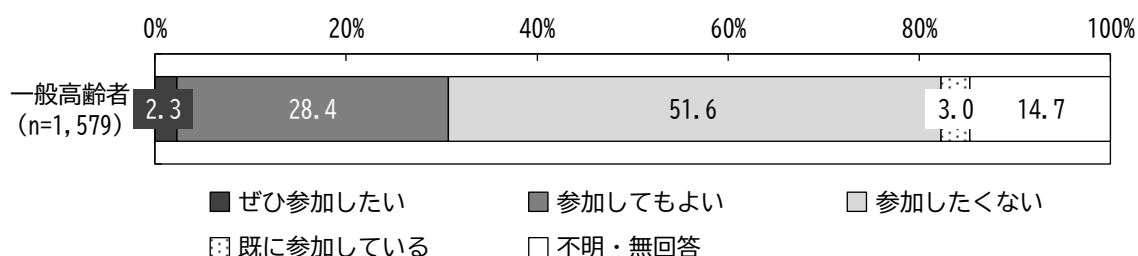
単位：%

年齢区分	活動場所まで出向くのが負担	知らない人と活動したくない	コロナ禍のため不安がある	活動内容が楽しめそうでない	その他	特に理由はない	不明・無回答
65～69歳 (n=125)	17.6	21.6	38.4	12.8	16.0	33.6	0.0
70～74歳 (n=194)	14.9	20.6	28.9	12.9	12.9	39.2	1.5
75～79歳 (n=128)	31.3	20.3	32.8	16.4	20.3	28.1	0.0
80～84歳 (n=88)	23.9	17.0	28.4	11.4	12.5	45.5	3.4
85～89歳 (n=51)	49.0	19.6	33.3	3.9	11.8	37.3	0.0
90歳以上 (n=26)	34.6	19.2	26.9	7.7	23.1	42.3	3.8

第2章 一般高齢者調査の結果

問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

「ぜひ参加したい」が2.3%であり、「参加してもよい」と合計すると、30.7%が今後の参加に前向きな回答をしています。



◆地区別にみた企画・運営としての参加希望

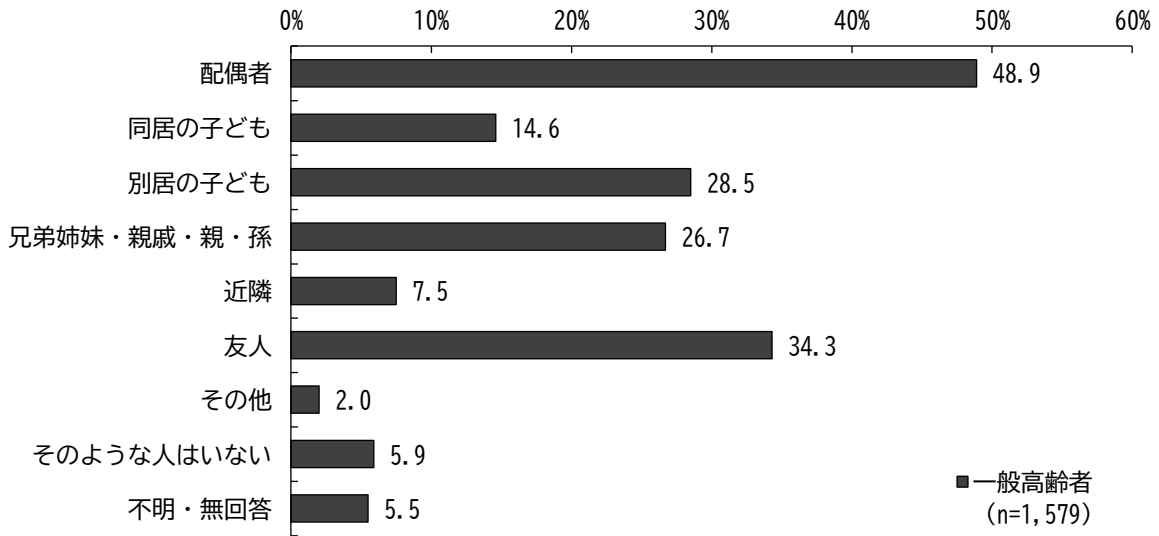
「参加したくない」については地区間の差が大きく、最大で20ポイント以上の差が生じています。

単位：%

	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答
田原地区 (n=116)	3.4	33.6	52.6	0.9	9.5
西条地区 (n=126)	3.2	26.2	52.4	4.0	14.3
東条地区 (n=229)	2.2	30.1	50.2	0.4	17.0
鴨川地区 (n=277)	1.1	24.2	62.5	1.4	10.8
大山地区 (n=69)	1.4	31.9	49.3	7.2	10.1
吉尾地区 (n=86)	3.5	30.2	46.5	4.7	15.1
主基地区 (n=78)	6.4	30.8	44.9	2.6	15.4
江見地区 (n=101)	2.0	33.7	46.5	2.0	15.8
曾呂地区 (n=75)	2.7	32.0	53.3	5.3	6.7
太海地区 (n=75)	0.0	29.3	41.3	2.7	26.7
小湊地区 (n=89)	1.1	22.5	56.2	6.7	13.5
天津地区 (n=177)	2.8	30.5	48.6	3.4	14.7

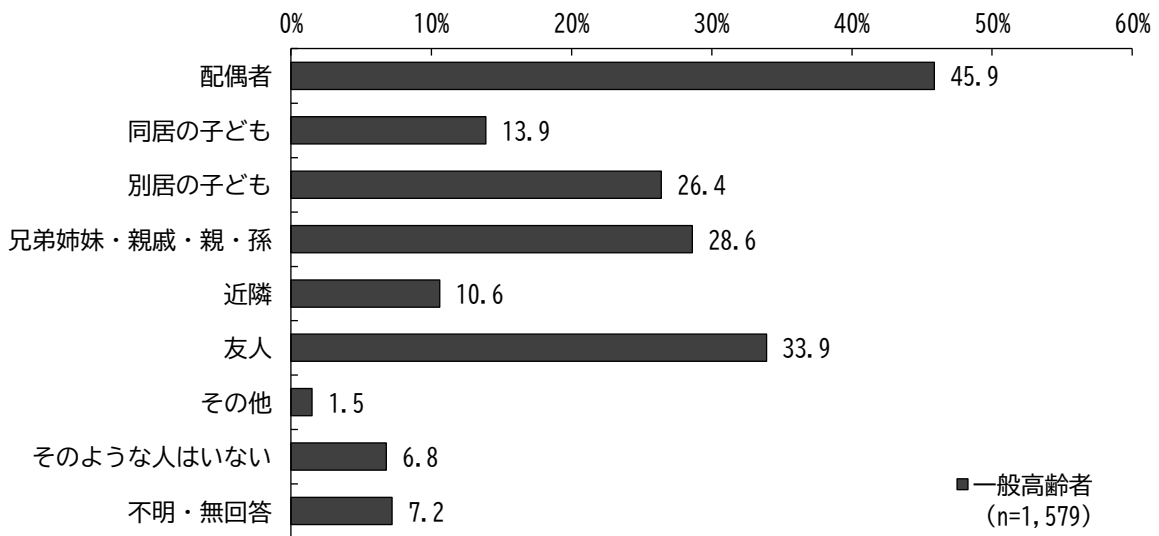
問42 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はだれですか。（複数回答）

「配偶者」が48.9%で最も多く、次いで「友人」が34.3%となっています。



問43 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はだれですか。（複数回答）

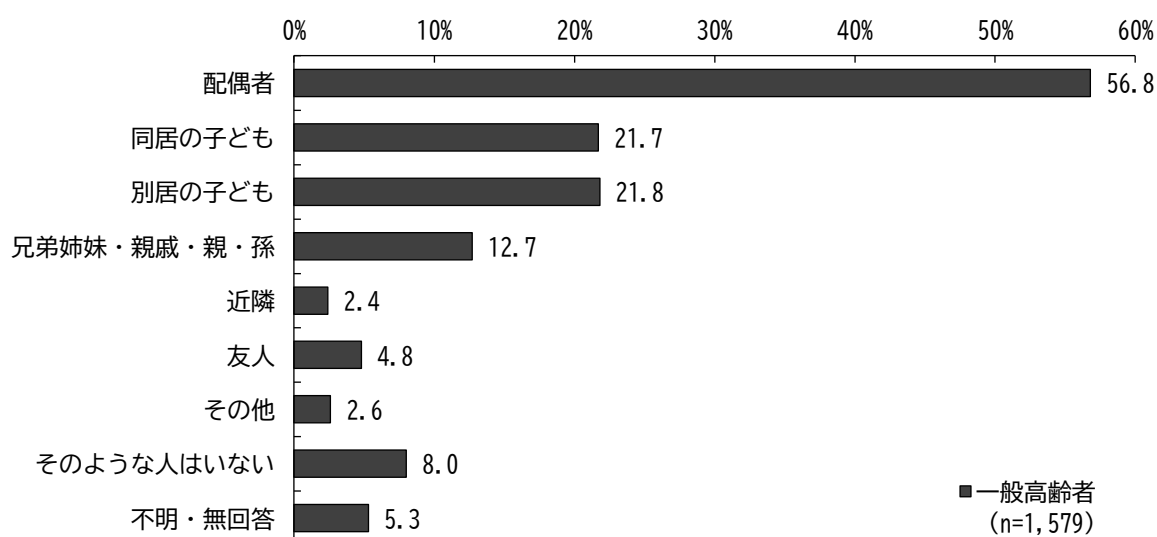
「配偶者」が45.9%で最も多く、次いで「友人」が33.9%となっています。



第2章 一般高齢者調査の結果

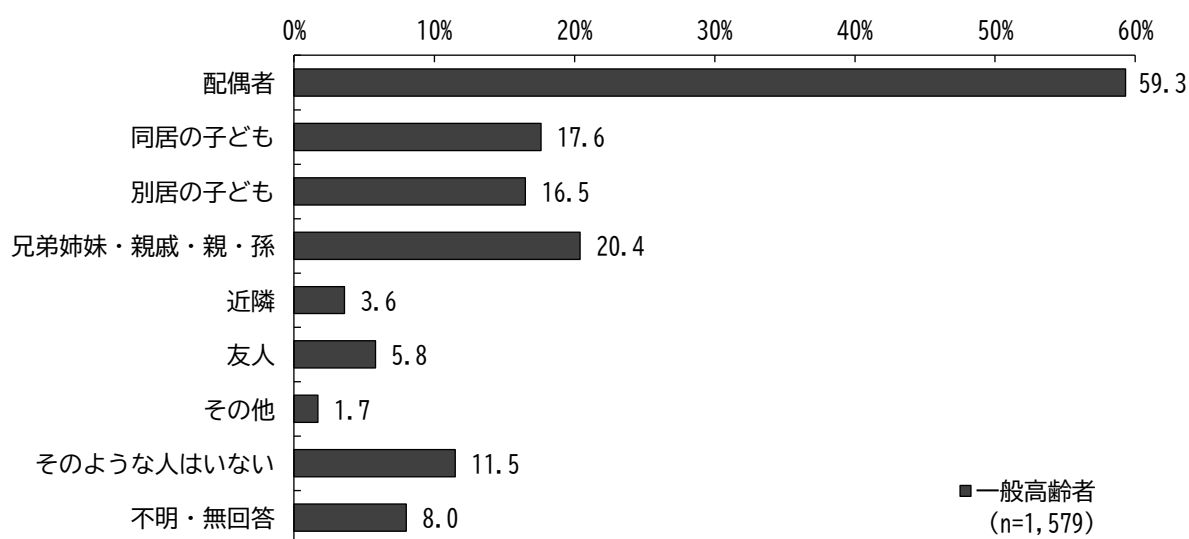
問 44 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか。
(複数回答)

「配偶者」が56.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が21.8%、「同居の子ども」が21.7%となっています。



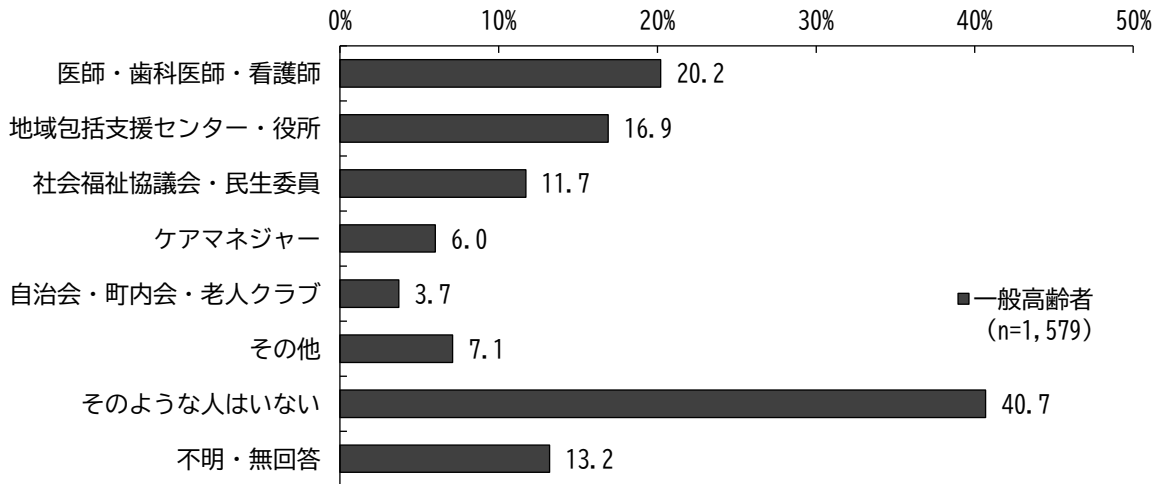
問 45 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか。
(複数回答)

「配偶者」が59.3%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.4%となっています。



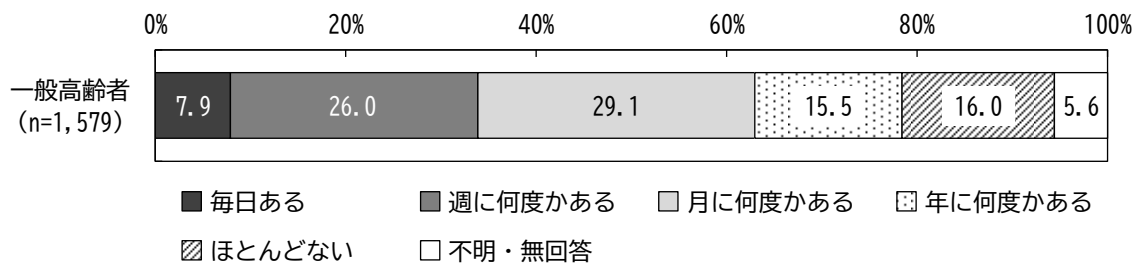
問46 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はだれ(どこ)ですか。
(複数回答)

「そのような人はいない」が40.7%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が20.2%となっています。



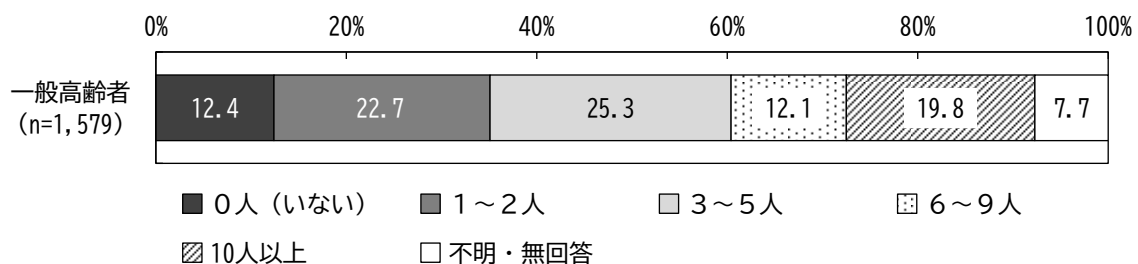
問47 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。
(単数回答)

「月に何度かある」が29.1%で最も多く、次いで「週に何度かある」が26.0%となっています。



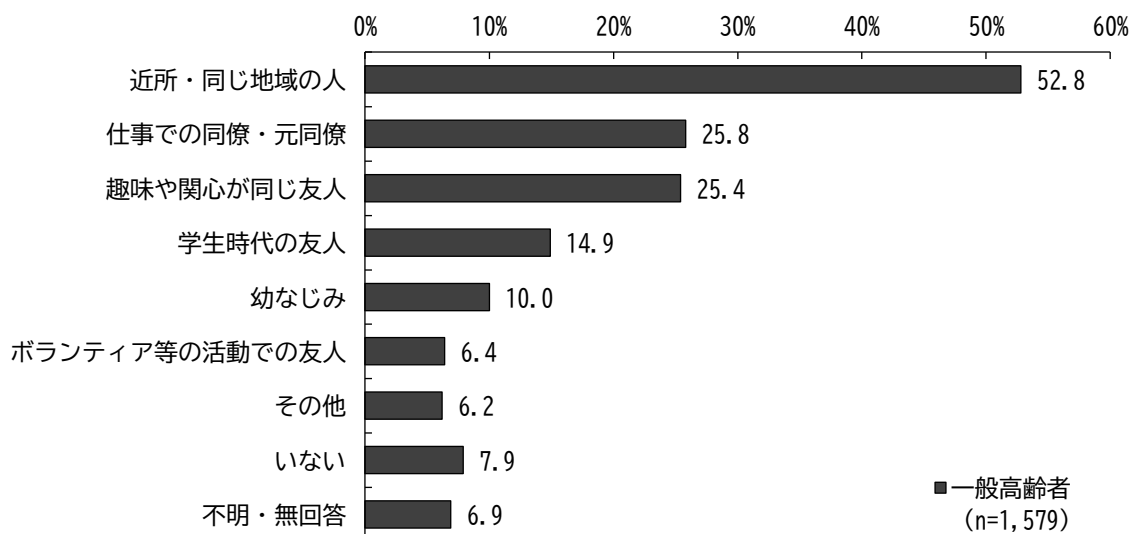
問48 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。
(単数回答)

「3～5人」が25.3%で最も多く、次いで「1～2人」が22.7%、「10人以上」が19.8%となっています。



問 49 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。 (複数回答)

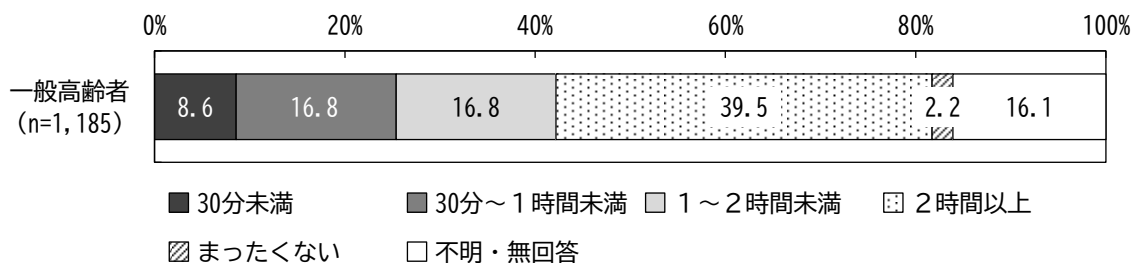
「近所・同じ地域の人」が52.8%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が25.8%、「趣味や関心が同じ友人」が25.4%となっています。



【家族等と同居している人のみ】

問 50 平日の家族等との団らんの時間がどれぐらいありますか。 (単数回答)

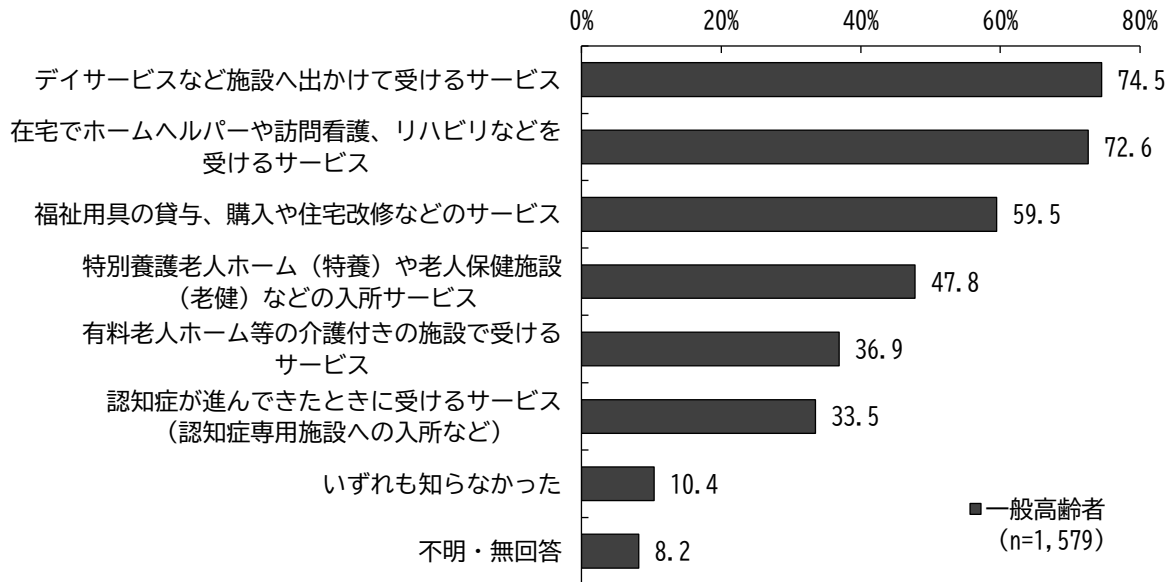
「2時間以上」が39.5%で最も多くなっています。



5 介護保険について

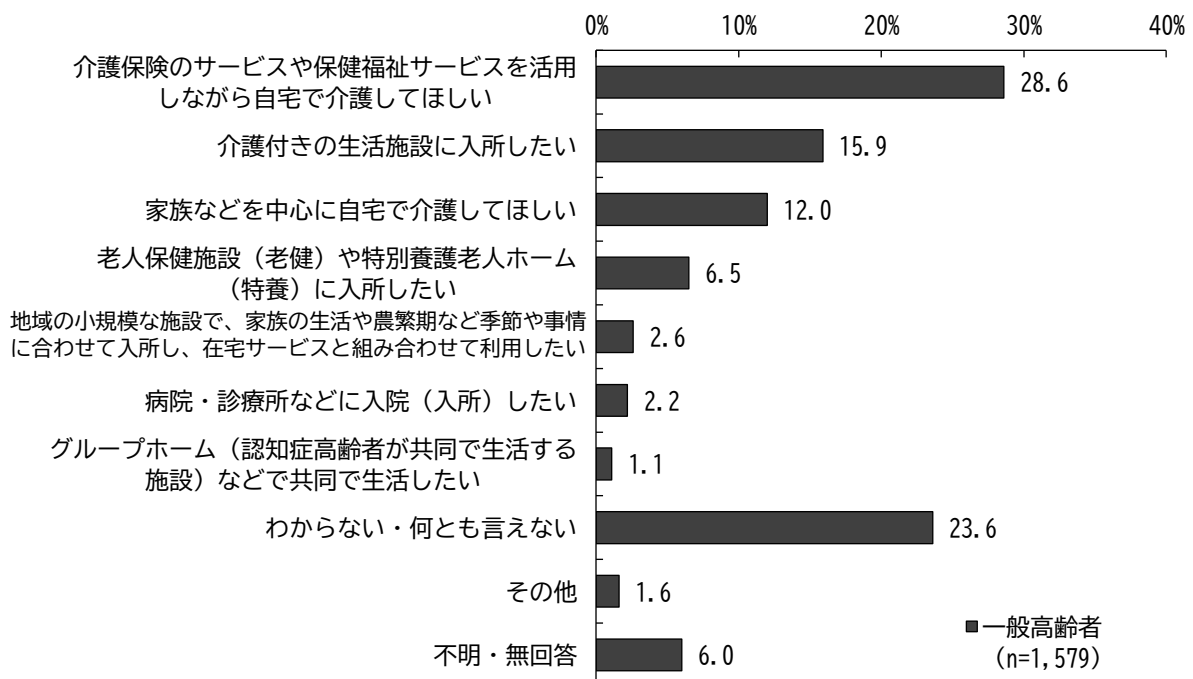
問 51 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていましたか。
(複数回答)

「デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス」が74.5%で最も多く、次いで「在宅でホームヘルパーや訪問看護、リハビリなどを受けるサービス」が72.6%となっています。



問 52 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。
(単数回答)

「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が28.6%で最も多く、次いで「わからない・何とも言えない」が23.6%となっています。



◆年齢別にみた自身の介護が必要となった場合の意向

より高い年齢区分で「家族などを中心に自宅で介護してほしい」の割合が高く、「わからない・何とも言えない」が低くなっています。

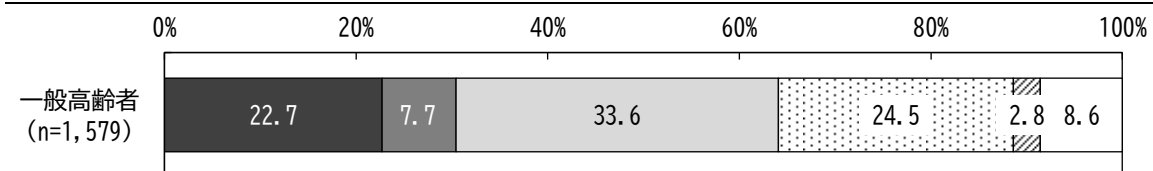
単位：％

	家族などを中心に自宅で介護してほしい	介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい	介護付きの生活施設に入所したい	グループホーム（認知症高齢者が共同で生活する施設）などで共同で生活したい	地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせて利用したい
65～69歳 (n=303)	9.2	23.8	20.5	0.0	4.6
70～74歳 (n=447)	10.1	30.6	12.8	2.2	2.7
75～79歳 (n=341)	11.4	28.7	15.8	1.8	1.5
80～84歳 (n=234)	12.8	29.9	17.9	0.4	2.6
85～89歳 (n=131)	15.3	31.3	17.6	0.0	3.1
90歳以上 (n=55)	34.5	29.1	9.1	0.0	0.0

	老人保健施設（老健）や特別養護老人ホーム（特養）に入所したい	病院・診療所などに入院（入所）したい	わからない・何とも言えない	その他	不明・無回答
65～69歳 (n=303)	7.6	1.3	27.7	1.7	3.6
70～74歳 (n=447)	6.5	1.6	27.1	1.3	5.1
75～79歳 (n=341)	7.0	2.6	23.5	2.1	5.6
80～84歳 (n=234)	6.0	2.6	17.9	1.7	8.1
85～89歳 (n=131)	3.8	3.1	17.6	1.5	6.9
90歳以上 (n=55)	1.8	5.5	5.5	3.6	10.9

問 53 今後、令和6年度に介護保険料が改定される予定となっておりますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。（単数回答）

「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が33.6%で最も多く、次いで「わからない」が24.5%となっています。

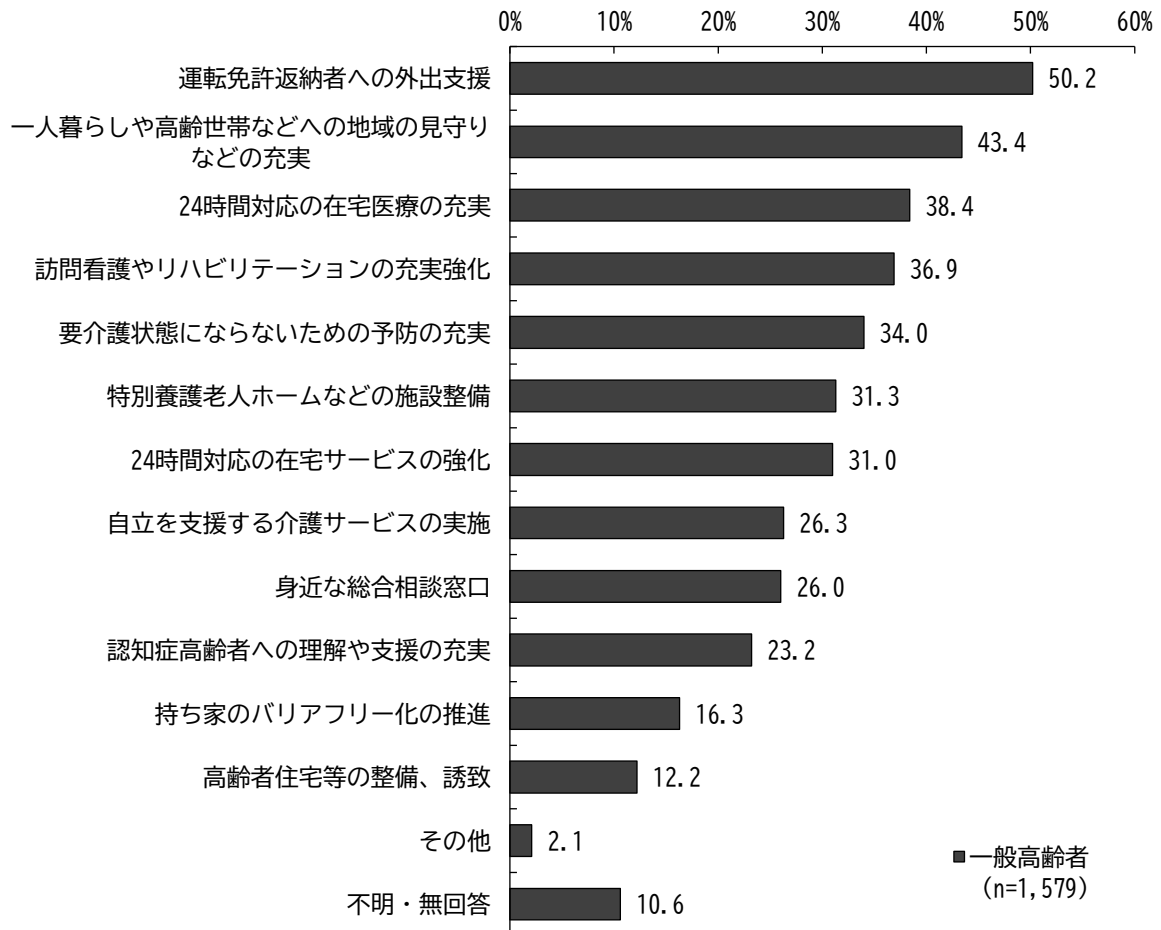


- 保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい
- 保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ
- 保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ
- ☒ わからない
- ☒ その他
- 不明・無回答

6 今後の高齢者施策について

問 54 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。 (複数回答)

「運転免許返納者への外出支援」が50.2%で最も多く、次いで「一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守りなどの充実」が43.4%となっています。

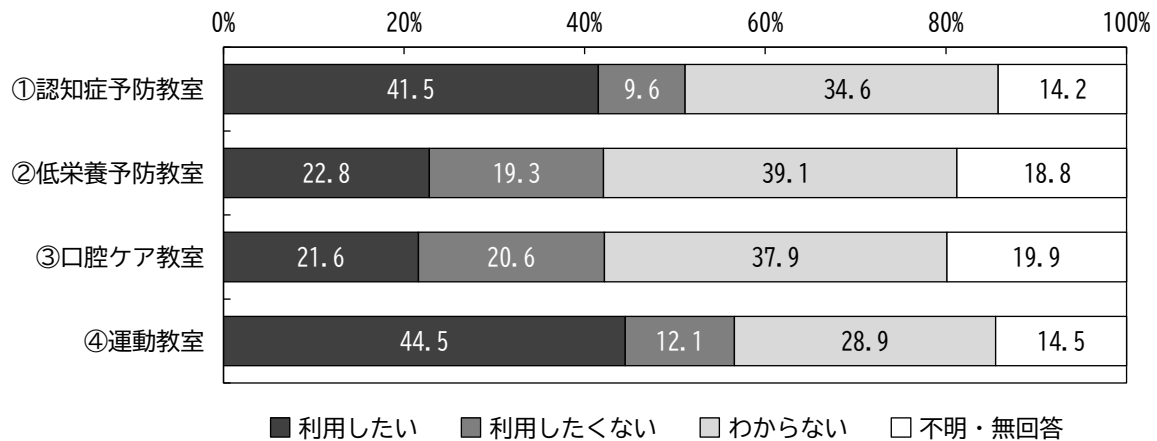


第2章 一般高齢者調査の結果

問 55 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用したいと思いますか。 (単数回答)

認知症予防教室と運動教室は「利用したい」が4割を超えています。

一般高齢者 (n=1,579)



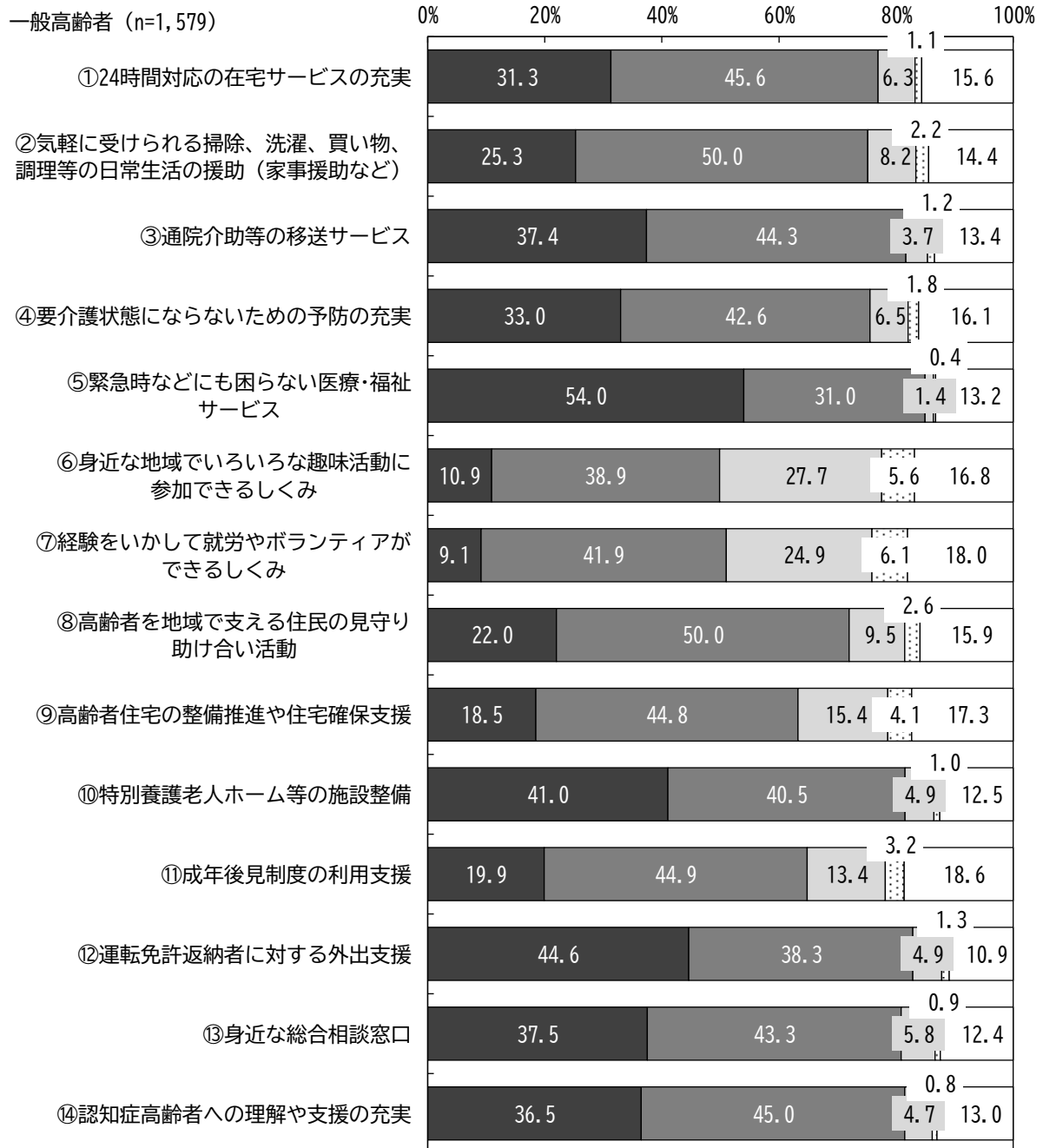
※上記①から④のサービスの内容について、調査票上で下記の説明を示しました。

- ①認知症予防教室：認知症を予防するために行う脳トレーニング
- ②低栄養予防教室：高齢者料理教室など
- ③口腔ケア教室：歯ブラシ、義歯の手入れの指導や食べる力のトレーニング
- ④運動教室：転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室

問56 以下の高齢者施策は、どの程度重要と考えますか。(単数回答)

「とても重要」の割合は「緊急時などにも困らない医療・福祉サービス」で54.0%と最も高く、次いで「運転免許返納者に対する外出支援」で44.6%となっています。

「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた割合は、「身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ」と「経験をいかして就労やボランティアができるしくみ」で高く、ともに3割を超えています。



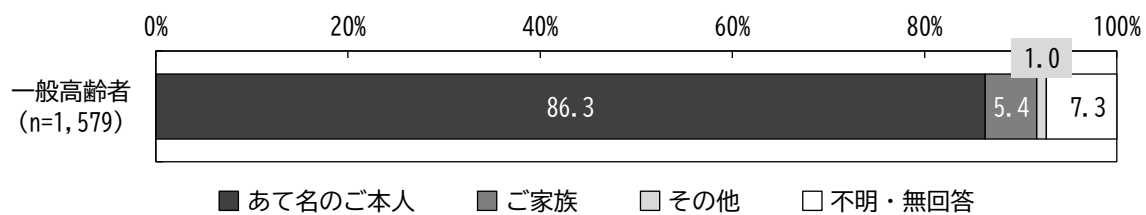
■ とても重要 ■ ある程度重要 □ あまり重要でない □ 重要でない □ 不明・無回答

第2章 一般高齢者調査の結果

おわりに、この調査の回答者を教えてください。

(単数回答)

「あて名のご本人」が86.3%で最も多くなっています。

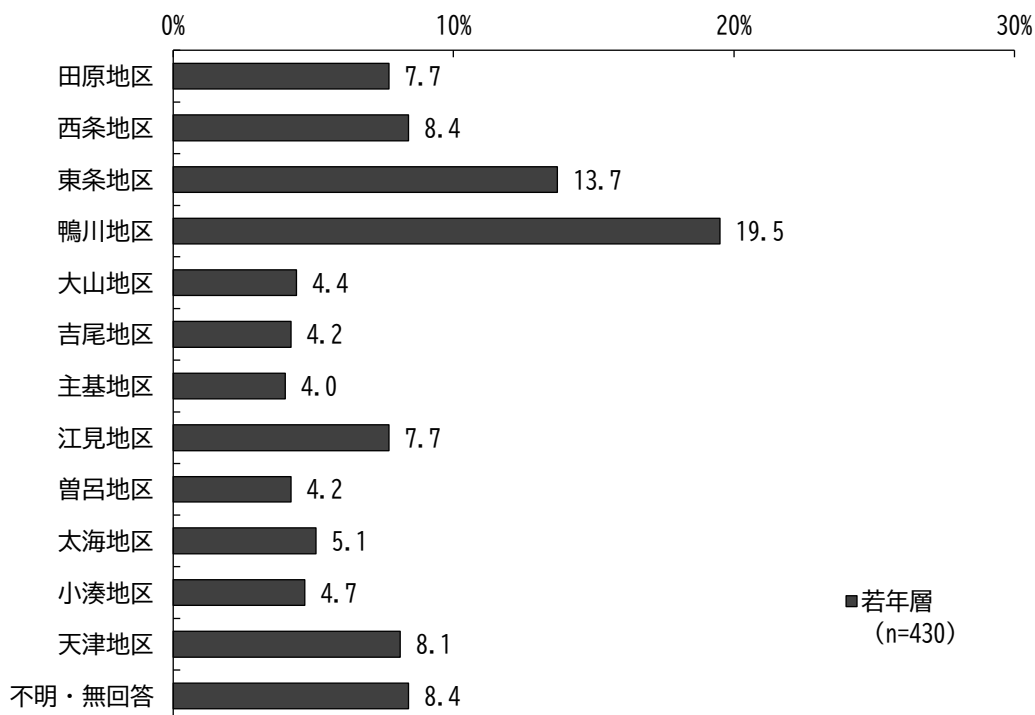


第3章 若年層調査の結果

1 年齢や家族構成等について

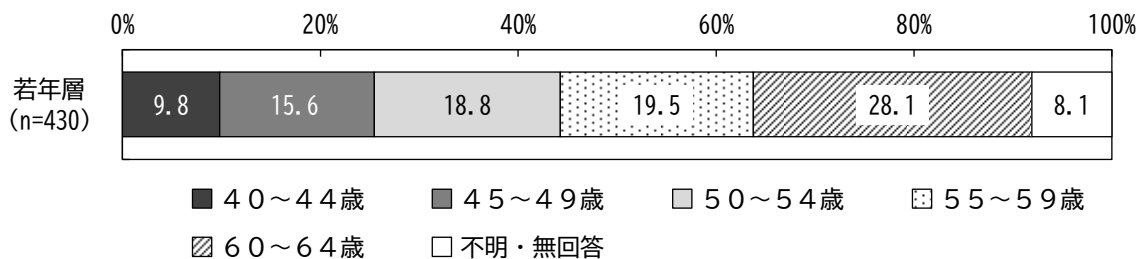
問1 お住まいの地区はどこですか。 (単数回答)

「鴨川地区」が19.5%で最も多く、次いで「東条地区」が13.7%となっています。



問2 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。 (単数回答)

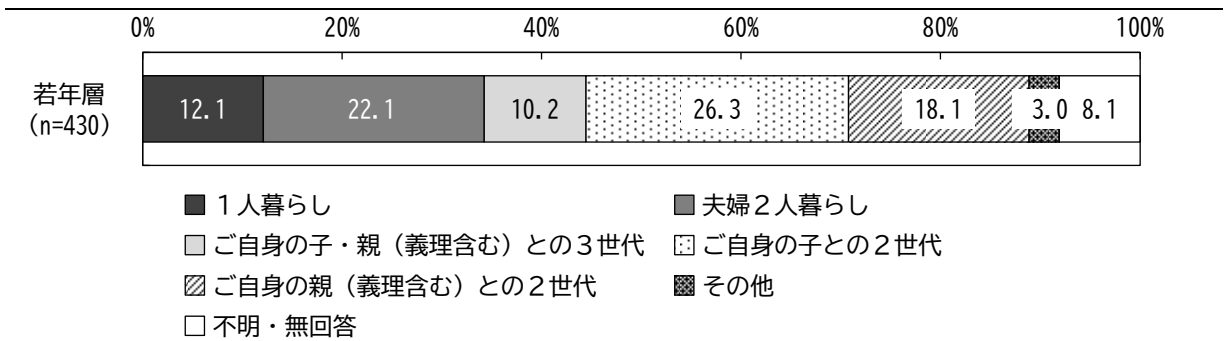
「60～64歳」が28.1%で最も多く、次いで「55～59歳」が19.5%となっています。



問3 家族構成をお答えください。

(単数回答)

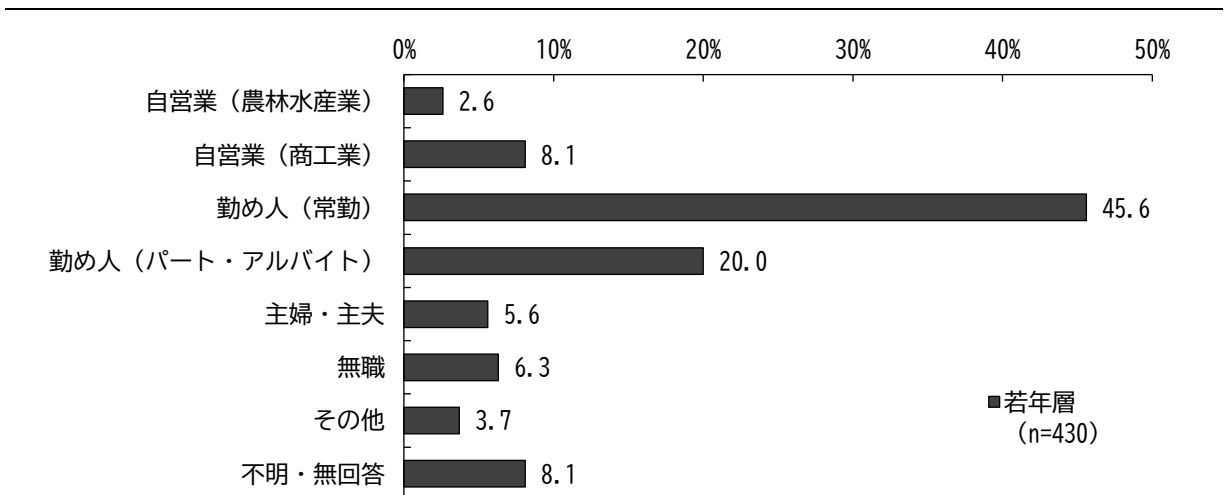
「ご自身の子との2世代」が26.3%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし」が22.1%となっています。



問4 あなたの主な就業形態をお答えください。

(単数回答)

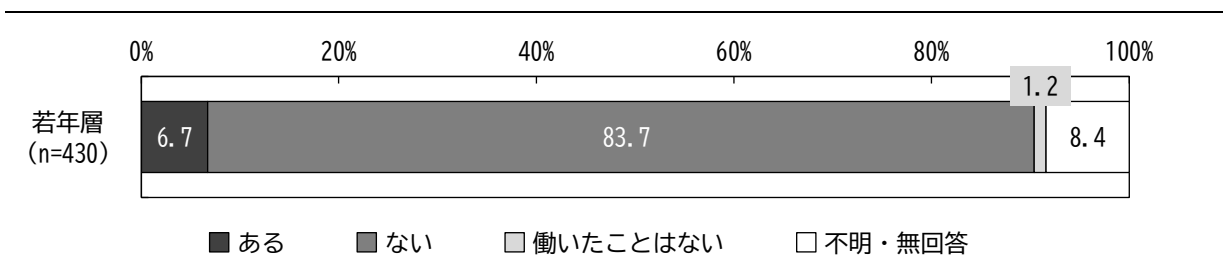
「勤め人(常勤)」が45.6%で最も多く、次いで「勤め人(パート・アルバイト)」が20.0%となっています。



問5 ご家族やご親族の介護を主な理由として、仕事を辞めた経験はありますか。

(単数回答)

「ある」が6.7%となっています。

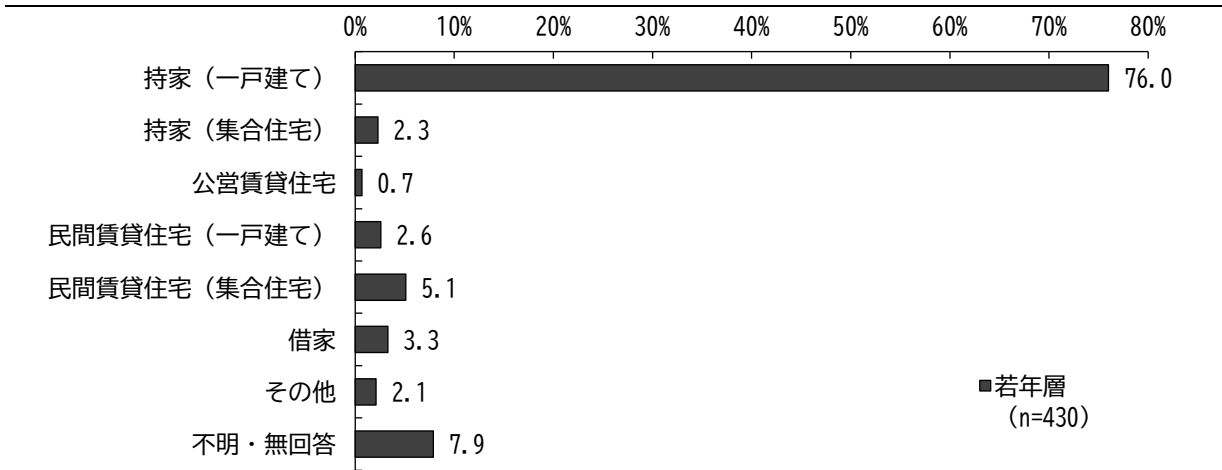


2 住まいについて

問6 住まいの状況についておたずねします。 (単数回答)

①お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

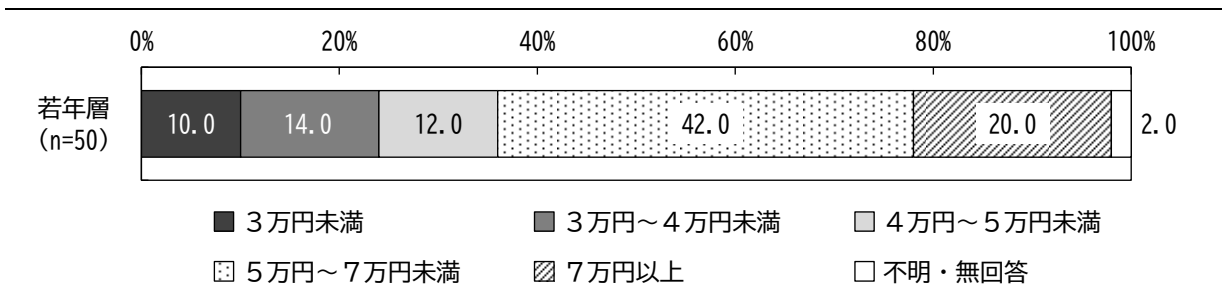
「持家（一戸建て）」が76.0%で最も多くなっています。



【①で「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅（一戸建て）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」「借家」と回答した人のみ】

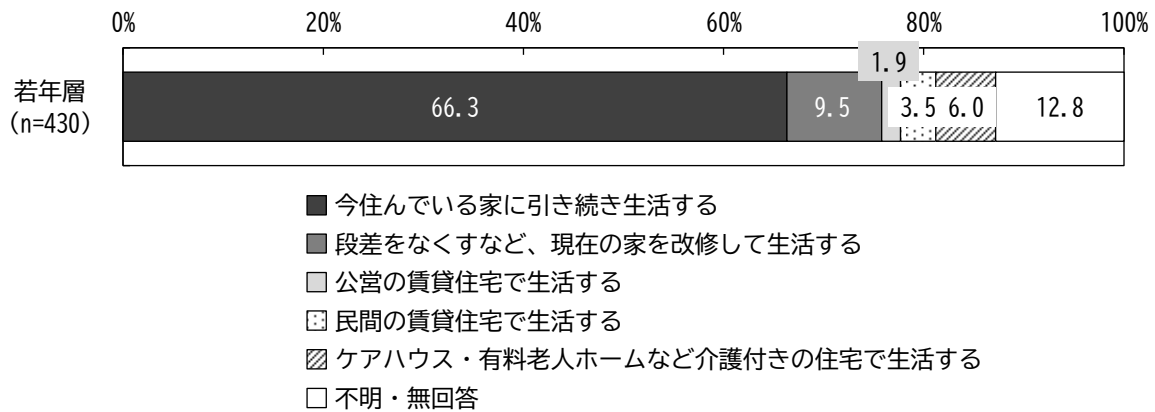
②家賃はいくらですか。

「5万円～7万円未満」が42.0%で最も多く、次いで「7万円以上」が20.0%となっています。



③老後の生活を送る上で、住まいをどのようにしたいと思いますか。

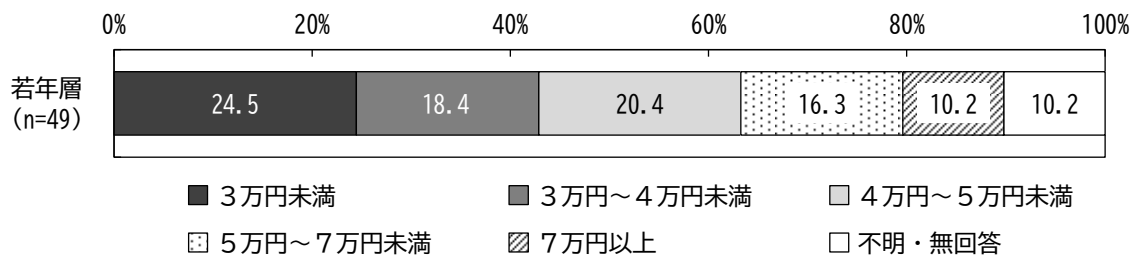
「今住んでいる家に引き続き生活する」が66.3%で最も多くなっています。



【③で「公営の賃貸住宅で生活する」「民間の賃貸住宅で生活する」「ケアハウス・有料老人ホームなど介護付きの住宅で生活する」と回答した人のみ】

④家賃はいくら支払えると思いますか。

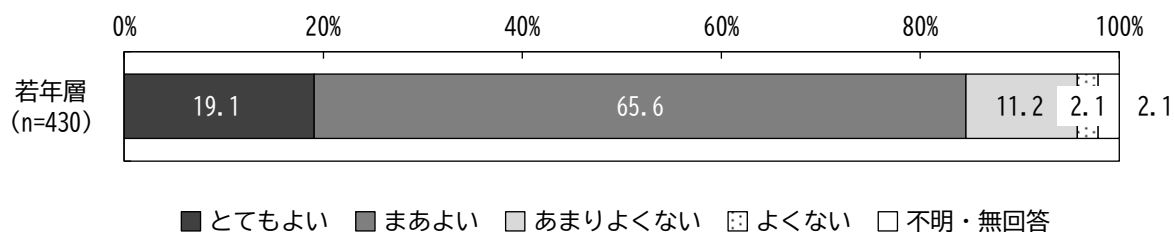
「3万円未満」が24.5%で最も多くなっています。



3 健康の状況や意識等について

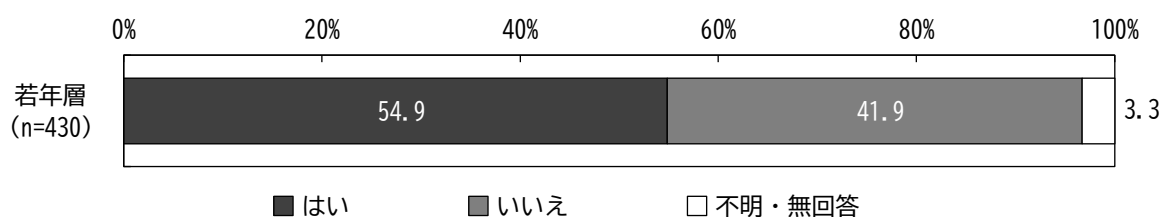
問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。 (単数回答)

「まあよい」が65.6%で最も多く、次いで「とてもよい」が19.1%となっています。



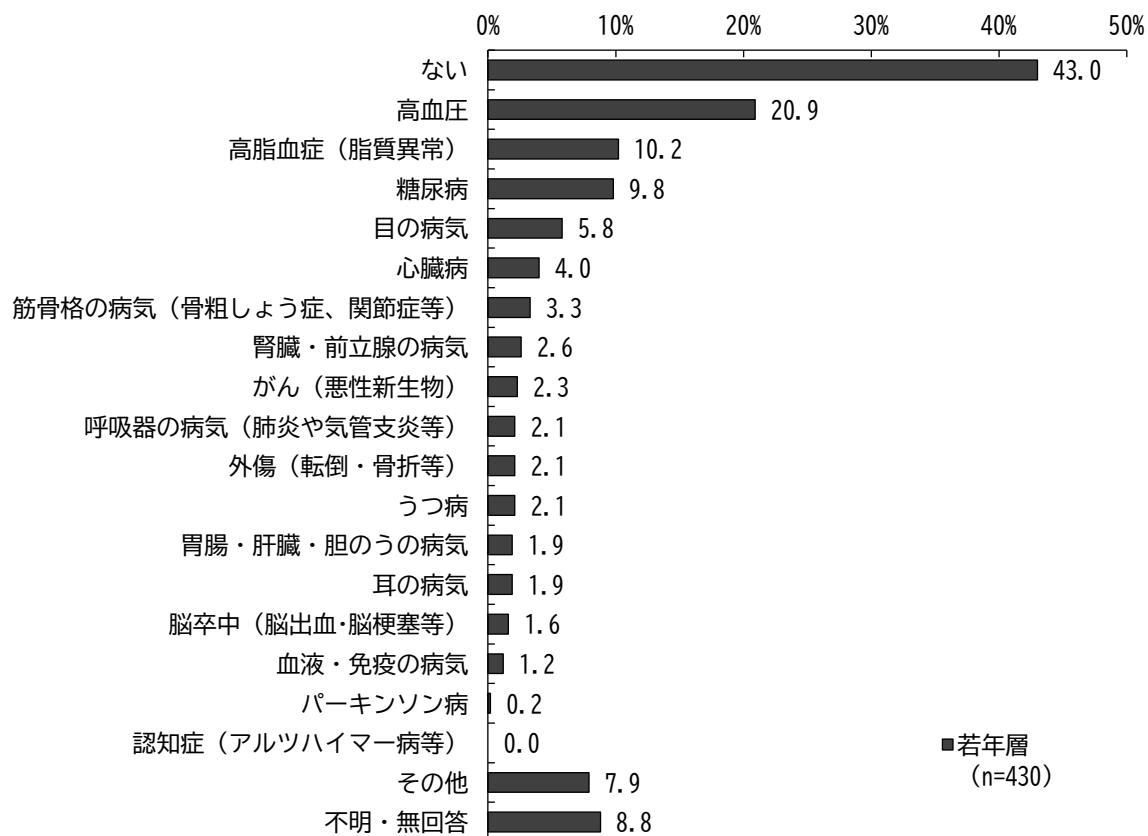
問8 かかりつけ医がいますか (歯科医は除く)。 (単数回答)

かかりつけ医がいる人が54.9%となっています。



問9 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。 (複数回答)

「ない」が43.0%で最も多く、次いで「高血圧」が20.9%となっています。



◆年齢別にみた現在治療中、または後遺症のある病気

より高い年齢区分で「ない」の割合が低く、「高血圧」「糖尿病」等の割合が高い傾向となっています。

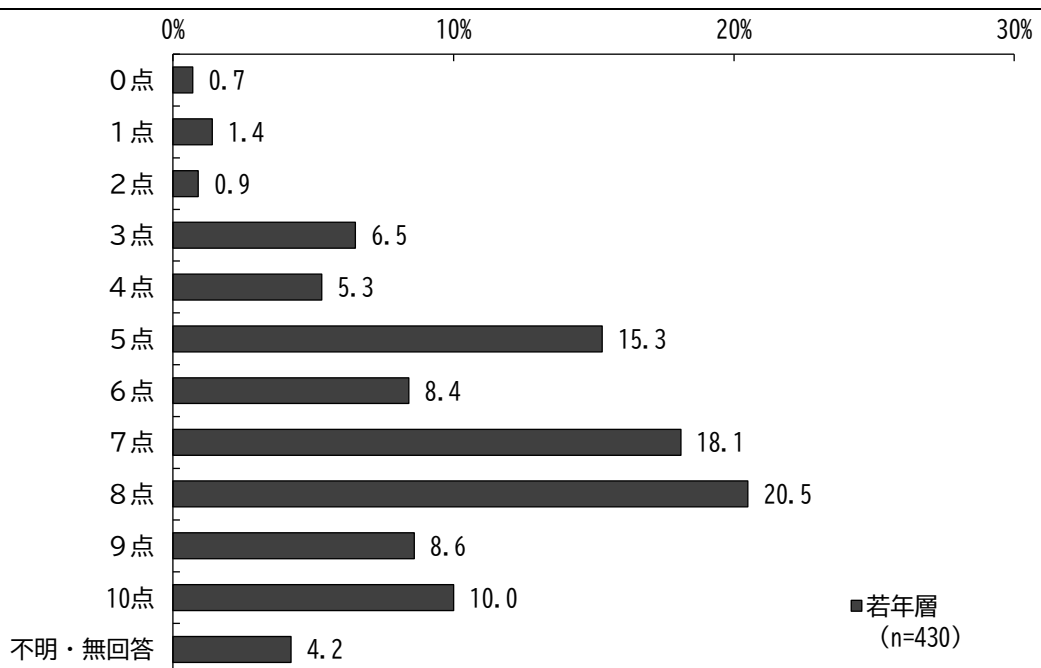
単位：%

	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の 病気(肺炎や気管 支炎等)	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気(骨 粗しょう 症、関節 症等)
40～44歳 (n=42)	47.6	7.1	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	2.4
45～49歳 (n=67)	61.2	9.0	0.0	0.0	1.5	7.5	3.0	3.0	3.0	1.5
50～54歳 (n=81)	45.7	19.8	1.2	4.9	3.7	12.3	1.2	2.5	0.0	1.2
55～59歳 (n=84)	42.9	26.2	1.2	2.4	9.5	1.2	1.2	0.0	2.4	1.2
60～64歳 (n=121)	29.8	30.6	4.1	6.6	19.8	18.2	2.5	2.5	4.1	8.3

	外傷(転 倒・骨折 等)	がん(悪 性新生 物)	血液・免 疫の病 気	うつ病	認知症 (アルツ ハイマ ー病等)	パーキン ソン病	目の病 気	耳の病 気	その他	不明・無 回答
65～69歳 (n=303)	4.8	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	16.7	14.3
70～74歳 (n=447)	0.0	4.5	4.5	3.0	0.0	0.0	3.0	1.5	9.0	6.0
75～79歳 (n=341)	1.2	1.2	0.0	4.9	0.0	0.0	2.5	2.5	6.2	9.9
80～84歳 (n=234)	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	4.8	0.0	6.0	11.9
85～89歳 (n=131)	3.3	4.1	0.8	0.8	0.0	0.0	10.7	2.5	8.3	4.1

問10 あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とする) (単数回答)

「8点」が20.5%で最も多く、次いで「7点」が18.1%、「5点」が15.3%となっています。

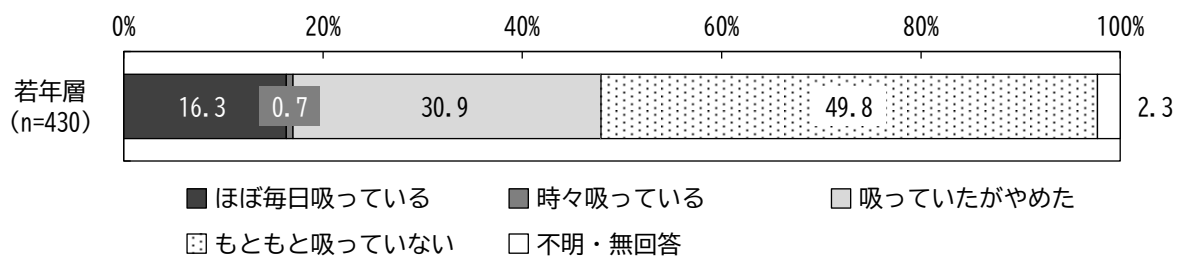


問11 あなたの生活習慣についておたずねします。

(単数回答)

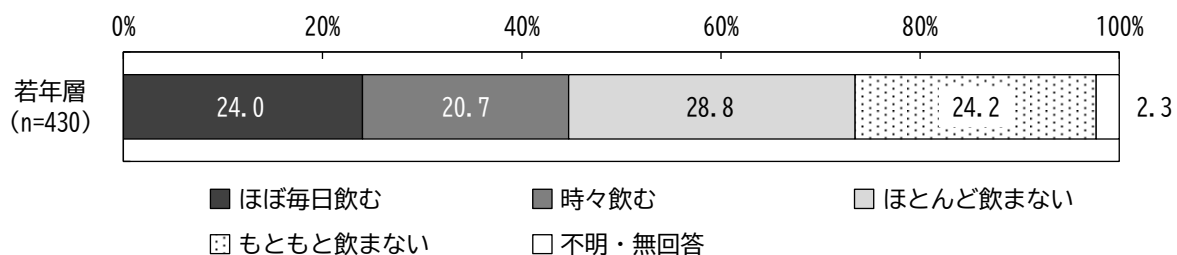
①たばこ

「ほぼ毎日吸っている」が16.3%であり、「時々吸っている」と合計すると、17.0%が喫煙していると回答しています。



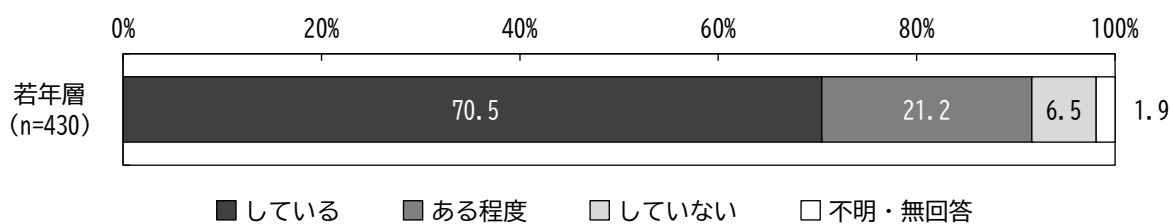
②お酒・アルコール

「ほぼ毎日飲む」が24.0%であり、「時々飲む」と合計すると、44.7%が飲酒の習慣があると回答しています。



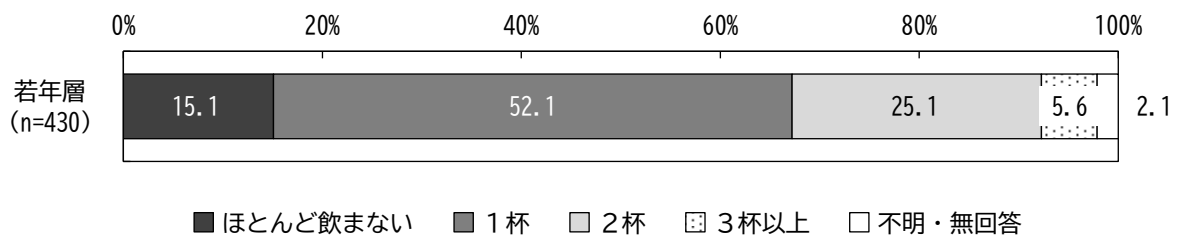
③三度の食事

「していない」が6.5%となっています。



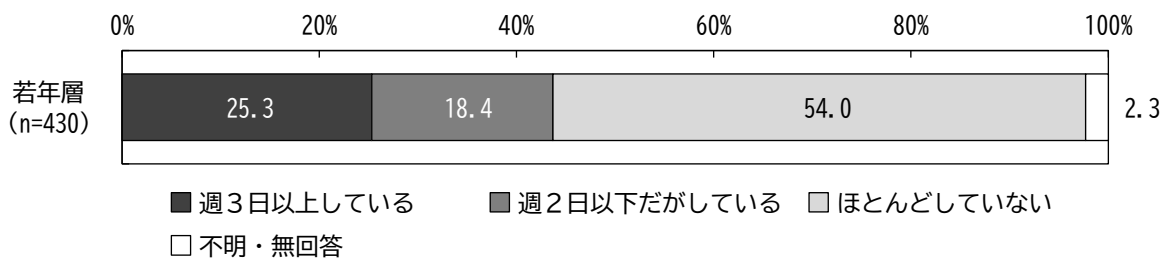
④一日の汁物

「1杯」が52.1%で最も多く、次いで「2杯」が25.1%となっています。



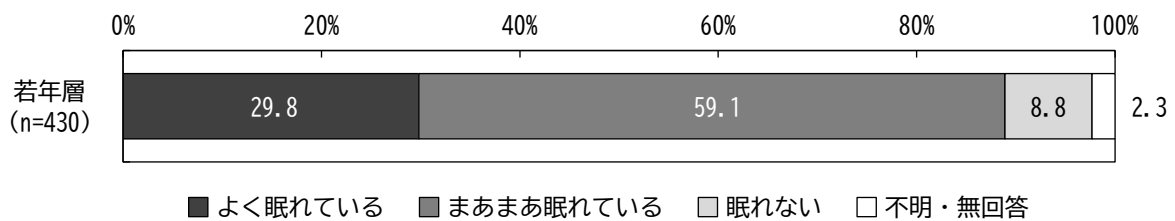
⑤定期的な運動（散歩など軽いものを含む）

「ほとんどしていない」が54.0%で最も多くなっています。



⑥睡眠

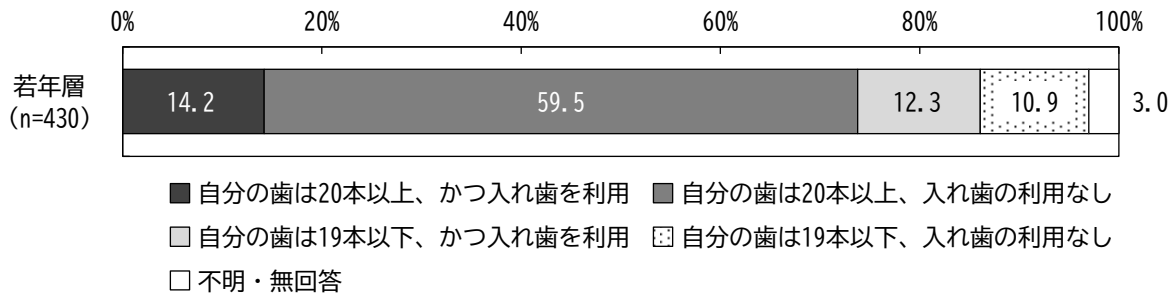
「眠れない」が8.8%となっています。



第3章 若年層調査の結果

問12 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。
（単数回答）

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が59.5%で最も多くなっています。



◆年齢別にみた歯の数と入れ歯の利用状況

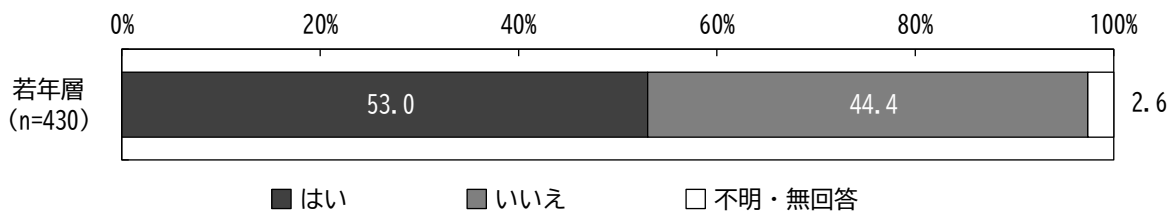
より高い年齢区分では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が低く、60～64歳では5割を下回っています。

単位：%

年齢区分	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	不明・無回答
40～44歳 (n=42)	11.9	71.4	4.8	9.5	2.4
45～49歳 (n=67)	10.4	79.1	1.5	9.0	0.0
50～54歳 (n=81)	7.4	69.1	7.4	9.9	6.2
55～59歳 (n=84)	16.7	53.6	9.5	15.5	4.8
60～64歳 (n=121)	19.0	47.1	24.8	8.3	0.8

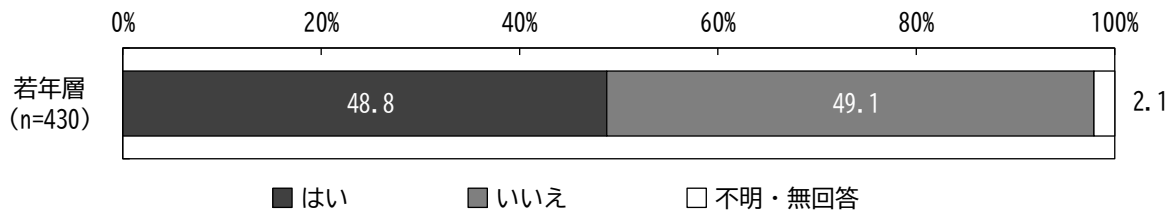
問13 歯間清掃用具（デンタルフロス、糸楊枝、歯間ブラシ）を使っていますか。
（単数回答）

歯間清掃用具を使っている人が53.0%となっています。



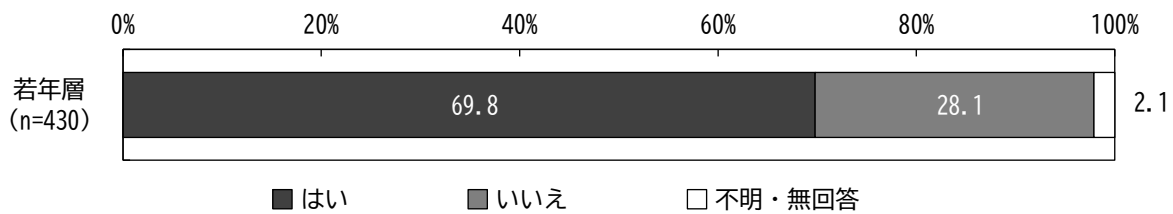
問14 定期的に歯科検診を受けていますか（1年に1回以上程度）。（単数回答）

1年に1回以上程度、歯科検診を受けている人が48.8%となっています。



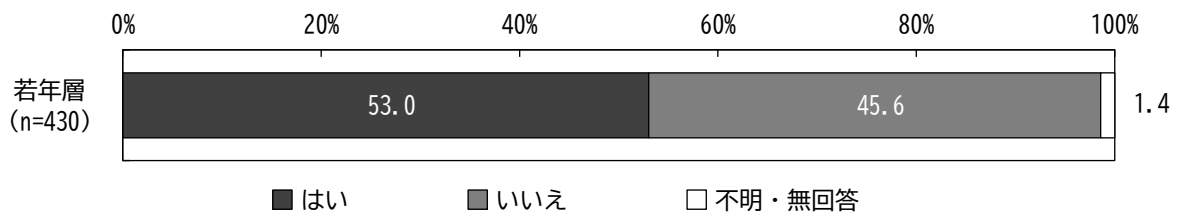
問15 かかりつけの歯科医はいますか。（単数回答）

かかりつけの歯科医がいる人が69.8%となっています。



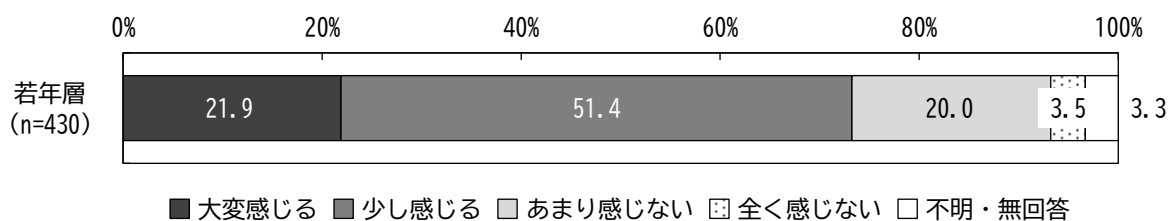
問16 1年以内に歯科医院等で歯石除去や歯の清掃を行いましたか。（単数回答）

1年以内に歯科医院等で歯石除去や歯の清掃を行った人が53.0%となっています。



問17 普段の生活でストレスを感じますか。（単数回答）

「少し感じる」が51.4%で最も多く、次いで「大変感じる」が21.9%となっています。

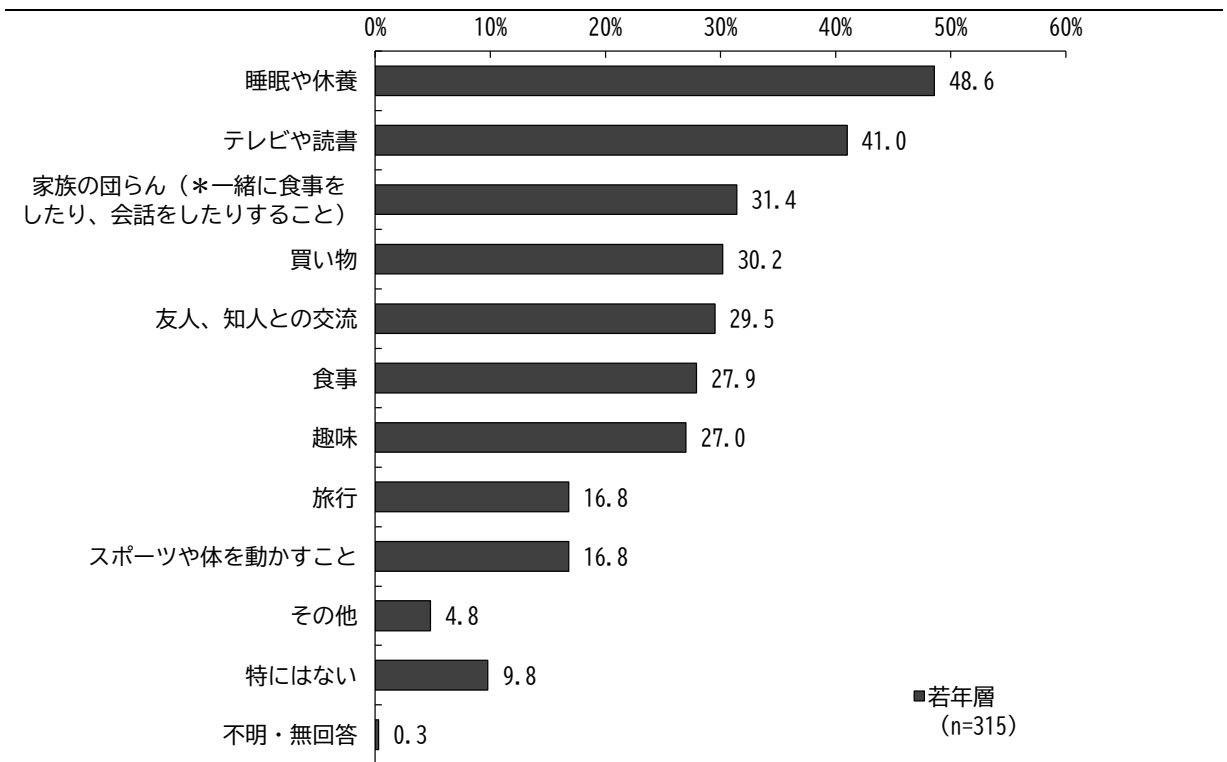


第3章 若年層調査の結果

【問17で「大変感じる」「少し感じる」と答えた人のみ】

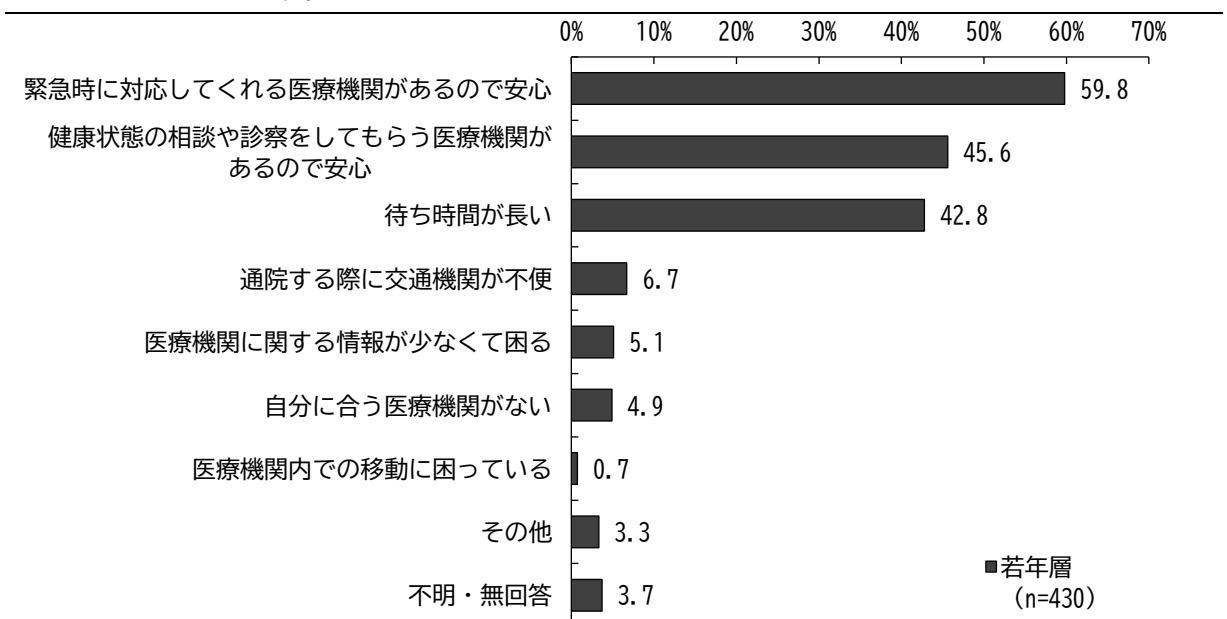
問17-1 ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。 (複数回答)

「睡眠や休養」が48.6%で最も多く、次いで「テレビや読書」が41.0%となっています。



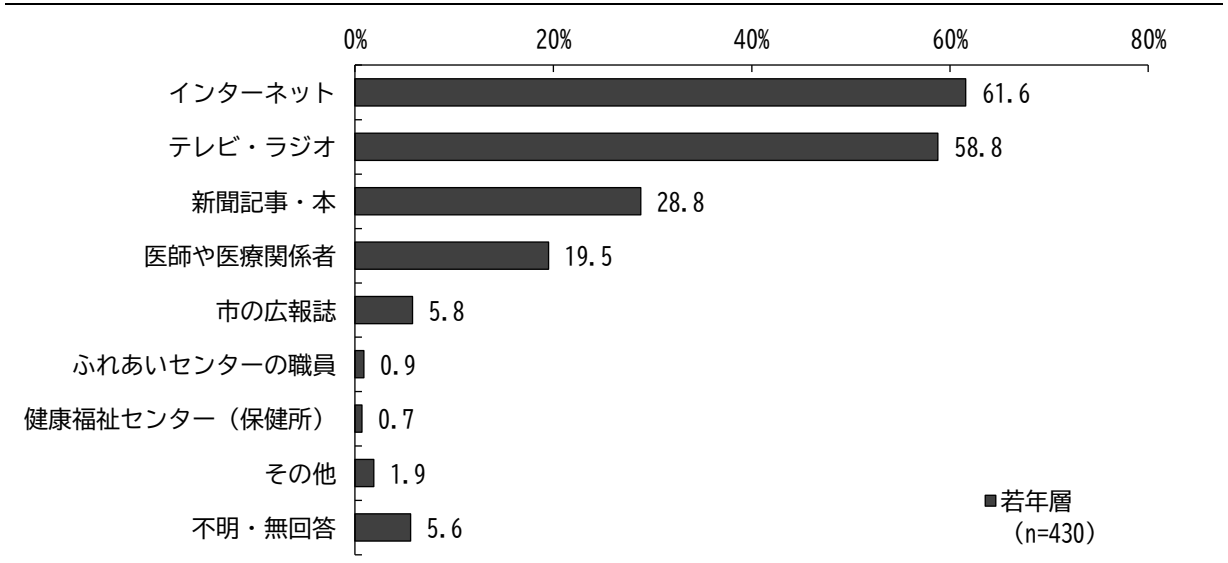
問18 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。 (複数回答)

「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が59.8%で最も多く、次いで「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が45.6%、「待ち時間が長い」が42.8%となっています。



問19 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。(複数回答)

「インターネット」が61.6%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が58.8%となっています。



◆年齢別にみた健康に関する情報源

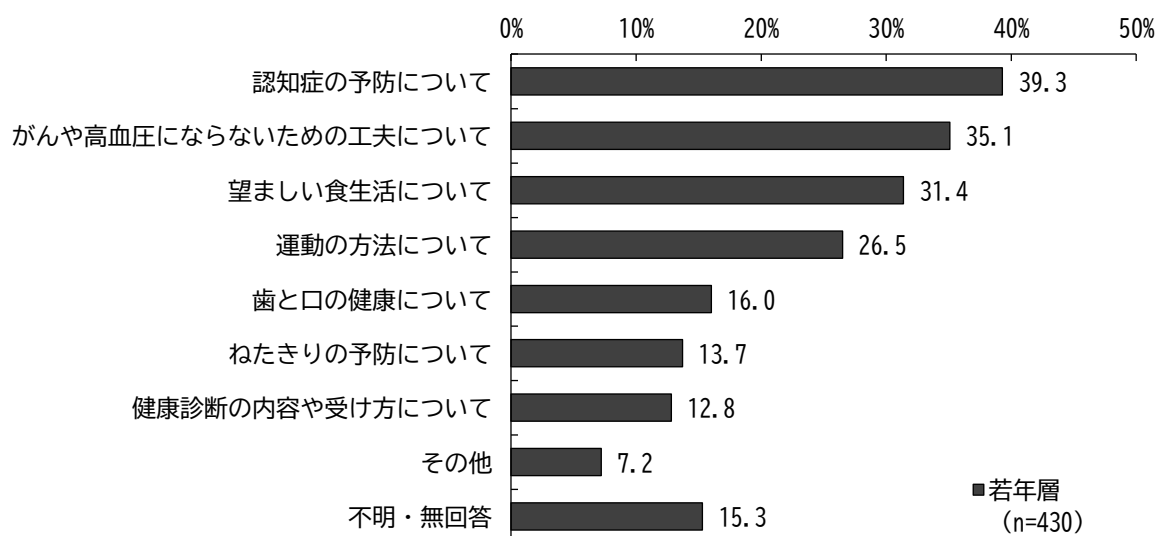
より高い年齢区分で「新聞記事・本」の割合が高くなっていますが、いずれの年齢区分でも「テレビ・ラジオ」「インターネット」の方が上回っています。

単位：%

年齢区分	テレビ・ラジオ	新聞記事・本	医師や医療関係者	市の広報誌	ふれあいセンターの職員	健康福祉センター (保健所)	インターネット	その他	不明・無回答
40～44歳 (n=42)	52.4	16.7	11.9	9.5	0.0	0.0	66.7	2.4	9.5
45～49歳 (n=67)	49.3	20.9	17.9	4.5	0.0	1.5	79.1	0.0	4.5
50～54歳 (n=81)	64.2	23.5	18.5	3.7	0.0	0.0	63.0	2.5	3.7
55～59歳 (n=84)	53.6	33.3	15.5	2.4	3.6	0.0	58.3	0.0	7.1
60～64歳 (n=121)	66.9	40.5	28.9	8.3	0.8	1.7	53.7	1.7	2.5

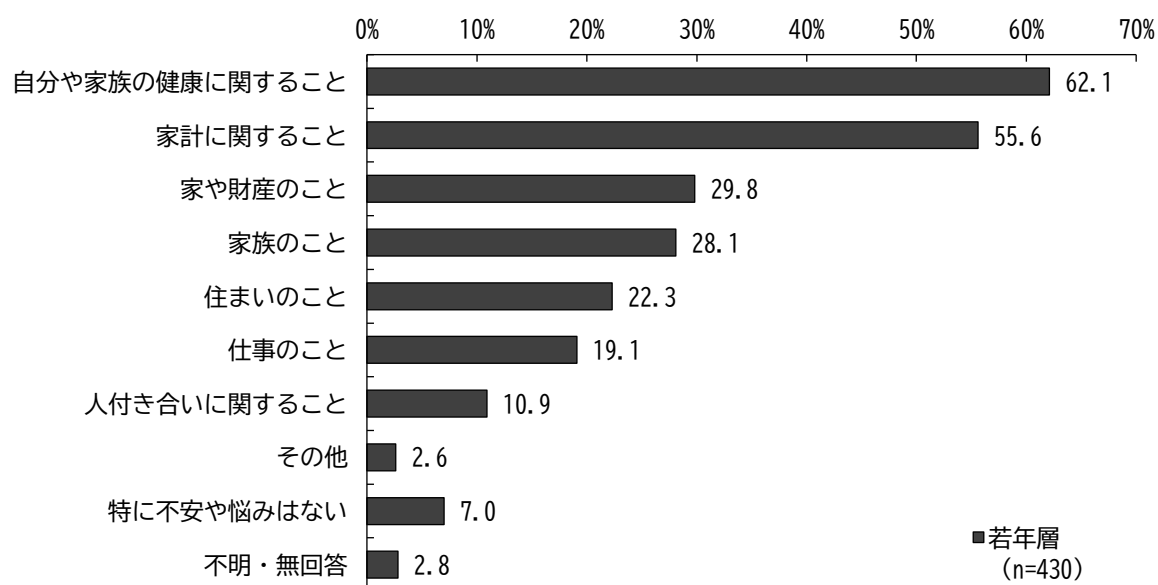
問20 健康について主に知りたいことは何ですか。 (複数回答)

「認知症の予防について」が39.3%で最も多く、次いで「がんや高血圧にならないための工夫について」が35.1%、「望ましい食生活について」が31.4%となっています。



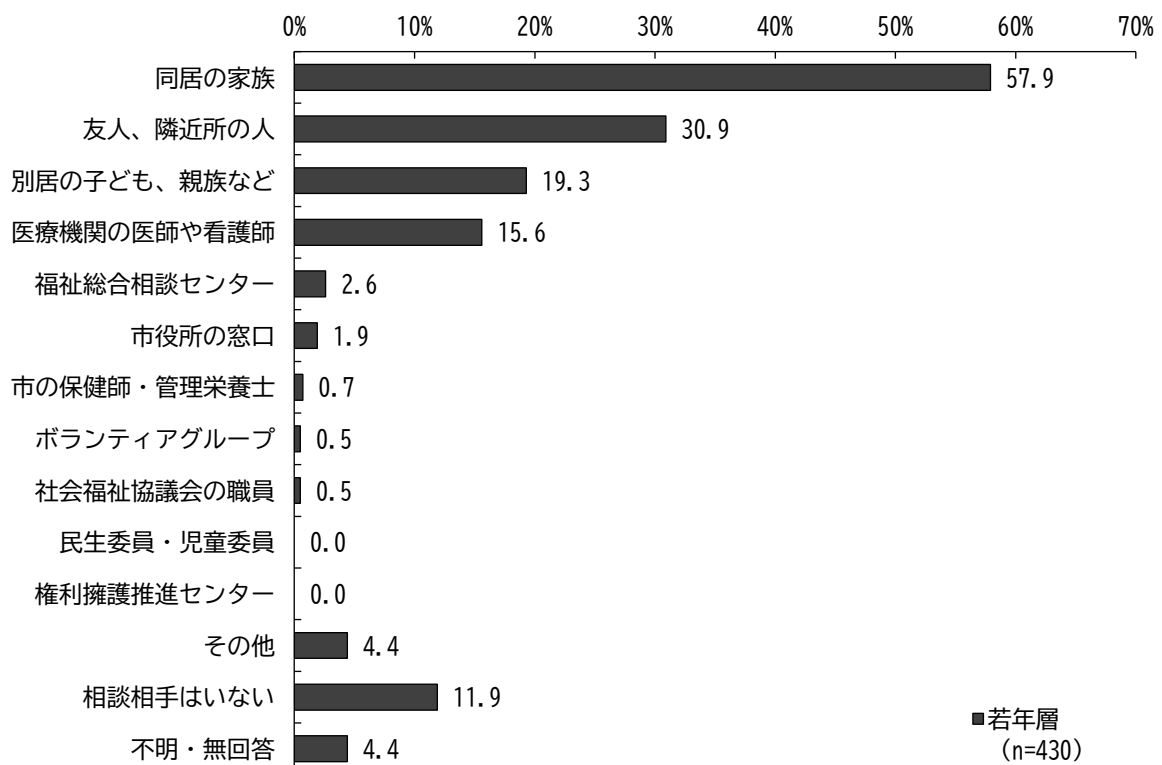
問21 老後の生活でどのようなことが不安ですか。 (複数回答)

「自分や家族の健康に関すること」が62.1%で最も多く、次いで「家計に関すること」が55.6%となっています。



問22 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みをだれ（どこ）に相談していますか。（複数回答）

「同居の家族」が57.9%で最も多く、次いで「友人、隣近所の人」が30.9%となっています。



◆家族構成別にみた相談先

1人暮らしの層では「友人、隣近所の人」が最も多くなっています。また、親との2世代の層では「相談相手はいない」が他の層に比べて高くなっています。

単位：%

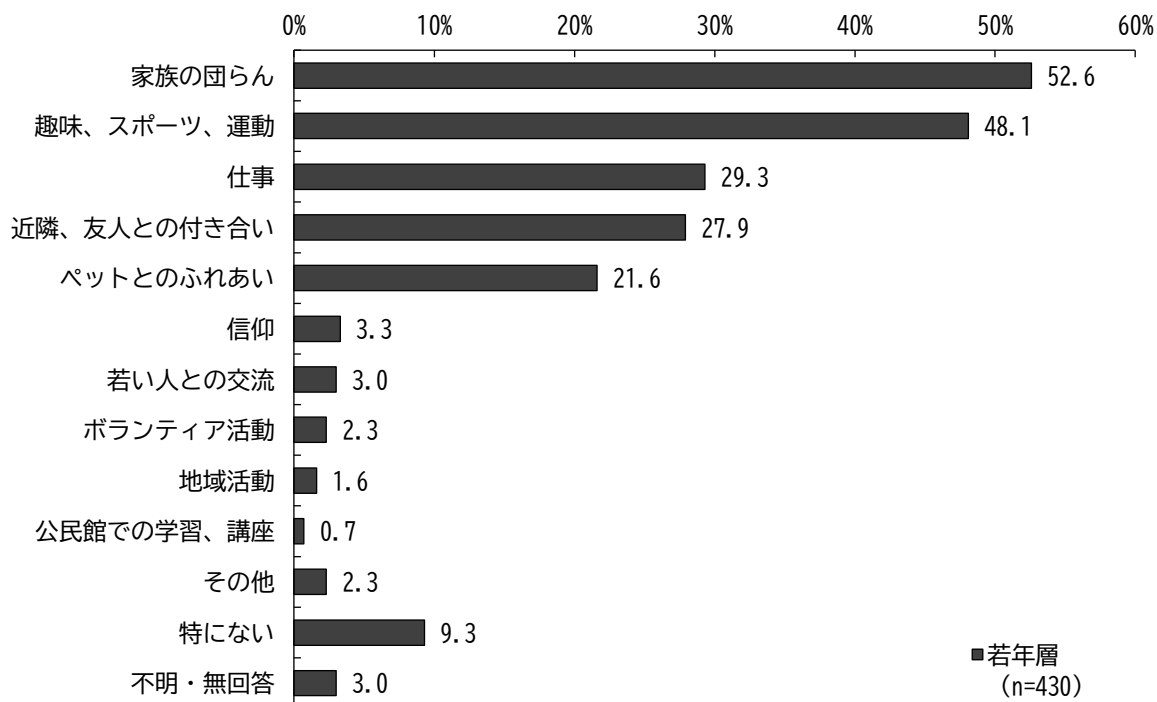
	同居の家族	別居の子ども、親族など	友人、隣近所の人	医療機関の医師や看護師	市の保健師・管理栄養士	福祉総合相談センター	ボランティアグループ
1人暮らし (n=52)	7.7	23.1	46.2	17.3	0.0	3.8	0.0
夫婦2人暮らし (n=95)	75.8	26.3	35.8	20.0	0.0	2.1	0.0
子・親（義理含む）との3世代 (n=44)	77.3	11.4	34.1	13.6	0.0	2.3	0.0
子との2世代 (n=113)	69.0	20.4	25.7	15.0	0.0	3.5	1.8
親との2世代 (n=78)	55.1	16.7	25.6	17.9	2.6	1.3	0.0

	民生委員・児童委員	市役所の窓口	社会福祉協議会の職員	権利擁護推進センター	その他	相談相手はいない	不明・無回答
1人暮らし (n=52)	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	13.5	3.8
夫婦2人暮らし (n=95)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	7.4	3.2
子・親（義理含む）との3世代 (n=44)	0.0	0.0	2.3	0.0	6.8	6.8	4.5
子との2世代 (n=113)	0.0	2.7	0.0	0.0	1.8	8.8	2.7
親との2世代 (n=78)	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	17.9	1.3

第3章 若年層調査の結果

問23 現在の心の支えや楽しみは何ですか。 (複数回答)

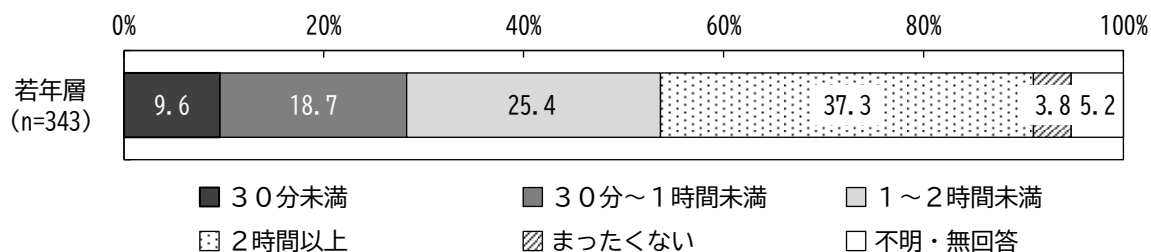
「家族の団らん」が52.6%で最も多く、次いで「趣味、スポーツ、運動」が48.1%となっています。



【家族等と同居している人のみ】

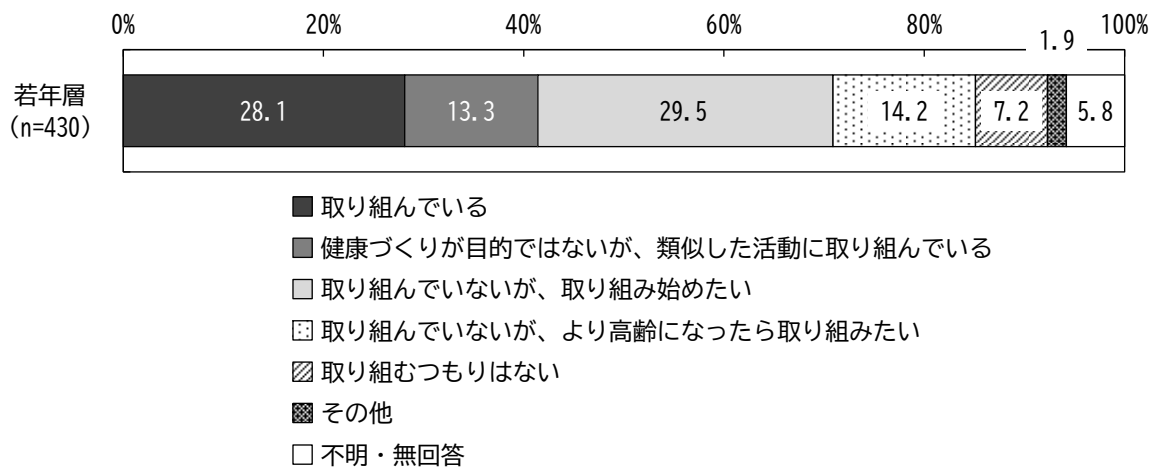
問24 平日の家族等との団らの時間がどれぐらいありますか。 (単数回答)

「2時間以上」が37.3%で最も多くなっています。



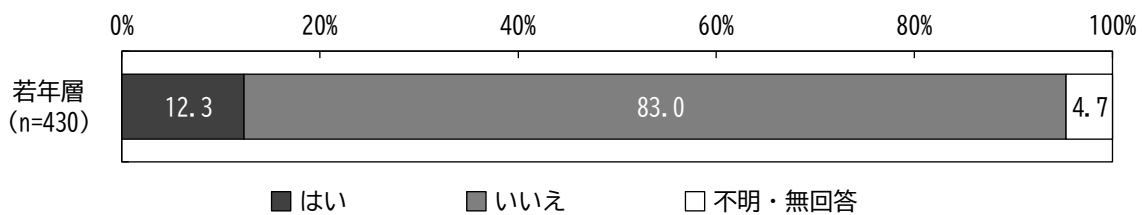
問 25 健康づくりを目的とした体を動かす活動（体操や散歩、ストレッチなどの軽い運動も含む。）に取り組んでいますか。 (単数回答)

「取り組んでいないが、取り組み始めたい」が29.5%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が28.1%となっています。



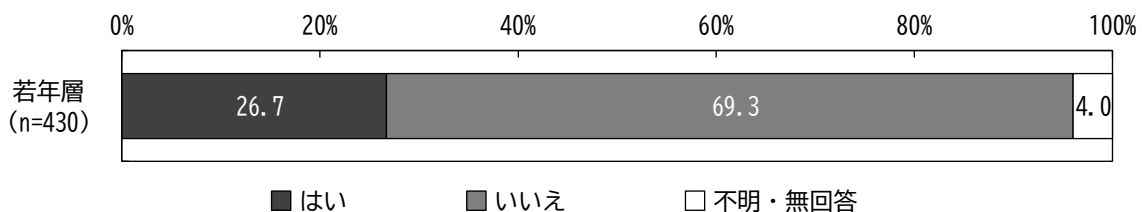
問 26 あなた本人かご家族の中に、認知症の症状がある人がいますか。 (単数回答)

自分または家族の中に認知症の症状がある人は、12.3%となっています。



問 27 認知症に関する相談窓口を知っていますか。 (単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っている人は26.7%となっています。

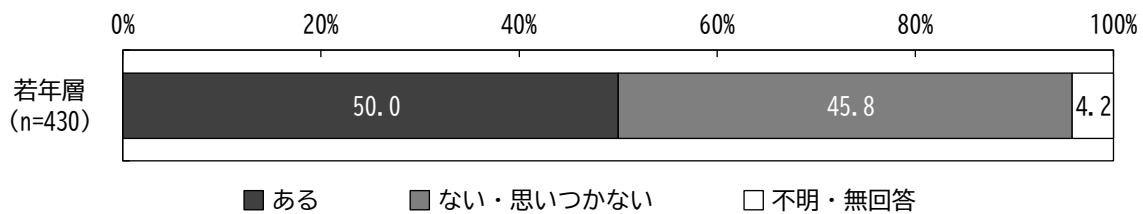


4 社会参加について

問 28 趣味はありますか。

(単数回答)

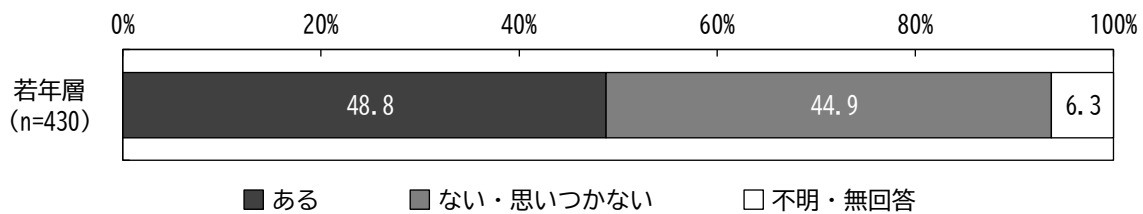
趣味がある人が50.0%となっています。



問 29 生きがいがありますか。

(単数回答)

生きがいがある人が48.8%となっています。



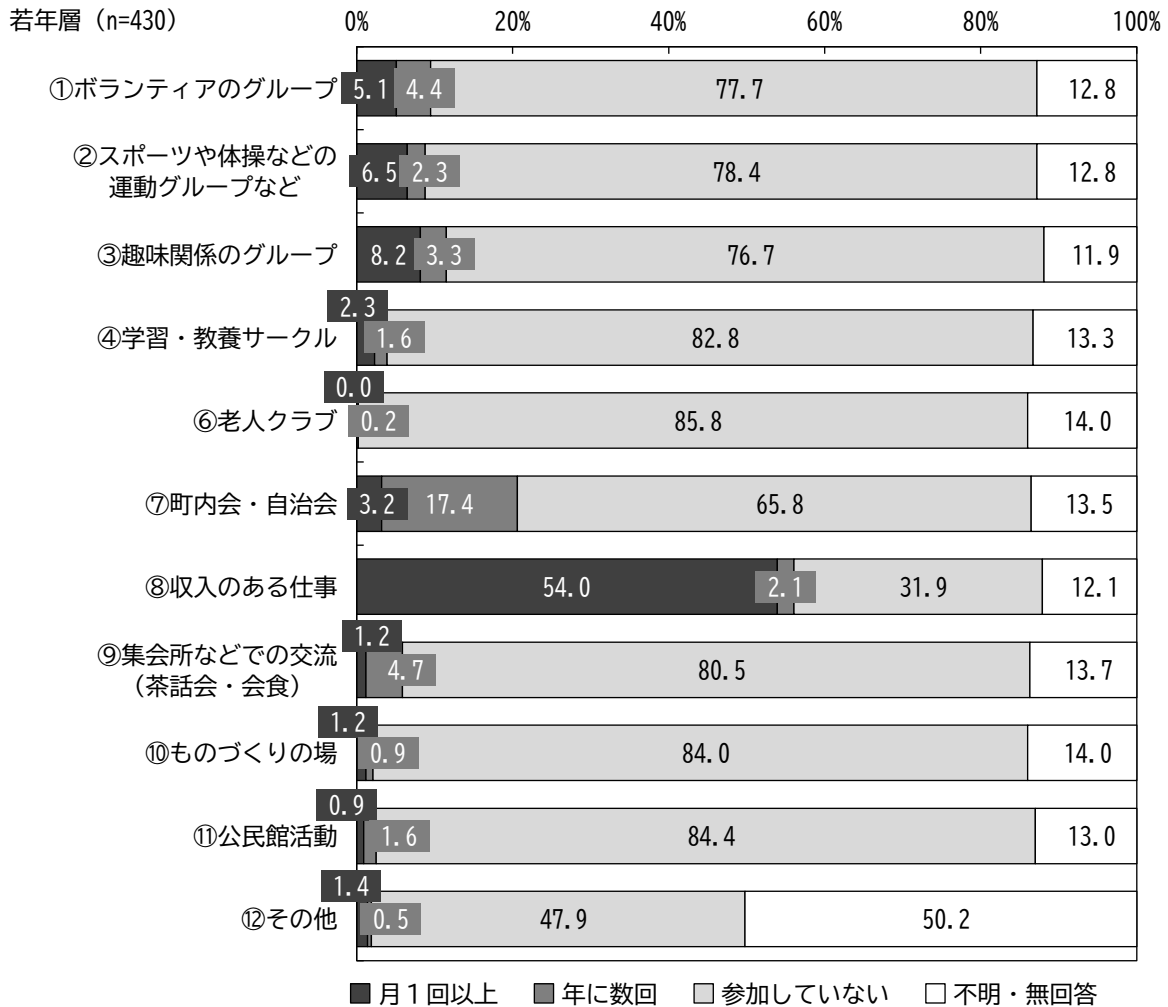
問 30 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(単数回答)

収入のある仕事については「週4回以上」が46.3%となっています。他の項目については、月1回以上参加している割合が1割を下回っています。

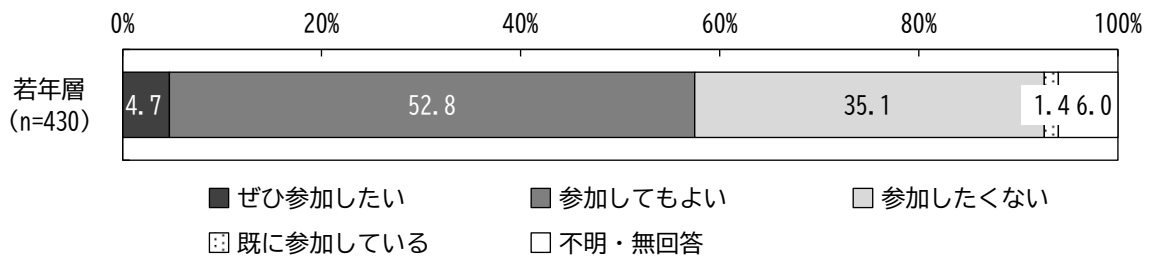
若年層 (n=430)	(%)						
	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
①ボランティアのグループ	0.5	0.2	0.7	3.7	4.4	77.7	12.8
②スポーツや体操などの運動グループなど	1.6	1.6	2.6	0.7	2.3	78.4	12.8
③趣味関係のグループ	0.7	0.7	1.9	4.9	3.3	76.7	11.9
④学習・教養サークル	0.9	0.2	0.7	0.5	1.6	82.8	13.3
⑤老人クラブ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	85.8	14.0
⑥町内会・自治会	0.0	0.0	0.2	3.0	17.4	65.8	13.5
⑦収入のある仕事	46.3	6.3	0.5	0.9	2.1	31.9	12.1
⑧集会所などでの交流(茶話会・会食)	0.0	0.0	0.5	0.7	4.7	80.5	13.7
⑨ものづくりの場	0.7	0.0	0.0	0.5	0.9	84.0	14.0
⑩公民館活動	0.0	0.0	0.7	0.2	1.6	84.4	13.0
⑪その他	0.0	0.5	0.2	0.7	0.5	47.9	50.2

◇「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」を「月1回以上」としてまとめたグラフ



問 31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

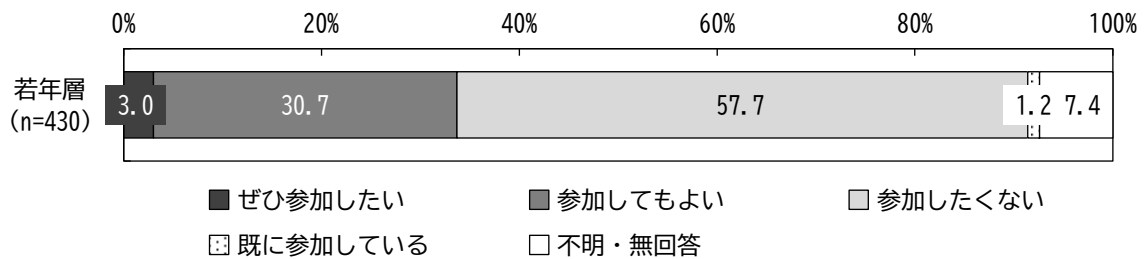
「ぜひ参加したい」が4.7%であり、「参加してもよい」と合計すると、57.5%が今後の参加に前向きな回答をしています。



第3章 若年層調査の結果

問 32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

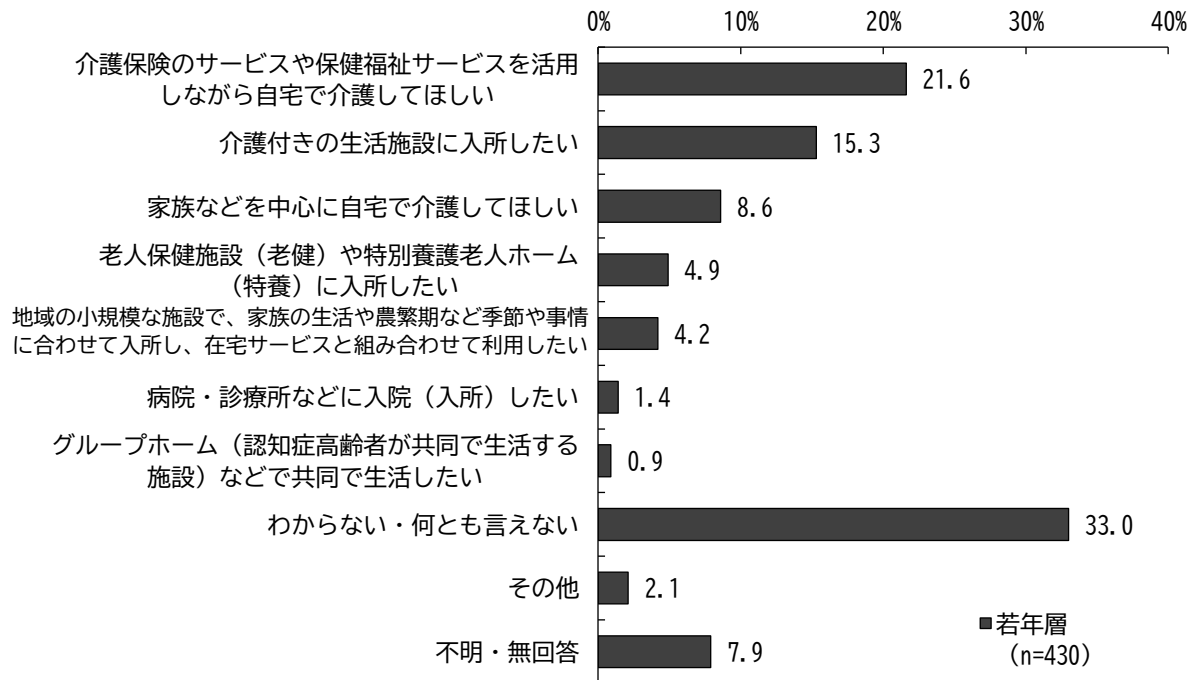
「ぜひ参加したい」が3.0%であり、「参加してもよい」と合計すると、33.7%が今後の参加に前向きな回答をしています。



5 介護保険について

問 33 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。
(単数回答)

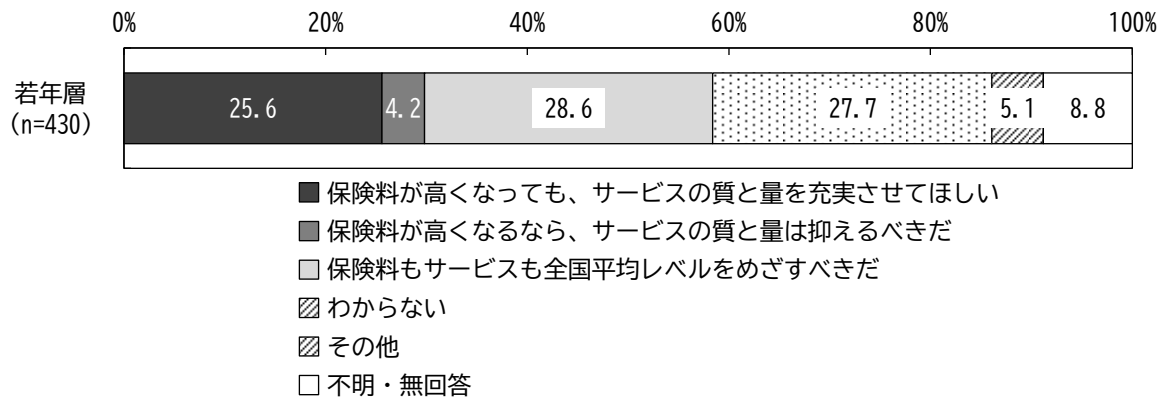
「わからない・何とも言えない」が33.0%で最も多く、次いで「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が21.6%となっています。



第3章 若年層調査の結果

問 34 今後、令和6年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。（単数回答）

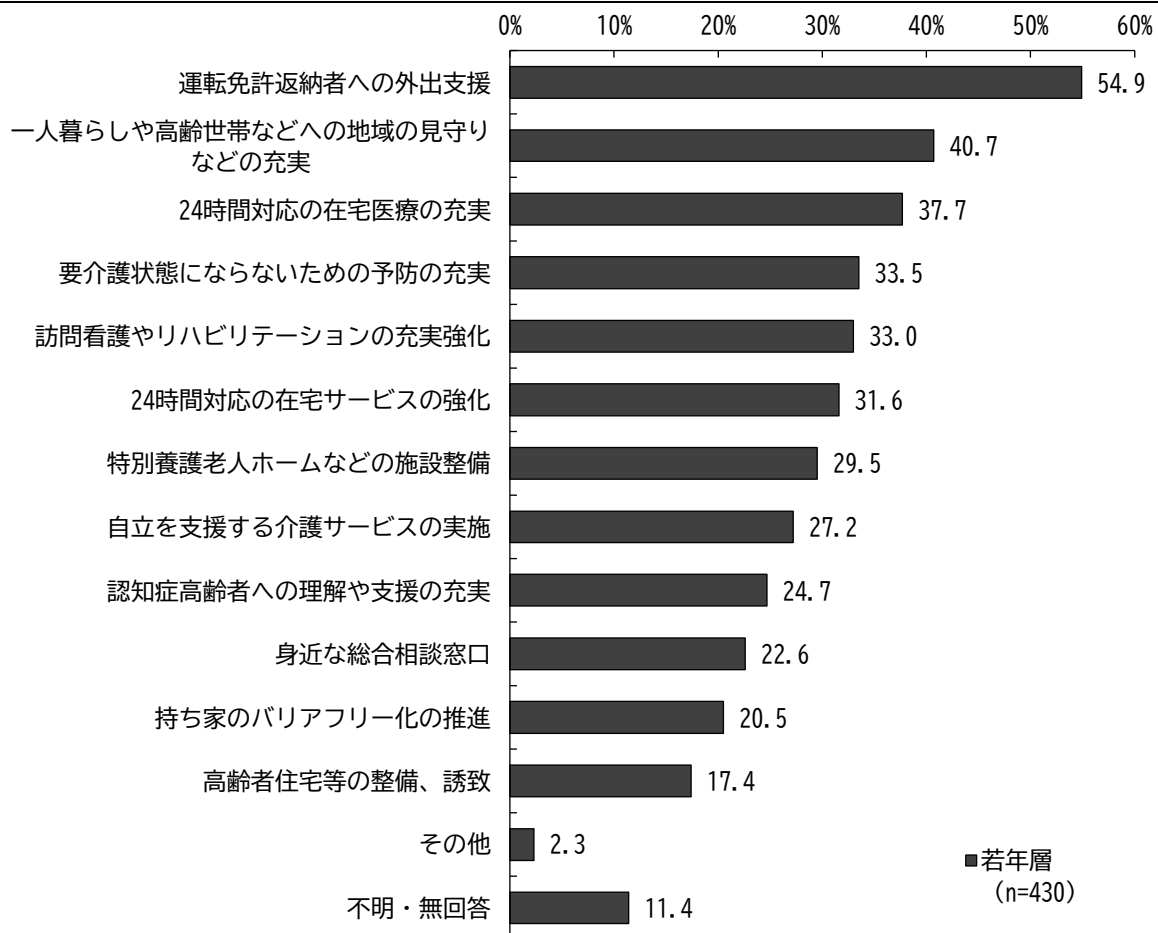
「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が28.6%で最も多く、次いで「わからない」が27.7%、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が25.6%となっています。



6 今後の高齢者施策について

問 35 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。 (複数回答)

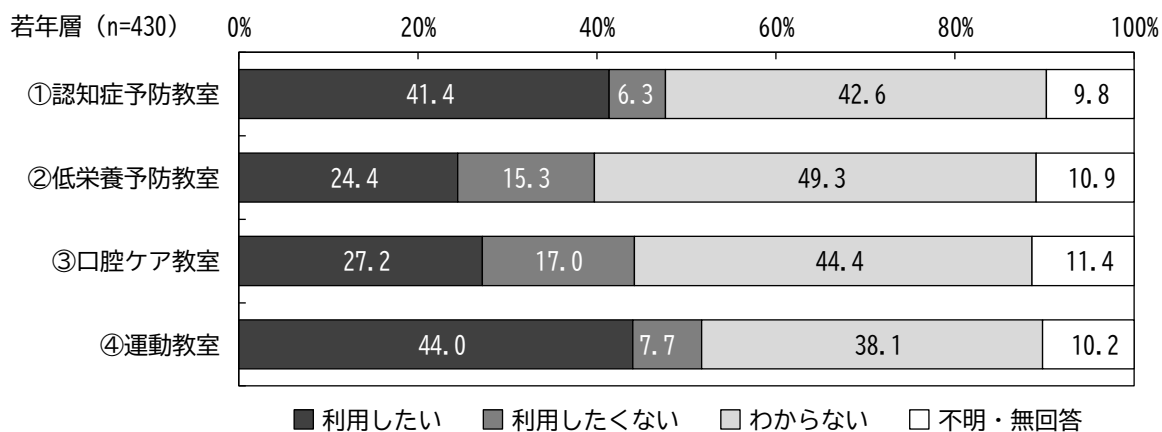
「運転免許返納者への外出支援」が54.9%で最も多く、次いで「一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守りなどの充実」が40.7%、「24時間対応の在宅医療の充実」が37.7%となっています。



第3章 若年層調査の結果

問36 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用したいと思いますか。
(単数回答)

認知症予防教室と運動教室は「利用したい」が4割を超えています。



※上記①から④のサービスの内容について、調査票上で下記の説明を示しました。

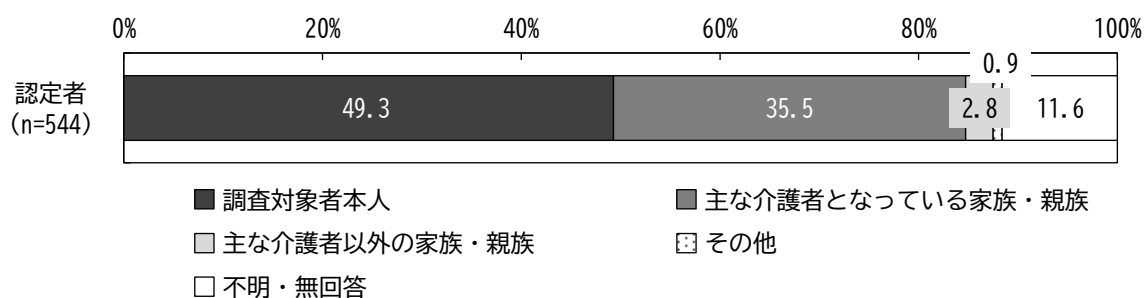
- ①認知症予防教室：認知症を予防するために行う脳トレーニング
- ②低栄養予防教室：高齢者料理教室など
- ③口腔ケア教室：歯ブラシ、義歯の手入れの指導や食べる力のトレーニング
- ④運動教室：転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室

第4章 要介護・要支援認定者調査の結果

第4章 要介護・要支援認定者調査の結果

はじめに、この調査の回答者を教えてください。(単数回答)

「調査対象者本人」が49.3%、「主な介護者となっている家族・親族」が35.5%となっています。



◆要介護度別にみた回答者

要介護3以上では「主な介護者となっている家族・親族」が最も多くなっています。

単位：%

	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	不明・無回答
要支援1 (n=74)	79.7	12.2	0.0	0.0	8.1
要支援2 (n=111)	72.1	22.5	0.9	0.9	3.6
要介護1 (n=87)	42.5	48.3	1.1	0.0	8.0
要介護2 (n=100)	49.0	40.0	3.0	0.0	8.0
要介護3 (n=70)	22.9	64.3	4.3	2.9	5.7
要介護4・5 (n=45)	15.6	62.2	15.6	2.2	4.4

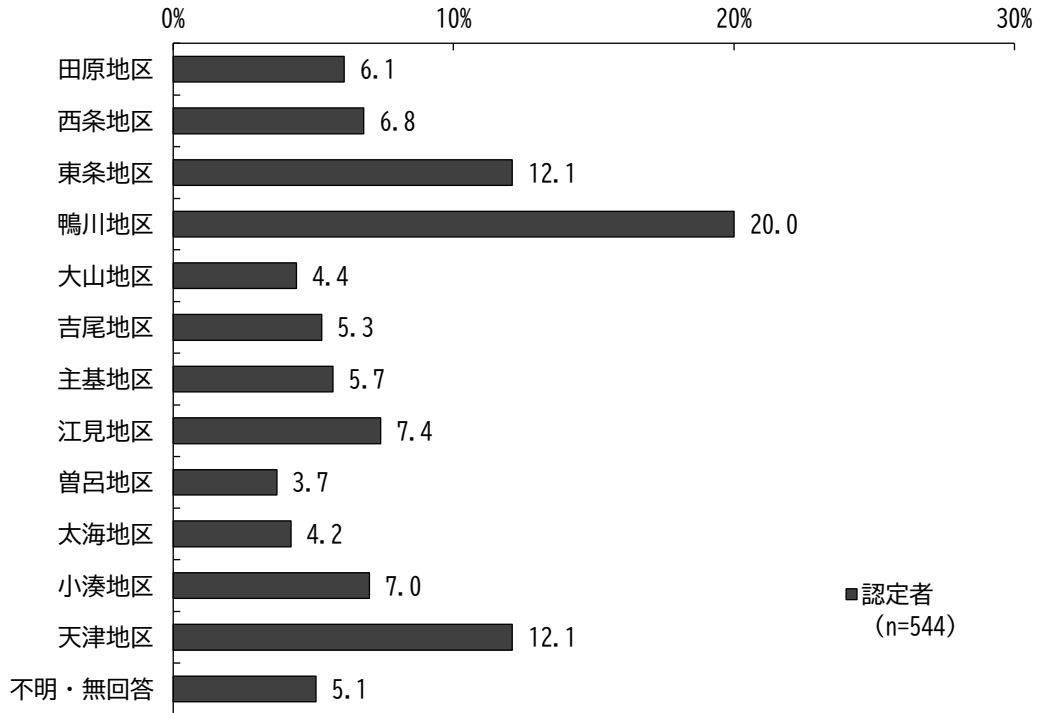
※以下、本章の調査結果に関して、特に断らない限り調査対象者本人について言及しています。

1 年齢や性別等について

問1 お住まいの地区はどこですか。

(単数回答)

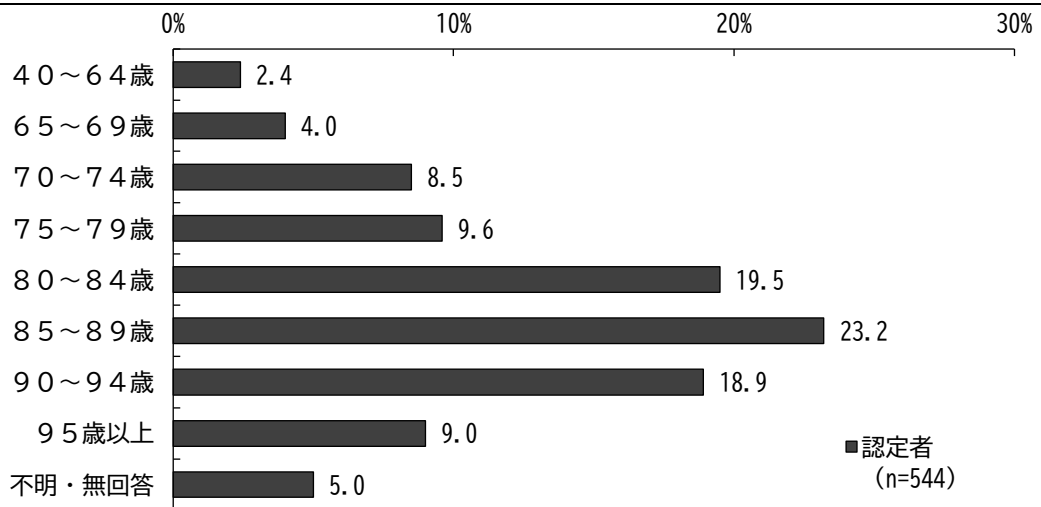
「鴨川地区」が20.0%で最も多く、次いで「東条地区」「天津地区」がともに12.1%となっています。



問2 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。

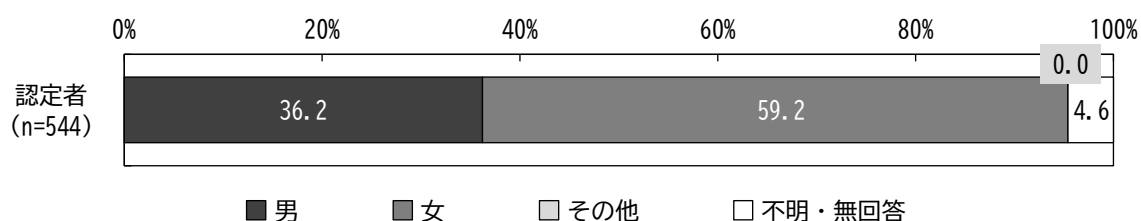
(単数回答)

「85～89歳」が23.2%で最も多く、次いで「80～84歳」が19.5%、「90～94歳」が18.9%となっています。



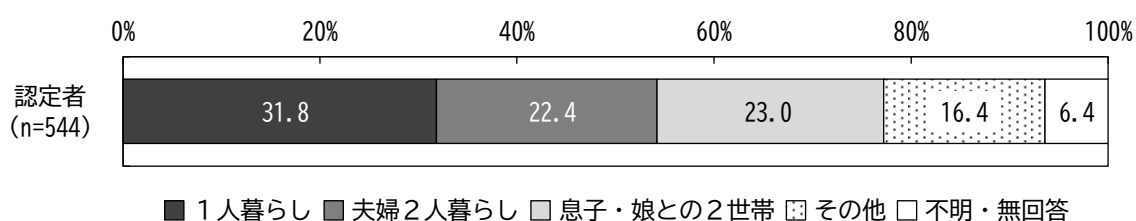
問3 性別をお答えください。(単数回答)

男性が36.2%、女性が59.2%となっています。



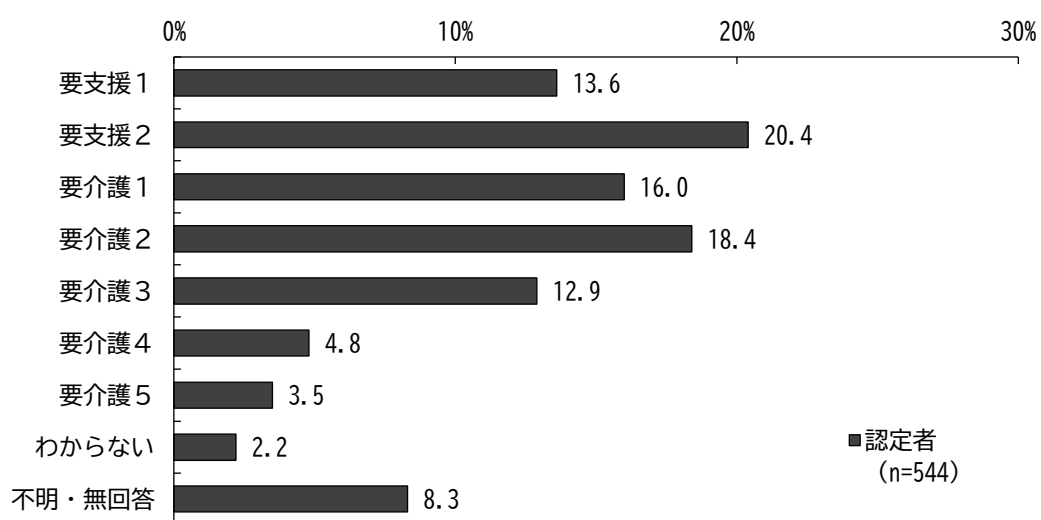
問4 家族構成をお答えください。(単数回答)

「1人暮らし」が31.8%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.0%、「夫婦2人暮らし」が22.4%となっています。



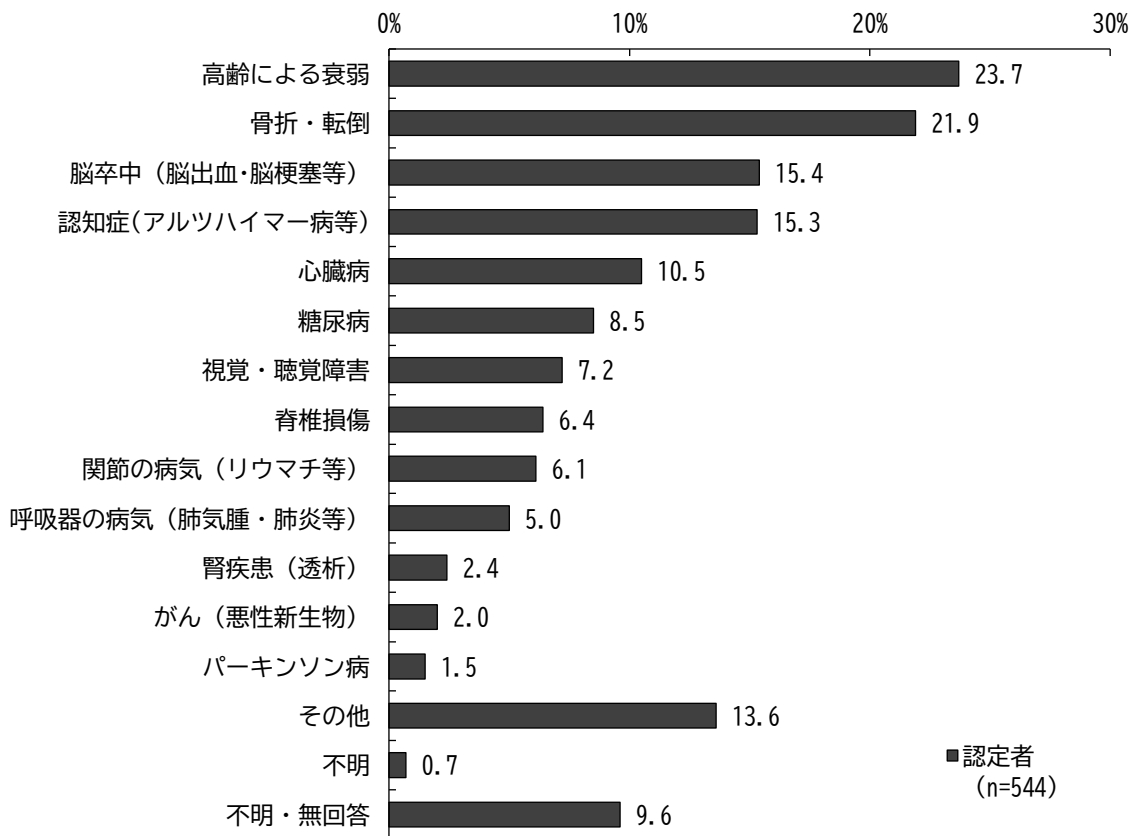
問5 令和5年1月1日現在の要介護度は、次のどれですか。(単数回答)

「要支援2」が20.4%で最も多く、次いで「要介護2」が18.4%となっています。



問6 介護が必要になった原因は何ですか。 (複数回答)

「高齢による衰弱」が23.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が21.9%となっています。



◆要介護度別にみた介護が必要になった原因

要支援1・2では「骨折・転倒」や「高齢による衰弱」が上位となっています。要介護3以上では、「脳卒中」「認知症」「骨折・転倒」が上位となっています。

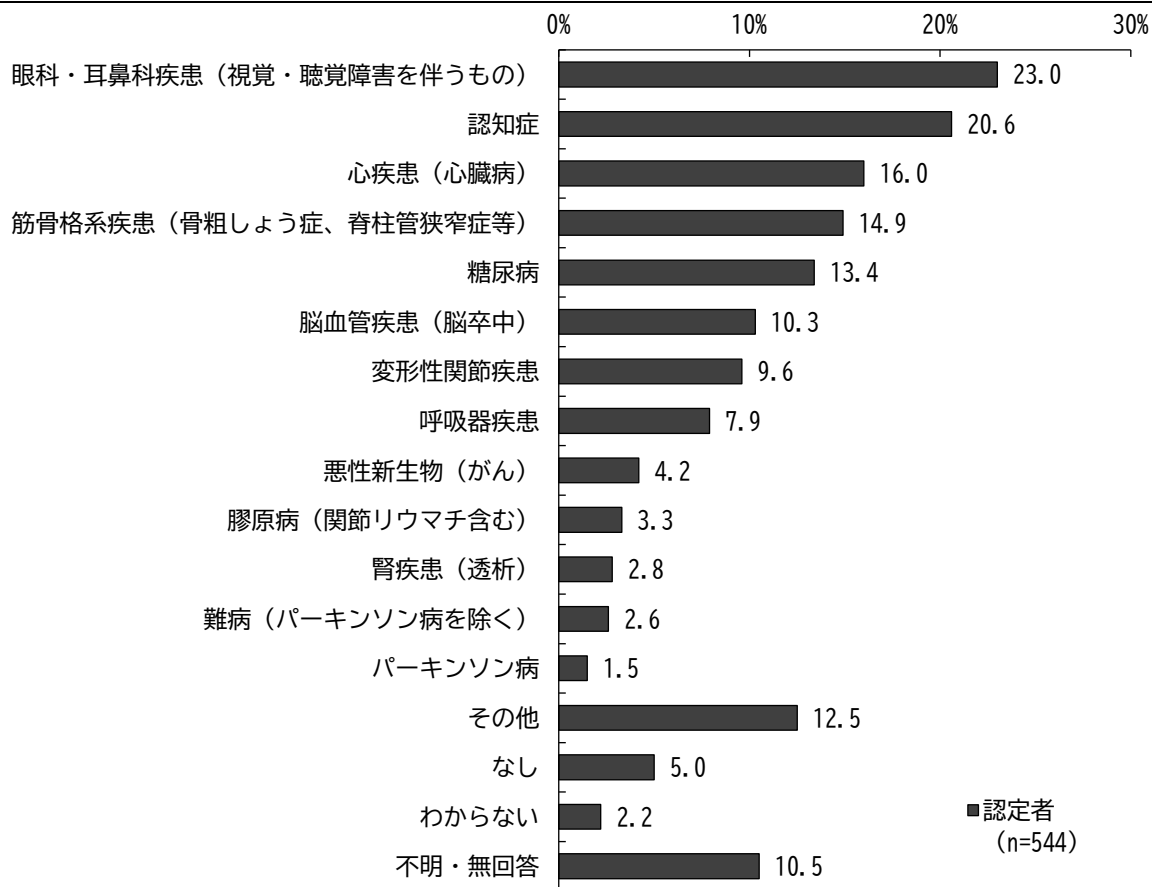
単位：%

	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
要支援1 (n=74)	10.8	8.1	1.4	4.1	5.4	5.4	0.0	13.5
要支援2 (n=111)	13.5	9.9	2.7	7.2	12.6	3.6	0.9	7.2
要介護1 (n=87)	12.6	13.8	0.0	4.6	8.0	21.8	0.0	6.9
要介護2 (n=100)	19.0	13.0	2.0	7.0	4.0	20.0	1.0	15.0
要介護3 (n=70)	25.7	12.9	2.9	4.3	0.0	28.6	4.3	4.3
要介護4・5 (n=45)	24.4	6.7	4.4	2.2	2.2	33.3	4.4	6.7
	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	不明・無回答
要支援1 (n=74)	0.0	4.1	28.4	10.8	23.0	17.6	1.4	10.8
要支援2 (n=111)	3.6	13.5	22.5	9.0	24.3	12.6	0.0	8.1
要介護1 (n=87)	2.3	6.9	16.1	4.6	27.6	17.2	2.3	1.1
要介護2 (n=100)	4.0	8.0	24.0	6.0	28.0	14.0	0.0	0.0
要介護3 (n=70)	2.9	2.9	27.1	2.9	24.3	10.0	0.0	2.9
要介護4・5 (n=45)	0.0	4.4	28.9	6.7	15.6	15.6	0.0	0.0

第4章 要介護・要支援認定者調査の結果

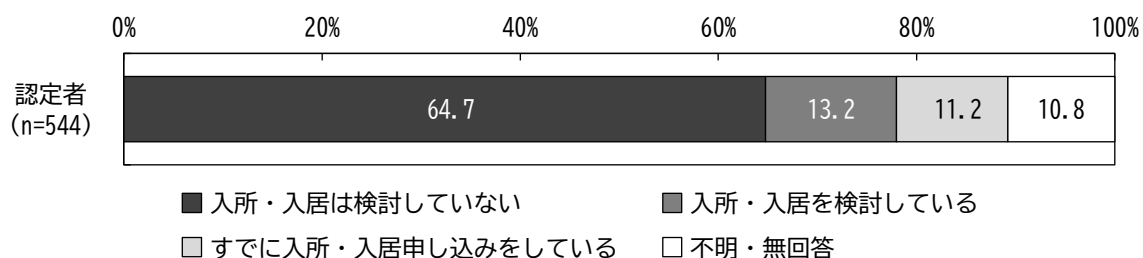
問7 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病はありますか。（複数回答）

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が23.0%で最も多く、次いで「認知症」が20.6%となっています。



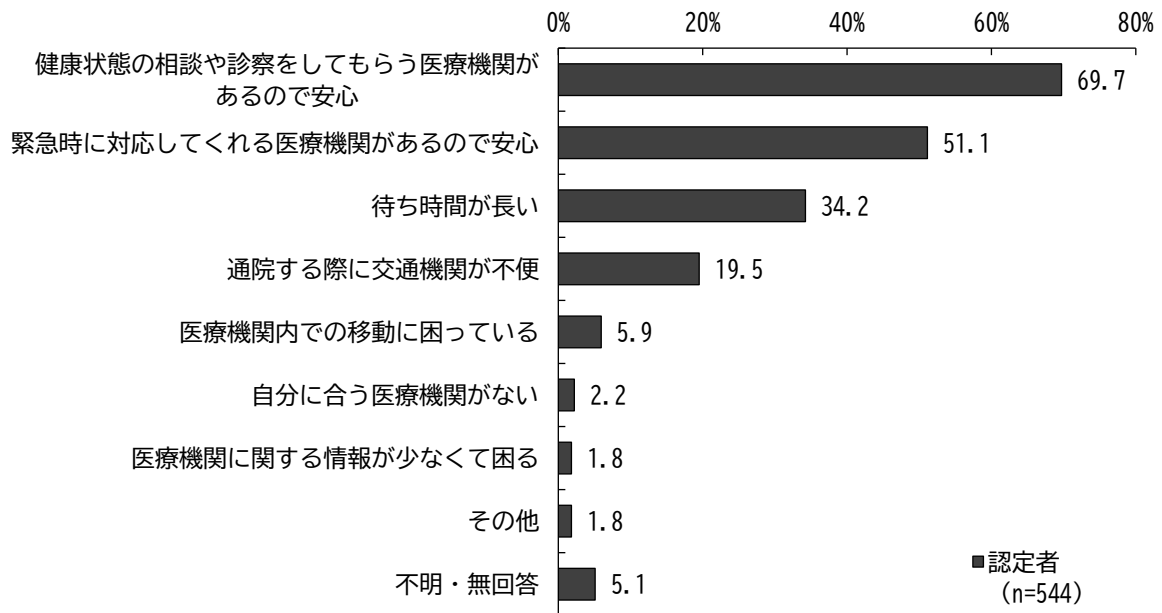
問8 現時点で、施設等への入所・入居について検討していますか。（単数回答）

「入所・入居を検討している」が13.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.2%となっています。



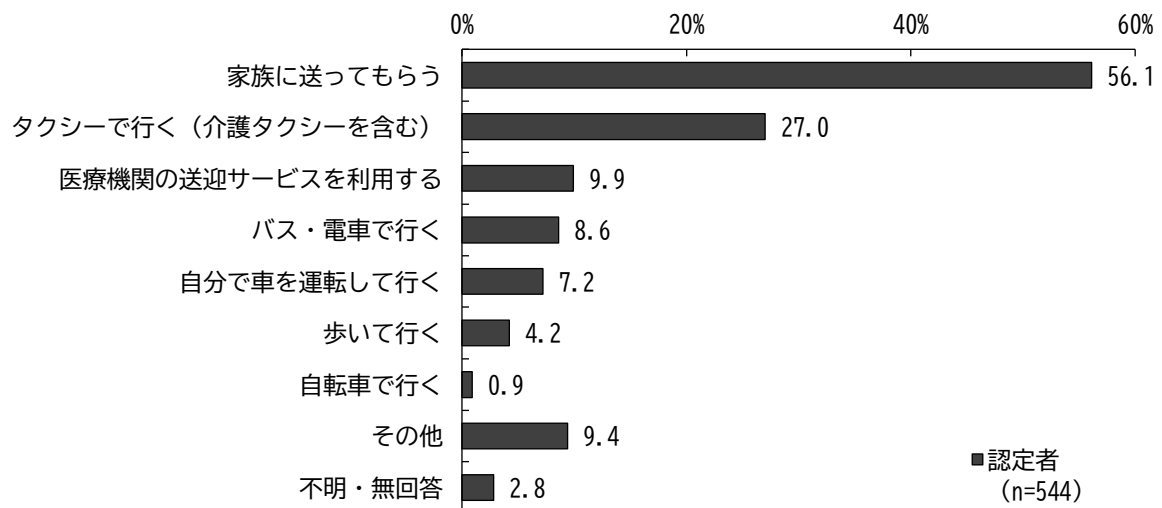
問9 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。(複数回答)

「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が69.7%で最も多く、次いで「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が51.1%となっています。



問10 ご本人(調査対象者)は医療機関に、どのような交通手段で通っていますか。(複数回答)

「家族に送ってもらう」が56.1%で最も多く、次いで「タクシーで行く(介護タクシーを含む)」が27.0%となっています。



第4章 要介護・要支援認定者調査の結果

◆要介護度別にみた医療機関への交通手段

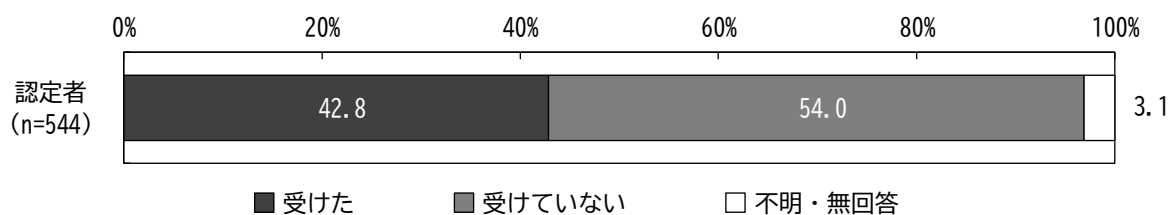
いずれの要介護度においても「家族に送ってもらう」が最も多く、次いで「タクシーで行く（介護タクシーを含む）」が多くなっています。

単位：%

	バス・電車で行く	タクシーで行く (介護タクシーを含む)	家族に送ってもらう	自分で車を運転して行く	自転車で行く	歩いて行く	医療機関の送迎サービスを利用する	その他	不明・無回答
要支援1 (n=74)	18.9	28.4	40.5	20.3	2.7	8.1	12.2	8.1	1.4
要支援2 (n=111)	8.1	29.7	61.3	12.6	1.8	5.4	12.6	8.1	1.8
要介護1 (n=87)	6.9	25.3	65.5	2.3	0.0	1.1	8.0	6.9	1.1
要介護2 (n=100)	7.0	27.0	61.0	2.0	0.0	4.0	13.0	5.0	1.0
要介護3 (n=70)	2.9	25.7	62.9	1.4	0.0	1.4	7.1	12.9	4.3
要介護4・5 (n=45)	2.2	24.4	44.4	0.0	0.0	0.0	8.9	24.4	6.7

問11 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。 (単数回答)

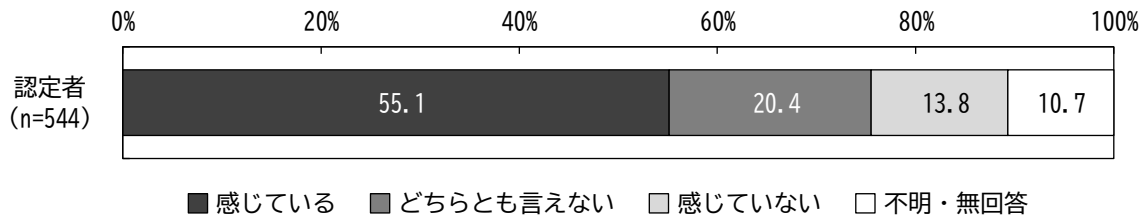
この1年間に歯科医院で健診や治療を受けた人は42.8%となっています。



2 日常生活について

問12 日常生活全般を通して何か不安を感じていますか。 (単数回答)

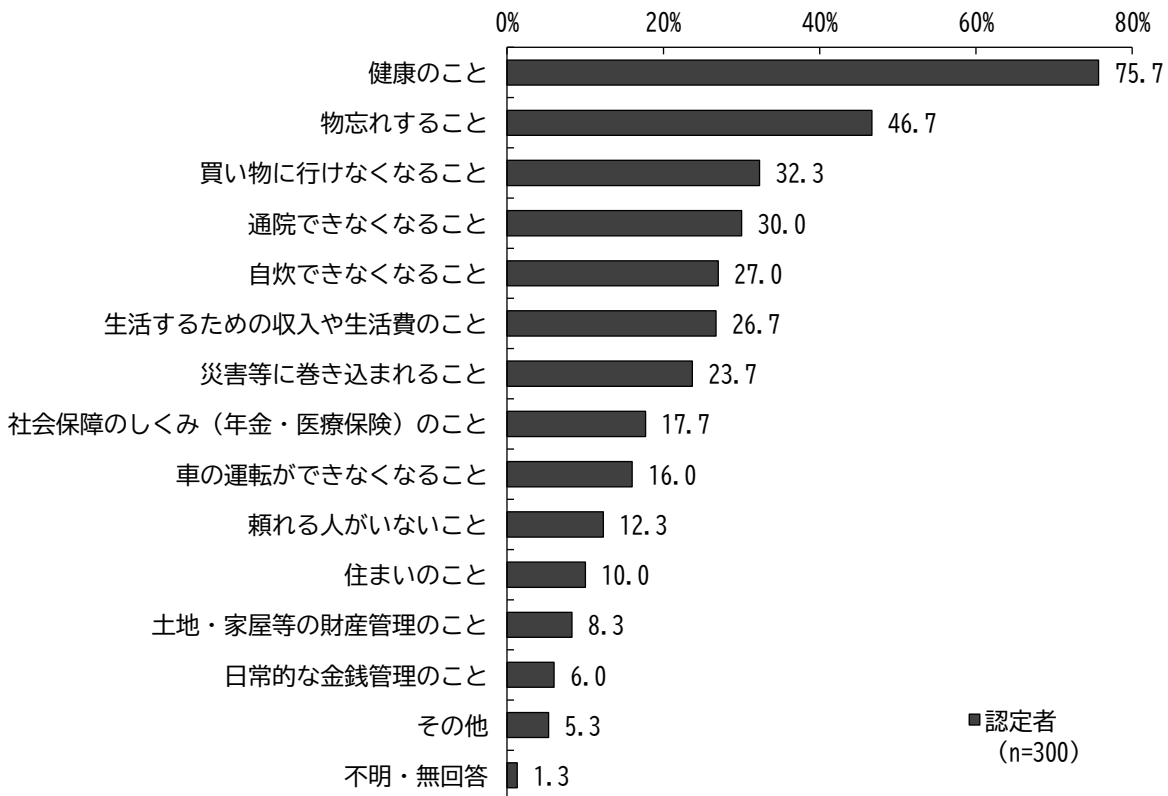
不安を感じている人が55.1%となっています。



【問12で「感じている」と答えた人のみ】

問12-1 どのようなことに不安を感じていますか。 (複数回答)

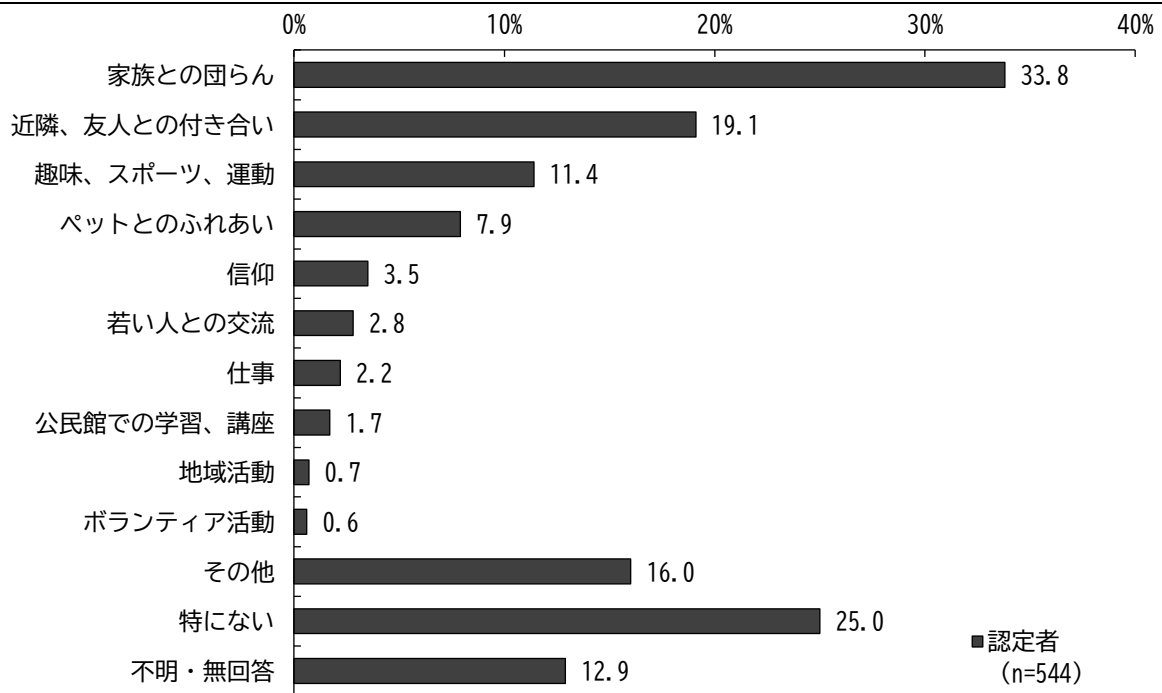
「健康のこと」が75.7%で最も多く、次いで「物忘れすること」が46.7%となっています。



問13 現在の心の支えや楽しみは何ですか。

(複数回答)

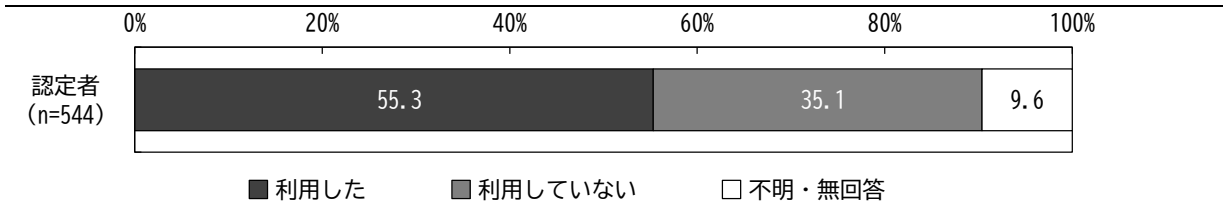
「家族との団らん」が33.8%で最も多く、次いで「特にない」が25.0%となっています。



3 居宅サービスの利用状況について

問 14 令和5年1月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(単数回答)

介護保険サービスを利用した割合は55.3%となっています。



◆要介護度別にみた介護保険サービスの利用の有無

要支援1では利用していない人の方が多くなっていますが、要支援2以上では利用している人の方が多くなっています。

単位：%

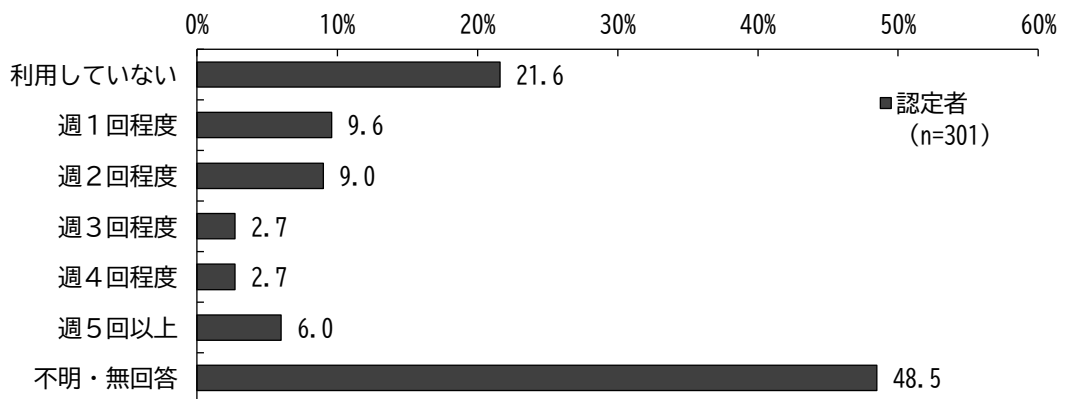
	利用した	利用していない	不明・無回答
要支援1 (n=74)	32.4	59.5	8.1
要支援2 (n=111)	58.6	31.5	9.9
要介護1 (n=87)	58.6	36.8	4.6
要介護2 (n=100)	72.0	19.0	9.0
要介護3 (n=70)	60.0	27.1	12.9
要介護4・5 (n=45)	62.2	31.1	6.7

【問14で「利用した」と答えた人のみ】

問 14-1 以下の介護保険サービスについて、令和5年1月の1か月間の利用状況をお答えください。

A 訪問介護(ホームヘルプサービス) (単数回答)

利用した人は合計で30.0%となっています。

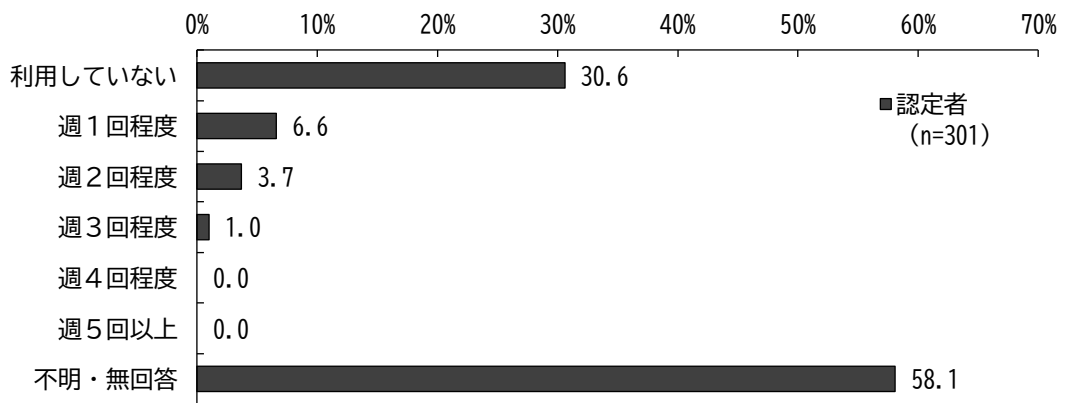


※本設問では不明・無回答が比較的多くなっていますが、これは、利用したサービス以外については回答しなかった人が多かったためと考えられます。以降、問14-1(A~L)の結果については同様のことが考えられます。

B 訪問入浴介護

(単数回答)

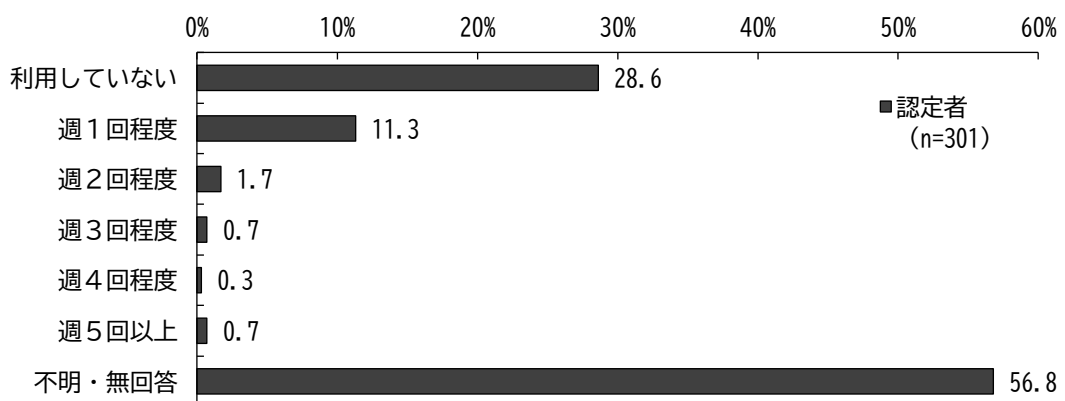
利用した人は合計で11.3%となっています。



C 訪問看護

(単数回答)

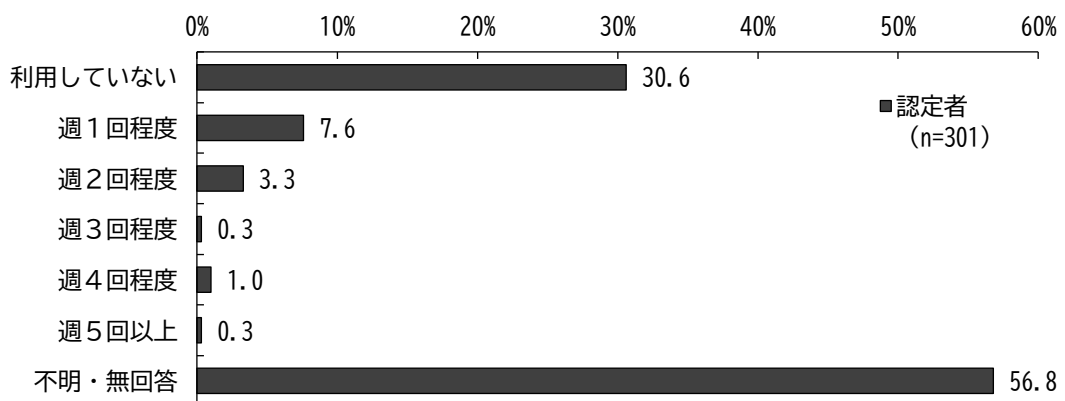
利用した人は合計で14.7%となっています。



D 訪問リハビリテーション

(単数回答)

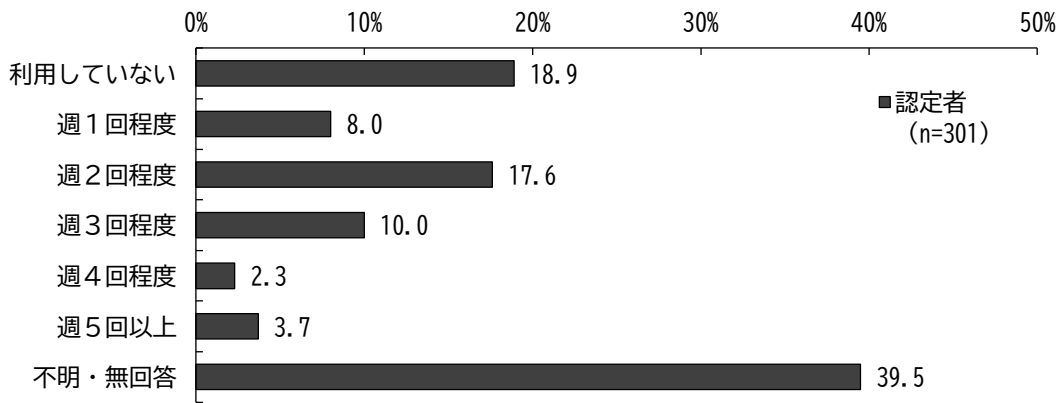
利用した人は合計で12.5%となっています。



E 通所介護（デイサービス）

（単数回答）

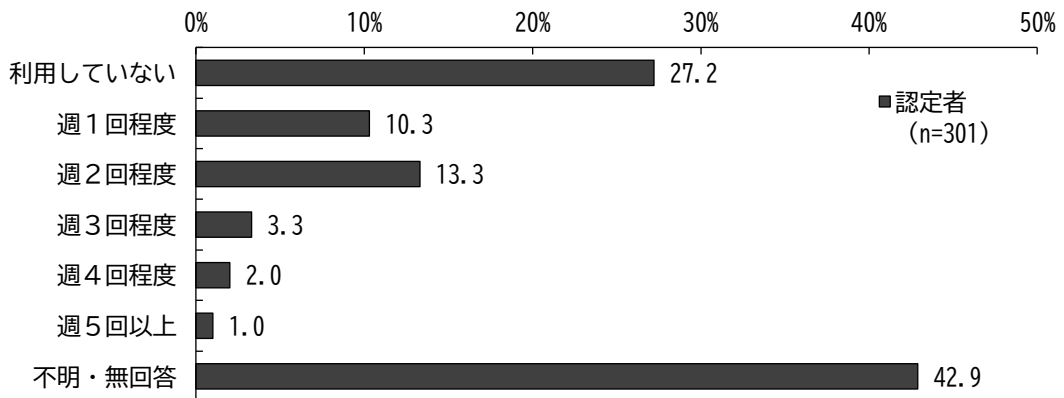
利用した人は合計で41.6%となっています。



F 通所リハビリテーション（デイケア）

（単数回答）

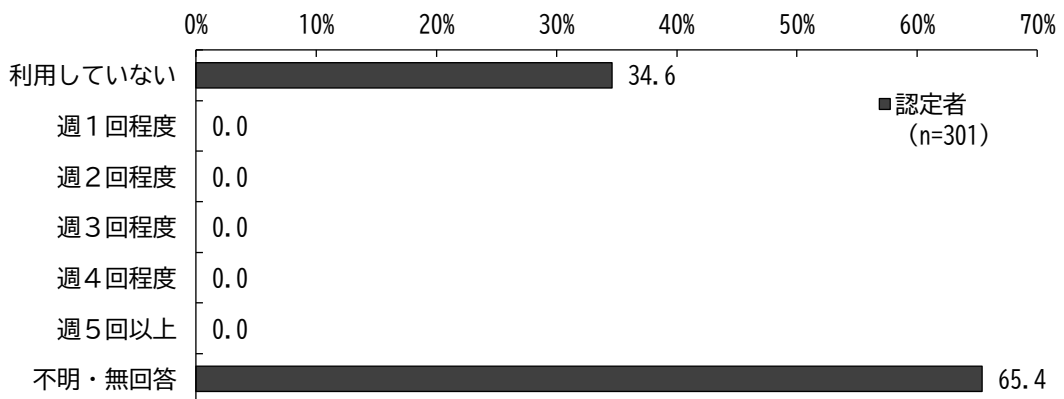
利用した人は合計で29.9%となっています。



G 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

（単数回答）

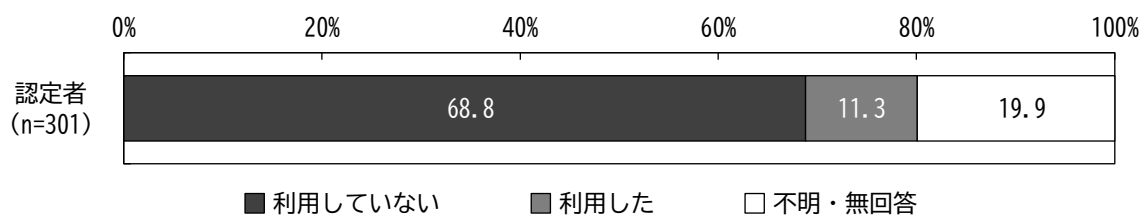
利用したという回答はありませんでした。



H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(単数回答)

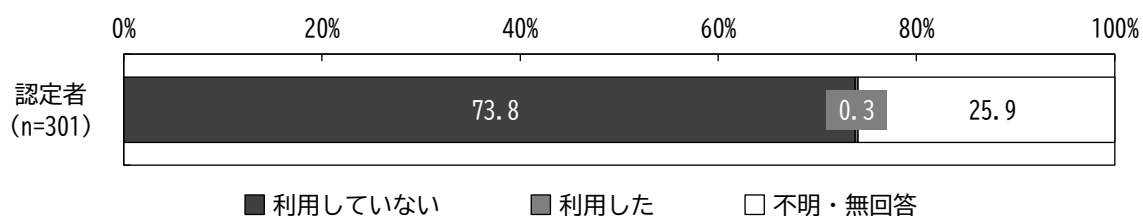
「利用した」は11.3%となっています。



I 小規模多機能型居宅介護

(単数回答)

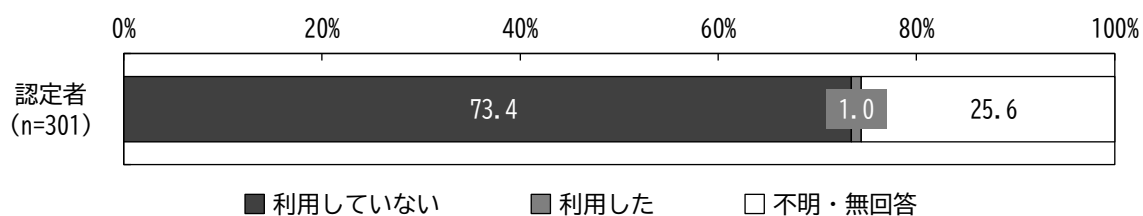
「利用した」は0.3%となっています。



J 看護小規模多機能型居宅介護

(単数回答)

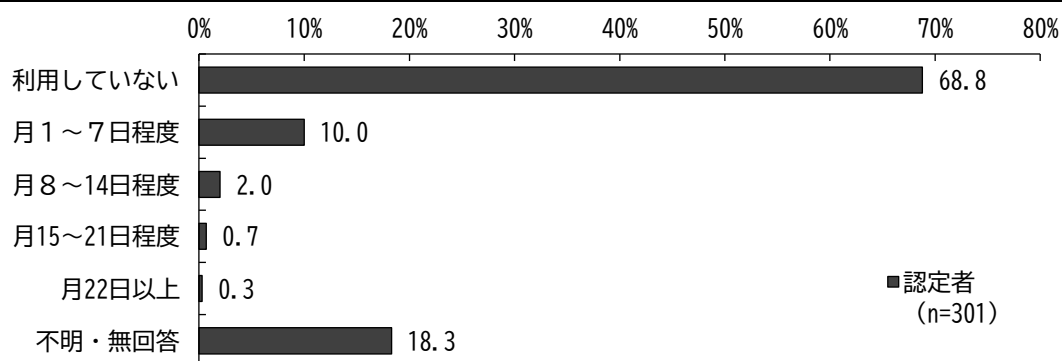
「利用した」は1.0%となっています。



K ショートステイ

(単数回答)

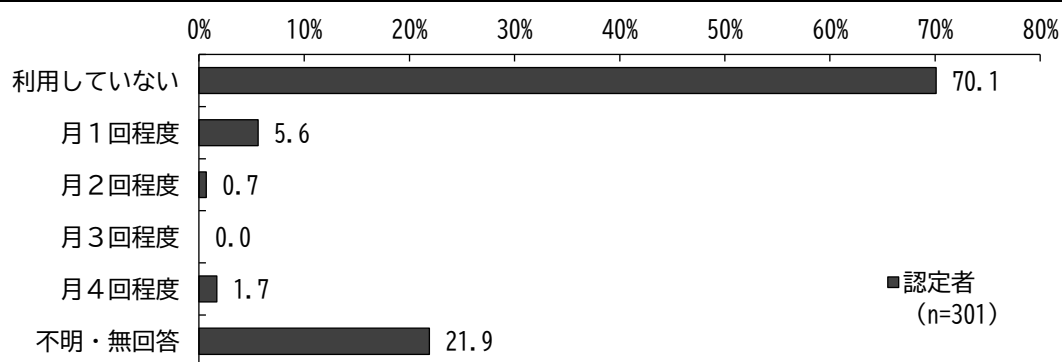
利用した人は合計で13.0%となっています。



L 居宅療養管理指導

(単数回答)

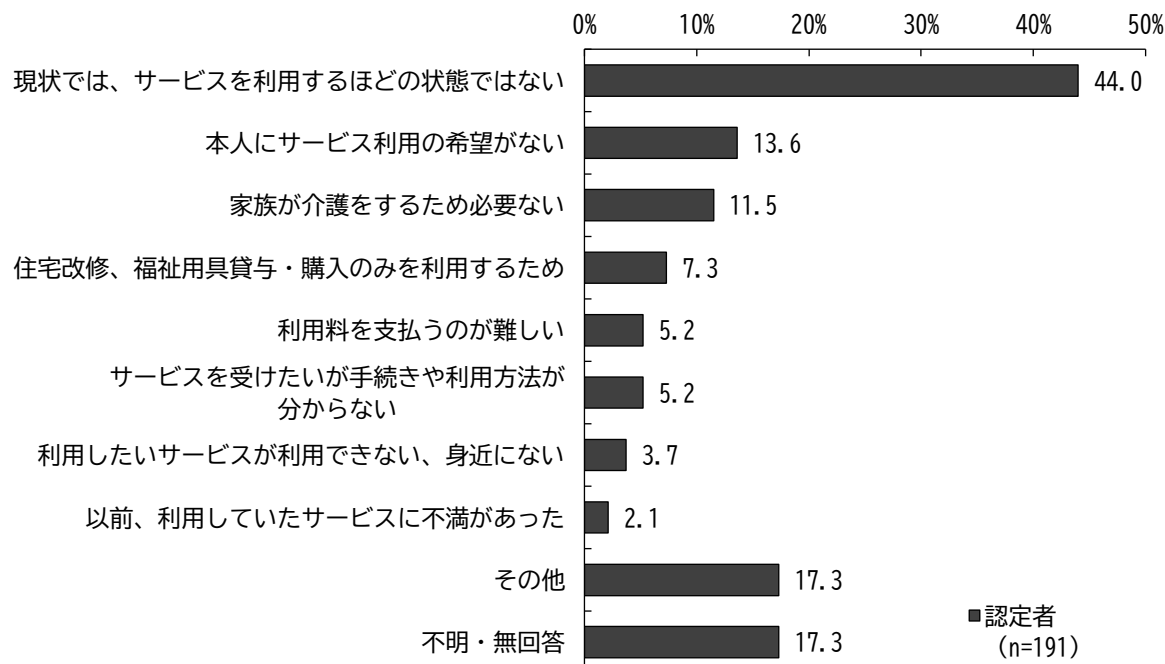
利用した人は合計で8.0%となっています。



【問14で「利用していない」と答えた人のみ】

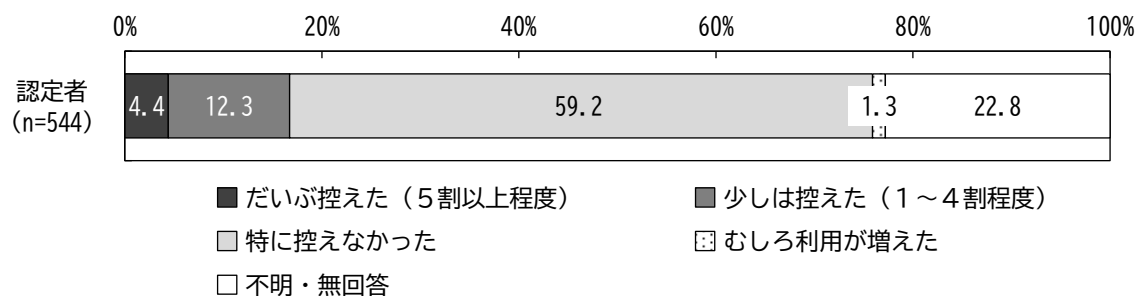
問14-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。 (複数回答)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.0%で最も多くなっています。



問15 この1年間でコロナ禍により介護保険サービスの利用を自主的に控えたことはありましたか。 (単数回答)

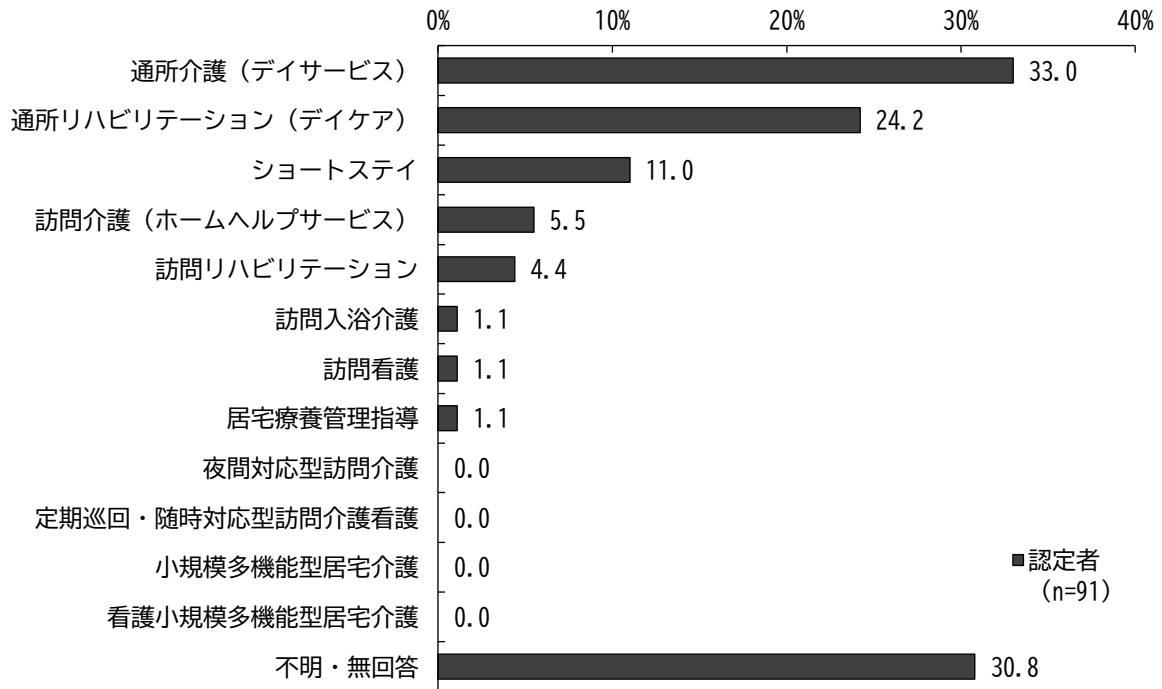
「だいぶ控えた(5割以上程度)」が4.4%であり、「少しは控えた(1~4割程度)」と合計すると、16.7%がコロナ禍により介護保険サービスの利用を自主的に控えたことがあると回答しています。



【問15で「だいぶ控えた（5割以上程度）」または「少しは控えた（1～4割程度）」と答えた人のみ】

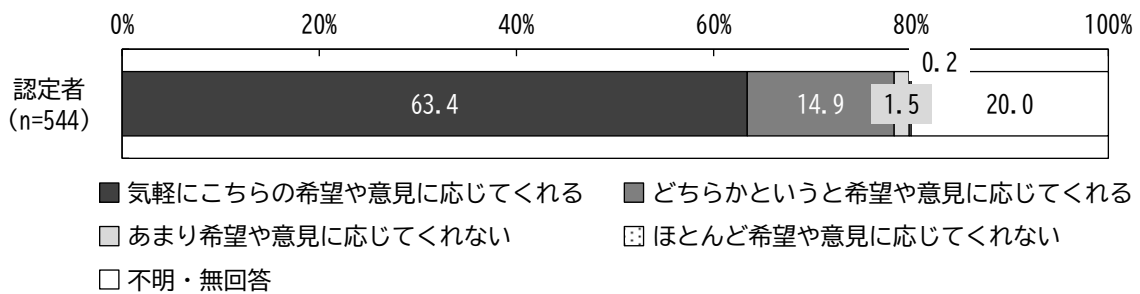
問15-1 特に利用を控えたサービスは何ですか。 (複数回答)

「通所介護（デイサービス）」が33.0%で最も多く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が24.2%、「ショートステイ」が11.0%となっています。



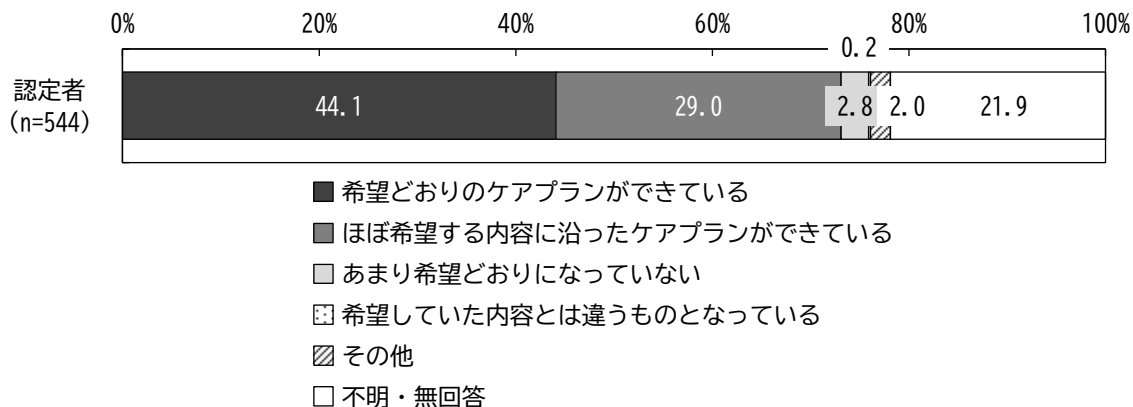
問16 ケアマネジャー(ケアプラン作成事業者)は、希望や意見に応じてくれますか。 (単数回答)

「気軽にこちらの希望や意見に応じてくれる」が63.4%で最も多く、次いで「どちらかという希望や意見に応じてくれる」が14.9%となっています。



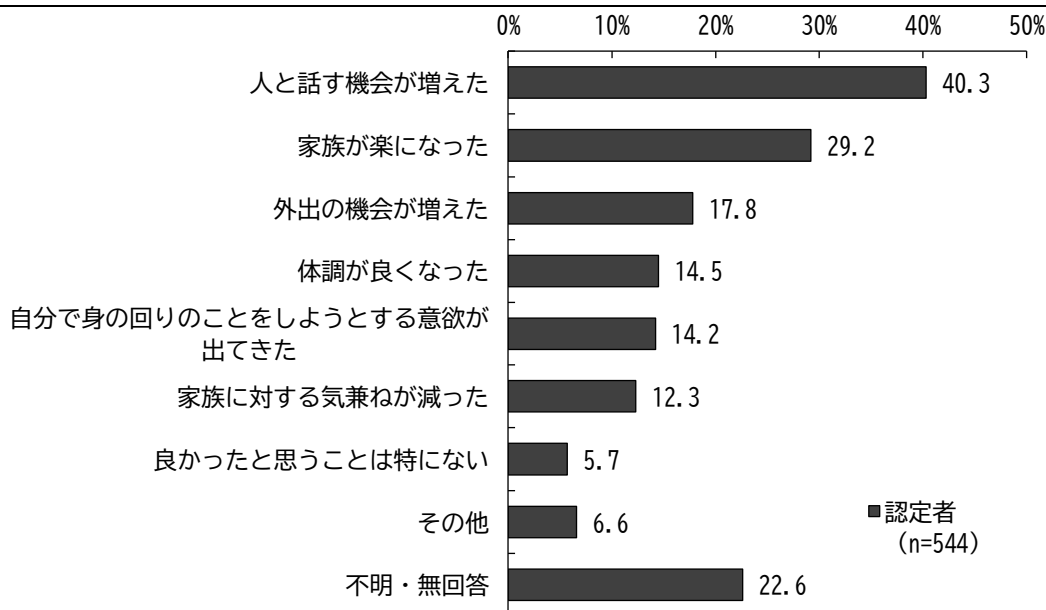
問17 希望どおりのケアプランができていますか。 (単数回答)

「希望どおりのケアプランができている」が44.1%で最も多く、次いで「ほぼ希望する内容に沿ったケアプランができている」が29.0%となっています。



問18 介護サービスを利用して良かったと思うことは何ですか。 (3つまで複数回答)

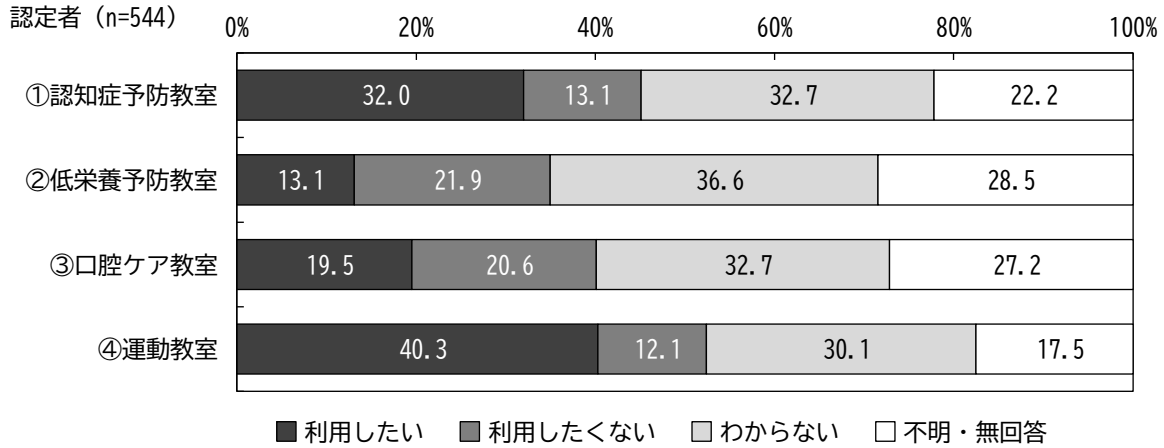
「人と話す機会が増えた」が40.3%で最も多く、次いで「家族が楽になった」が29.2%となっています。



4 今後の介護や福祉の制度のあり方について

問19 ご本人（調査対象者）は、今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用を希望しますか。（単数回答）

運動教室は「利用したい」が4割を超えています。

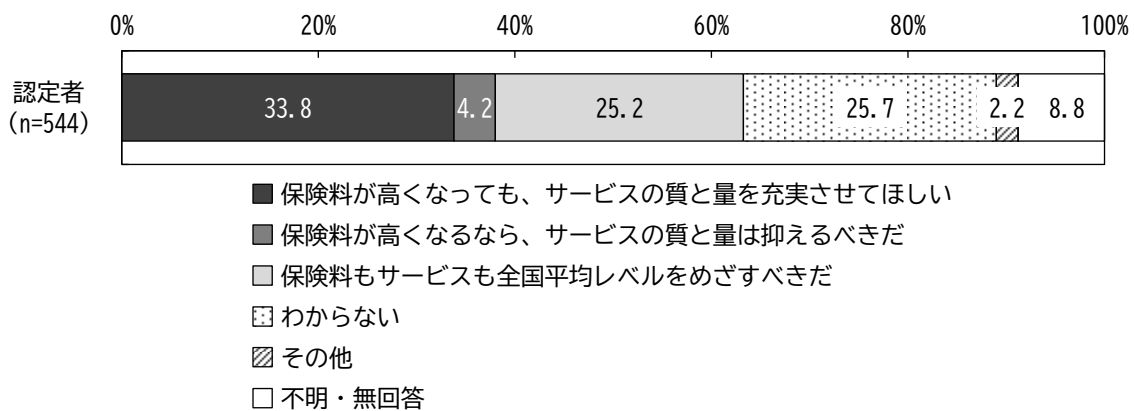


※上記①から④のサービスの内容について、調査票上で下記の説明を示しました。

- ①認知症予防教室：認知症を予防するために行う脳トレーニング
- ②低栄養予防教室：高齢者料理教室など
- ③口腔ケア教室：歯ブラシ、義歯の手入れの指導や食べる力のトレーニング
- ④運動教室：転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室

問20 今後、令和6年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。（単数回答）

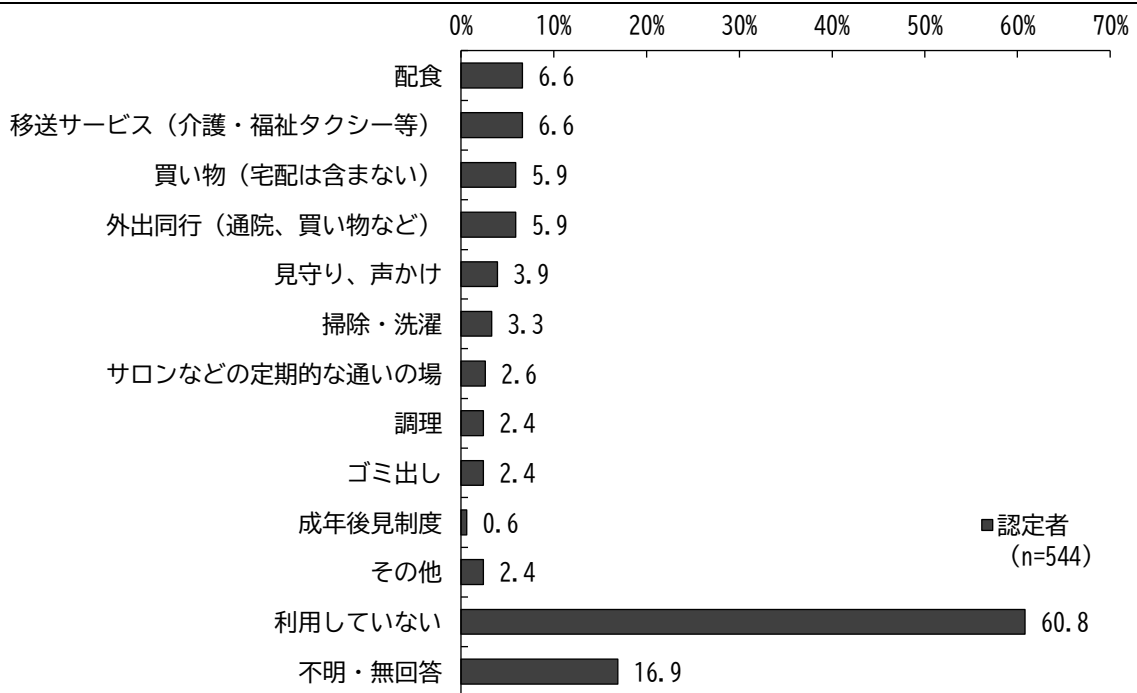
「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が33.8%で最も多く、次いで「わからない」が25.7%、「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が25.2%となっています。



第4章 要介護・要支援認定者調査の結果

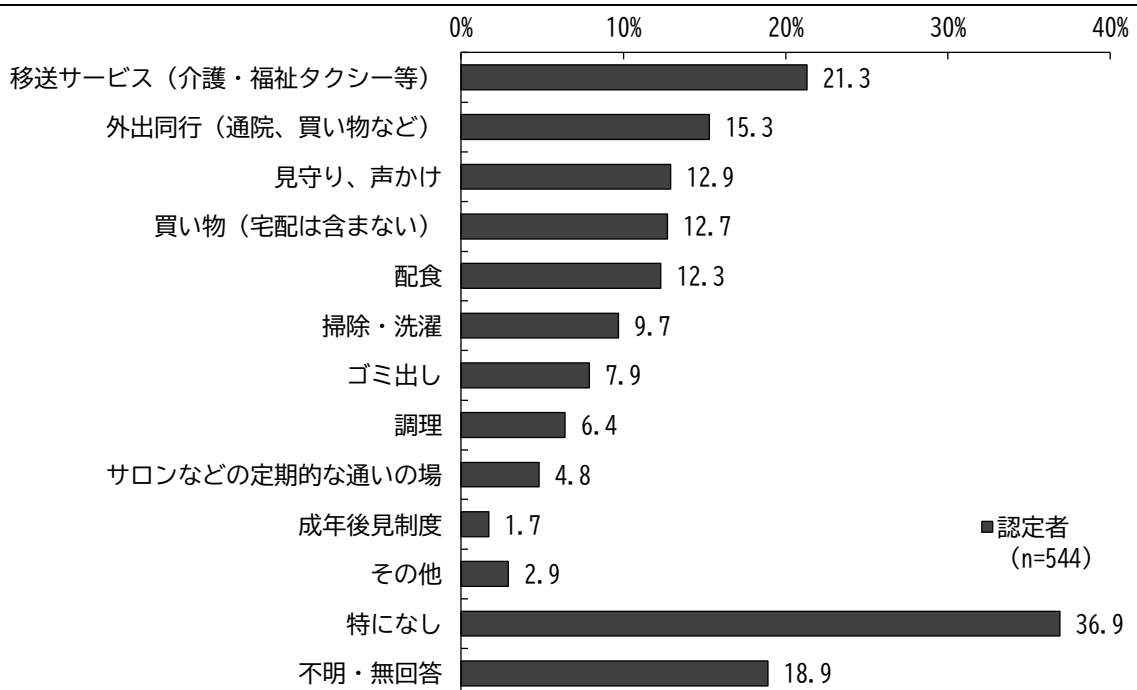
問 21 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはありますか。
(複数回答)

「利用していない」が60.8%となっています。利用している支援・サービスの中では、「配食」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が6.6%で最も多くなっています。



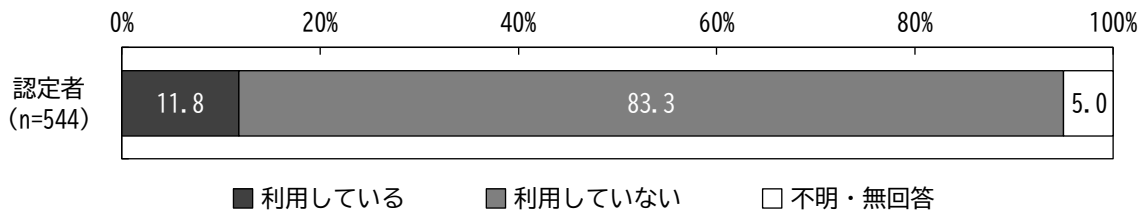
問 22 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）はありますか。
(複数回答)

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.3%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が15.3%となっています。



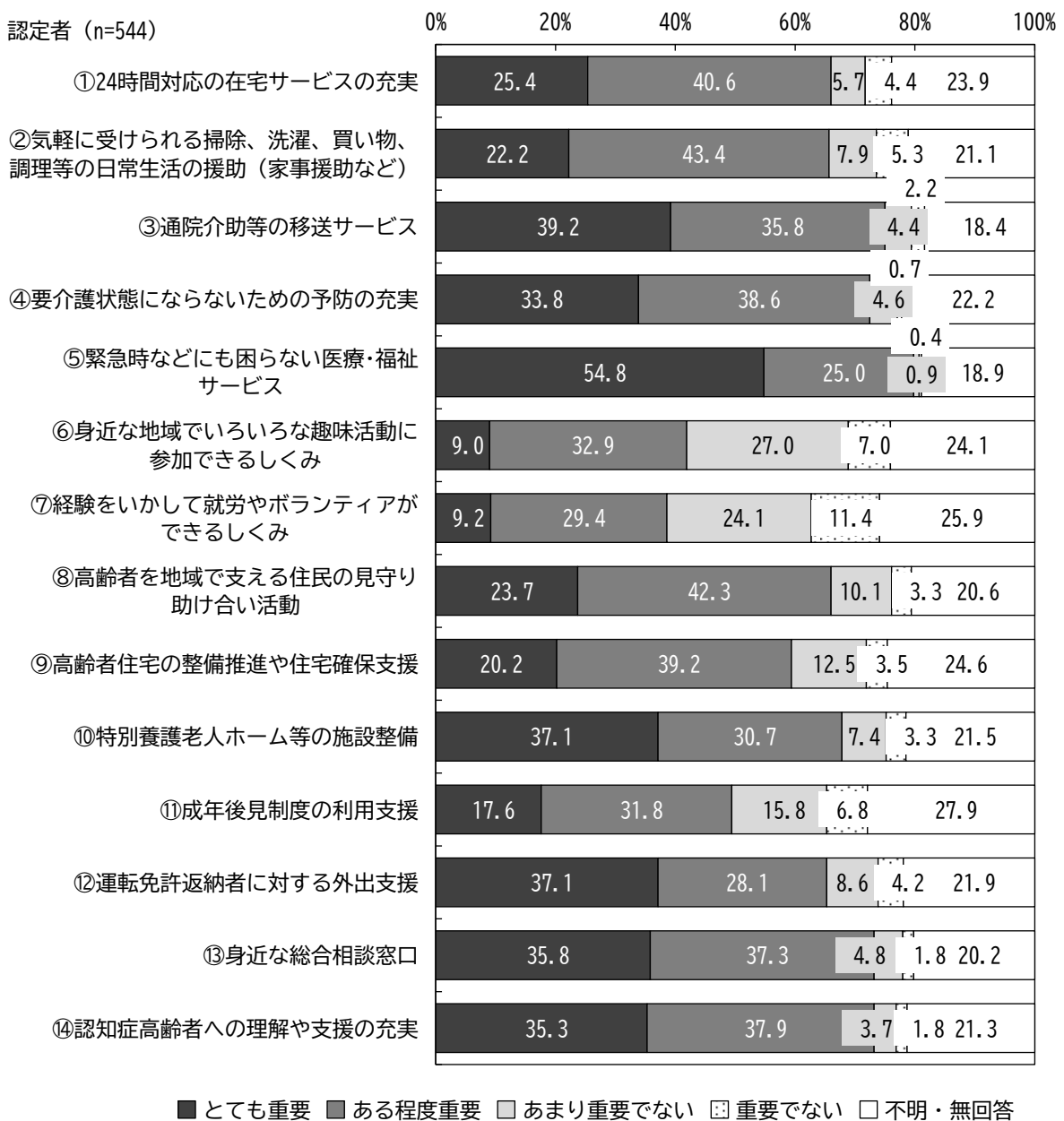
問23 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（単数回答）

「利用している」が11.8%となっています。



問24 以下の高齢者施策は、どの程度重要だと考えますか。（単数回答）

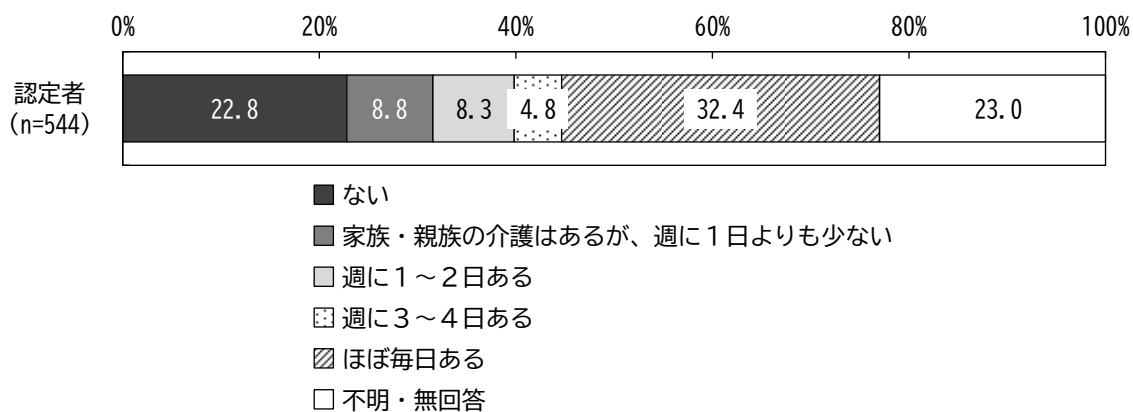
「とても重要」が最も多いのは「⑤緊急時などにも困らない医療・福祉サービス」で54.8%、次いで「③通院介助等の移送サービス」が39.2%となっています。



5 介護の状況について

問 25 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。
（単数回答）

「ほぼ毎日ある」が32.4%で最も多く、家族・親族からの介護があるという回答は、合計で54.3%となっています。

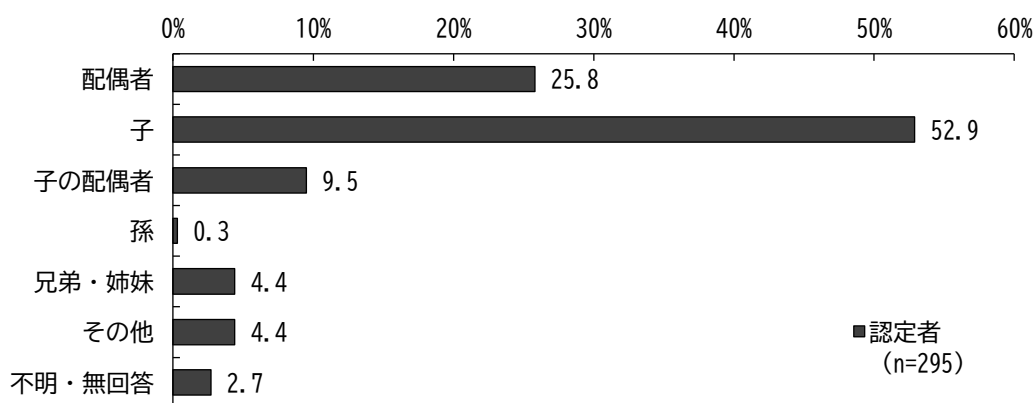


※問 26 以降は、家族・親族からの介護がある人（問 25 で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した人）に限定した設問です。

【以降の問は、主な介護者（ご家族等）がお答えください。難しい場合は、調査対象のご本人にご回答・ご記入をお願いします。】

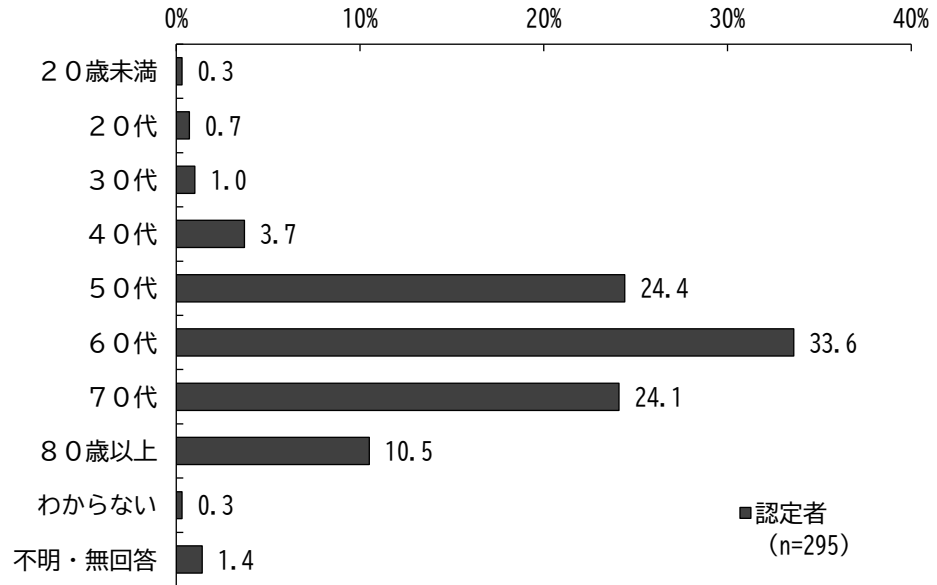
問 26 主な介護者は、どなたですか（あて名のご本人からみた関係でお答えください）。
（単数回答）

「子」が52.9%で最も多く、次いで「配偶者」が25.8%となっています。



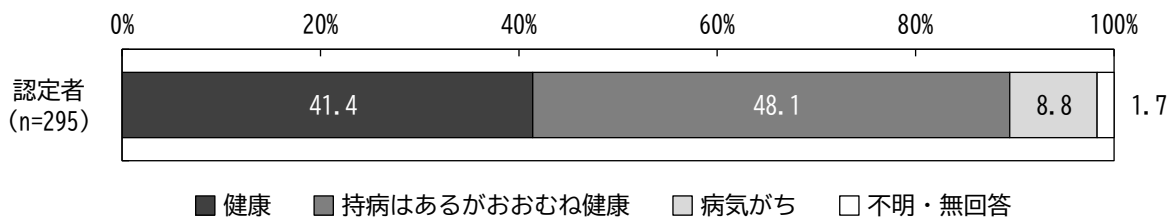
問 27 主な介護者の年齢をお答えください。 (単数回答)

「60代」が33.6%で最も多く、次いで「50代」が24.4%となっています。70代以上は合計で34.6%となっています。



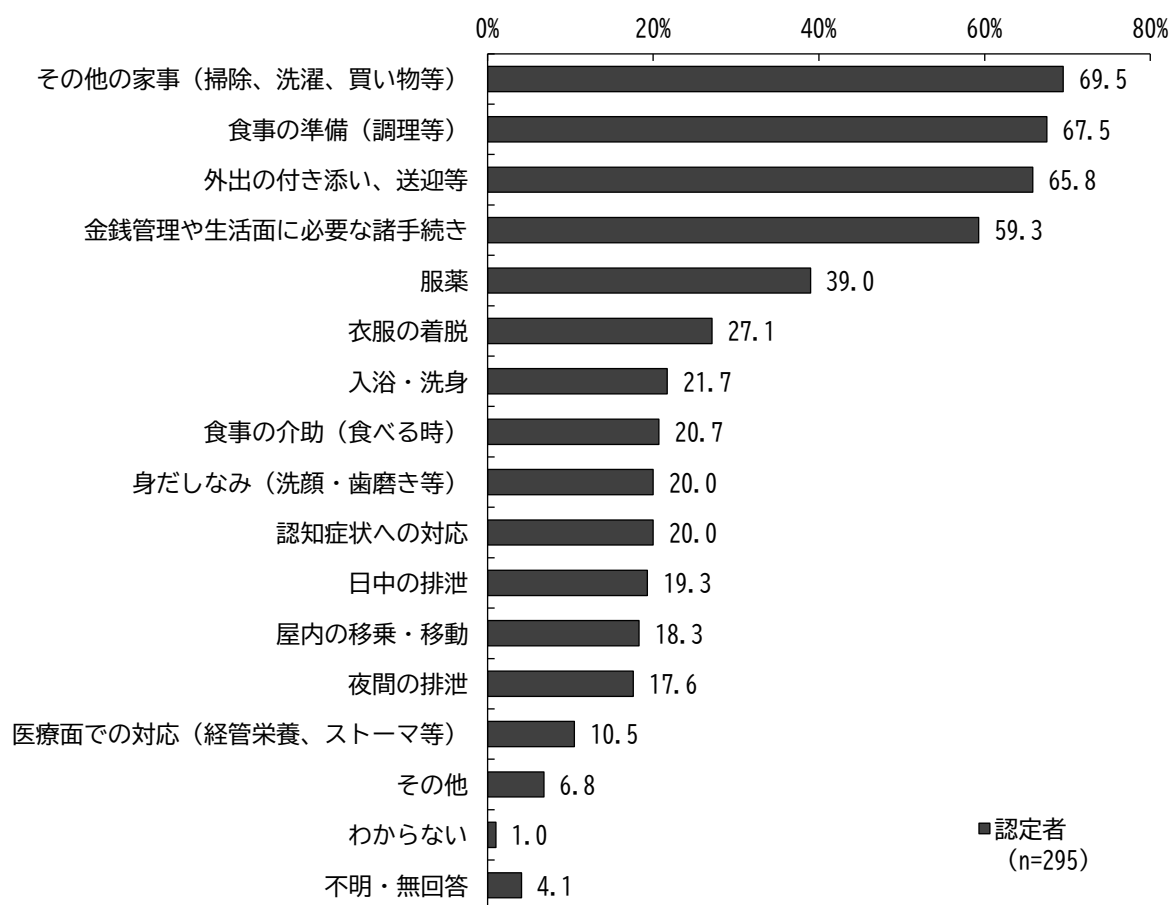
問 28 主な介護者の健康状態はいかがですか。 (単数回答)

「持病はあるがおおむね健康」が48.1%で最も多く、次いで「健康」が41.4%となっています。



問29 現在、主な介護者が行っている介護等は何ですか。 (複数回答)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が69.5%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が67.5%、「外出の付き添い、送迎等」が65.8%となっています。



◆要介護度別にみた主な介護者が行っている介護等

全体的に、要介護度が高いほど、各介護等を行っている割合も高くなる傾向がみられ、特に「日中の排泄」「夜間の排泄」については要介護3以上と要介護2以下とで差が大きくなっています。

単位：%

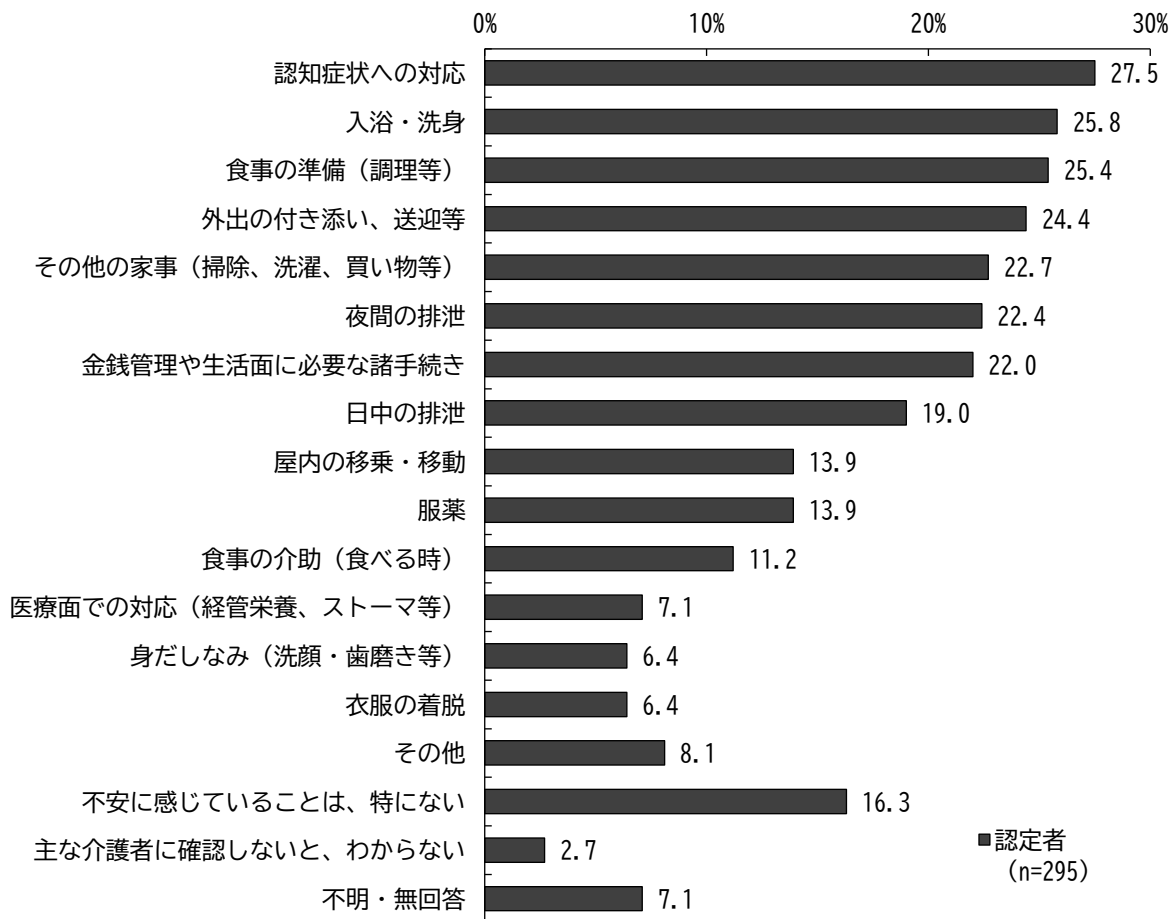
	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要支援1 (n=20)	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	40.0	10.0
要支援2 (n=54)	5.6	5.6	16.7	16.7	3.7	11.1	14.8	63.0	16.7
要介護1 (n=61)	1.6	4.9	14.8	14.8	8.2	16.4	9.8	73.8	39.3
要介護2 (n=59)	11.9	8.5	18.6	23.7	20.3	30.5	13.6	78.0	42.4
要介護3 (n=46)	45.7	37.0	30.4	39.1	43.5	54.3	43.5	71.7	58.7
要介護4・5 (n=26)	65.4	65.4	50.0	23.1	53.8	61.5	34.6	61.5	76.9

	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答
要支援1 (n=20)	20.0	5.0	50.0	65.0	35.0	15.0	0.0	0.0
要支援2 (n=54)	11.1	13.0	59.3	70.4	38.9	3.7	1.9	3.7
要介護1 (n=61)	13.1	6.6	65.6	70.5	68.9	8.2	0.0	1.6
要介護2 (n=59)	28.8	5.1	79.7	67.8	74.6	10.2	0.0	3.4
要介護3 (n=46)	28.3	13.0	80.4	84.8	71.7	0.0	2.2	4.3
要介護4・5 (n=26)	30.8	26.9	73.1	76.9	76.9	15.4	0.0	3.8

第4章 要介護・要支援認定者調査の結果

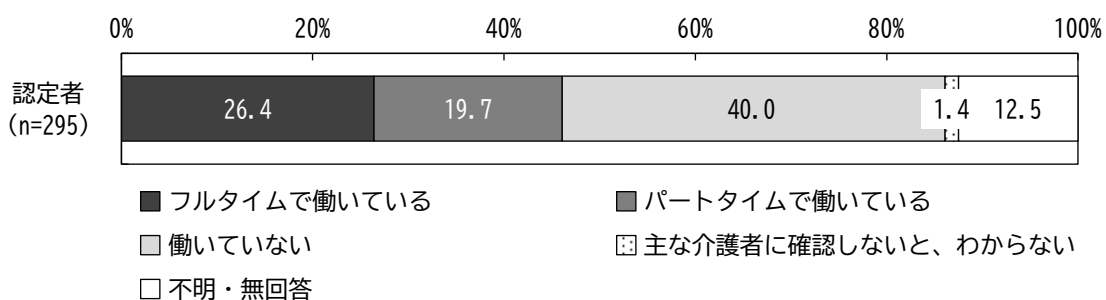
問 30 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は何ですか（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで複数回答）

「認知症状への対応」が 27.5%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が 25.8%、「食事の準備（調理等）」が 25.4%となっています。



問 31 主な介護者の現在の勤務形態は何ですか。（単数回答）

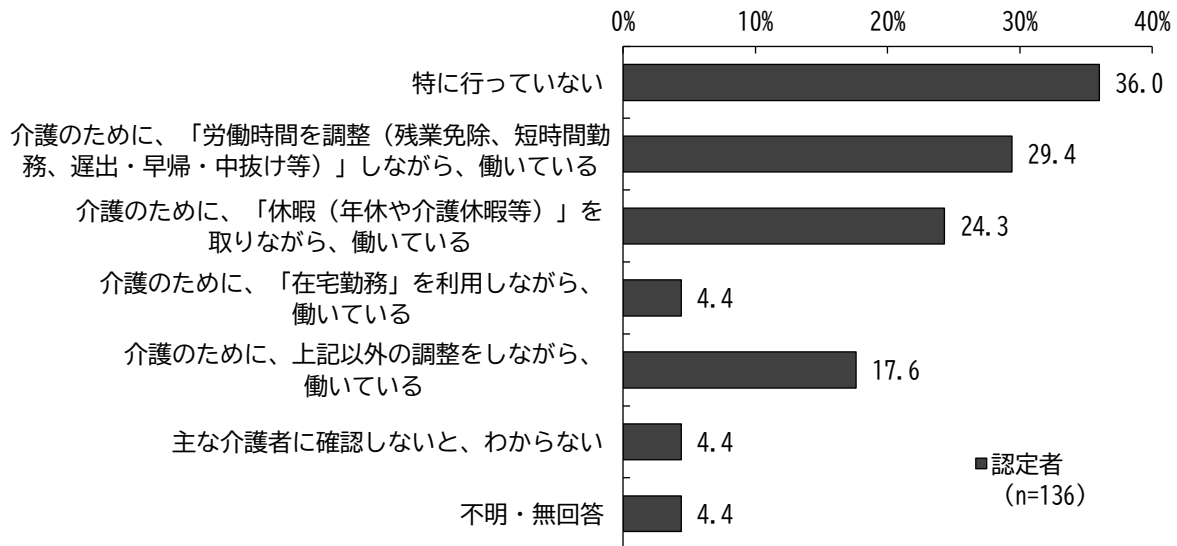
「働いていない」が 40.0%で最も多くなっています。次いで「フルタイムで働いている」が 26.4%であり、「パートタイムで働いている」と合計で 46.1%が働いていると回答しています。



【問31で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と答えた人のみ】

問31-1 主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。 (複数回答)

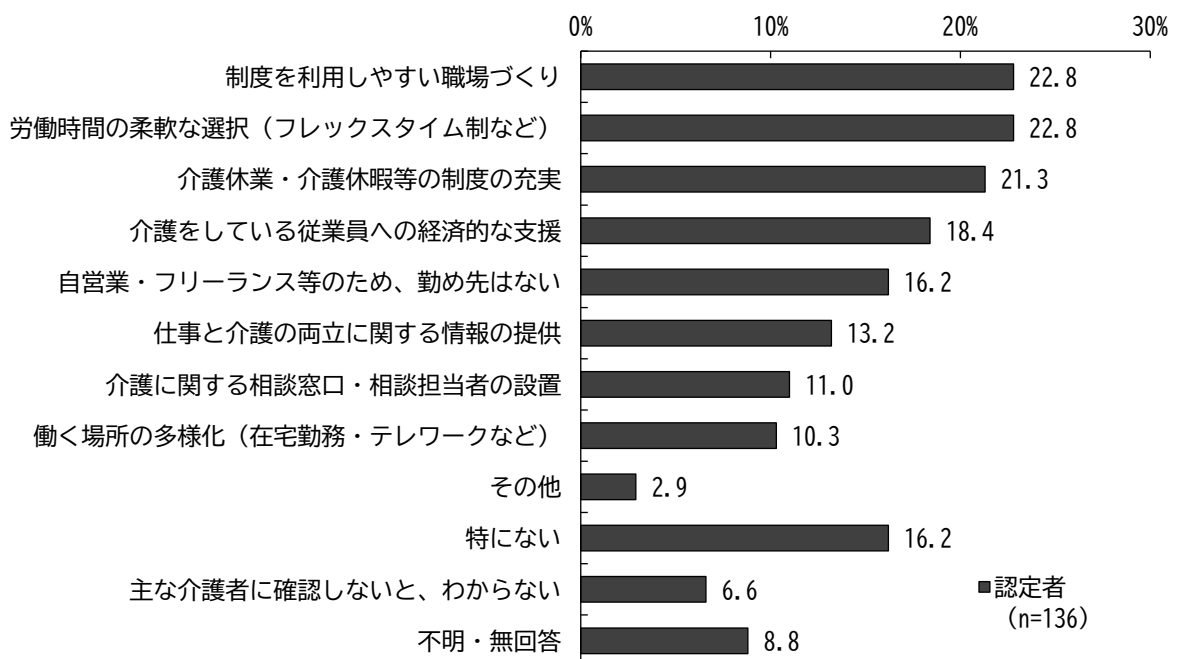
「特に行っていない」が36.0%で最も多くなっています。次いで「介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」が29.4%となっています。



【問31で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と答えた人のみ】

問31-2 主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。 (3つまで複数回答)

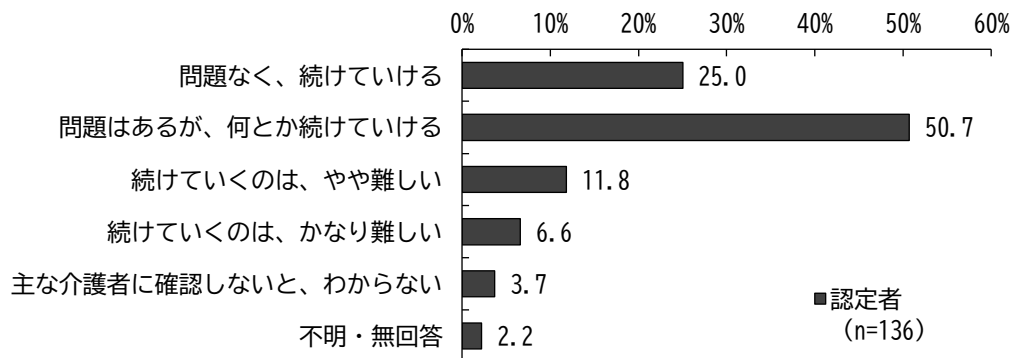
「制度を利用しやすい職場づくり」と「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が22.8%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が21.3%となっています。



【問31で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と答えた人のみ】

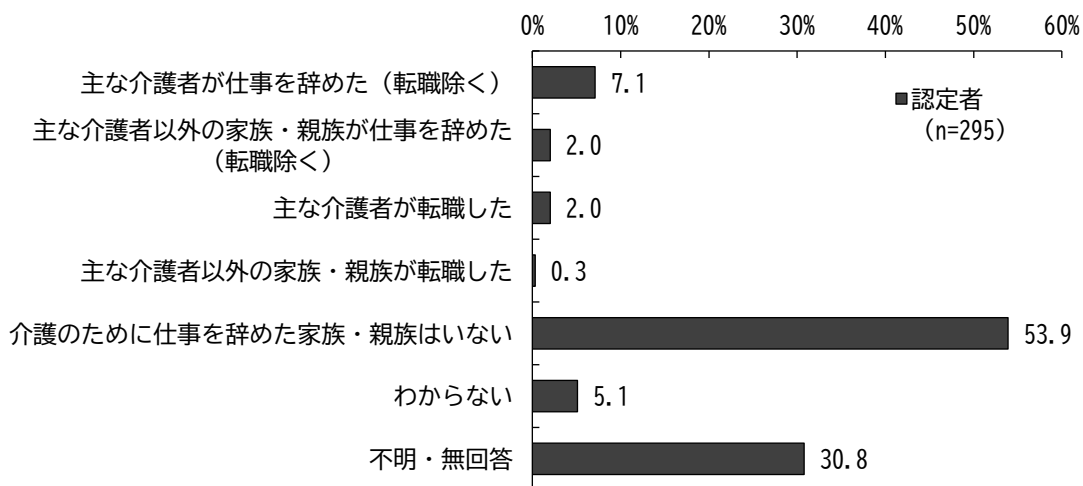
問31-3 主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(単数回答)

「問題はあるが、何とか続けていける」が50.7%で最も多く、「問題なく、続けていける」と合計すると、75.7%が働きながら介護を続けていけると回答しています。一方で、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」という回答は、合計で18.4%となっています。



問32 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。
(複数回答)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が53.9%で最も多くなっています。



第5章 介護サービス提供事業所調査の結果

1 事業所の基本的なことについて

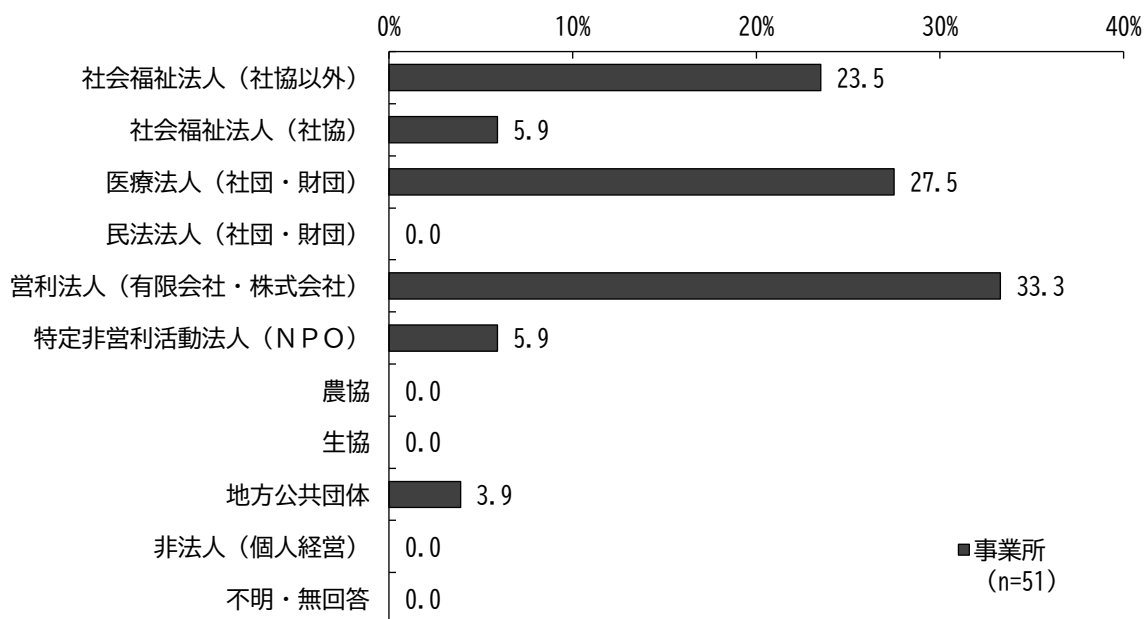
問1 令和5年1月1日現在の貴事業所についてお答えください。

※①～⑥は事業所の名称・所在地等の個別情報であるため省略

⑦法人種別

(単数回答)

「営利法人(有限会社・株式会社)」が33.3%で最も多く、次いで「医療法人(社団・財団)」が27.5%、「社会福祉法人(社協以外)」が23.5%となっています。

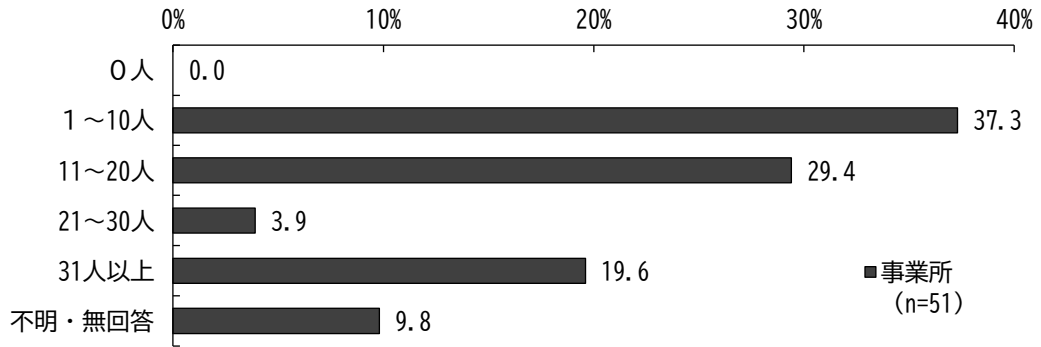


⑧従事者の人数

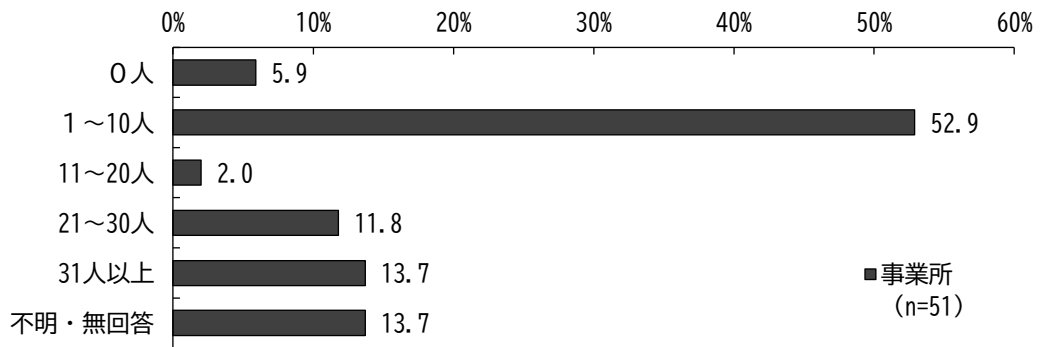
(数量回答)

従業者の人数については、市内在住者、市外在住者ともに「1～10人」が最も多くなっています。合計の人数では「11～20人」が33.3%で最も多く、次いで「31人以上」が29.4%となっています。

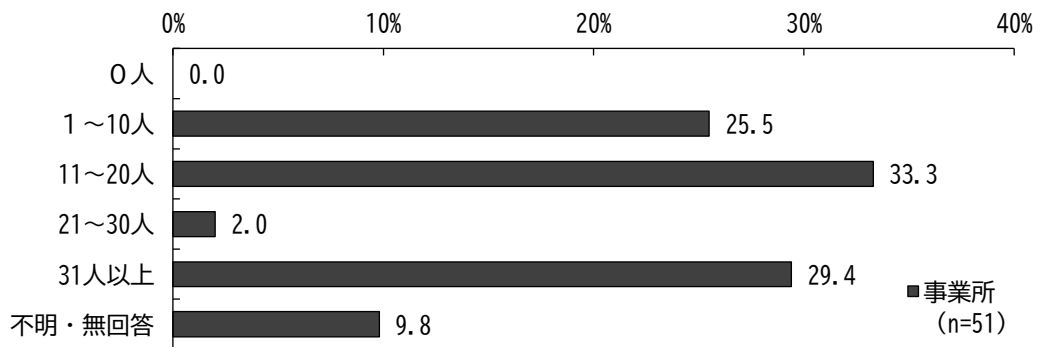
◇市内在住者



◇市外在住者



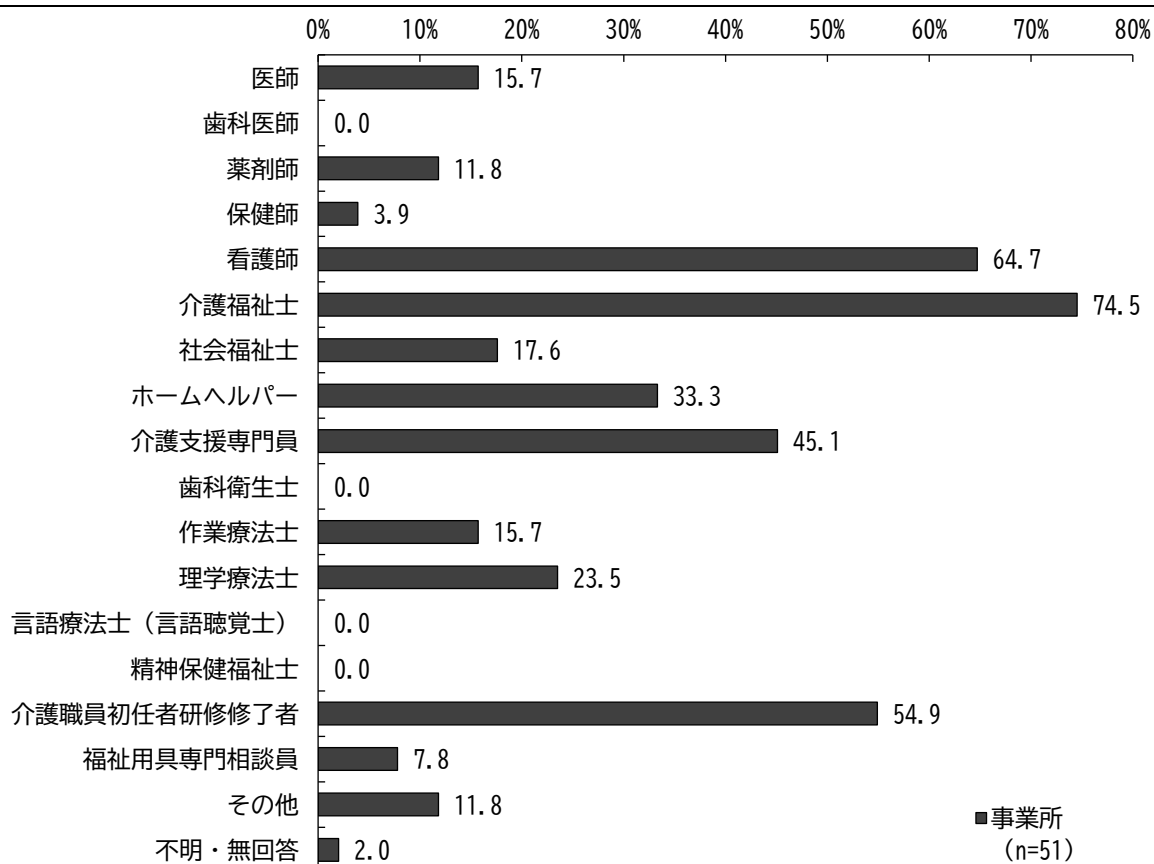
◇合計



第5章 介護サービス提供事業所調査の結果

問2 貴事業所において、どのような資格者が従事していますか。 (複数回答)

「介護福祉士」が74.5%で最も多く、次いで「看護師」が64.7%、「介護職員初任者研修修了者」が54.9%となっています。



※本設問の結果として示している割合は、「人数でみた各資格者の多さ」ではなく、「各資格者が従事している事業所の多さ」を表します。例として「介護福祉士」の場合、本設問で集計対象とした事業所の74.5%で介護福祉士が従事していることとなります。

2 実施している事業について

問3 貴事業所が実施している介護保険事業（サービス）の状況や今後の意向を、それぞれの項目についてお答えください。（単数回答）

今後の意向について、いずれの事業においても「拡大予定」「縮小・撤退予定」との回答はなく、「新規予定（検討中）」は「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」で1件のみでした。

単位：件

事業所 (n=51)	実施中	現状維持	拡大予定	縮小・ 撤退予定	新規予定 (検討中)
1 訪問介護	13	8	0	0	0
2 訪問入浴介護	0	0	0	0	0
3 訪問看護	6	5	0	0	0
4 訪問リハビリテーション	3	3	0	0	0
5 居宅療養管理指導	1	1	0	0	0
6 通所介護	12	6	0	0	0
7 通所リハビリテーション	6	6	0	0	0
8 短期入所生活介護	9	3	0	0	0
9 短期入所療養介護	5	4	0	0	0
10 特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
11 福祉用具貸与	3	0	0	0	0
12 特定福祉用具販売	3	0	0	0	0
13 住宅改修	3	0	0	0	0
14 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0	0	1
16 認知症対応型通所介護	3	3	0	0	0
17 小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	0
18 認知症対応型共同生活介護	5	2	0	0	0
19 看護小規模多機能型居宅介護	1	1	0	0	0
20 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0
21 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	0	0	0	0
22 地域密着型通所介護	4	2	0	0	0
23 居宅介護支援（介護予防支援）	10	6	0	0	0
24 介護老人福祉施設	10	4	0	0	0
25 介護老人保健施設	2	2	0	0	0
26 介護医療院	1	0	0	0	0
27 介護療養型医療施設	3	0		0	

第5章 介護サービス提供事業所調査の結果

【介護療養型医療施設を運営している、またはしていた事業所のみ】

問4 施設について、他種の事業に転換等しましたか。また、今後転換する予定はありますか。
(単数回答)

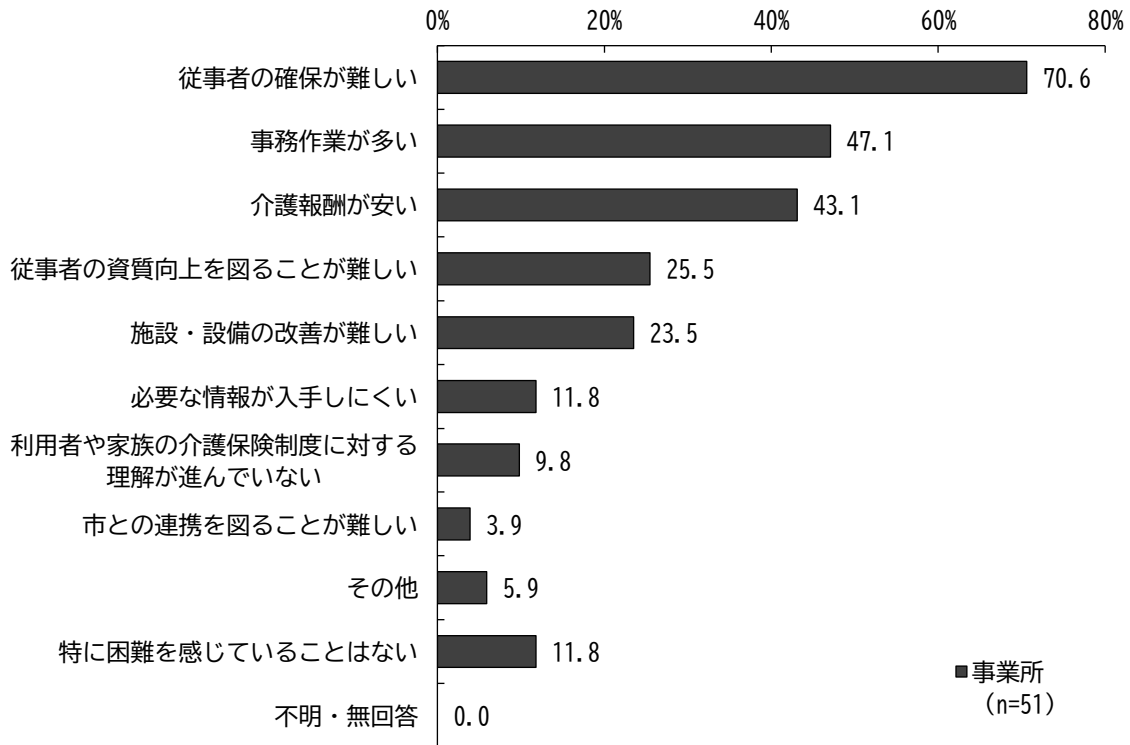
「介護医療院へ転換」が1件、「未定・検討中」が3件となっています。問3で介護療養型医療施設について「実施中」とした事業所は、いずれも「未定・検討中」と回答しています。

項目	件数
医療療養病床へ転換	0
医療内包型施設へ転換	0
医療外付型施設へ転換	0
介護療養型老人保健施設へ転換	0
介護老人保健施設（従来型）へ転換	0
一般病棟へ転換	0
介護老人福祉施設へ転換	0
介護医療院へ転換	1
その他の施設へ転換	0
廃止する、または廃止した	0
未定・検討中	3

3 事業運営について

問5 貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、問題点はどのようなことですか。
(複数回答)

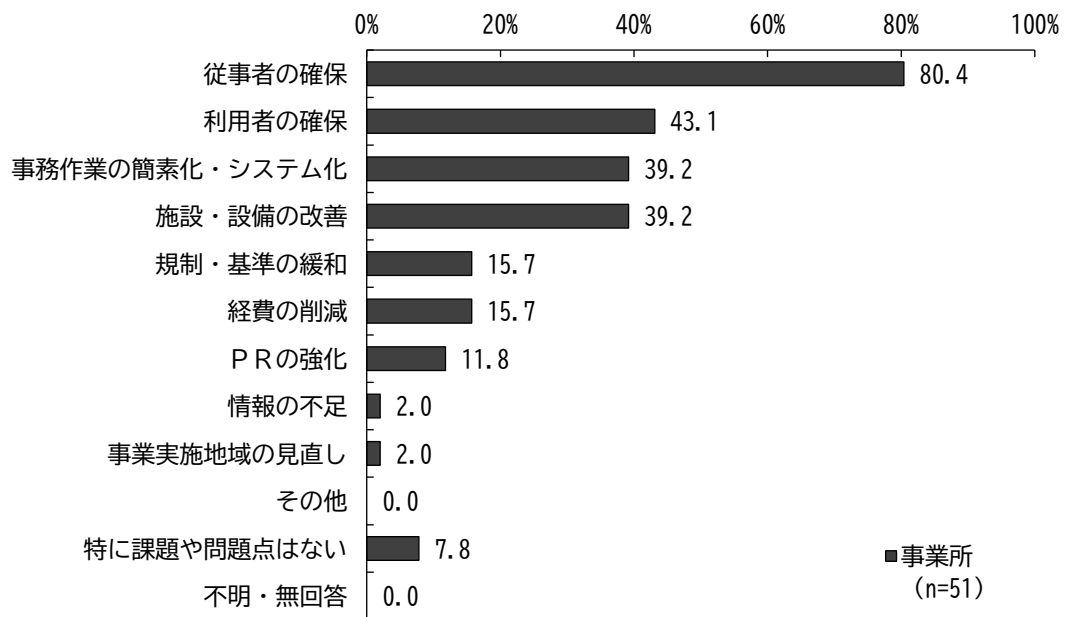
「従事者の確保が難しい」が70.6%で最も多く、次いで「事務作業が多い」が47.1%、「介護報酬が安い」が43.1%となっています。



第5章 介護サービス提供事業所調査の結果

問6 貴事業所が事業の拡大を考える場合の課題や問題点はどのようなことですか。
(複数回答)

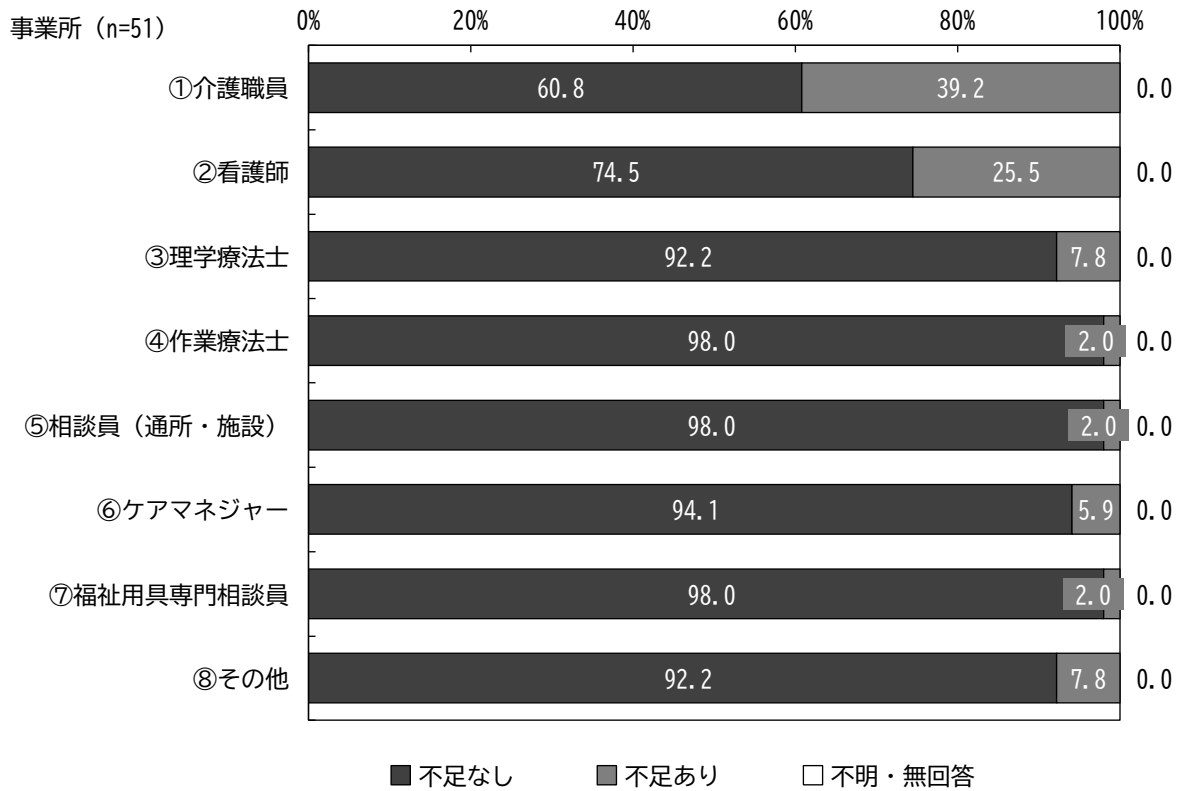
「従業員の確保」が80.4%で最も多く、次いで「利用者の確保」が43.1%となっています。



問7 貴事業所において、下記の職種の人材不足がある場合、その不足数を記入してください。また、現在特に人材確保に苦慮している職種について、上位3つまで番号に○をつけてください。

①不足の有無 (単数回答)

「不足あり」(不足数の記入あり)が最も多いのは「介護職員」の39.2%、次いで「看護師」の25.5%となっています。



②不足数 (数量回答)

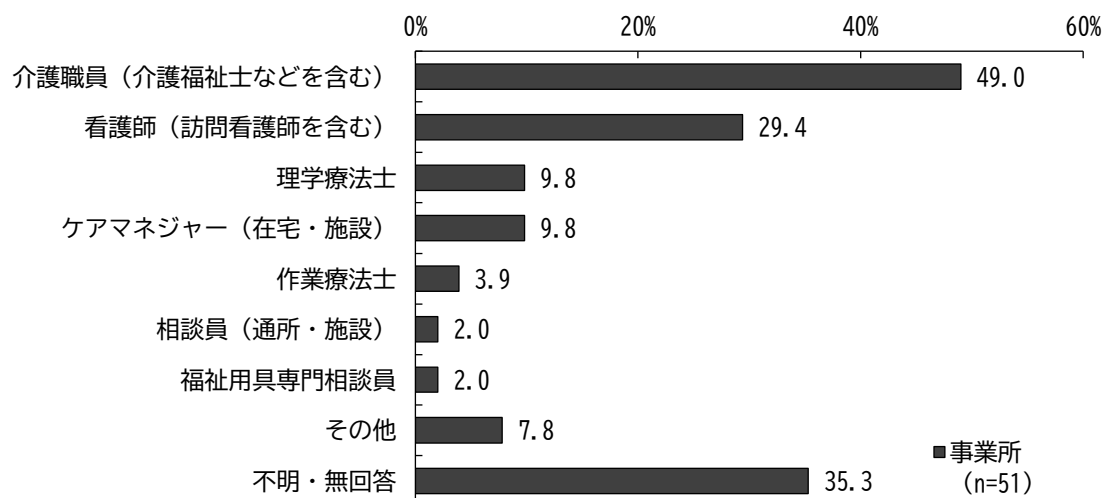
不足数が最も多いのは「介護職員」、次いで「看護師」となっています。

項目	不足数の合計 (人)
介護職員 (介護福祉士などを含む)	78
看護師 (訪問看護師を含む)	33
理学療法士	13
作業療法士	1
相談員 (通所・施設)	2
ケアマネジャー (在宅・施設)	5
福祉用具専門相談員	2
その他	6

③特に人材確保に苦慮している職種

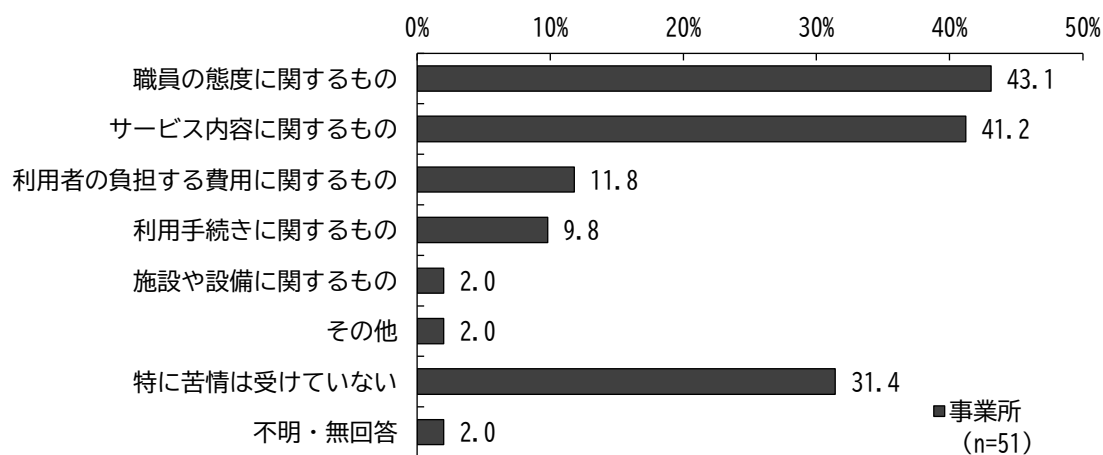
(3つまで複数回答)

特に人材確保に苦慮している職種については、「介護職員（介護福祉士などを含む）」が49.0%で最も多く、次いで「看護師（訪問看護師を含む）」が29.4%となっています。



問8 これまで、利用者や家族から苦情を受けたことはありますか。また、どのような苦情でしたか。(複数回答)

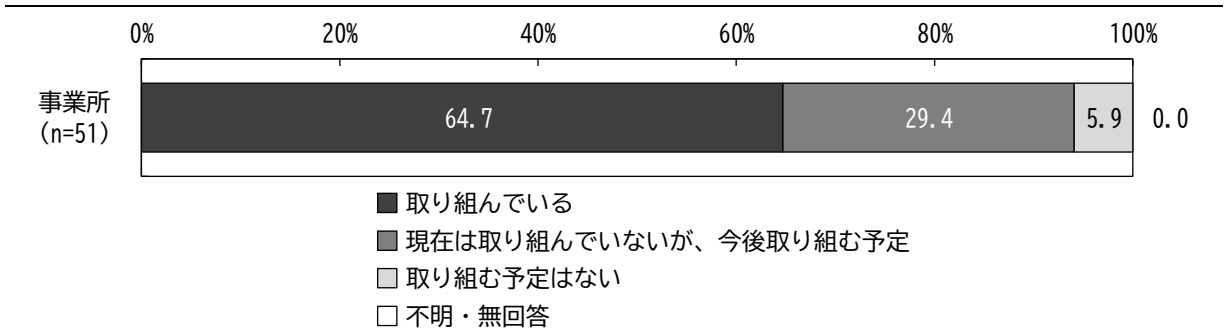
「職員の態度に関するもの」が43.1%で最も多く、次いで「サービス内容に関するもの」が41.2%となっています。



問9 貴事業所は、サービスの質の確保や向上に関して、どのようにお考えですか。

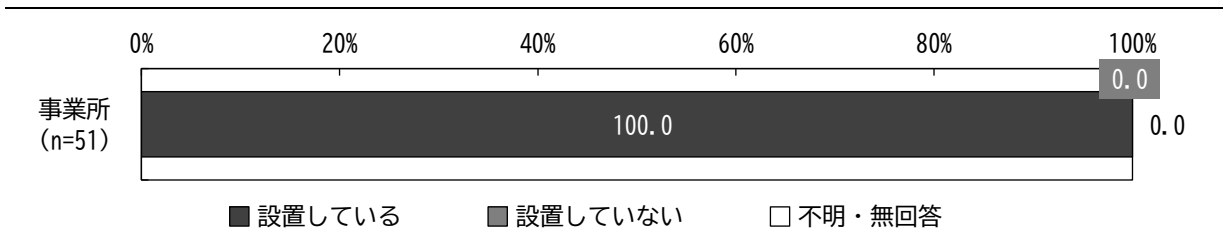
①利用者の満足度の把握や利用者からのサービスの質の評価に取り組んでいますか。
(単数回答)

「取り組んでいる」が64.7%となっています。



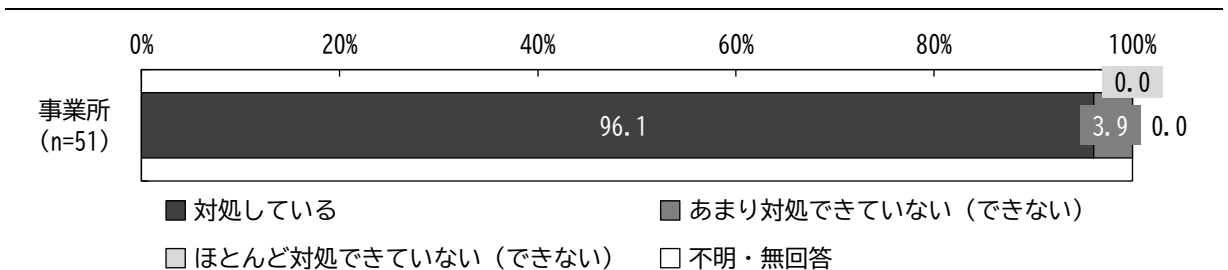
②サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を設置していますか。
(単数回答)

全ての事業所が「設置している」と回答しています。



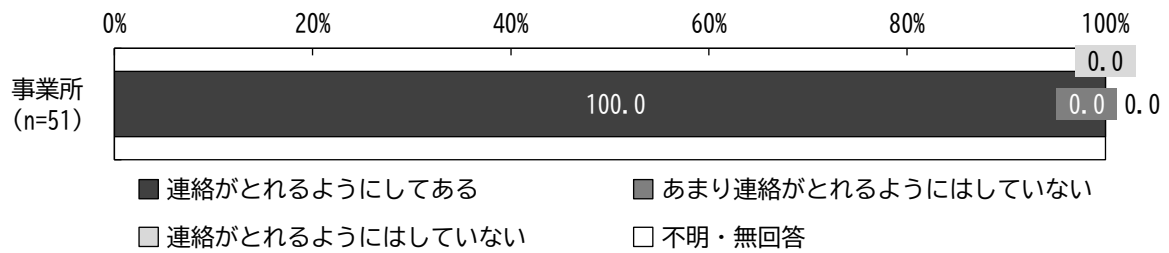
③サービスに関する利用者や家族の不満や要望について、十分な対処を行っていますか。
(単数回答)

「対処している」が96.1%となっています。



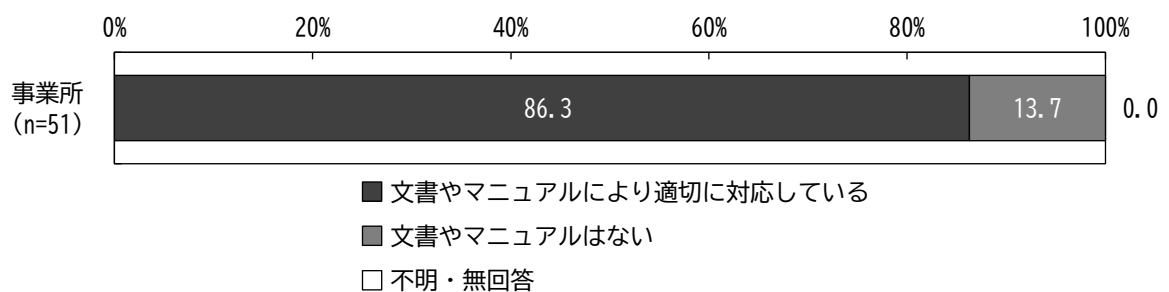
④利用者の事故など緊急の場合に家族などに連絡がとれる体制になっていますか。
(単数回答)

全ての事業所が「連絡がとれるようにしてある」と回答しています。



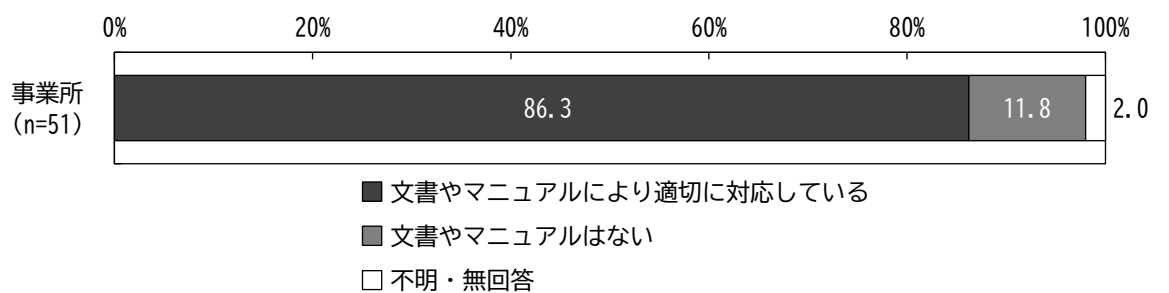
⑤事業所運営にあたり、苦情に対する手続きや事故対応などについて、文書やマニュアルなどで明確にし、適切に対応していますか。
(単数回答)

「文書やマニュアルにより適切に対応している」が86.3%となっています。



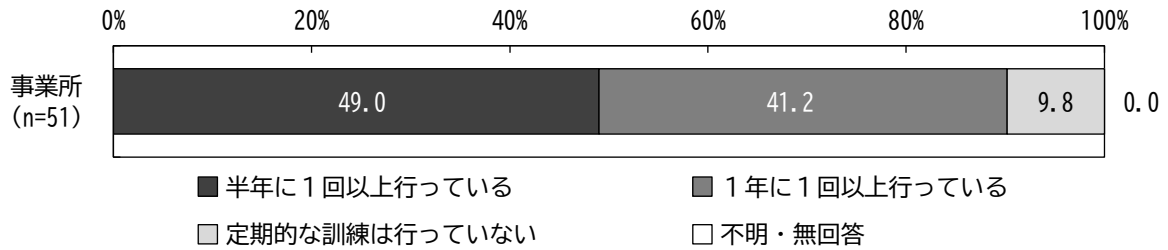
⑥災害発生時の対応方法について、文書やマニュアルなどで明確にし、適切に対応していますか。
(単数回答)

「文書やマニュアルにより適切に対応している」が86.3%となっています。



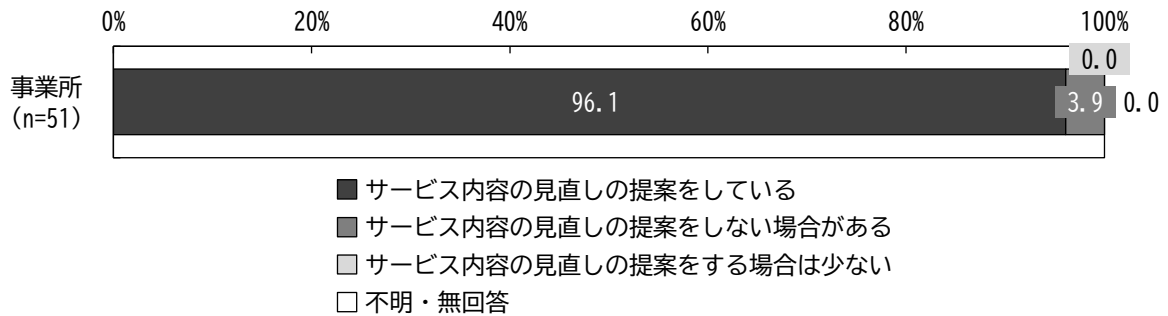
⑦定期的な訓練（避難訓練等）を行っていますか。 (単数回答)

「半年に1回以上行っている」が49.0%、「1年に1回以上行っている」が41.2%となっています。



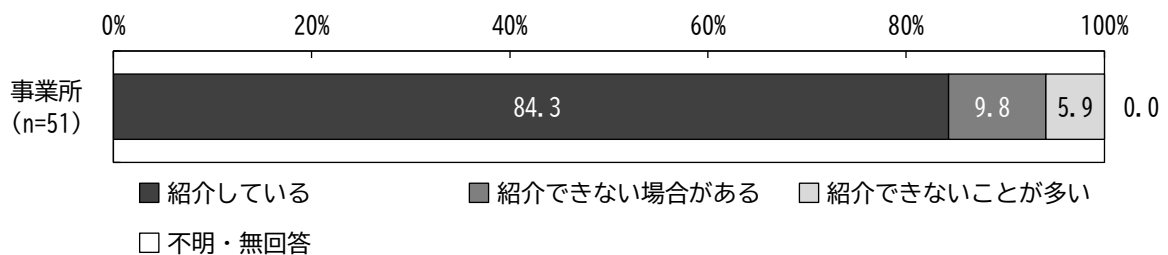
⑧サービスが提供された後に、(利用者の状況変化に応じて)サービス内容の見直しについて、利用者や家族に何らかの提案（ケアマネジャーへの相談を含みます）を行いますか。 (単数回答)

「サービス内容の見直しの提案をしている」が96.1%となっています。



⑨利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業所が提供しうる以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業所を紹介していますか。 (単数回答)

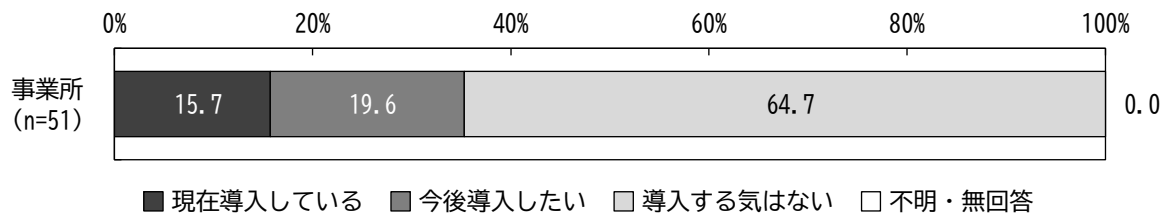
「紹介している」が84.3%となっています。



第5章 介護サービス提供事業所調査の結果

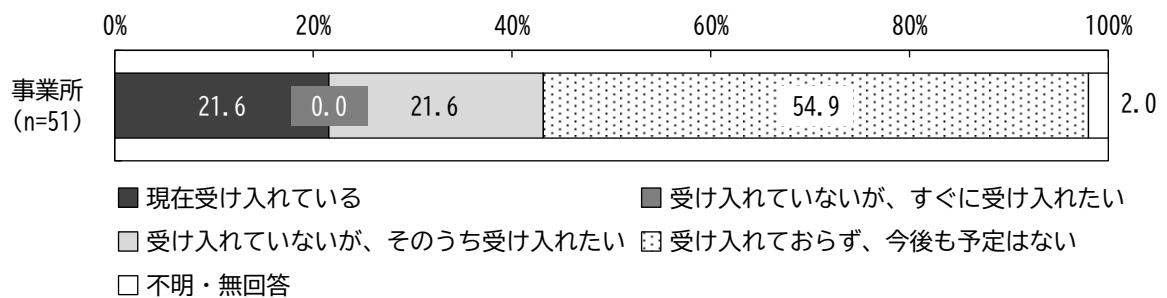
⑩介護負担の軽減に向けた、「介護ロボット」の導入についてどうお考えですか。
(単数回答)

「現在導入している」が15.7%、「今後導入したい」が19.6%となっています。



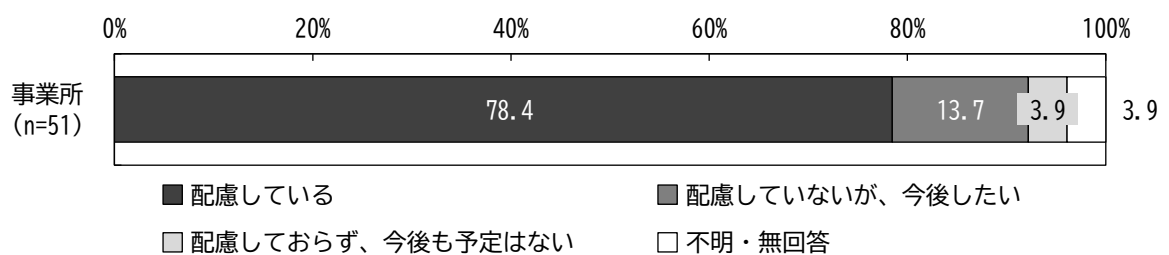
⑪外国人介護人材の受け入れについてどうお考えですか。
(単数回答)

「現在受け入れている」と「受け入れていないが、そのうち受け入れたい」が21.6%となっています。



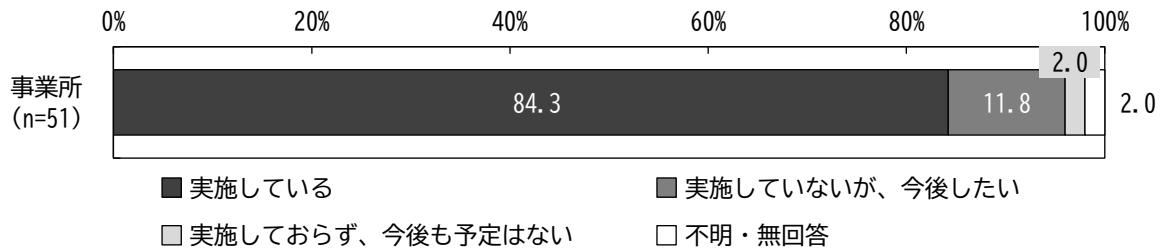
⑫介護従事者の資格取得時の費用補助や勤務時間の配慮をしていますか。
(単数回答)

「配慮している」が78.4%、「配慮していないが、今後したい」が13.7%となっています。



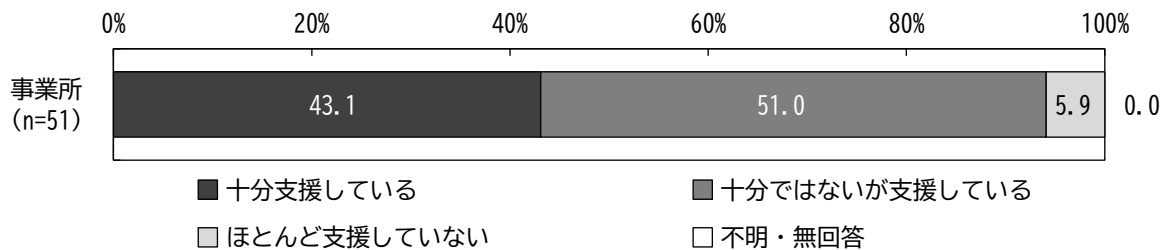
⑬介護従事者の質の向上のための研修を実施していますか。 (単数回答)

「実施している」が84.3%、「実施していないが、今後したい」が11.8%となっています。



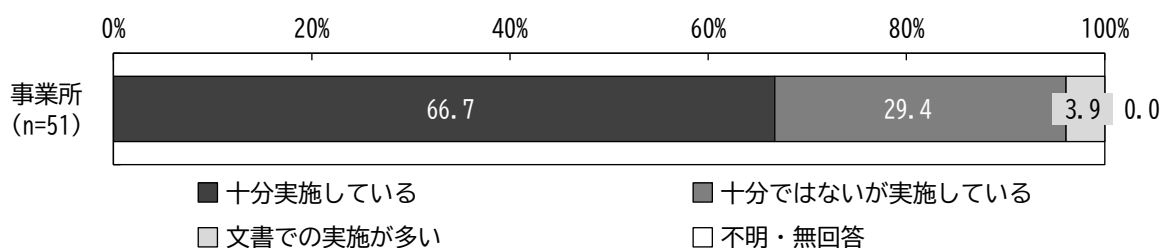
⑭外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるように支援していますか。 (単数回答)

「十分支援している」が43.1%、「十分ではないが支援している」が51.0%となっています。



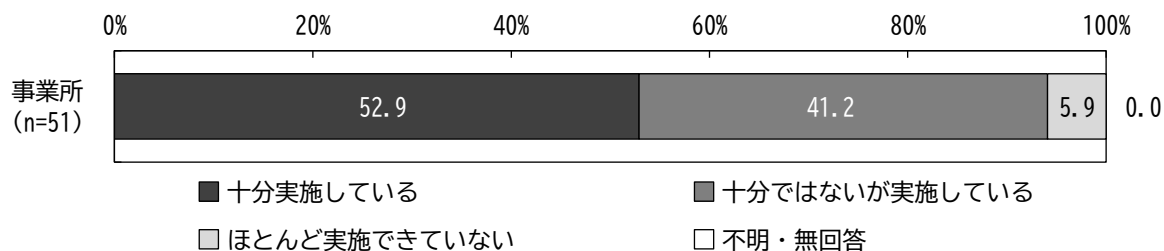
⑮「サービス担当者会議」について、十分実施できていますか。 (単数回答)

「十分実施している」が66.7%、「十分ではないが実施している」が29.4%となっています。



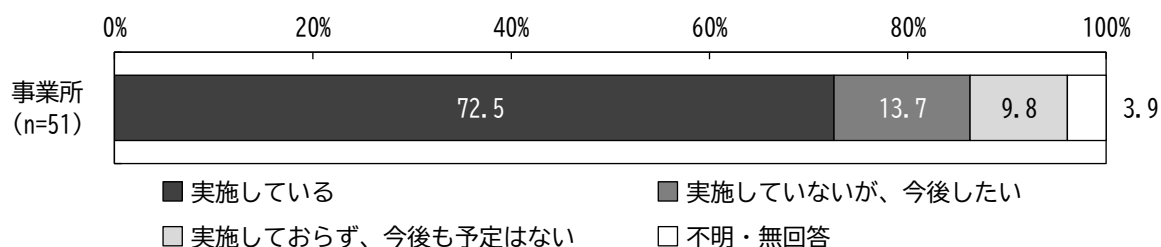
⑩事業所内での講習会・研修について、十分実施できていますか。 (単数回答)

「十分実施している」が52.9%、「十分ではないが実施している」が41.2%となっています。



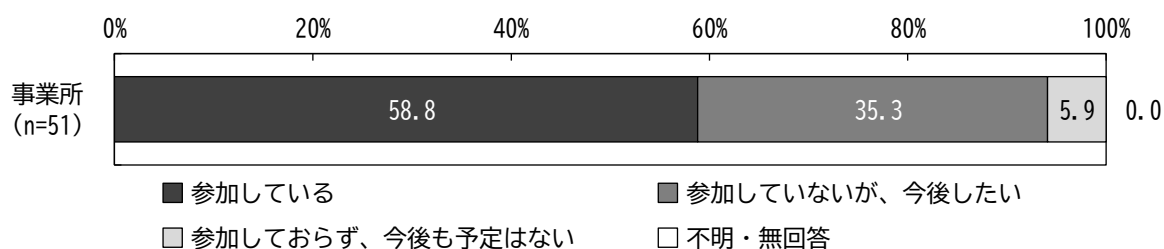
⑪介護従事者の処遇改善を行っていますか。 (単数回答)

「実施している」が72.5%、「実施していないが、今後したい」が13.7%となっています。



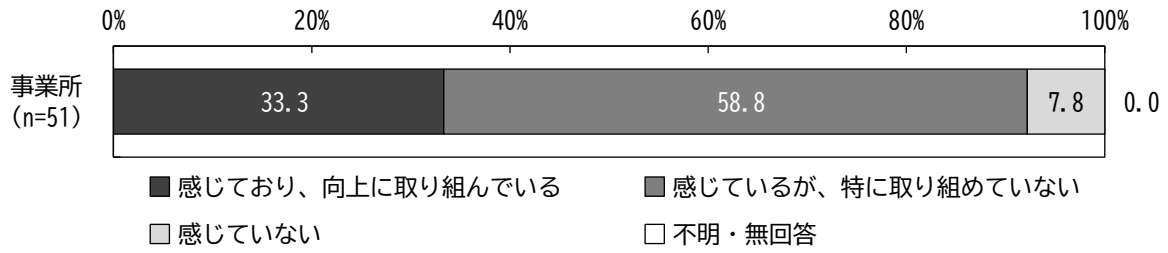
⑫地域ケア会議に参加していますか。 (単数回答)

「参加している」が58.8%、「参加していないが、今後したい」が35.3%となっています。



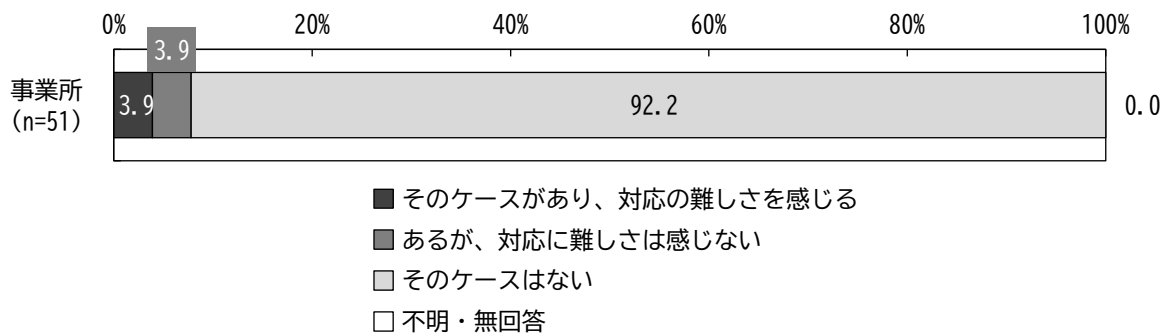
⑱職員のICTスキル向上の必要性を感じますか。 (単数回答)

「感じており、向上に取り組んでいる」が33.3%、「感じているが、特に取り組めていない」が58.8%となっています。



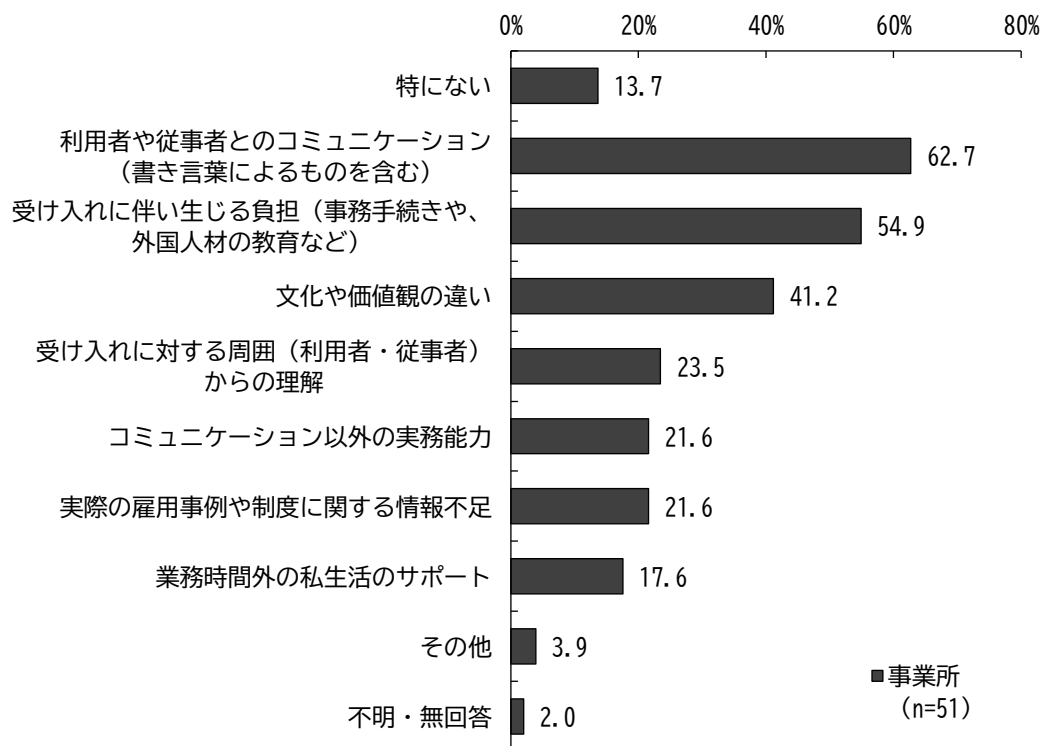
⑳利用者の家族にヤングケアラー（18歳未満）がいるケースはありますか (単数回答)

「そのケースがあり、対応の難しさを感じる」と「あるが、対応に難しさは感じない」がいずれも3.9%となっており、合計で7.8%が、ヤングケアラーのいるケースがあると回答しています。



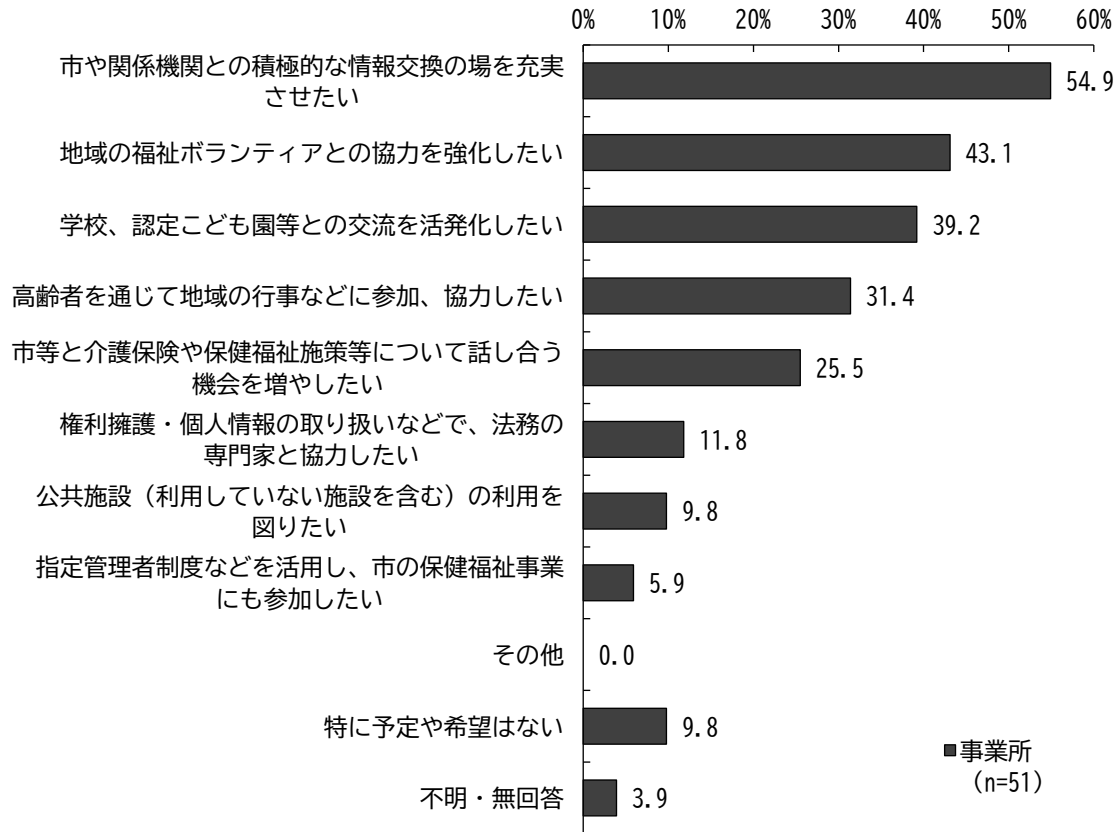
問 10 貴事業所において外国人介護人材を受け入れる上での懸念点、問題点はどのようなことですか。 (複数回答)

「利用者や従事者とのコミュニケーション(書き言葉によるものを含む)」が62.7%で最も多く、次いで「受け入れに伴い生じる負担(事務手続きや、外国人材の教育など)」が54.9%となっています。



問11 貴事業所において、今後、市や住民等とどのような関係をつくっていきたいと思いますか。
(複数回答)

「市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい」が54.9%で最も多く、次いで「地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい」が43.1%、「学校、認定子ども園等との交流を活発化したい」が39.2%となっています。



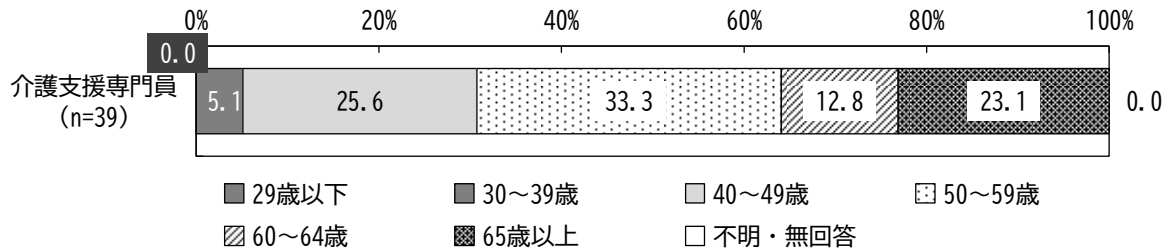
第5章 介護サービス提供事業所調査の結果

第6章 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の結果

1 年齢や業務状況等について

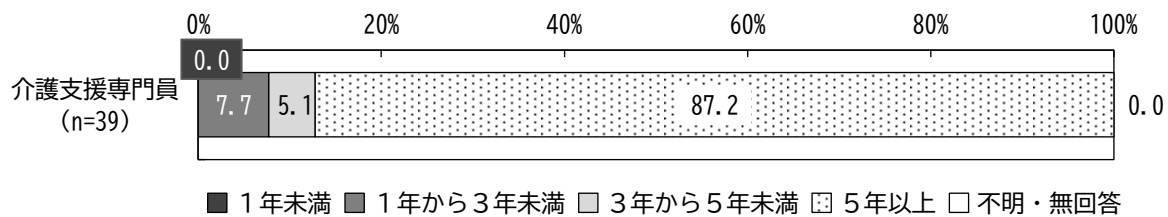
問1 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。 (単数回答)

「50～59歳」が33.3%で最も多く、次いで「40～49歳」が25.6%となっています。また、「60～64歳」と「65歳以上」を合計すると、60歳以上が35.9%となっています。



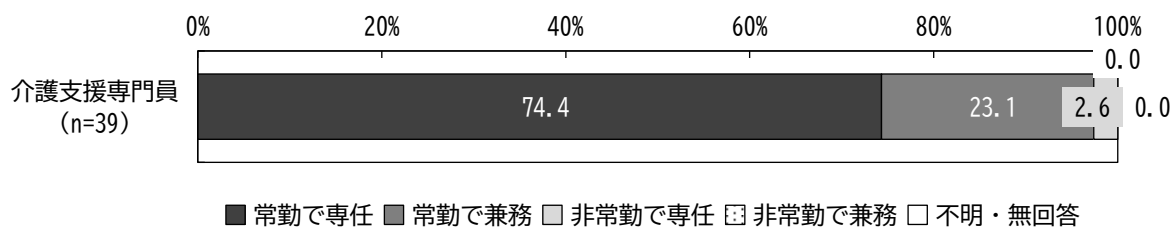
問2 介護保険のケアプランを立てる等の経験はどれくらいですか。 (単数回答)

「5年以上」が87.2%となっており、5年未満の方は合計して12.8%となっています。



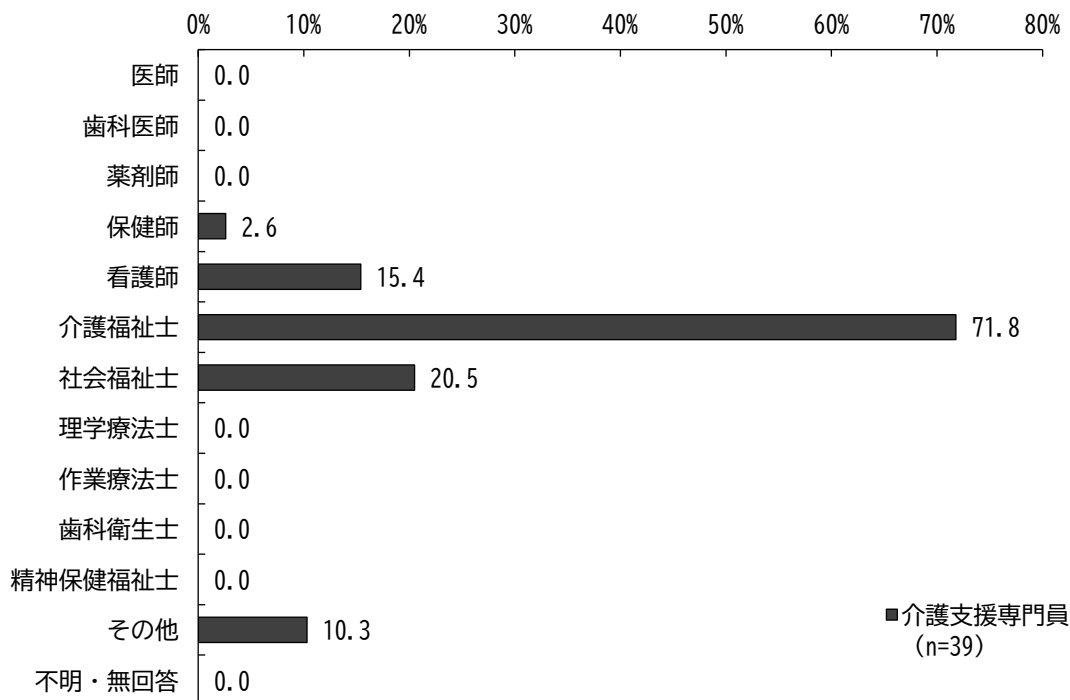
問3 業務形態は次のどれにあたりますか。 (単数回答)

「常勤で専任」が74.4%で最も多く、次いで「常勤で兼務」が23.1%となっています。



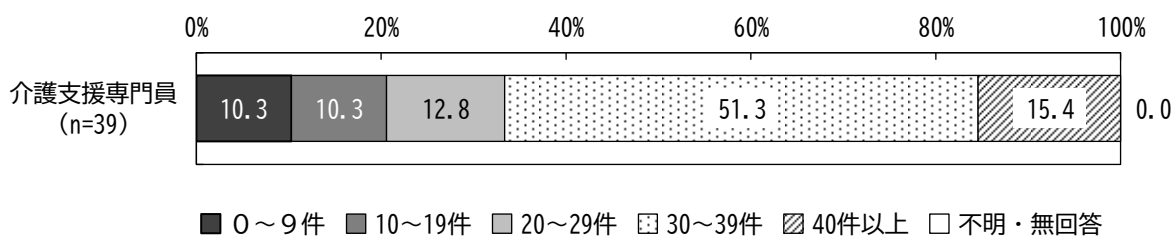
問4 何の資格をお持ちですか。 (複数回答)

「介護福祉士」が71.8%で最も多く、次いで「社会福祉士」が20.5%、「看護師」が15.4%となっています。



問5 市外を含め月平均のケアプラン作成数ほどのくらいですか。 (単数回答)

「30～39件」が51.3%で最も多くなっています。



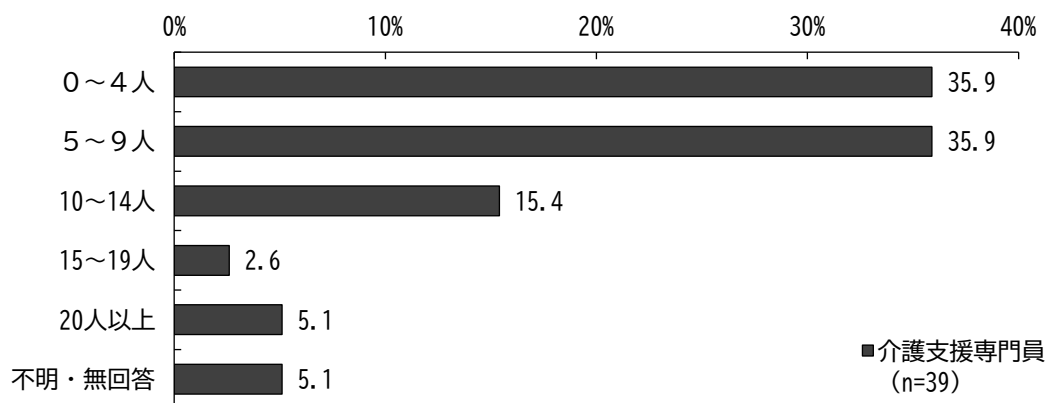
第6章 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の結果

問6 鴨川市で何人の要支援・要介護者のケアマネジメント（総合事業分は除く）を担当していますか。（令和5年1月1日現在の実数を記入）（数量回答）

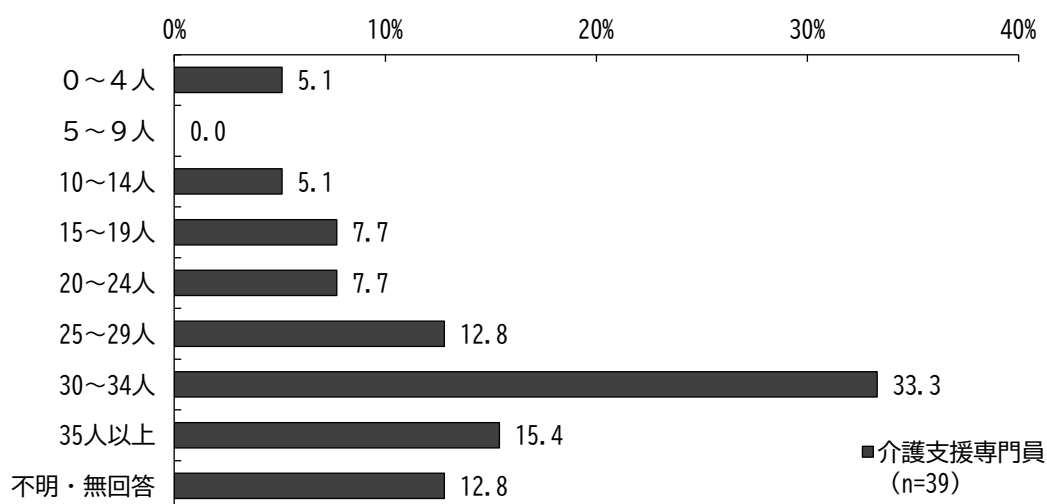
要支援者については、担当人数が10人未満である場合が約7割となっています。

要介護者については、担当人数が30人以上である場合が約半数となっています。

◇予防（要支援者）

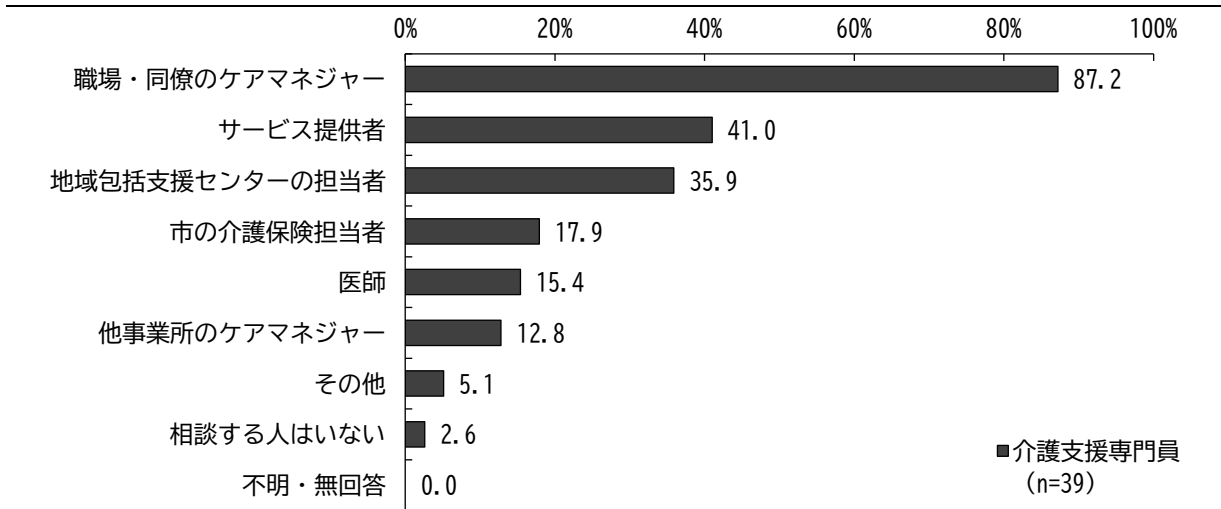


◇介護（要介護者）



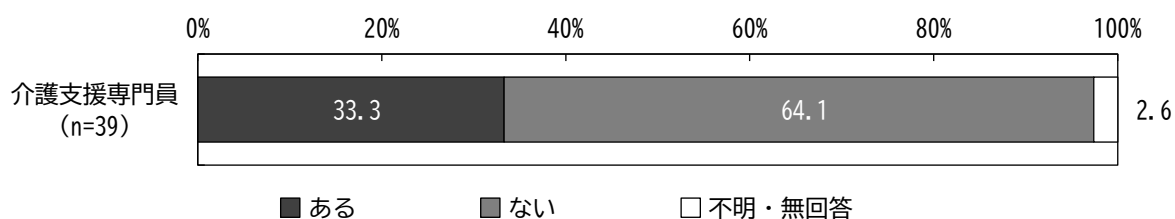
問7 日頃、ケアプランを作成する時に相談する人は誰ですか。（複数回答）

「職場・同僚のケアマネジャー」が87.2%で最も多く、次いで「サービス提供者」が41.0%、「地域包括支援センターの担当者」が35.9%となっています。



問8 利用者やその家族からの苦情はありますか。 (単数回答)

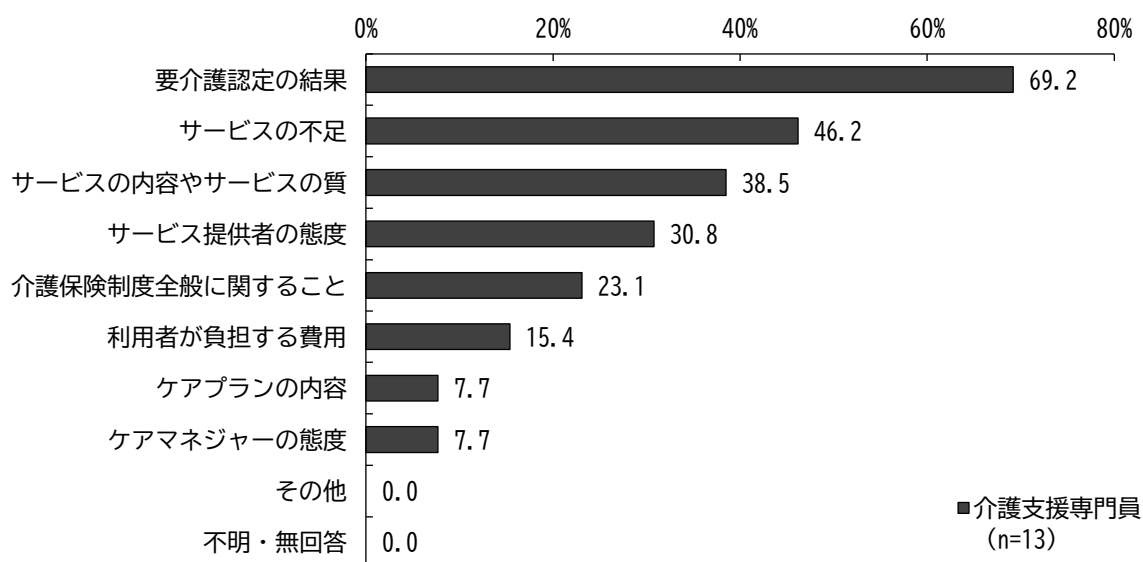
利用者やその家族からの苦情が「ある」が33.3%となっています。



【問8で「ある」と答えた人のみ】

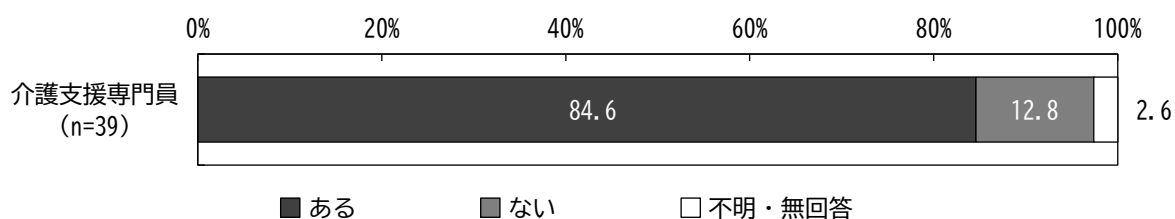
問9 どのような内容でしたか。 (複数回答)

「要介護認定の結果」が69.2%で最も多く、次いで「サービスの不足」が46.2%となっています。



問10 ケアプランを作成する上で困ることはありますか。 (単数回答)

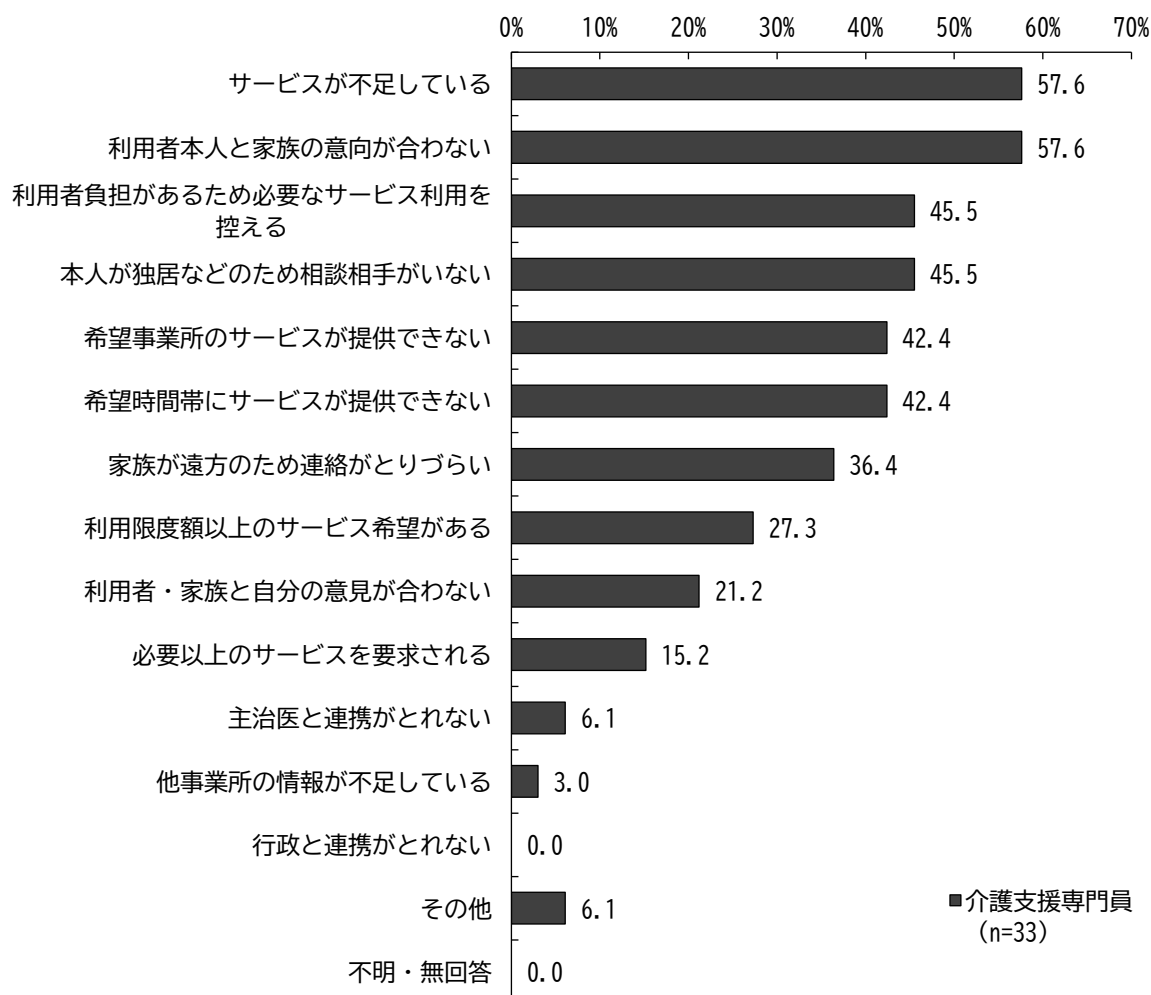
ケアプランを作成する上で困ることが「ある」が84.9%となっています。



【問10で「ある」と答えた人のみ】

問11 ケアプラン作成上困ることは何ですか。 (複数回答)

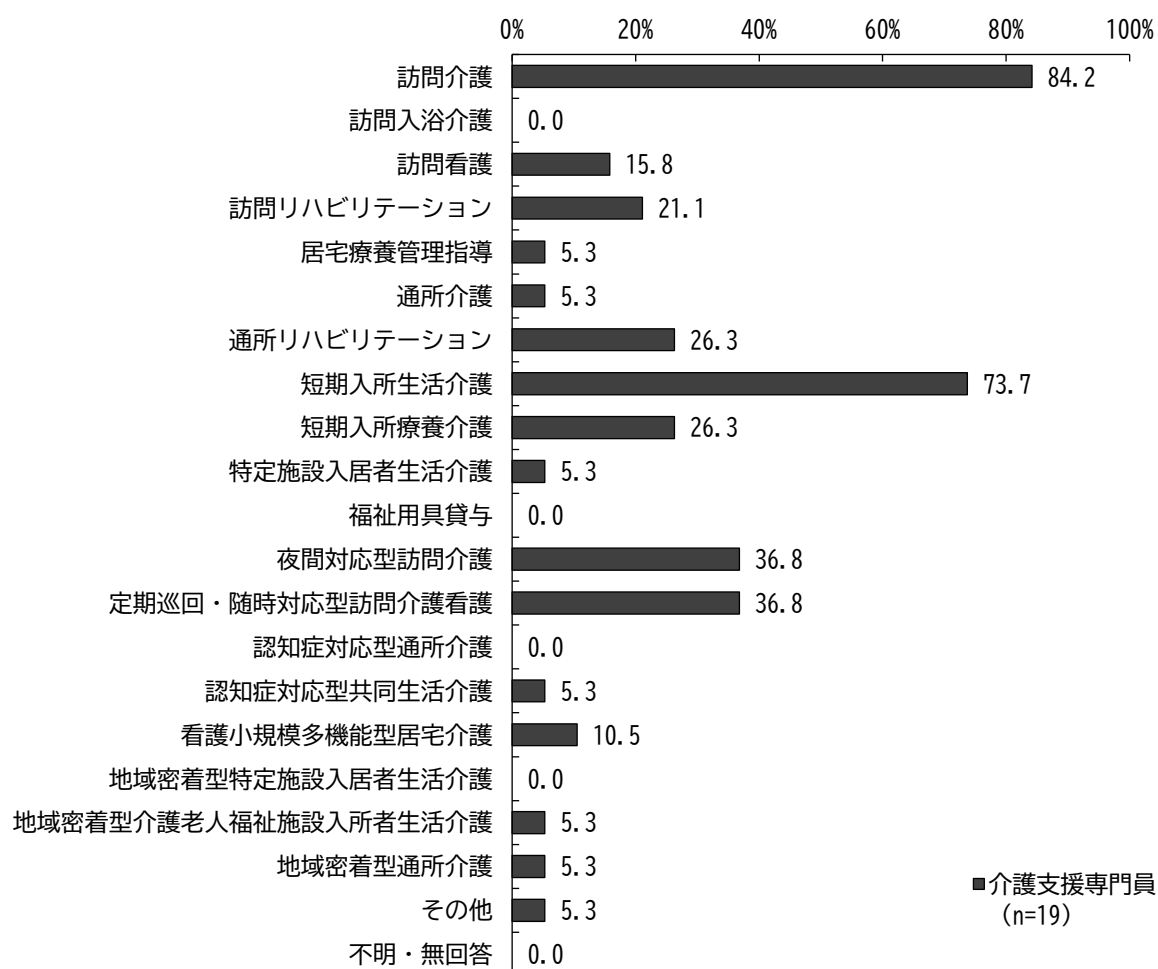
「サービスが不足している」と「利用者本人と家族の意向が合わない」が57.6%で最も多くなっています。



【問11で「サービスが不足している」と答えた人のみ】

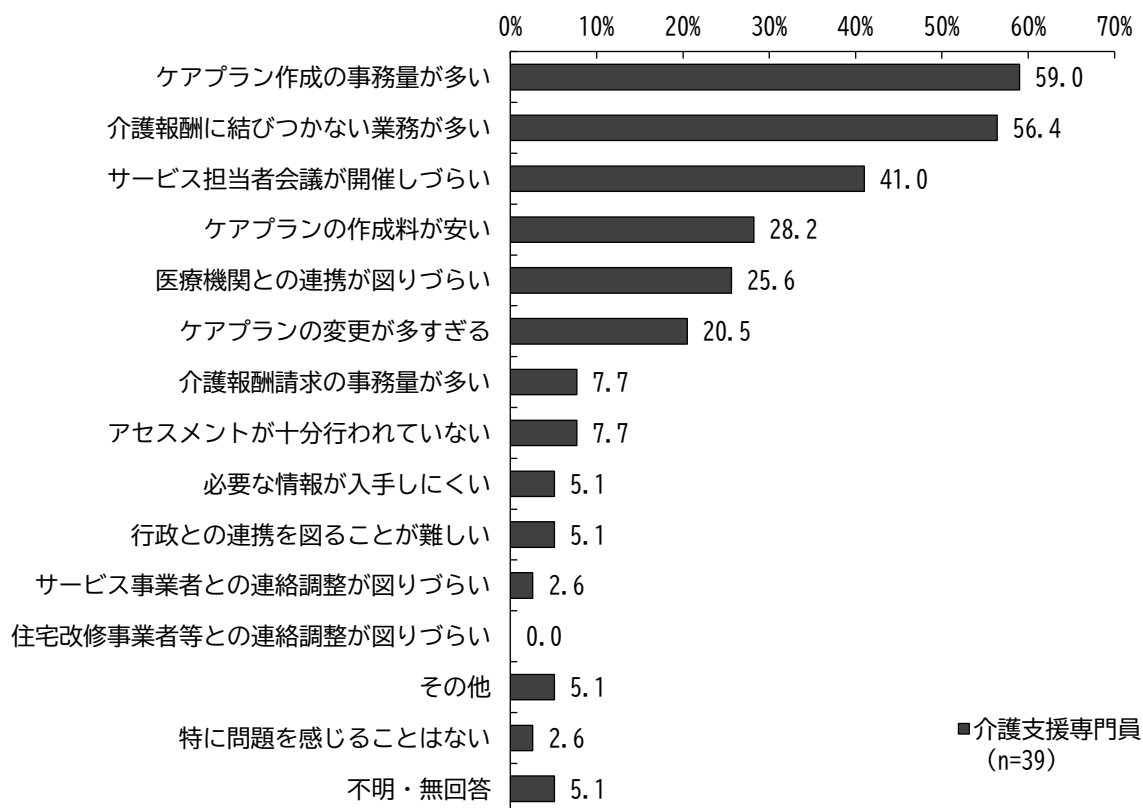
問12 ケアプランの作成にあたり、利用者が要望しているにもかかわらず不足しているサービスは何ですか。（複数回答）

「訪問介護」が84.2%で最も多く、次いで「短期入所生活介護」が73.7%となっています。



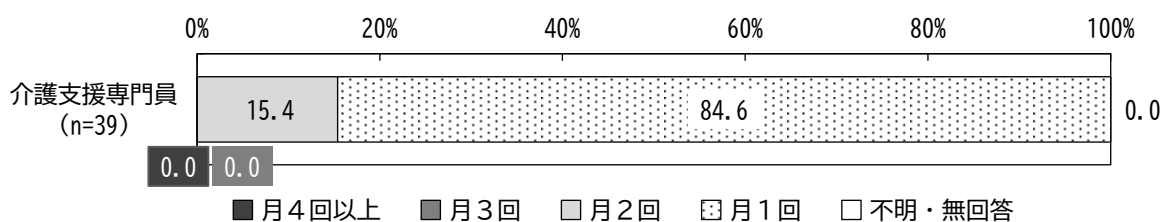
問13 円滑な事業運営を進めていく上での問題点がありますか。（複数回答）

「ケアプラン作成の事務量が多い」が59.0%で最も多く、次いで「介護報酬に結びつかない業務が多い」が56.4%となっています。



問14 利用者や家族へは月平均どのくらいの頻度で訪問していますか。（単数回答）

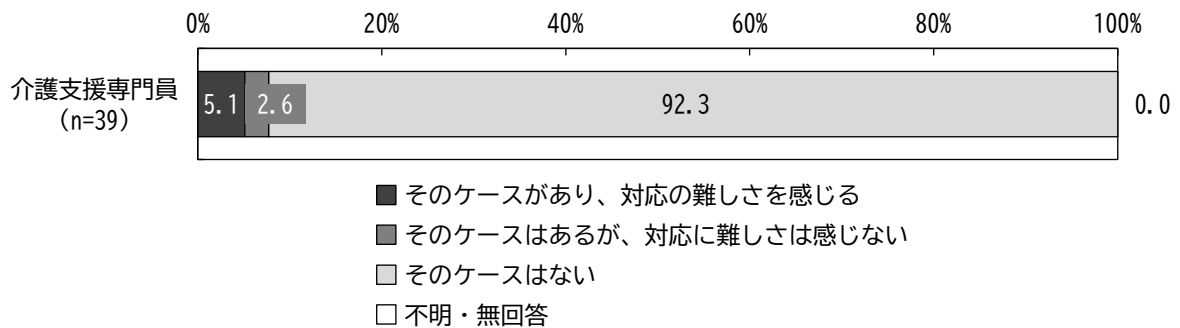
「月1回」が84.6%で最も多くなっています。



第6章 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の結果

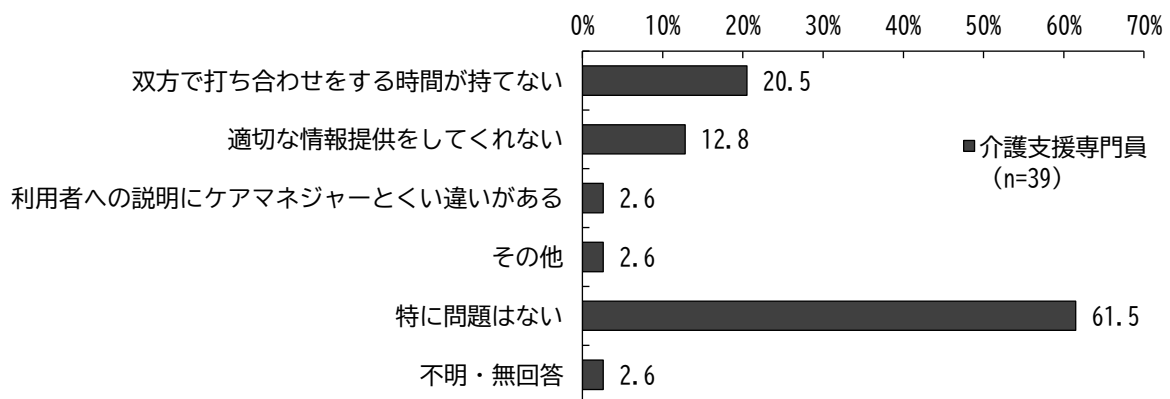
問 15 利用者の家族にヤングケアラー（18 歳未満）がいるケースはありますか。
（単数回答）

「そのケースがあり、対応の難しさを感じる」が5.1%、「そのケースはあるが、対応に難しさは感じない」が2.6%となっており、合計で7.7%が、ヤングケアラーのいるケースがあると回答しています。



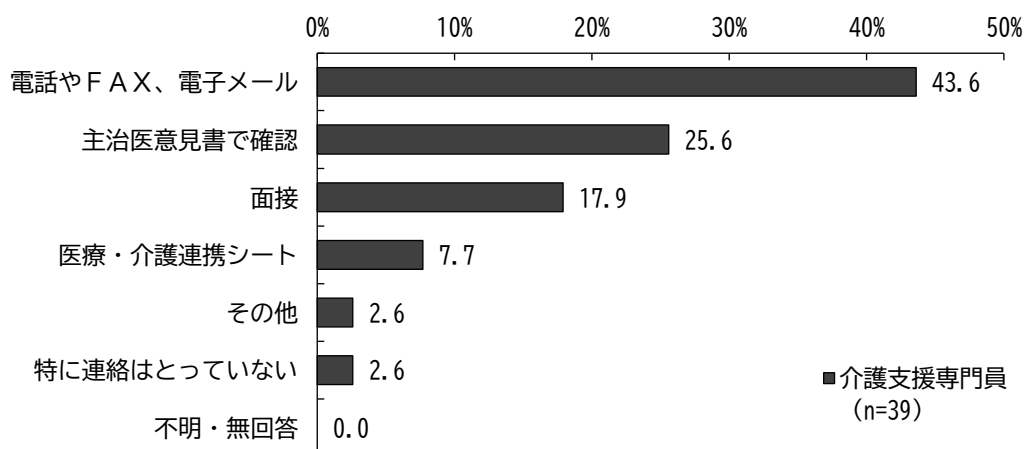
問 16 サービス提供者との関係において問題があると感じることはありますか。
（複数回答）

「特に問題はない」が61.5%で最も多く、次いで「双方で打ち合わせをする時間が持てない」が20.5%となっています。



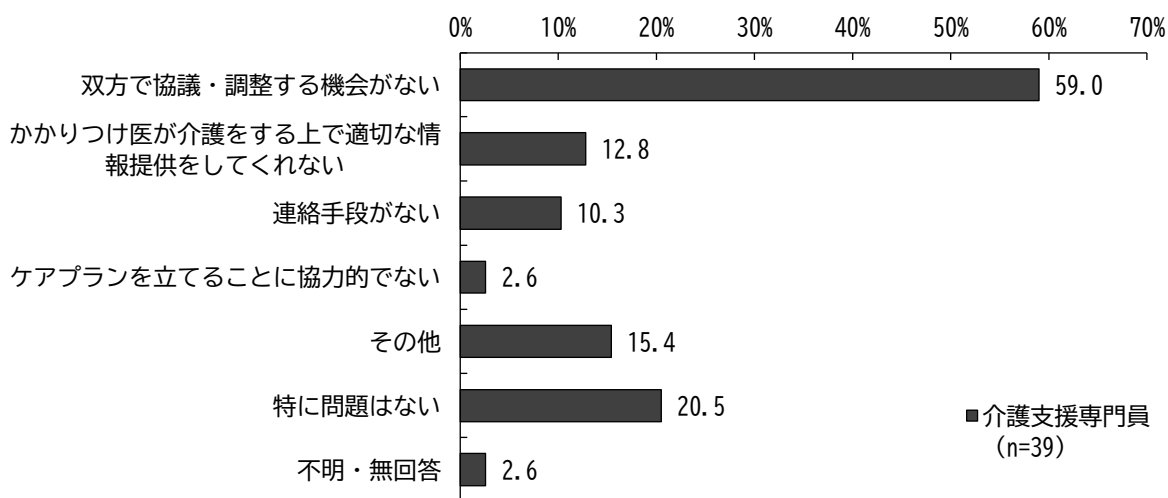
問 17 医療系サービスの提供を検討する際に、かかりつけ医とはどのように連絡をとっていますか。 (単数回答)

「電話やFAX、電子メール」が43.6%で最も多く、次いで「主治医意見書で確認」が25.6%となっています。



問 18 かかりつけ医との連携で問題点を感じることは何ですか。 (複数回答)

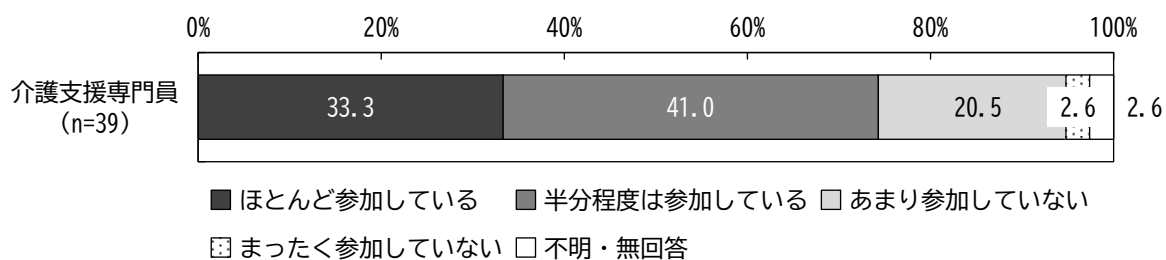
「双方で協議・調整する機会がない」が59.0%で最も多くなっています。



第6章 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の結果

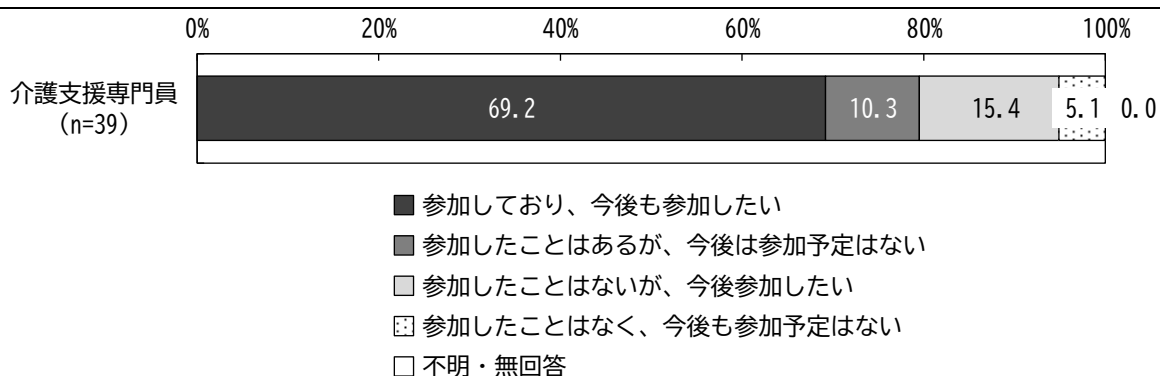
問 19 千葉県やケアマネジャー協会、鴨川市等で実施するケアマネジャー向け研修会に、どの程度参加していますか。（単数回答）

「半分程度は参加している」が41.0%で最も多く、次いで「ほとんど参加している」が33.3%となっています。



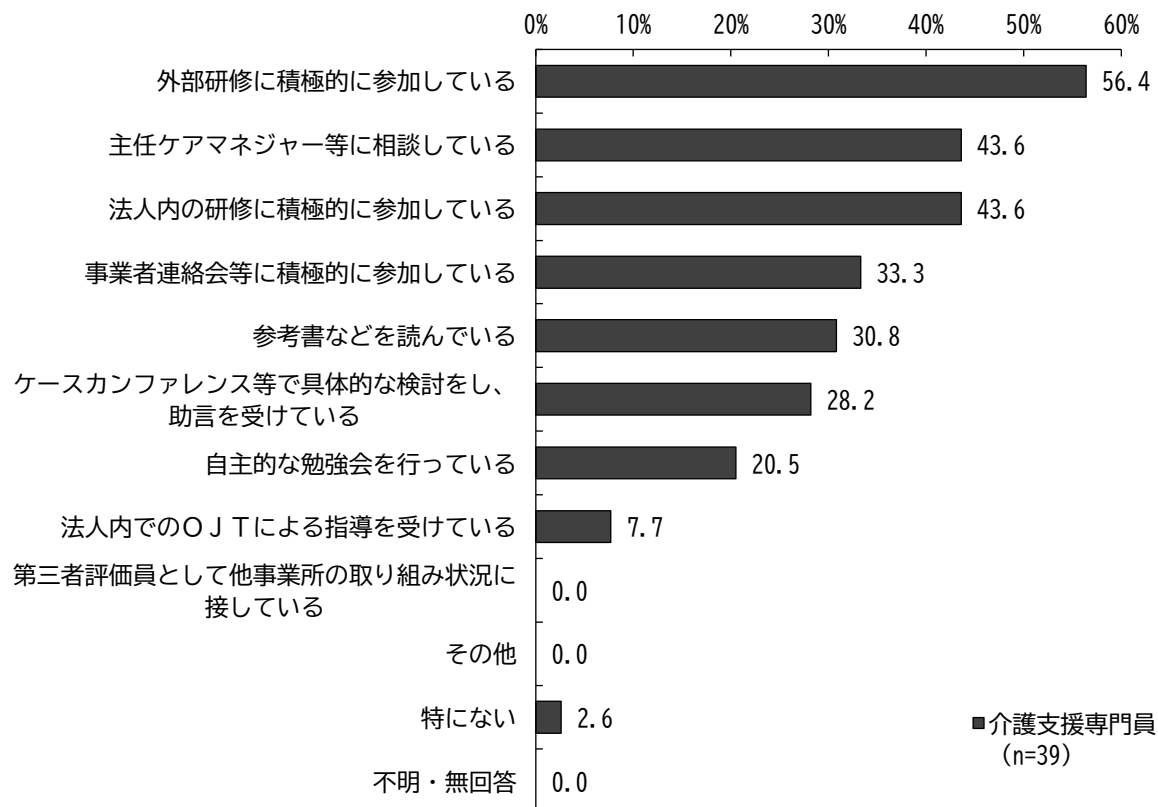
問 20 地域ケア会議に、参加したことがありますか。また今後参加したいですか。（単数回答）

「参加しており、今後も参加したい」が69.2%で最も多くなっています。参加したことはないという回答は合計で20.5%となっています。



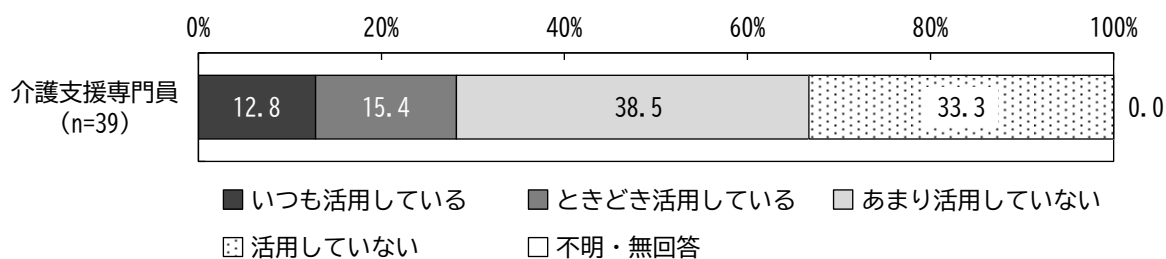
問 21 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。 (複数回答)

「外部研修に積極的に参加している」が56.4%で最も多く、次いで「主任ケアマネジャー等に相談している」と「法人内の研修に積極的に参加している」がいずれも43.6%となっています。



問 22 課題整理統括表を活用していますか。 (単数回答)

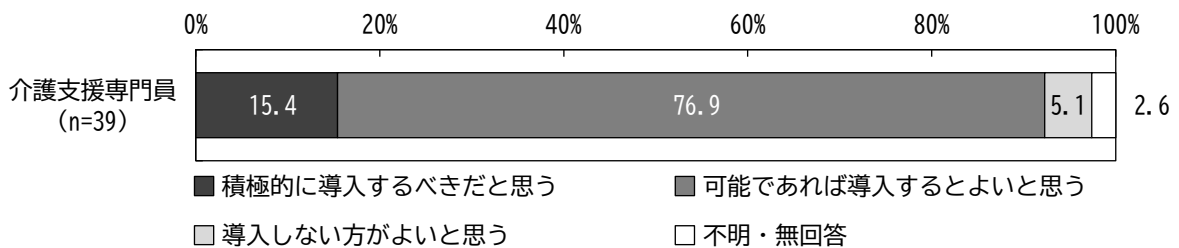
「いつも活用している」が12.8%、「ときどき活用している」は15.4%となっており、合計で28.2%が活用していると回答しています。



問 23 介護負担軽減に向けた介護ロボットの導入についてどうお考えですか。

（単数回答）

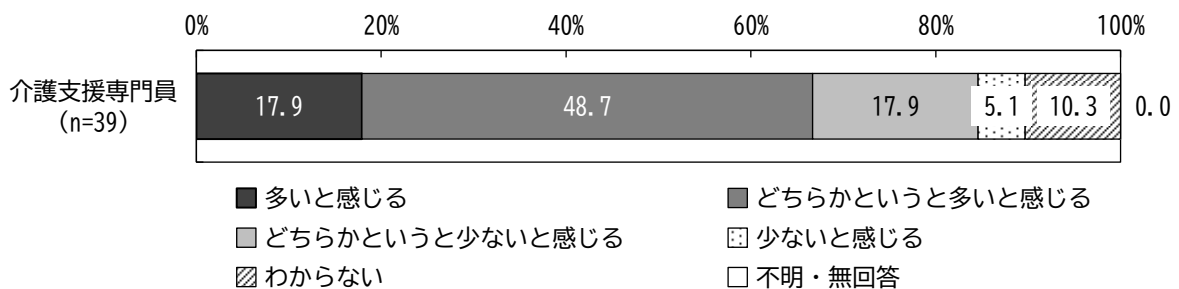
「積極的に導入するべきだと思う」が 15.4%、「可能であれば導入するとよいと思う」が 76.9%となっています。



問 24 ケアマネジャーの活動を通して、施設サービスを受けるべき要介護者がサービスを受けられていない状況（待機状況）は市内で多いと感じますか。

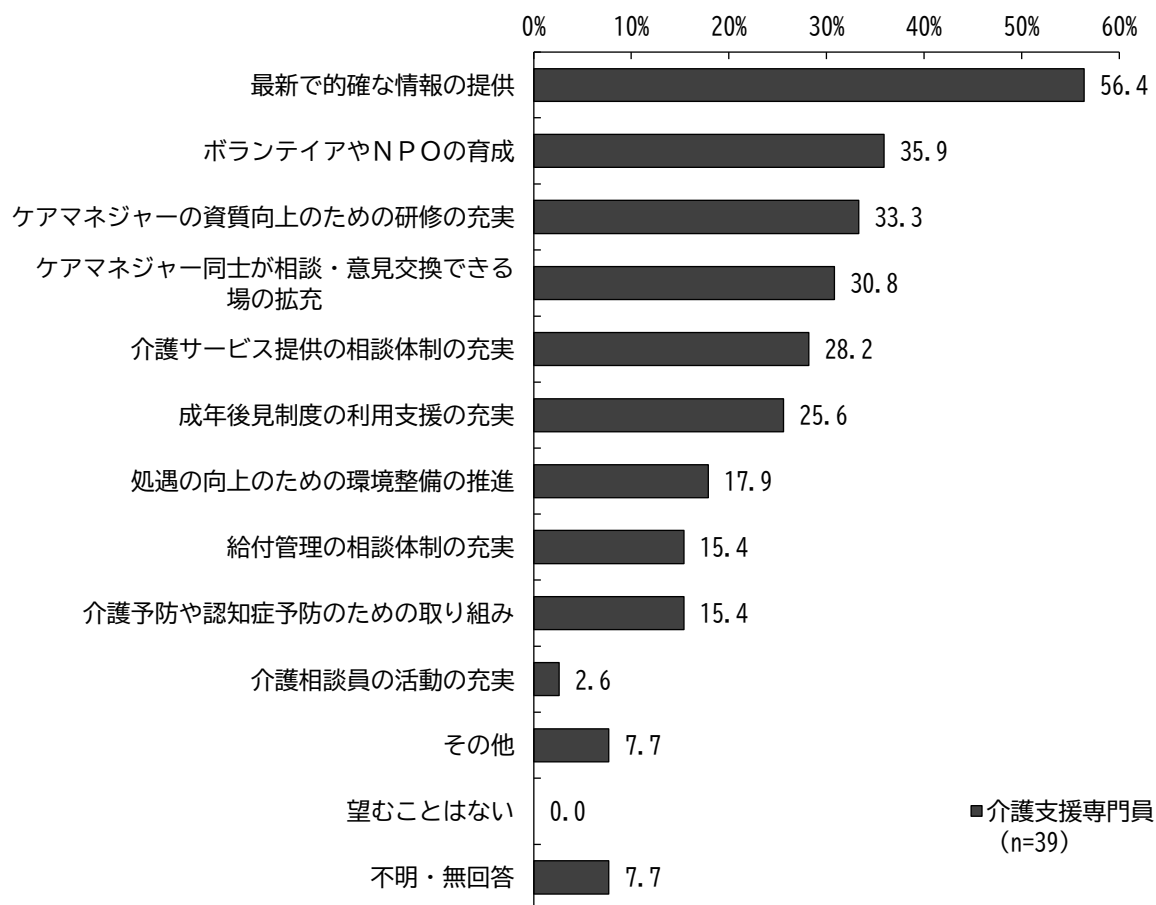
（単数回答）

「多いと感じる」が 17.9%、「どちらかというとも多いと感じる」が 48.7%となっており、合計で 66.6%が、多いと感じると回答しています。



問 25 ケアマネジャーとして行政に望むことはありますか。 (複数回答)

「最新で的確な情報の提供」が56.4%で最も多く、次いで「ボランティアやNPOの育成」が35.9%、「ケアマネジャーの資質向上のための研修の充実」が33.3%となっています。



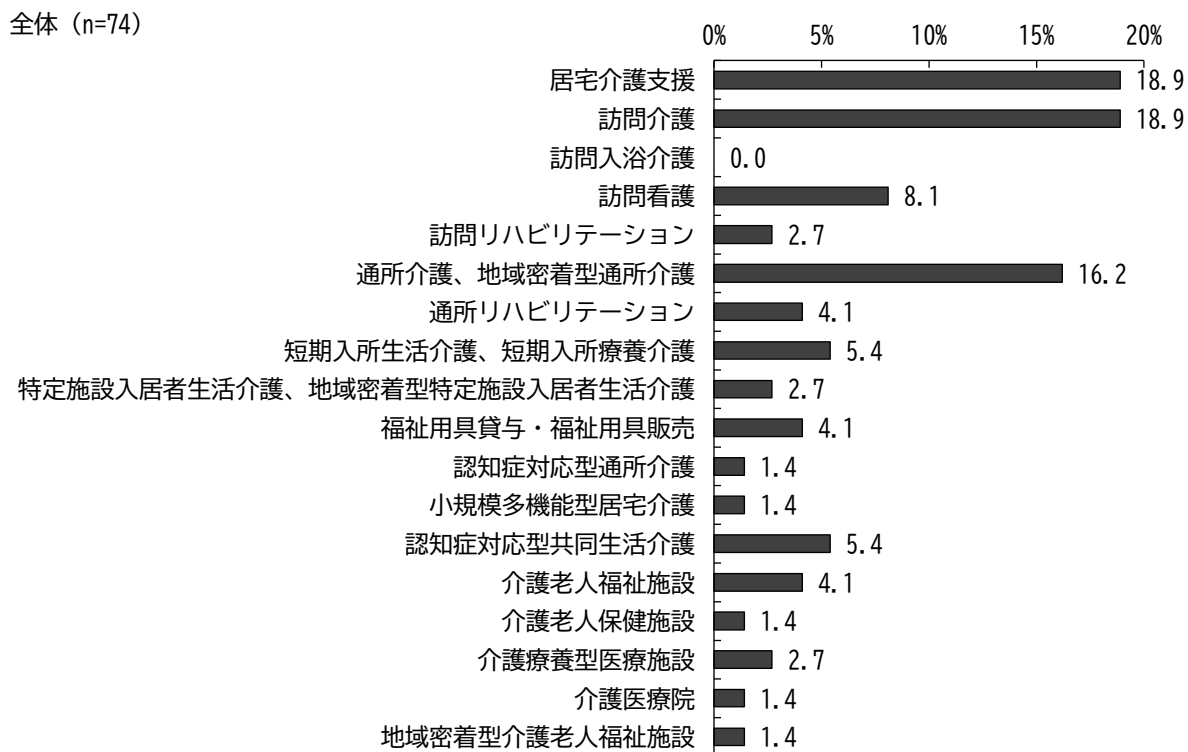
第6章 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の結果

第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果

1 事業所について

問1 貴事業所で実施しているサービスは何ですか。 (複数回答)

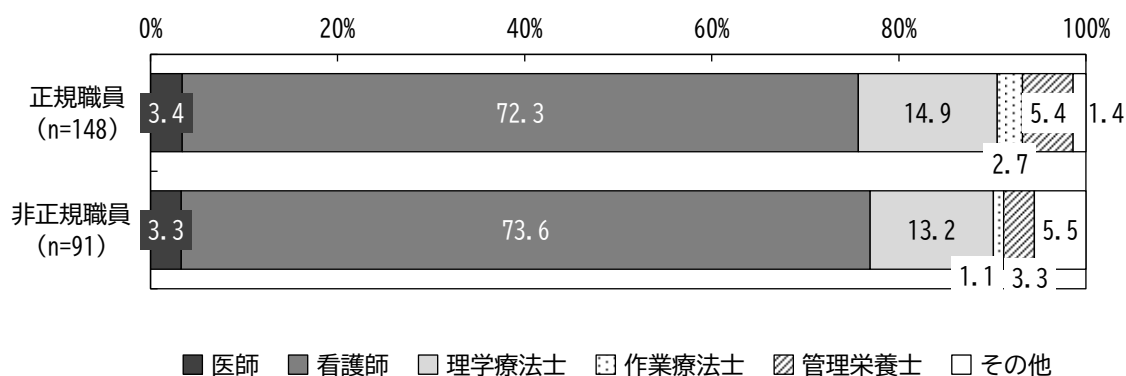
「居宅介護支援」「訪問介護」が18.9%と最も多く、次いで「通所介護、地域密着型通所介護」が16.2%となっています。



問2 職員数を記入してください。(令和4年9月1日現在) (数量回答)

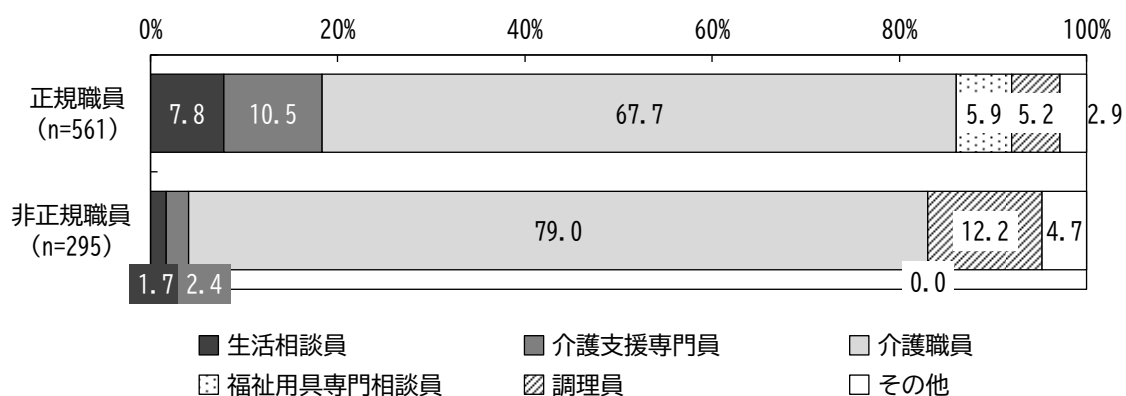
① 医療職

医療職では、全事業所合算で正規職員は148人、非正規職員は91人となっています。内訳をみると、正規職員・非正規職員ともに「看護師」が7割を超えて最も多く、次いで「理学療法士」が1割台となっています。



②-1 福祉職・介護職

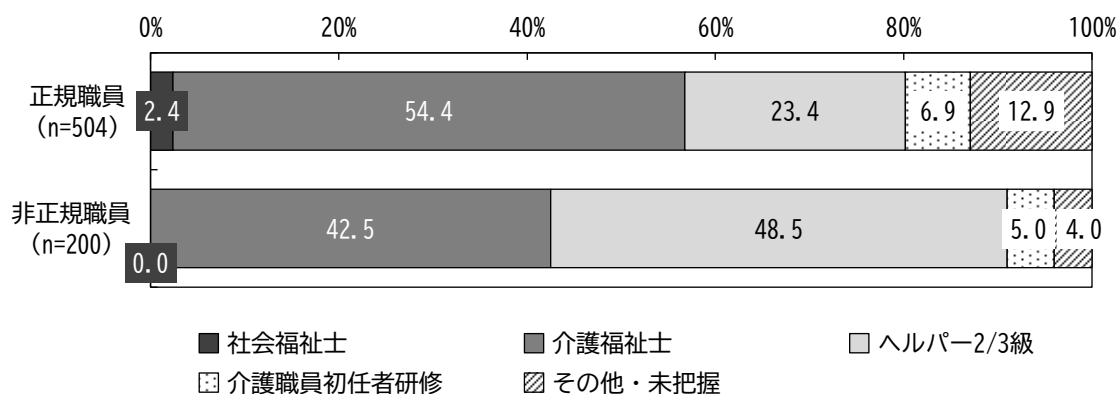
福祉職・介護職では、全事業所合算で正規職員は561人、非正規職員は295人となっています。内訳をみると、正規職員・非正規職員ともに「介護職員」が最も多くそれぞれ67.7%、79.0%となっています。次いで、正規職員では「介護支援専門員」が10.5%、非正規職員では「調理員」が12.2%となっています。



第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果

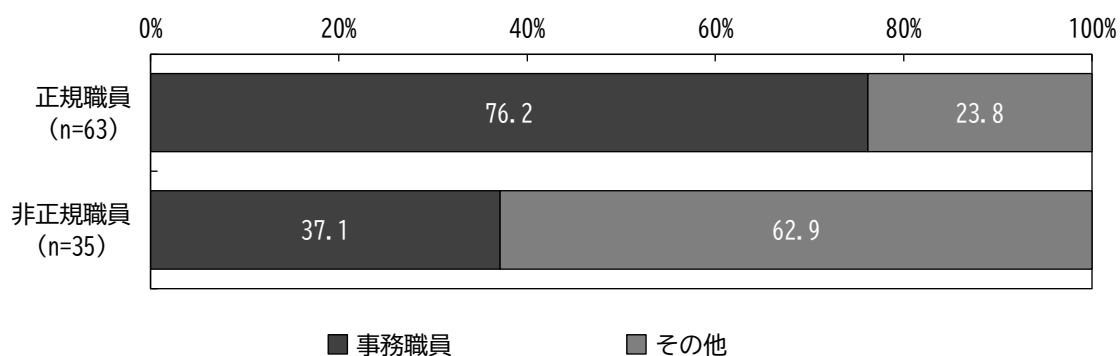
②-2 福祉職・介護職の取得資格または修了済み研修

福祉職・介護職の取得資格または修了済み研修について、該当職員数を足し上げる（複数資格取得者等の重複あり）と、全事業所合算で正規職員は504人、非正規職員は200人となっています。内訳をみると、正規職員は「介護福祉士」が54.4%と最も多く、次いで「ヘルパー2/3級」が23.4%となっています。非正規職員は「ヘルパー2/3級」が48.5%と最も多く、次いで「介護福祉士」が42.5%となっています。



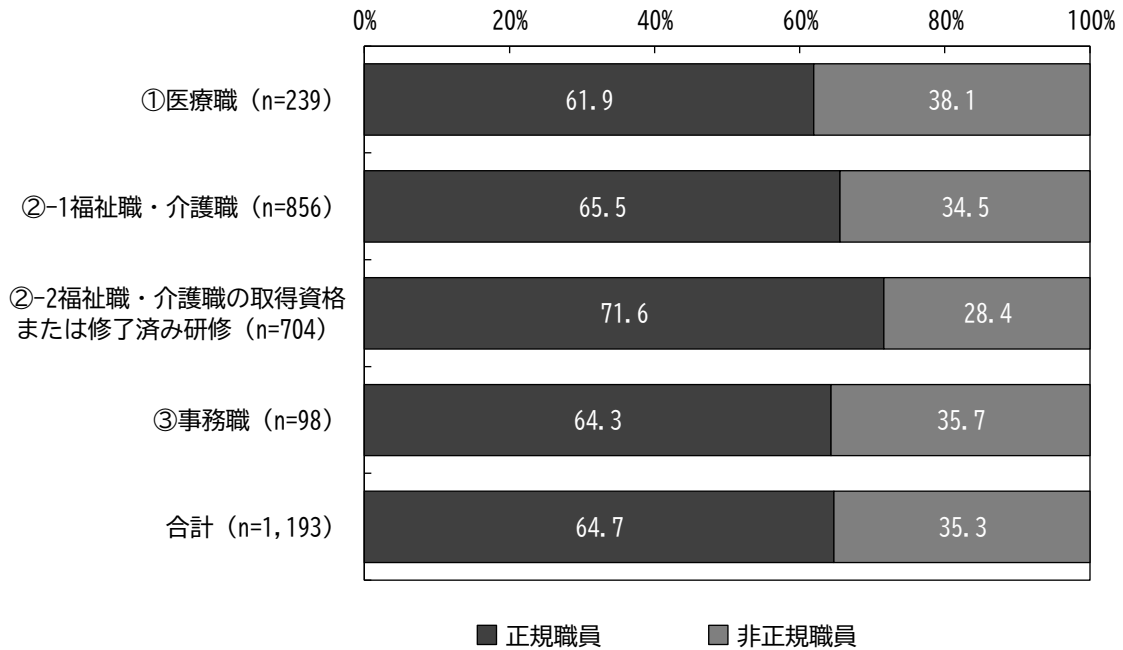
③ 事務職

事務職では、全事業所合算で正規職員は63人、非正規職員は35人となっています。内訳をみると、正規職員は「事務職員」が76.2%、「その他」が23.8%となっています。非正規職員は「事務職員」が37.1%、「その他」が62.9%となっています。



④ 職員数

職員数については、全事業所合算で [①医療職] は 239 人、[②-1 福祉職・介護職] は 856 人、うち [②-2 福祉職・介護職の取得資格または修了済み研修] は 704 人（複数資格取得者等の重複あり）、[③事務職] は 98 人、[合計] で 1,193 人となっています。内訳をみると、[①医療職] [②-1 福祉職・介護職] [③事務職] [合計] では「正規職員」が6割台、「非正規職員」が3割台となっています。[②-2 福祉職・介護職の取得資格または修了済み研修] では、「正規職員」が71.6%、「非正規職員」が28.4%となっています。

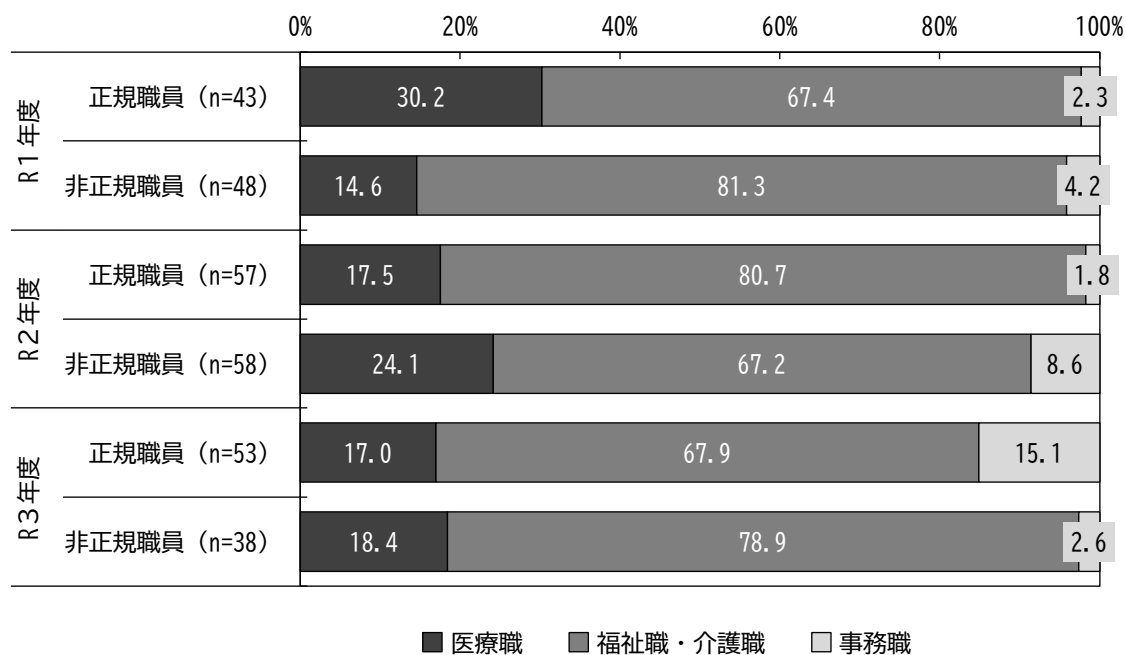


2 事業所の職員採用（退職）状況について

問3 過去3か年の職員採用（退職）状況を記入してください。 （数量回答）

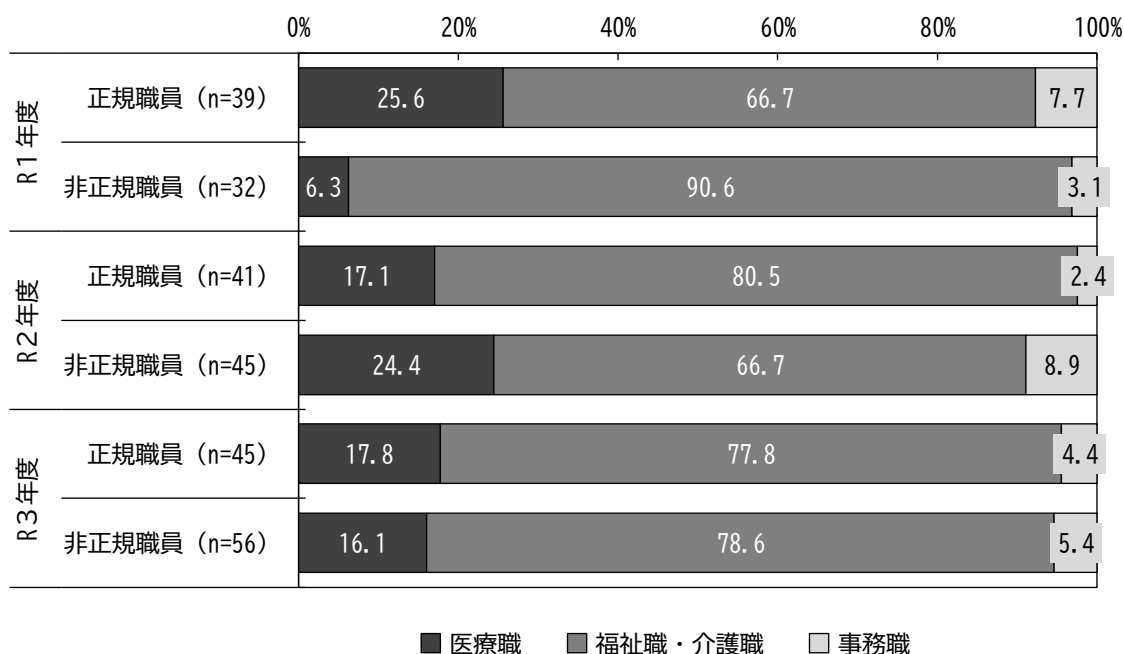
(1) 入職者数

入職者数は全事業所合算で、R1年度は正規職員が43人、非正規職員が48人、R2年度は正規職員が57人、非正規職員が58人、R3年度は正規職員が53人、非正規職員が38人となっています。内訳をみると、各年度とも「福祉職・介護職」が最も多く、6～8割台となっています。



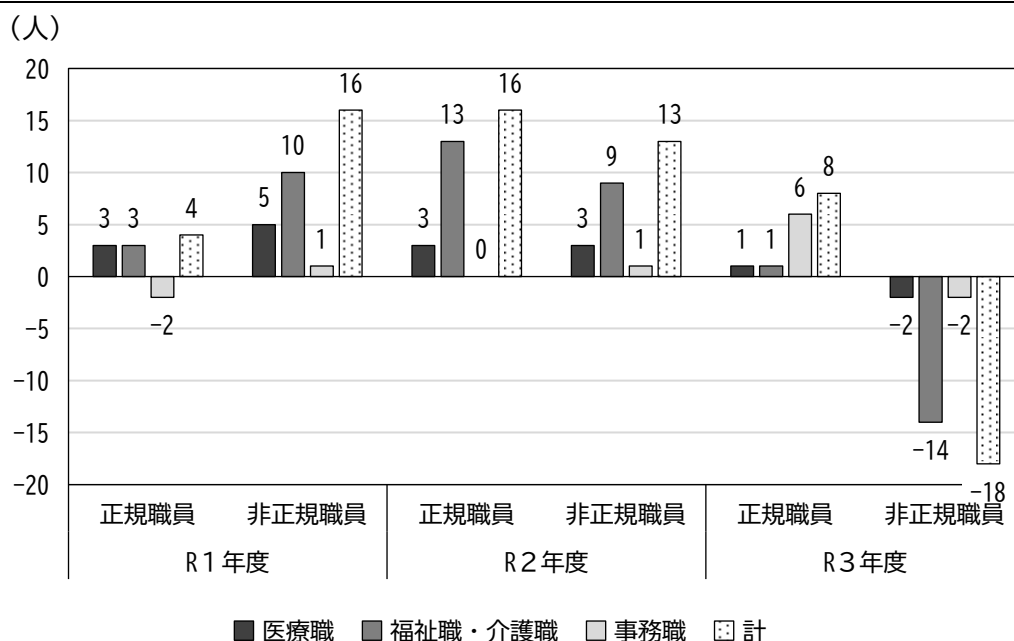
(2) 退職者数

退職者数は全事業所合算で、R1年度は正規職員が39人、非正規職員が32人、R2年度は正規職員が41人、非正規職員が45人、R3年度は正規職員が45人、非正規職員が56人となっています。内訳をみると、各年度とも「福祉職・介護職」が最も多く、6～9割台となっています。



(3) 入職者数と退職者数の差（職員数の変化）

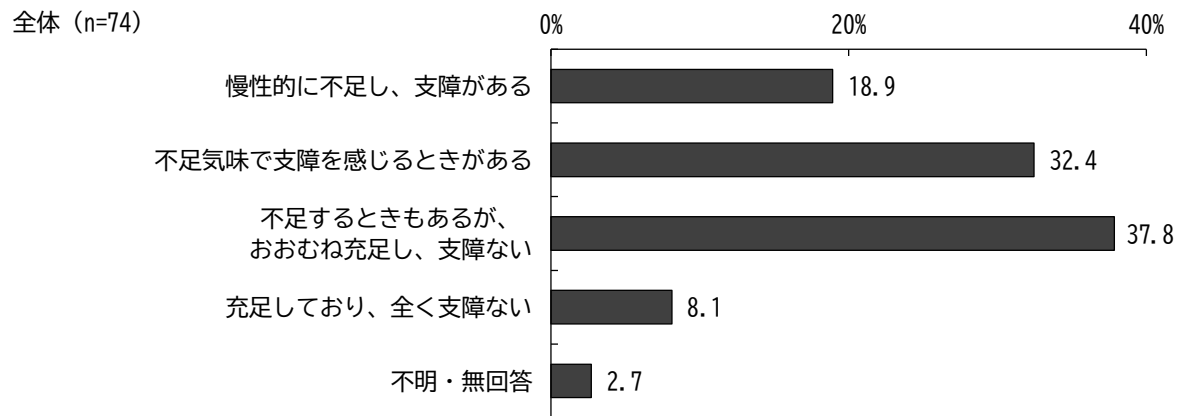
入職者数と退職者数の差（職員数の変化）をみると、全事業所合算で、R1年度は正規職員が4人増加、非正規職員が16人増加、R2年度は正規職員が16人増加、非正規職員が13人増加、R3年度は正規職員が8人増加、非正規職員が18人減少となっています。正規職員についてはR1～3年度の3年間で増加が続いています。



第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果

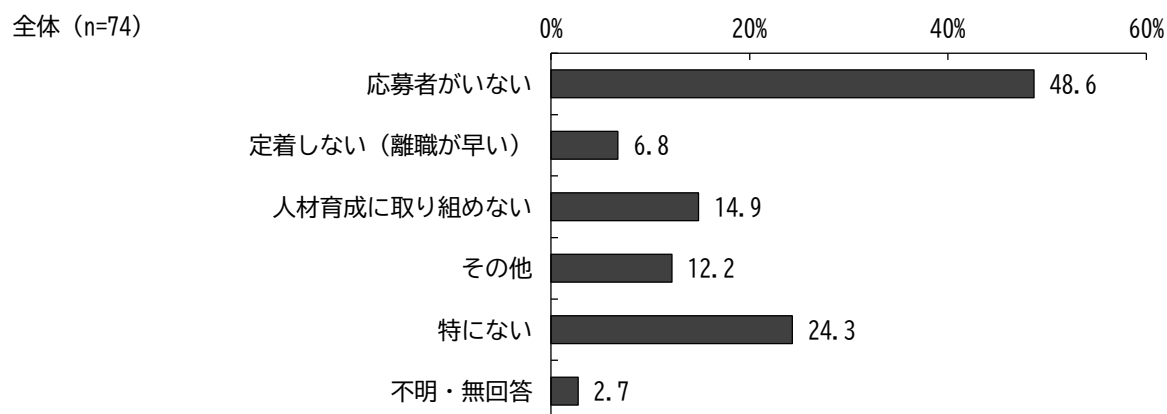
問4 現在、貴事業所では介護職員の確保について、悩みや日常感じていることはありますか。 (単数回答)

「不足するときもあるが、おおむね充足し、支障ない」が38.4%と最も多く、次いで「不足気味で支障を感じるときがある」が31.5%、「慢性的に不足し、支障がある」が19.2%となっています。



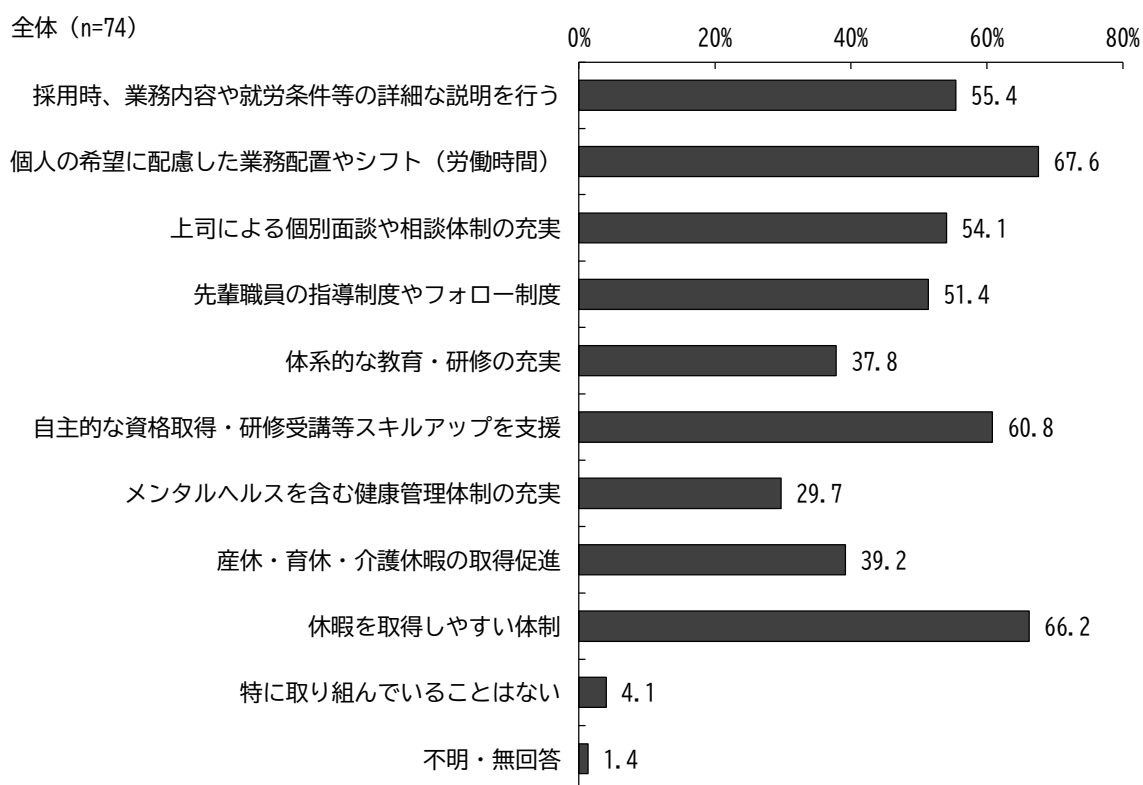
問5 現在、貴事業所で介護職員の確保について、苦労していることや困っていることはありますか。
(複数回答)

「応募者がいない」が48.6%と最も多く、次いで「特にない」が24.3%、「人材育成に取り組めない」が17.6%となっています。



問6 介護職員の定着、退職防止のために貴事業所で行っていることはありますか。
(複数回答)

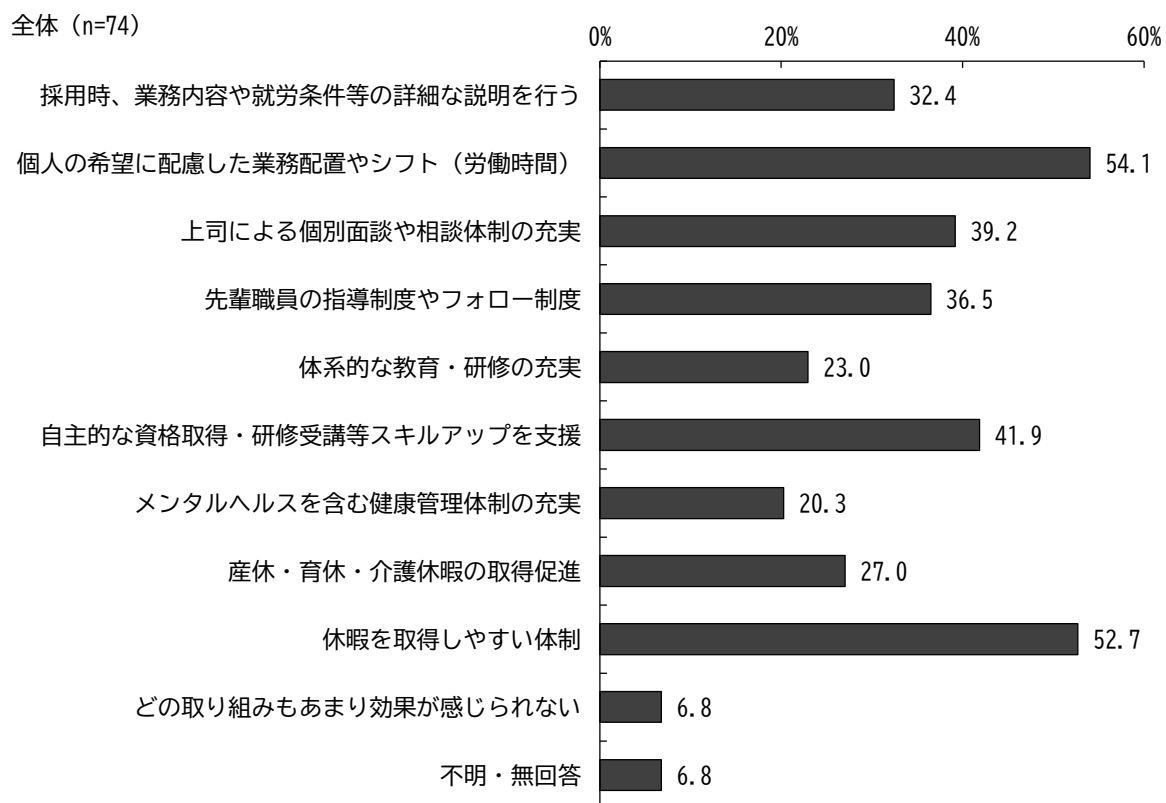
「個人の希望に配慮した業務配置やシフト(労働時間)」が67.6%と最も多く、次いで「休暇を取得しやすい体制」が66.2%、「自主的な資格取得・研修受講等スキルアップを支援」が60.8%となっています。



第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果

問7 介護職員の定着、退職防止のために貴事業所で効果のあった取り組み等がありますか。 (複数回答)

「個人の希望に配慮した業務配置やシフト（労働時間）」が54.1%と最も多く、次いで「休暇を取得しやすい体制」が52.7%、「自主的な資格取得・研修受講等スキルアップを支援」が41.9%となっています。



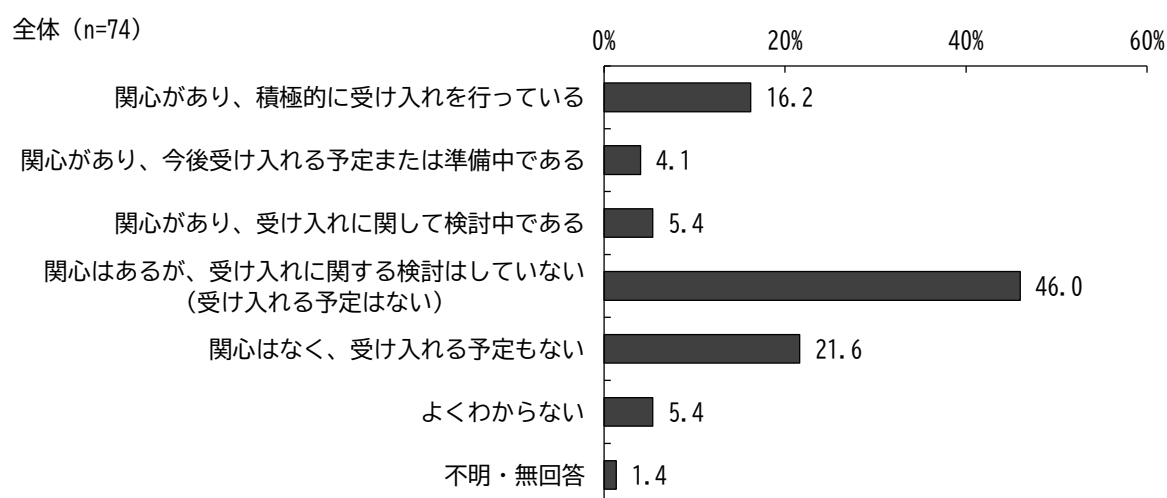
3 外国人介護職員の受け入れについて

問8 現在、国では介護分野における外国人材の活用についての取り組みが進められていますが、外国人介護職員の受け入れについてどのように考えますか。

(単数回答)

「関心はあるが、受け入れに関する検討はしていない(受け入れる予定はない)」が46.0%と最も多く、次いで「関心はなく、受け入れる予定もない」が21.6%、「関心があり、積極的に受け入れを行っている」が16.2%となっています。

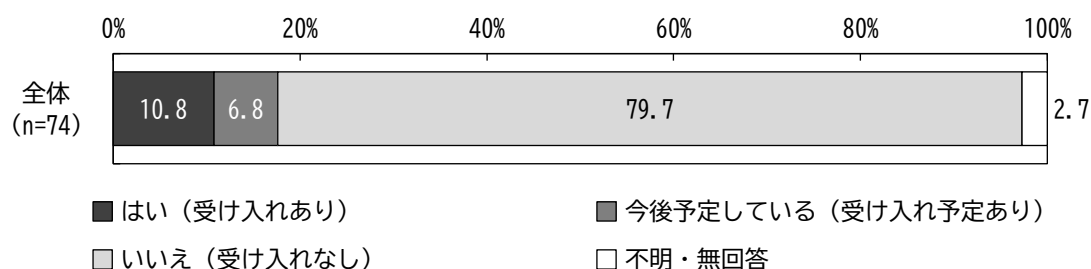
関心があり、実際の受け入れまたは予定・準備・検討を行っている割合が25.7%となっています。



問9 貴事業所では現時点で外国人介護職員の受け入れを行っていますか。

(単数回答)

「いいえ(受け入れなし)」が79.7%と最も多く、次いで「はい(受け入れあり)」が10.8%、「今後予定している(受け入れ予定あり)」が6.8%となっています。



第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果

【問9で「はい（受け入れあり）」と答えた方のみ】

問10 貴事業所で雇用している外国人介護職員は何人いますか。
(令和4年9月1日現在)

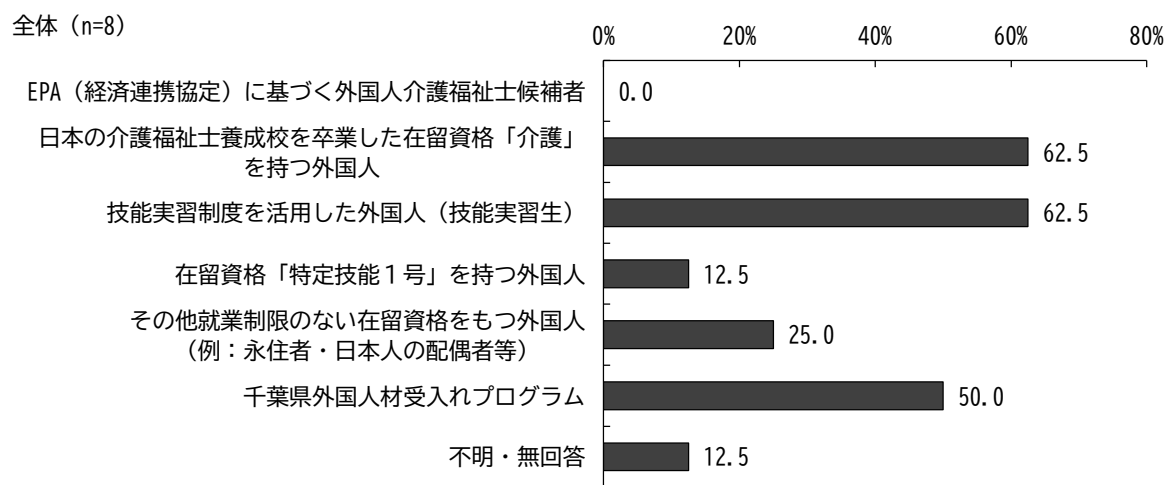
(数量回答)

全事業所合算で39人となっています。

【問9で「はい（受け入れあり）」と答えた方のみ】

問11 現在、外国人の介護職員を雇用している事業所に伺います。貴事業所の外国人介護職員の雇用において、どのような制度を利用しましたか。（複数回答）

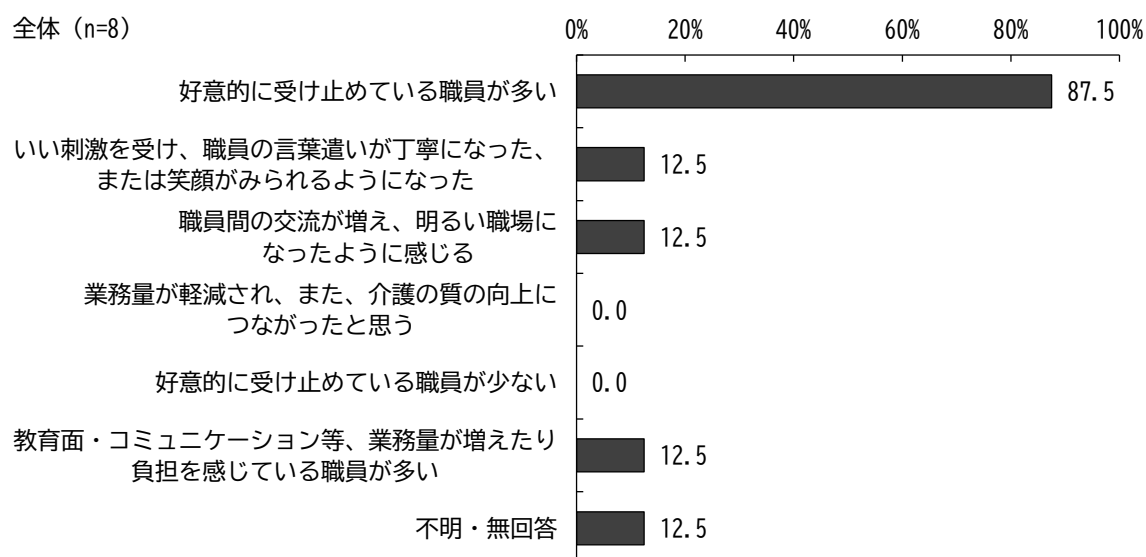
「日本の介護福祉士養成校を卒業した在留資格『介護』を持つ外国人」「技能実習制度を活用した外国人（技能実習生）」がともに62.5%（5件）と最も多く、次いで「千葉県外国人材受入れプログラム」が50.0%（4件）となっています。



【問9で「はい（受け入れあり）」と答えた方のみ】

問12 外国人介護職員に対する職員の反応はいかがですか。（複数回答）

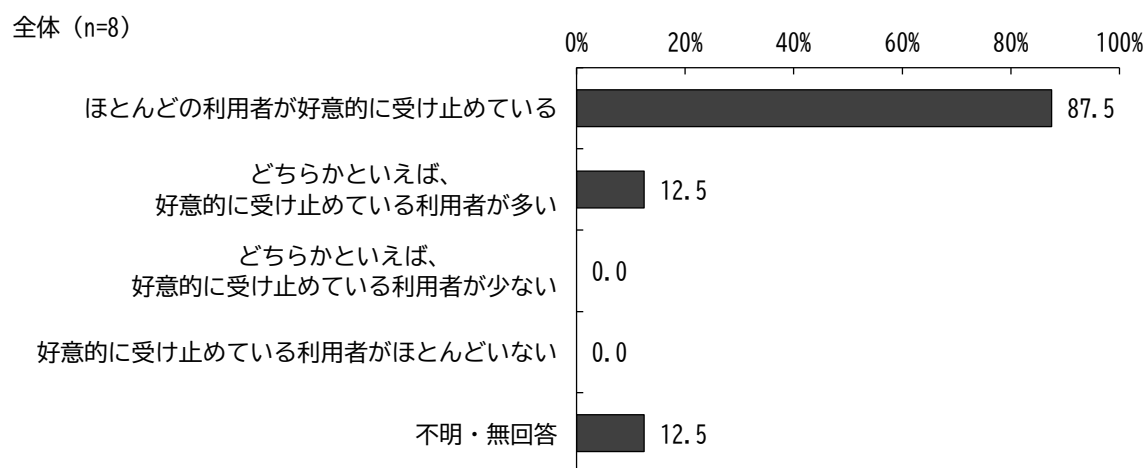
「好意的に受け止めている職員が多い」が87.5%（7件）と最も多くなっています。



【問9で「はい（受け入れあり）」と答えた方のみ】

問13 外国人介護職員に対するサービス利用者の反応はいかがですか。（複数回答）

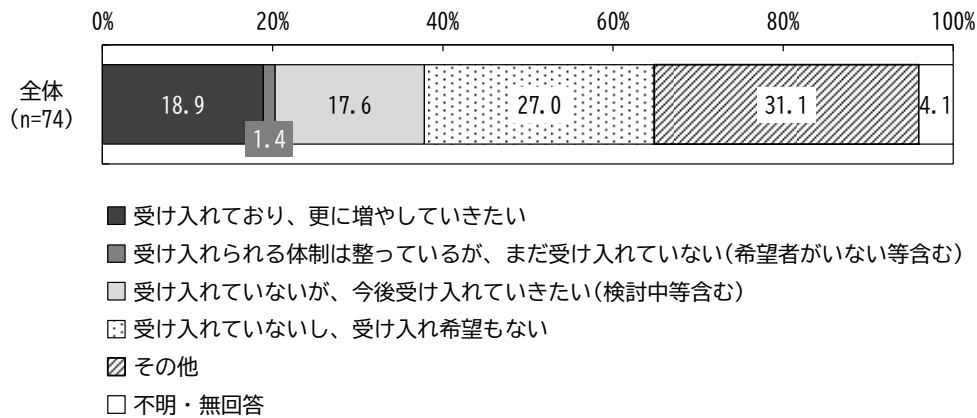
「ほとんどの利用者が好意的に受け止めている」が87.5%（7件）と最も多くなっています。



第7章 介護人材雇用に関するアンケート調査の結果

問14 大学や介護福祉士養成施設等の学生(外国人含む)の実習やインターンの受け入れをしていますか。(単数回答)

「受け入れていないし、受け入れ希望もない」が27.0%となっている一方、まだ受け入れていない場合も含め、受け入れ意向のある割合の合計は37.9%となっています。なお、「その他」では、「受け入れているが増やすことは考えていない」といった回答が多くなっています。



問15 外国人介護職員を受け入れるにあたり、どのような課題があると思いますか。(自由回答)

言葉の問題や文化・習慣の違い等について課題視する意見のほか、サービスによっては1人で業務を行うことになるため難しさがあるという意見等が挙げられています。

問16 外国人介護職員を雇用(実習等も含む)して、良かった点がありましたか。(自由回答)

業務に取り組む姿勢のよさなど、業務面での点が挙げられているほか、異文化理解が進んで多様性が増した、伝え方の工夫や教え方の改善がみられるようになったなど、受け入れる側の変化も挙げられています。

問17 介護人材確保について、市に対する要望がありますか。(自由回答)

研修の開催や、資格取得の支援、待遇改善などの要望が挙げられているほか、地域人材の登録・紹介制度や、若い世代の地域ボランティアの募集、小・中学生への実習機会の提供など、地域を巻き込んだ人材確保策への要望が挙げられています。また、外国人介護職員に関しては、事業所での受け入れ体制の整備の難しさに言及した意見のほか、外国人でも住みやすいまちとしていくことなどについての要望が挙げられています。

第8章 経年比較

本章では、各期の計画策定に際して行った調査の結果について、経年比較します。なお、一部の設問文や選択肢は変更を加えており、完全に同一の条件で比較できるものではありません。（主要な変更点については※印の注記で説明しています。）

1 一般高齢者調査

(1) 生活習慣（問22）

定期的な運動について「週3日以上している」割合が一貫して上昇している一方、睡眠については「よく眠れている」割合の低下が続いています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
定期的な運動※ 週3日以上している	28.7%	30.7%	31.3%	32.0%	39.9%	42.4%
睡眠 よく眠れている	43.7%	44.4%	44.3%	33.3%	31.2%	25.9%

※第8期調査から、「定期的な運動」が散歩など軽いものを含むことを調査票において明記しています。

(2) 近隣の医療機関について感じていること（問31）

上昇傾向にあった「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」「待ち時間が長い」について、今回の調査では低下しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	65.8%	69.0%	67.1%	64.3%	62.9%	62.6%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	45.8%	50.2%	51.2%	50.5%	55.8%	50.8%
自分に合う医療機関がない	2.3%	1.3%	2.0%	2.7%	2.9%	3.5%
医療機関に関する情報が少なく困る	3.0%	1.3%	1.6%	2.8%	2.9%	3.9%
待ち時間が長い	24.2%	27.1%	28.5%	32.5%	38.2%	35.0%
通院する際に交通機関が不便	10.1%	8.2%	6.7%	6.7%	9.9%	9.4%
医療機関内での移動に困っている	1.6%	1.9%	1.0%	1.7%	1.1%	1.4%

(3) 健康について知りたいこと（問33）

「認知症の予防について」は4割台後半、「がんや高血圧にならないための工夫」は3割台後半で比較的高い割合ですが、横ばいの状況が続いています。一方、「運動の方法について」は上昇が続いています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
がんや高血圧にならないための工夫	42.2%	39.6%	38.5%	39.4%	38.6%	37.9%
望ましい食生活について	28.1%	27.9%	24.5%	30.8%	32.0%	31.2%
運動の方法について	16.1%	15.9%	14.9%	18.7%	20.2%	23.1%
健康診断の内容や受け方について	12.2%	11.7%	9.2%	11.6%	10.9%	11.8%
ねたきりの予防について	25.4%	22.1%	21.6%	20.8%	21.7%	19.9%
歯と口の健康について	6.1%	9.1%	8.2%	11.3%	10.5%	11.9%
認知症の予防について	33.4%	44.3%	45.0%	45.2%	47.5%	47.3%

(4) 老後の生活で不安なこと (問 34)

「家計に関すること」「家や財産のこと」が概ね上昇傾向にあり、「特に悩みはない」は低下傾向にあります。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
自分や家族の健康に関すること	58.2%	61.3%	60.2%	63.7%	61.4%	63.0%
人付き合いに関すること	8.0%	7.4%	7.3%	9.3%	7.3%	8.9%
家計に関すること	20.7%	24.0%	20.9%	27.0%	28.9%	30.9%
家族のこと	22.7%	26.2%	24.7%	26.4%	26.7%	27.5%
家や財産のこと	6.3%	7.9%	8.0%	11.6%	14.1%	16.3%
仕事のこと	5.3%	6.5%	5.4%	6.7%	6.2%	5.4%
特に悩みはない	20.9%	18.3%	15.3%	15.1%	14.8%	11.3%

(5) 利用したい介護予防対策 (問 55)

「認知症予防教室」「運動教室」は概ね上昇傾向にあります。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
認知症予防教室	29.4%	34.4%	35.6%	38.0%	37.2%	41.5%
低栄養予防教室	24.1%	24.7%	25.5%	25.7%	22.2%	22.8%
口腔ケア教室	19.5%	18.0%	22.7%	21.7%	20.1%	21.6%
運動教室 (転倒予防教室※)	33.1%	38.5%	38.1%	44.0%	42.2%	44.5%

※第8期調査までの表記です。なお、「運動教室」という表記に変更した第9期調査においても、内容説明としては転倒予防のための教室であることを示しています。

(6) 重要だと思う高齢者施策 (問 56)

全体的に上昇傾向にあり、特に「通院介助等の移送サービス」については、第4期調査から20ポイント以上上昇しています。一方、上昇が続いていた「高齢者を地域で支える住民の助け合い活動」については、今回の調査では10ポイント以上低下しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
気軽に受けられる日常生活の援助	63.0%	63.1%	70.0%	70.3%	73.8%	75.3%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	69.5%	73.9%	77.6%	78.2%	80.2%	85.0%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	43.8%	43.2%	48.5%	50.2%	49.2%	49.8%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	46.3%	42.2%	49.5%	49.6%	52.0%	51.0%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	61.0%	65.4%	68.3%	81.1%	83.1%	72.0%
通院介助等の移送サービス	58.9%	68.4%	75.5%	76.7%	79.1%	81.7%
高齢者住宅の整備推進や住宅確保支援 (住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援※)	49.9%	51.3%	57.0%	66.7%	68.5%	63.3%
成年後見制度の利用促進	48.3%	47.3%	55.5%	61.2%	62.5%	64.8%

※第8期調査までの表記です。

2 若年層調査

(1) 生活習慣（問11）

定期的な運動について「週3日以上している」割合が概ね上昇傾向にある一方、睡眠について「よく眠れている」割合は概ね横ばいの状況が続いています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
定期的な運動※ 週3日以上している	17.4%	18.5%	21.1%	15.5%	21.0%	25.3%
睡眠 よく眠れている	41.5%	33.0%	33.9%	30.3%	28.9%	29.8%

※第8期調査から、「定期的な運動」が散歩など軽いものを含むことを調査票において明記しています。

(2) 近隣の医療機関について感じていること（問18）

低下傾向にあった「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」について、今回の調査では5ポイント以上上昇しています。一方、「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」については5ポイント以上低下しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	44.0%	54.3%	51.2%	46.5%	40.0%	45.6%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	57.2%	62.9%	64.3%	57.6%	65.0%	59.8%
自分に合う医療機関がない	5.3%	4.4%	6.8%	4.8%	5.2%	4.9%
医療機関に関する情報が少なく困る	6.3%	4.2%	3.0%	4.1%	4.3%	5.1%
待ち時間が長い	38.3%	39.6%	40.2%	38.0%	47.2%	42.8%
通院する際に交通機関が不便	6.0%	6.6%	5.0%	7.2%	8.4%	6.7%
医療機関内での移動に困っている	2.1%	1.5%	1.2%	2.0%	1.1%	0.7%

(3) 健康について知りたいこと（問20）

「認知症の予防について」は概ね上昇傾向にあり、第4期調査から10ポイント以上上昇しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
がんや高血圧にならないための工夫	44.9%	44.0%	42.0%	38.4%	40.2%	35.1%
望ましい食生活について	28.5%	33.8%	32.1%	29.9%	37.5%	31.4%
運動の方法について	18.4%	20.7%	24.9%	27.1%	26.4%	26.5%
健康診断の内容や受け方について	10.9%	12.7%	10.2%	12.4%	12.4%	12.8%
ねたきりの予防について	14.5%	14.5%	15.9%	14.4%	18.1%	13.7%
歯と口の健康について	11.7%	11.6%	15.9%	15.3%	15.6%	16.0%
認知症の予防について	27.5%	36.9%	35.5%	36.7%	37.2%	39.3%

(4) 老後の生活で不安なこと (問 21)

「家や財産のこと」が上昇傾向にあります。また、「家計に関すること」についても、今回の調査では微減したものの、概ね上昇傾向にあります。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
自分や家族の健康に関すること	66.1%	67.3%	69.1%	62.7%	67.7%	62.1%
人付き合いに関すること	10.8%	12.5%	13.3%	11.8%	10.2%	10.9%
家計に関すること	46.2%	45.0%	46.0%	52.0%	56.2%	55.6%
家族のこと	26.8%	31.9%	34.9%	26.6%	30.7%	28.1%
家や財産のこと	11.6%	16.0%	20.7%	21.0%	26.9%	29.8%
仕事のこと	19.1%	16.7%	18.5%	16.4%	24.8%	19.1%
特に不安や悩みはない	8.6%	7.7%	1.8%	8.1%	3.2%	7.0%

(5) 利用したい介護予防対策 (問 36)

全体的に今回の調査では低下しています。特に「低栄養予防教室」は低下傾向が続いており、第4期調査から10ポイント以上低下しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
認知症予防教室	47.9%	51.9%	51.0%	45.0%	46.0%	41.4%
低栄養予防教室	37.9%	36.3%	35.5%	29.0%	29.1%	24.4%
口腔ケア教室	30.5%	30.6%	36.1%	28.2%	31.6%	27.2%
運動教室 (転倒予防教室※)	42.0%	46.2%	49.2%	40.8%	45.8%	44.0%

※第8期調査までの表記です。なお、「運動教室」という表記に変更した第9期調査においても、内容説明としては転倒予防のための教室であることを示しています。

3 要介護・要支援認定者調査

(1) 近隣の医療機関について感じていること（問9）

今回の調査では、「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が5ポイント以上低下しており、「待ち時間が長い」は5ポイント以上上昇しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	72.6%	71.2%	62.0%	76.2%	76.1%	69.7%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	57.5%	49.2%	42.4%	52.8%	53.5%	51.1%
自分に合う医療機関がない	2.8%	1.0%	0.9%	2.1%	2.9%	2.2%
医療機関に関する情報が少なくて困る	2.8%	1.4%	1.2%	1.9%	1.6%	1.8%
待ち時間が長い	27.2%	25.7%	20.9%	27.6%	26.0%	34.2%
通院する際に交通機関が不便	16.2%	15.4%	8.4%	14.3%	15.6%	19.5%
医療機関内での移動に困っている	6.0%	5.0%	3.0%	5.6%	5.8%	5.9%

(2) 医療機関への交通手段（問10）

今回の調査では、「タクシーで行く（介護タクシーを含む）」が5ポイント以上上昇しているものの、長期的にはいずれの項目も概ね横ばいとなっています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
バス・電車で行く	5.0%	5.8%	5.5%	8.8%	6.9%	8.6%
タクシーで行く（介護タクシーを含む）	22.7%	25.2%	24.8%	23.3%	21.3%	27.0%
家族に送ってもらう	54.9%	54.0%	51.2%	54.1%	57.7%	56.1%
自分で車を運転して行く	2.2%	2.6%	3.4%	4.5%	4.9%	7.2%
自転車で行く	0.4%	1.5%	0.9%	0.3%	0.9%	0.9%
歩いて行く	4.1%	5.1%	5.6%	4.3%	2.0%	4.2%
医療機関の送迎サービスを利用する					11.2%	9.9%

(3) 利用したい介護予防対策（問19）

「認知症予防教室」「運動教室」は長期的にみて上昇傾向にあり、特に「認知症予防教室」は今回の調査で10ポイント以上上昇しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
認知症予防教室	15.7%	14.9%	16.7%	21.5%	20.1%	32.0%
低栄養予防教室	11.3%	9.9%	10.4%	12.0%	13.2%	13.1%
口腔ケア教室	18.5%	17.9%	18.5%	23.0%	22.8%	19.5%
運動教室（転倒予防教室※）	28.6%	28.4%	30.4%	35.8%	41.6%	40.3%

※第8期調査までの表記です。なお、「運動教室」という表記に変更した第9期調査においても、内容説明としては転倒予防のための教室であることを示しています。

(4) 重要だと思う高齢者施策（問24）

長期的にはいずれの項目も上昇傾向にあります。特に、「緊急時などにも困らない医療・福祉サービス」「通院介助等の移送サービス」については、今回の調査で5ポイント程度上昇しており、第4期調査からでみると20ポイント程度上昇しています。

	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
気軽に受けられる日常生活の援助	55.2%	53.1%	61.1%	69.5%	62.4%	65.6%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	60.0%	61.8%	66.5%	77.7%	73.9%	79.8%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	33.0%	31.6%	36.6%	45.2%	41.7%	41.9%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	32.3%	28.5%	38.0%	43.5%	36.6%	38.6%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	48.6%	49.3%	54.8%	68.5%	64.8%	66.0%
通院介助等の移送サービス	51.7%	57.8%	66.0%	75.2%	70.7%	75.0%
高齢者住宅の整備推進や住宅確保支援 (住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援※)	44.0%	46.3%	59.1%	59.4%	57.2%	59.4%
成年後見制度の利用促進	42.8%	43.1%	46.6%	53.3%	51.8%	49.4%

※第8期調査までの表記です。

介護サービス提供事業所調査、介護支援専門員（ケアマネジャー）調査については、各回の調査の回答者数が限定的であることから、以下の比較はあくまで参考として第8期の調査結果との比較を示すものです。

4 介護サービス提供事業所調査

(1) 事業運営上の困難（問5）

円滑な事業運営を進める上で困難と感ずることについて、「従事者の確保が難しい」が最も多く、次いで多いのが「事務作業が多い」、「介護報酬が安い」となっている点は、第8期の調査と今回の調査とで変わっていません。一方、最多の「従事者の確保が難しい」は、第8期の調査で85.1%、今回の調査で70.6%と10ポイント以上低下しています。

(2) 外国人介護人材の受け入れ（問9⑩）

外国人介護人材の受け入れの状況・意向について、「現在受け入れている」が第8期の調査では19.1%だったところ、今回の調査では21.6%とわずかに上昇しています。一方、「受け入れておらず、今後も予定はない」についても、第8期調査での53.2%からわずかに上昇し、54.9%となっています。

5 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査

(1) ケアプラン作成上の困難（問10、11、12）

ケアプランを作成する上で困ることが「ある」割合は、第8期の調査で84.8%だったところ、今回の調査では84.6%となっており、ほぼ横ばいとなっています。

具体的な内容としては、第8期の調査では「家族が遠方のため連絡がとりづらい」が64.3%と最も多かったところ、今回は36.4%と30ポイント程度低下しています。一方、次いで多かった「サービスが不足している」は7.6ポイント上昇して57.6%となり、今回最も多くなっています。

不足しているサービスとしては、「訪問介護」が50ポイント以上上昇し、84.2%と最も多くなっています。

(2) 行政に望むこと（問25）

第8期の調査で54.5%と最も多かった「最新で的確な情報の提供」が今回の調査でも最も多く、ほぼ横ばいで56.4%となっています。一方、次いで「ボランティアやNPOの育成」が多い点も第8期の調査と同様ですが、今回の調査では35.9%となっており、前回の27.3%から8.6ポイント上昇しています。

資料編

1 一般高齢者調査 調査票

はじめに、あなたは総合事業対象者ですか。

1 はい 2 いいえ 3 わからない

年齢や家族構成等について

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

1 田原地区	2 西条地区	3 東条地区
4 鴨川地区	5 大山地区	6 吉尾地区
7 主基地区	8 江見地区	9 曹呂地区
10 太海地区	11 小湊地区	12 天津地区

問2 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

1 65～69歳	2 70～74歳	3 75～79歳
4 80～84歳	5 85～89歳	6 90～94歳
7 95歳以上		

問3 性別をお答えください。(1つに○)

1 男 2 女 3 その他

問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

1 1人暮らし 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4 息子・娘との2世帯
 5 その他

問5 あなたの主な就業形態をお答えください。(1つに○)

1 自営業(農林水産業) 2 自営業(商工業)
 3 勤め人(常勤) 4 勤め人(パート・アルバイト)
 5 主婦・主夫 6 無職
 7 その他()

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

1 介護・介助は必要ない → 問7へ
 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在には受けていない → 問6-1へ
 3 現在、何らかの介護を受けている → 問6-1、2へ
 (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

高齢者一般調査票

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査

平素より保健福祉行政に対しまして格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、鴨川市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第9期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。

このアンケート調査は、新たな計画策定のために65歳以上の市民の皆様を対象に、生活状況や福祉ニーズなどをお聞かせいただきたく実施するものです。

調査は無記名式であり、皆様からのお答えはすべてコンピューターにより統計的に処理し、新計画策定以外の目的に使用することは決まっております。細かな内容までお聞きしている部分もありますが、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年1月

鴨川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- この調査票は、原則として「あて名」のご本人がお答えください。ただし、「あて名」の方が答えることが難しい場合には、ご家族やお世話をされている方が回答をお手伝いされるか、ご本人の立場に立って代わりにお答えください。(粘着またはボールペンで記入してください)
- 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問により1つだけ選んでいただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)選んでいただくものがあります。また、「その他」とお答えの方は、後の()内にその内容を具体的に書き添ってください。
- 答えたくないことや、わからないことは、無理に答えなくても構いません。
- ご記入いただきました調査票は、回封の返信用封筒に入れて、令和5年2月14日(火)までに投函してください。

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。
 <連絡先> 鴨川市総合保健福祉会館(ふれあいセンター)内
 鴨川市市民福祉部健康推進課介護保険係 TEL: 04-7083-7111

■アンケートの対象の方が不在等で調査ができない場合は、その理由を次から1つ選んで○をつけてください。

1 転出のため 2 死亡のため 3 その他()

※なお、この設問にご回答された場合は、以降の質問に答える必要はありません。
 このまま同封の返信用封筒に入れ、投函してください。
 (それ以外の方は次ページへお進みください。)

問6-1 問6で「2」か「3」と答えた方におきます。介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2 心臓病
3 がん (悪性新生物)	4 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)
5 関節の病気 (リウマチ等)	6 認知症 (アルツハイマー病等)
7 パーキンソン病	8 糖尿病
9 腎疾患 (透析)	10 視覚・聴覚障害
11 骨折・転倒	12 脊椎損傷
13 高齢による衰弱	14 その他 ()
15 不明	

問6-2 問6で「3」と答えた方におきます。主にどなたの介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者 (夫・妻)	2 息子	3 娘
4 子の配偶者	5 孫	6 兄弟・姉妹
7 介護サービスヘルパー	8 その他 ()	

問7 ご家族やご親族の介護を主な理由として、仕事を辞めた経験はありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない	3 働いたことはない
------	------	------------

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

1 大変苦しい	2 やや苦しい	3 ぶつう
4 ややゆとりがある	5 大変ゆとりがある	

問9 住まいの状況についておたずねします。①、②それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

	住まい	選択肢
① お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	1 一戸建て	2 持家 (集合住宅)
	3 公営賃貸住宅	4 民間賃貸住宅 (一戸建て)
	5 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6 借家
	7 その他	
② ①で3~6と回答された方(賃貸の方)にのみおたずねします。家賃はいくらですか	1 3万円未満	2 3万円~4万円未満
	3 4万円~5万円未満	4 5万円~6万円未満
	5 6万円以上	

日常生活について

問10 日常生活の状況について、①~⑭それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

	日常生活	選択肢
① 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
③ 15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
④ 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある	2 1度ある
	3 ない	
⑤ 転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である	2 やや不安である
	3 あまり不安でない	4 不安でない
⑥ 物忘れが多いと感じますか	1 はい	2 いいえ
⑦ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができますか	1 はい	2 いいえ
⑧ 今日が何月何日かわかりませんか	1 はい	2 いいえ
⑨ バスや電車を使得って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
⑩ 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
⑪ 自分で食事の用意をしていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
⑫ 自分で請求書の支払いをしていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
⑬ 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	
⑭ インターネットで情報収集をしていますか	1 できるし、している	3 できない
	2 できるけどしていない	

問11 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

1 ほとんど外出しない	2 週1回
3 週2~4回	4 週5回以上

健康の状況や意識等について

問16 あなたの身長・体重はいくつですか。

身長 cm 体重 kg

問17 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

1 はい 2 いいえ

問18 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1 とてもよい 2 まあよい 3 あまりよくない 4 よくない

問19 かかりつけ医はいますか(歯科医は除く)。(1つに○)

1 はい 2 いいえ

問20 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ない 2 高血圧
 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4 心臓病
 5 糖尿病 6 高脂血症(脂質異常)
 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9 腎臓・前立腺の病気
 10 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
 11 外傷(転倒・骨折等) 12 がん(悪性新生物)
 13 血液・免疫の病気 14 うつ病
 15 認知症(アルツハイマー病等) 16 パーキンソン病
 17 目の病気 18 耳の病気
 19 その他()

問21 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても不幸」を10点として、1つに○)

とても不幸 ← → とても幸せ
 0点 : 1点 : 2点 : 3点 : 4点 : 5点 : 6点 : 7点 : 8点 : 9点 : 10点

問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

1 とても減っている 2 減っている
 3 あまり減っていない 4 減っていない

問13 外出を控えていますか。(1つに○)

1 はい → 問13-1へ 2 いいえ → 問14へ

問13-1 問13で「1 はい(外出を控えている)」と答えた方におきます。外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 病気 2 障害(脳卒中の後遺症など)
 3 足腰などの痛み 4 トイレの心配(失禁など)
 5 耳の障害(聞こえの問題など) 6 目の障害
 7 外での楽しみがない 8 経済的に出られない
 9 交通手段がない 10 感染症が心配
 11 その他()

問14 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 徒歩 2 自転車
 3 バイク 4 自動車(自分で運転)
 5 自動車(人に乗せてもらう) 6 電車
 7 路線バス 8 病院や施設のバス
 9 車いす 10 電動車いす(カート)
 11 歩行者・シルバーカー 12 タクシー
 13 チョイソコカもがわ(*) 14 その他()

(*) 長狭地区の市民を対象とした事前予約制の乗合送迎サービス

問15 毎日の買い物をごどのようなようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 徒歩、自転車、自動車、近所の商店で買い物
 2 ご用聞き(買い物代行含む)など、電話で配達してもらう
 3 訪問販売や移動販売の店を利用
 4 近所の人に自動車で乗せてもらって買い物
 5 自動車で郊外の大型量販店で買い物
 6 通信販売・テレビショッピングを利用する
 7 家族や知人に買い物をしてきてもらう
 8 その他()

問24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (1つに○)

1	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	→ 問24-1へ
2	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	→ 問25へ
3	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	→ 問24-1へ
4	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	→ 問25へ

問24-1 問24で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた方におきます。

毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問25 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問26 歯間清掃用具(デンタルフロス、糸楊枝、歯間ブラシ)を使っていますか。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問27 定期的に歯科検診を受けていますか(1年に1回以上程度)。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問28 かかりつけの歯科医はいますか。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問29 1年以内に歯科医院等で歯石除去や歯の清掃を行いましたか。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問22 あなたの生活習慣についておたずねします。①～⑥それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

① たばこ	→	1 ほぼ毎日吸っている	2 時々吸っている	3 吸っていたがやめた	4 もともと吸っていない
② お酒・7H-COOL	→	1 ほぼ毎日飲む	2 時々飲む	3 ほとんど飲まない	4 もともと飲まない
③ 三度の食事	→	1 1している	2 ある程度	3 していない	
④ 一日の汁物	→	1 ほとんど飲まない	2 1杯	3 2杯	4 3杯以上
定期的な運動(散歩など軽いものを含む)	→	1 週3日以上している	2 週2日以下だがしている	3 ほとんどしていない	
⑥ 睡眠	→	1 よく眠れている	2 まあまあ眠れている	3 眠れない	

問23 健康状態や食べることについて、①～⑦それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

健康状態や食べること		選択肢	
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	①	1 はい	2 いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	②	1 はい	2 いいえ
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	③	1 はい	2 いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	④	1 はい	2 いいえ
口の渇きが気になりますか	⑤	1 はい	2 いいえ
歯磨き(人にやってももらう場合も含む)を毎日していますか	⑥	1 はい	2 いいえ
どなたかと食事をとにもする機会はありますか	⑦	1 毎日ある 3 月に何度かある 5 ほとんどない	2 週に何度かある 4 年に何度かある

- 問34 老後の生活でどのようなことが不安ですか。(あてはまるものすべてに○)
- | | |
|------------------|---------------|
| 1 自分や家族の健康に関すること | 2 人付き合いに関すること |
| 3 家計に関すること | 4 家族のこと |
| 5 家や財産のこと | 6 仕事のこと |
| 7 住まいのこと | 8 その他() |
| 9 特に不安や悩みはない | |
- 問35 あなた本人かご家族の中に、認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|
- 問36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|
- 社会参加等について**
- 問37 趣味はありますか。(1つに○)
- | |
|----------------|
| 1 ある → (具体的に) |
| 2 ない・思いつかない |
- 問38 生きがいはありますか。(1つに○)
- | |
|----------------|
| 1 ある → (具体的に) |
| 2 ない・思いつかない |

- 問30 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)
- | | |
|------------------|------------------|
| 1 大変感じる → 問30-1へ | 2 少し感じる → 問30-1へ |
| 3 あまり感じない → 問31へ | 4 全く感じない → 問31へ |
- 問30-1 問30で「1. 大変感じる」/「2. 少し感じる」と答えた方におきます。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)
- | | | |
|-------------|----------|----------------|
| 1 睡眠や休養 | 2 テレビや読書 | 3 家族の団らん |
| 4 友人、知人との交流 | 5 旅行 | 6 買い物 |
| 7 食事 | 8 趣味 | 9 スポーツや体を動かすこと |
| 10 その他() | 11 特にはない | |
- 問31 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)
- | |
|-------------------------------|
| 1 健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心 |
| 2 緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心 |
| 3 自分に合う医療機関がない |
| 4 医療機関に関する情報が少なくて困る |
| 5 待ち時間が長い |
| 6 通院する際に交通機関が不便 |
| 7 医療機関内での移動に困っている |
| 8 その他() |
- 問32 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)
- | | |
|---------------|------------------|
| 1 テレビ・ラジオ | 2 新聞記事・本 |
| 3 医師や医療関係者 | 4 市の広報誌 |
| 5 ふれあいセンターの職員 | 6 健康福祉センター (保健所) |
| 7 インターネット | 8 その他() |
- 問33 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)
- | |
|------------------------|
| 1 がんや高血圧にならないための工夫について |
| 2 望ましい食生活について |
| 3 運動の方法について |
| 4 健康診断の内容や受け方について |
| 5 ねたきりの予防について |
| 6 歯と口の健康について |
| 7 認知症の予防について |
| 8 その他() |

問39 以下のような傘・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

①～⑫それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加 してい ない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツや体操などの運 動グループなど	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (スロトレクラブなど)介 護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑨ 集会所などでの交流(茶話 会・会食)	1	2	3	4	5	6
⑩ ものづくりの場	1	2	3	4	5	6
⑪ 公民館活動	1	2	3	4	5	6
⑫ その他 ()	1	2	3	4	5	6

問40 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っ
て、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者と
して参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1 ぜひ参加したい	→ 問41へ	2 参加してもよい	→ 問41へ
3 参加したくない	→ 問40-1へ	4 既に参加している	→ 問41へ

問40-1 問40で「3」参加したくないと答えた方におきます。

参加したくない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 活動場所まで出向くのが負担	2 知らない人と活動したくない
3 コロナ禍のため不安がある	4 活動内容が楽しめそうでない
5 その他 ()	
6 特に理由はない	

問41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っ
て、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者と
して参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1 ぜひ参加したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 既に参加している

問42 あなたが心配事や愚痴を聞いてくれる人はだれですか。(あてはまるものすべ
てに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他 ()	8 そのような人はいない	

問43 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はだれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他 ()	8 そのような人はいない	

問44 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれで
すか。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他 ()	8 そのような人はいない	

問45 反対に、看病や世話をしてくれる人はだれですか。(あてはまるものすべてに
○)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他 ()	8 そのような人はいない	

問46 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はだれ(どこ)ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 自治会・町内会・老人クラブ	2 社会福祉協議会・民生委員
3 ケアマネジャー	4 医師・歯科医師・看護師
5 福祉総合相談センター・役所	6 その他
7 そのような人はいない	

問47 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- 1 毎日ある
- 2 週に何度かある
- 3 月に何度かある
- 4 年に何度かある
- 5 ほとんどない

問48 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても

人と教えることとします。(1つに○)

- 1 0人 (いない)
- 2 1~2人
- 3 3~5人
- 4 6~9人
- 5 10人以上

問49 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 近所・同じ地域の人
- 2 幼なじみ
- 3 学生時代の友人
- 4 仕事での同僚・元同僚
- 5 趣味や関心が同じ友人
- 6 ボランティア等の活動での友人
- 7 その他
- 8 いない

問50 (ご家族等と同居している方のみお答えください。) 平日の家族等との回ら
んの時間がどれくらいありますか。(1つに○)

- 1 30分未満
- 2 30分~1時間未満
- 3 1~2時間未満
- 4 2時間以上
- 5 まったくない

介護保険について

問51 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていましたか。

(知っていたものすべてに○)

- 1 在宅でホームヘルパーや訪問看護、リハビリなどを受けるサービス
- 2 デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス
- 3 認知症が進んできたときに受けるサービス(認知症専用施設への入所など)
- 4 特別養護老人ホーム(特養)や老人保健施設(老健)などの入所サービス
- 5 有料老人ホーム等の施設で受けるサービス
- 6 福祉用具の貸与、購入や住宅改修などのサービス
- 7 いずれも知らなかった

問52 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

- 1 家族などを中心に自宅で介護してほしい
- 2 介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい
- 3 介護付きの生活施設に入所したい
- 4 グループホーム(認知症高齢者が共同で生活する施設)などで共同で生活したい
- 5 地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせで利用したい
- 6 老人保健施設(老健)や特別養護老人ホーム(特養)に入所したい
- 7 病院・診療所などに入院(入所)したい
- 8 わからない・何とも言えない
- 9 その他 ()

問53 今後、令和6年度に介護保険料が改定される予定となっておりますが、介護保険
のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1 保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい
- 2 保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ
- 3 保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ
- 4 わからない
- 5 その他 ()

今後の高齢者施策について

問54 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後
の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうち
どの対策を優先すべきだと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 24時間対応の在宅医療の充実
- 2 訪問看護やリハビリテーションの充実強化
- 3 特別養護老人ホームなどの施設整備
- 4 24時間対応の在宅サービスの強化
- 5 要介護状態にならないための予防の充実
- 6 自立を支援する介護サービスの実施
- 7 一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守りなどの充実
- 8 持ち家のバリアフリー化の推進
- 9 高齢者住宅等の整備、誘致
- 10 身近な総合相談窓口
- 11 運転免許返納者への外出支援
- 12 認知症高齢者への理解や支援の充実
- 13 その他 ()

問55 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用したいと思いますか。①～④それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

サービスの種類	利用したい	利用したくない	わからない
① 認知症予防教室 認知症を予防するために行う脳トレニング	1	2	3
② 栄養予防教室 高齢者料理教室など	1	2	3
③ 口腔ケア教室 歯ブラシ、義歯の手入れの指導や食べる力のトレーニング	1	2	3
④ 転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室	1	2	3

問56 以下の高齢者施策は、どの程度重要と考えますか。①～⑭それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

高齢者施策	とても重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
① 24時間対応の在宅サービスの充実	1	2	3	4
② 気軽に受けられる掃除、洗濯、買い物、調理等の日常生活の援助(家事援助など)	1	2	3	4
③ 通院介助等の移送サービス	1	2	3	4
④ 要介護状態にならないための予防の充実	1	2	3	4
⑤ 緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	1	2	3	4
⑥ 身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ	1	2	3	4
⑦ 経費をいかして就労やボランティアができるしくみ	1	2	3	4
⑧ 高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動	1	2	3	4
⑨ 高齢者住宅の整備推進や住宅確保支援	1	2	3	4

高齢者施策	とても重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
⑩ 特別養護老人ホーム等の施設整備	1	2	3	4
⑪ 成年後見制度の利用支援(※)	1	2	3	4
⑫ 運転免許返納者に対する外出支援	1	2	3	4
⑬ 身近な総合相談窓口	1	2	3	4
⑭ 認知症高齢者への理解や支援の充実	1	2	3	4

(※)「成年後見制度」は、判断能力の不十分な成年者(認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等)について、契約の締結などを本人に代わって行う代理人など、本人を援助する人を選任したり、本人が締結した契約に基づいて契約を締結した場合にそれを取り消すことができるようにしたりするなど、これらの方を保護し、支援する制度です。

○その他、上記以外の高齢者施策で重要と思うものがありましたらご記入ください。

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

おわりに、この調査の回答者を教えてください。(1つに○)
 1 あて名のご本人
 2 ご家族(ご本人からみた続柄:)
 3 その他

ご協力ありがとうございました。

2 若年層調査 調査票

若年層一般調査票

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定 に向けたアンケート調査

平素より保健福祉行政に対しまして格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。
さて、鴨川市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第9期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。
このアンケート調査は、新たな計画策定のために、40歳から64歳までの市民の皆様を対象に、アンケート調査フォームをお聞かせいただきたく実施するものです。
調査は無記名式であり、皆様からのお答えはすべてコンピューターにより統計的に処理し、新計画策定以外の目的に使用することは決してございません。細かな内容までお聞きしている部分もありますが、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げます。
令和5年1月

鴨川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- この調査票は、原則として「あて名」の本人がお答えください。
ただし、「あて名」の方が答えることが難しい場合には、ご家族やお世話されている方が回答をお手伝いされるか、ご本人の立場に立って代わりにお答えください。
(鉛筆またはボールペンで記入してください。)
- 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問により1つだけ選んでいただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)選んでいただくものがあります。また、「その他」とお答えの方は、後の()内にその内容を具体的に書き添ってください。
3 答えたくないことや、わからないことは、無理に答えずとも構いません。
4 ご記入いただきました調査票は、回封の返信用封筒に入れて、令和5年2月14日(火)までに投函してください。

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。
<連絡先> 鴨川市総合保健福祉会館(ふれあいセンター)内
鴨川市民福祉部健康推進課介護保険係 TEL: 04-7093-7111

■アンケートの対象の方が不在等で調査ができない場合は、その理由を次から1つ選んで○をつけてください。

1 転出のため	2 死亡のため	3 その他()
---------	---------	----------

※なお、この設問にご回答された場合は、以降の質問に答える必要はありません。
このまま回封の返信用封筒に入れ、投函してください。
(それ以外の方は次ページ「問1」へお進みください。)

年齢や家族構成等について

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

1 田原地区	2 西条地区	3 東条地区
4 鴨川地区	5 大山地区	6 吉尾地区
7 主基地区	8 江見地区	9 曾呂地区
10 太海地区	11 小湊地区	12 天津地区

問2 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

1 40～44歳	2 45～49歳	3 50～54歳
4 55～59歳	5 60～64歳	

問3 家族構成をお答えください。(1つに○)

1 1人暮らし	2 夫婦2人暮らし
3 ご自身の子・親(義理含む)との3世代	4 ご自身の子との2世代
5 ご自身の親(義理含む)との2世代	6 その他()

問4 あなたの主な就業形態をお答えください。(1つに○)

1 自営業(農林水産業)	2 自営業(商工業)
3 勤め人(常勤)	4 勤め人(パート・アルバイト)
5 主婦・主夫	6 無職
7 その他()	

問5 ご家族やご親族の介護の介護を主な理由として、仕事を辞めた経験はありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない	3 働いたことはない
------	------	------------

住まいについて

問6 住まいの状況についておたずねします。①～④それぞれに回答してください。
(○はそれぞれ1つずつ)

	住まい	選択肢
① お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか		1 持家（一戸建て） 2 持家（集合住宅） 3 公営賃貸住宅 4 民間賃貸住宅（一戸建て） 5 民間賃貸住宅（集合住宅） 6 借家 7 その他
	①で3～6と回答された方	1 3万円未満 2 3万円～4万円未満 3 4万円～5万円未満 4 5万円～7万円未満 5 7万円以上
② (賃貸の方)におうかがいします。家賃はいくらですか		1 今住んでいる家に引き続き生活する 2 段差をなくすなど、現在の家を改修して生活する 3 公営の賃貸住宅で生活する 4 民間の賃貸住宅で生活する 5 ケアハウス・有料老人ホームなど介護付きの住宅で生活する
	②で3～5と回答された方に ④ おうかがいします。家賃はいくら支払えると思いますか	1 3万円未満 2 3万円～4万円未満 3 4万円～5万円未満 4 5万円～7万円未満 5 7万円以上

健康の状況や意識等について

問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

- 1 とてもよい
- 2 まあよい
- 3 あまりよくない
- 4 よくない

問8 かかりつけ医がいますか（歯科医は除く）。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問9 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 ない
- 2 高血圧
- 3 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
- 4 心臓病
- 5 糖尿病
- 6 高脂血症（脂質異常）
- 7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
- 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9 腎臓・前立腺の病気
- 10 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
- 11 外傷（転倒・骨折等）
- 12 がん（悪性新生物）
- 13 血液・免疫の病気
- 14 うつ病
- 15 認知症（アルツハイマー病等）
- 16 パーキンソン病
- 17 目の病気
- 18 耳の病気
- 19 その他（ ）

問10 あなたは、現在のどの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○)

とても不幸 ← → とても幸せ

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

問11 あなたの生活習慣についておたずねします。①～⑥それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

① たばこ	1 ほぼ毎日吸っている	2 時々吸って	3 吸っていたがやめた	4 もともと吸っていない
② お酒・アルコール	1 ほぼ毎日飲む	2 時々飲む	3 ほとんど飲まない	4 もともと飲まない
③ 三度の食事	1 している	2 ある程度	3 していない	
④ 一日の汁物	1 ほとんど飲まない	2 1杯	3 2杯	4 3杯以上
⑤ 定期的な運動 (散歩など軽いものを含む)	1 週3日以上している	2 週2日以下だがしている	3 ほとんどしていない	
⑥ 睡眠	1 よく眠れている	2 まあまあ眠れている	3 眠れない	

問12 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(1つに○)

- 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問13 歯間清掃用具(デンタルフロス、糸楊枝、歯間ブラシ)を使っていますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問14 定期的に歯科検診を受けていますか(1年に1回以上程度)。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問15 かかりつけの歯科医はいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問16 1年以内に歯科医院等で歯石除去や歯の清掃を行いましたか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問17 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)

- 1 大変感じる → 問17-1へ
- 2 少し感じる → 問17-1へ
- 3 あまり感じない → 問18へ
- 4 全く感じない → 問18へ

問17-1 問17で「1 大変感じる」/「2 少し感じる」/「と答えた方におきます。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 睡眠や休養
- 2 テレビや読書
- 3 家族の団らん(*一緒に食事をしたり、会話をしたりすること)
- 4 友人、知人との交流
- 5 旅行
- 6 買い物
- 7 食事
- 8 趣味
- 9 スポーツや体を動かすこと
- 10 その他()
- 11 特にはない

問18 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心
- 2 緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心
- 3 自分に合う医療機関がない
- 4 医療機関に関する情報が少なくて困る
- 5 待ち時間が長い
- 6 通院する際に交通機関が不便
- 7 医療機関内での移動に困っている
- 8 その他()

問19 健康維持や健康づくりに関する情報はどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 テレビ・ラジオ
- 2 新聞記事・本
- 3 医師や医療関係者
- 4 市の広報誌
- 5 ふれあいセンターの職員
- 6 健康福祉センター(保健所)
- 7 インターネット
- 8 その他()

問20 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 がんや高血圧にならないうための工夫について
- 2 望ましい食生活について
- 3 運動の方法について
- 4 健康診断の内容や受け方について
- 5 ねたきりの予防について
- 6 歯と口の健康について
- 7 認知症の予防について
- 8 その他 ()

問21 老後の生活でどのようなことが不安ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分や家族の健康に関すること
- 2 人付き合いに関すること
- 3 家計に関すること
- 4 家族のこと
- 5 家や財産のこと
- 6 仕事のこと
- 7 住まいのこと
- 8 その他 ()
- 9 特に不安や悩みはない

問22 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みをだれ(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 同居の家族
- 2 別居の子ども、親族など
- 3 友人、隣近所の人
- 4 医療機関の医師や看護師
- 5 市の保健師・管理栄養士
- 6 福祉総合相談センター
- 7 ボランティアグループ
- 8 民生委員・児童委員
- 9 市役所の窓口
- 10 社会福祉協議会の職員
- 11 権利擁護推進センター
- 12 その他 ()
- 13 相談相手はいない

問23 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事
- 2 家族の仲間
- 3 趣味、スポーツ、運動
- 4 公民館での学習、講座
- 5 ボランティア活動
- 6 近隣、友人との付き合い
- 7 地域活動
- 8 信仰
- 9 ペットとのふれあい
- 10 若い人との交流
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問24 「ご家族券と同居している方のおおさぐさください」平日の家族等との回らんの時間がどれくらいありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 30分未満 | 2 30分～1時間未満 |
| 3 1～2時間未満 | 4 2時間以上 |
| 5 まったくない | |

問25 健康づくりを目的とした体を動かす活動(体操や散歩、ストレッチなどの軽い運動も含む。)に取り組んでいますか。(1つに○)

- 1 取り組んでいる
- 2 健康づくりが目的ではないが、類似した活動に取り組んでいる
- 3 取り組んでいないが、取り組み始めたい
- 4 取り組んでいないが、より高齢になったら取り組みたい
- 5 取り組むつもりはない
- 6 その他 ()

問26 あなた本人がご家族の中に、認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問27 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

社会参加について

問28 趣味はありますか。(1つに○)

- 1 ある → (具体的に)
- 2 ない・思いつかない

問29 生きがいはありますか。(1つに○)

- 1 ある → (具体的に)
- 2 ない・思いつかない

問30 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
①～⑩それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加 してい ない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツや体操などの運動グループなど	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑧ 集会所などでの交流(茶話会・会食)	1	2	3	4	5	6
⑨ ものづくりの場	1	2	3	4	5	6
⑩ 公民館活動	1	2	3	4	5	6
⑪ その他 ()	1	2	3	4	5	6

問31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1 ぜひ参加したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 既に参加している

問32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1 ぜひ参加したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 既に参加している

介護保険について

問33 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

1 家族などを中心に自宅で介護してほしい
2 介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい
3 介護付きの生活施設に入所したい
4 グループホーム(認知症高齢者が共同で生活する施設)などで共同で生活したい
5 地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせて利用したい
6 老人保健施設(老健)や特別養護老人ホーム(特養)に入所したい
7 病院・診療所などに入院(入所)したい
8 わからない・何とも言えない
9 その他 ()

問34 今後、令和6年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

1 保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい
2 保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ
3 保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ
4 わからない
5 その他 ()

3 要介護・要支援認定者調査 調査票

■アンケートの対象の方が不在等で調査ができない場合は、その理由を次から1つ選んで○をつけてください。

- 1 転出のため
- 2 死亡のため
- 3 その他 ()

※なお、この設問にご回答された場合は、以下の質問に答える必要はありません。
このまま同封の返信用封筒に入れ、投函してください。
(それ以外の方は以下の設問へお進みください。)

はじめに、この調査の回答者を教えてください。(1つに○)

- 1 調査対象者本人
- 2 主な介護者となっている家族・親族
- 3 主な介護者以外の家族・親族
- 4 その他

年齢や性別等について

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

- 1 田原地区
- 2 西条地区
- 3 東条地区
- 4 鴨川地区
- 5 大山地区
- 6 吉尾地区
- 7 主基地区
- 8 江見地区
- 9 曾呂地区
- 10 太海地区
- 11 小湊地区
- 12 天津地区

問2 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

- 1 40～64歳
- 2 65～69歳
- 3 70～74歳
- 4 75～79歳
- 5 80～84歳
- 6 85～89歳
- 7 90～94歳
- 8 95歳以上

問3 性別をお答えください。(1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他

問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし
- 3 息子・娘との2世帯
- 4 その他

要介護・要支援認定者調査票

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査

平素より保健福祉行政に対しまして格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、鴨川市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第9期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。

このアンケート調査は、新たな計画策定のため、介護保険の認定を受けられた皆様を対象に、生活状況や福祉ニーズなどをお聞かせいただく必要なく実施するものです。

本調査で得られた情報については、市で適切に管理するとともに、計画策定および効果評価の目的以外には利用いたしません。ただし、計画策定時および効果評価時に、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計、分析することがあります。なお、本調査のご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

細かな内容までお聞きしている部分もありますが、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年1月

鴨川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- この調査票は、原則として「あて名」のご本人がお答えください。
ただし、「あて名」の方が答えることが難しい場合には、ご家族やお世話をされている方が回答をお手伝いされるか、ご本人の立場に立って代わりにお答えください。
(船乗またはボールペンで記入してください。)
- 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問により1つだけ選んでいただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)選んでいただくものがあります。また、「その他」とお答えの方は、後の()内にその内容を具体的に書きください。
答えたくないことや、わからないことは、無理に答えなくても構いません。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
令和5年2月14日(火) までに投函してください。

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。

<連絡先>：鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）内

鴨川市民福祉部健康推進課介護保険係 TEL：04-7093-7111

問5 令和5年1月1日現在の要介護度は、次のどれですか。(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | 5 要介護3 |
| 3 要介護1 | 4 要介護2 | 8 わからない |
| 6 要介護4 | 7 要介護5 | |

※現在、要介護度の変更申請を行っている等の理由で、要介護度が確定していない場合は、最近の要介護認定で認定された要介護度でお答えください。

問6 介護が必要になった原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 脳卒中 (脳出血、脳梗塞等) | 2 心臓病 |
| 3 がん (悪性新生物) | 4 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等) |
| 5 関節の病気 (リウマチ等) | 6 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7 パーキンソン病 | 8 糖尿病 |
| 9 腎疾患 (透析) | 10 視覚・聴覚障害 |
| 11 骨折・転倒 | 12 脊椎損傷 |
| 13 高齢による衰弱 | 14 その他 () |
| 15 不明 | |

問7 ご本人 (調査対象者) が、現在抱えている傷病はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 脳血管疾患 (脳卒中) | 2 心疾患 (心臓病) |
| 3 悪性新生物 (がん) | 4 呼吸器疾患 |
| 5 腎疾患 (透析) | 6 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、骨髄質減少等) |
| 7 膠原病 (関節リウマチ含む) | 8 変形性関節疾患 |
| 9 認知症 | 10 パーキンソン病 |
| 11 難病 (パーキンソン病を除く) | 12 糖尿病 |
| 13 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を併うもの) | |
| 14 その他 | |
| 15 なし | |
| 16 わからない | |

問8 現時点で、施設等への入所・入居について検討していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 入所・入居は検討していない | 2 入所・入居を検討している |
| 3 すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホームを指します。

問9 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心 |
| 2 緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心 |
| 3 自分に合う医療機関がない |
| 4 医療機関に関する情報が少なく困る |
| 5 待ち時間が長い |
| 6 通院する際に交通機関が不便 |
| 7 医療機関内での移動に困っている |
| 8 その他 () |

問10 ご本人 (調査対象者) は医療機関に、どのような交通手段で通っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 パス・電車で行く |
| 2 タクシーで行く (介護タクシーを含む) |
| 3 家族に送ってもらう |
| 4 自分で車を運転して行く |
| 5 自転車で行く |
| 6 歩いて行く |
| 7 医療機関の送迎サービスを利用する |
| 8 その他 () |

問11 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに○)

- | | |
|-------|----------|
| 1 受けた | 2 受けていない |
|-------|----------|

日常生活について

問12 日常生活全般を通して何か不安を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 感じている | → 問12-1へ |
| 2 どちらとも言えない | → 問13へ |
| 3 感じていない | → 問13へ |

問12-1 問12で「1 感じている」と答えた方におきます。
 どのようなことに不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|----------------------|
| 1 | 健康のこと |
| 2 | 物忘れすること |
| 3 | 頼れる人がいないこと |
| 4 | 生活するための収入や生活費のこと |
| 5 | 土地・家屋等の財産管理のこと |
| 6 | 日常的な金銭管理のこと |
| 7 | 災害等に巻き込まれること |
| 8 | 住まいのこと |
| 9 | 社会保障のしくみ(年金・医療保険)のこと |
| 10 | 自炊できなくなること |
| 11 | 通院できなくなること |
| 12 | 買い物に行けなくなること |
| 13 | 車の運転ができなくなること |
| 14 | その他() |

問13 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 家族との団らん
(団らん：一緒に食事をしたり、会話をしたりすること) |
| 2 | 趣味、スポーツ、運動 |
| 3 | 公民館での学習、講座 |
| 4 | ボランティア活動 |
| 5 | 近隣、友人との付き合い |
| 6 | 地域活動 |
| 7 | 信仰 |
| 8 | ペットとのふれあい |
| 9 | 若い人との交流 |
| 10 | 仕事 |
| 11 | その他() |
| 12 | 特にない |

居宅サービスの利用状況について

問14 令和5年1月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つに○)

- | | | |
|---|---------|----------|
| 1 | 利用した | → 問14-1へ |
| 2 | 利用していない | → 問14-2へ |

問14-1 問14で「1 利用した」と答えた方におきます。
 以下の介護保険サービスについて、令和5年1月の1か月の利用状況をお答えください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1」(利用していない)を選択してください。

	1. 週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例) ●●●サービス	1	2	3	4	5	6
A 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5	6
B 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6
C 訪問看護	1	2	3	4	5	6
D 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
E 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6
F 通所リハビリテーション (デイケア)	1	2	3	4	5	6
G 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	1	2	3	4	5	6

	利用の有無(それぞれ1つに○)	
	H 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない
I 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用し ていな い	月1～ 7日程 程度	月8～ 14日程 程度	月15～ 21日程 程度	月22日 以上
K ショートステイ	1	2	3	4	5

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用し ていな い	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5

問14-2 問14で「2. 利用していない」に答えた方におきます。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 2 本人にサービス利用の希望がない
- 3 家族が介護をするため必要ない
- 4 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5 利用料を支払うのが難しい
- 6 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
- 9 その他 ()

問15 この1年間でコロナ禍により介護保険サービスの利用を自主的に控えたことはありましたか。(1つに○)

- 1 だいぶ控えた(5割以上程度)
- 2 少しは控えた(1~4割程度)
- 3 特に控えなかった
- 4 むしろ利用が増えた

問15-1 問15で「1」「2」(利用を控えた)と答えた方におきます。特に利用を控えたサービスは何ですか。

※前ページのA~Lから選び、ご記入ください→
(あてはまるものすべて)

問16 ケアマネジャー(ケアプラン作成事業者)は、希望や意見に応じてくれますか。(1つに○)

- 1 気軽にこちらの希望や意見に応じてくれる
- 2 どちらかという希望や意見に応じてくれる
- 3 あまり希望や意見に応じてくれない
- 4 ほとんど希望や意見に応じてくれない

問17 希望どおりのケアプランができていますか。(1つに○)

- 1 希望どおりのケアプランができている
- 2 ほぼ希望する内容に沿ったケアプランができています
- 3 あまり希望どおりになっていない
- 4 希望していた内容とは違うものとなっている
- 5 その他 ()

問18 介護サービスを利用して良かったと思うことは何ですか。(3つまでに○)

- 1 家族に対する気兼ねが減った
- 2 家族が楽になった
- 3 外出の機会が増えた
- 4 人と話す機会が増えた
- 5 自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた
- 6 体調が良くなった
- 7 良かったと思うことは特にない
- 8 その他 ()

今後の介護や福祉の制度のあり方について

問19 ご本人(調査対象者)は、今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用を希望しますか。①~④それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

サービスの種類	利用したい	利用したくない	わからない
認知症予防教室 ① 認知症を予防するために行う脳トレニング	1	2	3
低栄養予防教室 ② 高齢者料理教室など	1	2	3
口腔ケア教室 ③ 歯ブラシ、義歯の手入れの指導や食べる力のトレーニング	1	2	3
運動教室 ④ 転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室	1	2	3

問20 今後、令和6年度に介護保険料が改定される予定となっておりますが、介護保険料のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)
(1つに○)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 保険料が高くなっても、サービスの質と量とを減らさず保つてほしい |
| 2 | 保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ |
| 3 | 保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ |
| 4 | わからない |
| 5 | その他() |

問21 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|--------------------|----|----------------|
| 1 | 配食 | 2 | 調理 |
| 3 | 掃除・洗濯 | 4 | 買い物(宅配は含まない) |
| 5 | ゴミ出し | 6 | 外出同行(通院、買い物など) |
| 7 | 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8 | 見守り、声かけ |
| 9 | サロンなどの定期的な通いの場 | 10 | 成年後見制度 |
| 11 | その他 | 12 | 利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

問22 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|--------------------|----|----------------|
| 1 | 配食 | 2 | 調理 |
| 3 | 掃除・洗濯 | 4 | 買い物(宅配は含まない) |
| 5 | ゴミ出し | 6 | 外出同行(通院、買い物など) |
| 7 | 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8 | 見守り、声かけ |
| 9 | サロンなどの定期的な通いの場 | 10 | 成年後見制度 |
| 11 | その他 | 12 | 特になし |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

問23 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
| 1 | 利用している | 2 | 利用していない |
|---|--------|---|---------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問24 以下の高齢者施策は、どの程度重要だと考えますか。①～⑭それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

高齢者施策	とても重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
① 24時間対応の在宅サービスの充実	1	2	3	4
② 気軽に受けられる掃除・洗濯、買い物、調理等の日常生活の援助(家事援助など)	1	2	3	4
③ 通院介助等の移送サービス	1	2	3	4
④ 要介護状態にならないための予防の充実	1	2	3	4
⑤ 緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	1	2	3	4
⑥ 身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ	1	2	3	4
⑦ 経費をいかにして就労やボランティアができるしくみ	1	2	3	4
⑧ 高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動	1	2	3	4
⑨ 高齢者住宅の整備推進や住宅確保支援	1	2	3	4
⑩ 特別養護老人ホーム等の施設整備	1	2	3	4
⑪ 成年後見制度の利用支援(*)	1	2	3	4
⑫ 運転免許返納者に対する外出支援	1	2	3	4
⑬ 身近な総合相談窓口	1	2	3	4
⑭ 認知症高齢者への理解や支援の充実	1	2	3	4

(*)「成年後見制度」は、判断能力の不十分な成年者の認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等)について、契約の締結などを本人に代わって行う代理人など、本人を援助する人を選任したり、本人が誤った判断に基づいて契約を締結した場合に、それを取り消すことができるようにしたりするなど、これらの方を保護し、支援する制度です。

○その他、問24の①～④以外の高齢者施策で重要と思うものがありましたらご記入ください。

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

次ページからは家族介護者に関するアンケートが続きます。
もう少しご協力をお願いします。



介護の状況について

問25 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つに○）

- | | | | |
|---|------------------------|---|---------------|
| 1 | ない | → | 以上で調査は終了となります |
| 2 | 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | → | 問26へ |
| 3 | 週に1～2日ある | → | 問26へ |
| 4 | 週に3～4日ある | → | 問26へ |
| 5 | ほぼ毎日ある | → | 問26へ |

以降の問は、主な介護者（ご家族等）がお答えください。
難しい場合は、調査対象の本人にご回答・ご記入をお願いします。

問26 主な介護者は、どなたですか（あて名のご本人からみられた関係でお答えください）。（1つに○）

- | | | | |
|---|-------|---|-------------|
| 1 | 配偶者 | 2 | 子 |
| 3 | 子の配偶者 | 4 | 孫 |
| 5 | 兄弟・姉妹 | 6 | その他（ ） |

問27 主な介護者の年齢をお答えください。（1つに○）

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 20歳未満 | 2 | 20代 | 3 | 30代 |
| 4 | 40代 | 5 | 50代 | 6 | 60代 |
| 7 | 70代 | 8 | 80歳以上 | 9 | わからない |

問28 主な介護者の健康状態はいかがですか。（1つに○）

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 健康 |
| 2 | 持病はあるがおおむね健康 |
| 3 | 病気がち |

問29 現在、主な介護者が行っている介護等は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助 (食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等) | |
| 【生活援助】 | |
| 12 食事の準備 (調理等) | 13 その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15 その他 | 16 わからない |

問30 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は何ですか。(現状で行っているか否かは問いません) (3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助 (食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等) | |
| 【生活援助】 | |
| 12 食事の準備 (調理等) | 13 その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15 その他 | 16 不安に感じていることは、特にない |
| 17 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問31 主な介護者の現在の勤務形態は何ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 フルタイムで働いている | → 問31-1～3へ |
| 2 パートタイムで働いている | → 問31-1～3へ |
| 3 働いていない | → 問32へ |
| 4 主な介護者に確認しないと、わからない | → 問32へ |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を言います。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問31-1 問31で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」と答えた方におきます。

主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 特に行っていない |
| 2 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、運出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている |
| 3 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている |
| 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている |
| 6 主な介護者に確認しないと、わからない |

問31-2 問31で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」と答えた方におきます。

主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまでに○)

- | |
|------------------------------|
| 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない |
| 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3 制度を利用しやすい職場づくり |
| 4 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイトタイム制など) |
| 5 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) |
| 6 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 |
| 8 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9 その他 |
| 10 特にない |
| 11 主な介護者に確認しないと、わからない |

問31-3 問31で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」と答えた方におきます。

主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1 問題なく、続けていける |
| 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい |
| 4 続けていくのは、かなり難しい |
| 5 主な介護者に確認しないと、わからない |

問32 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） |
| 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3 主な介護者が転職した |
| 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない |
| 6 わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

4 介護サービス提供事業所調査 調査票

貴事業所の基本的なことからお答えをお願いします	
問1 令和5年1月1日現在の貴事業所についてお答えください。	
① 事業所名	
② 事業所番号	
③ 所在地	(都・道・府・県) (区・市・町・村)
④ 電話番号	— —
⑤ 記入者	氏名: _____ 役職: _____
⑥ 事業の実施地域	
⑦ 法人種別	1 社会福祉法人(社協以外) 2 社会福祉法人(社協) 3 医療法人(社団・財団) 4 民法法人(社団・財団) 5 營利法人(有限会社・株式会社) 6 特定非営利活動法人(NPO) 7 農協 8 生協 9 地方公共団体 10 非法人(個人経営)
⑧ 従事者の人数	市内在住: _____人 市外在住: _____人 (年代別) 10代: _____人 20代: _____人 30代: _____人 40代: _____人 50代: _____人 60代: _____人 70代以上: _____人

問2 貴事業所において、どのような資格者が従事していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 医師	2 歯科医師
3 薬剤師	4 保健師
5 看護師	6 介護福祉士
7 社会福祉士	8 ホームヘルパー
9 介護支援専門員	10 歯科衛生士
11 作業療法士	12 理学療法士
13 言語療法士(言語聴覚士)	14 精神保健福祉士
15 介護職員初任者研修修了者	16 福祉用具専門相談員
17 その他()	

介護サービス提供事業所調査票

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査

平素より、鶴川市の介護保険事業に対しましてご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。本市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第9期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。そこで、介護保険のサービスを提供していただいている事業所の状況等を把握して計画策定の基礎資料とするために、今後の介護保険制度運営に反映させるため、介護保険サービス等に関するアンケート調査を実施することにいたしました。いただいたお答えはすべてコンピューターにより統計的に処理し、上記以外の目的には決して使用することはありませんので、お忙しいところ恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月

鶴川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 同じ事業所番号で複数のサービスを提供している場合は、1枚の調査票にまとめ、お答えください。
- 2 調査は、令和5年1月1日現在でお答えください。(船着またはボールペンで記入してください)
- 3 質問には、1つだけ回答していただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)回答していただくものがあります。
- 4 回答は、別に指示がある場合を除き、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
- 5 「その他」とお答えの方は、後の()内にその内容を具体的に記入してください。
- 6 ご記入いただきました調査票は、**同封の返信用封筒に入れて、令和5年2月14日(火)までに投函してください。**

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。
 <連絡先>：鶴川市総合保健福祉委員会(ふれあいセンター)内
 鶴川市民福祉部健康推進課介護保険係 TEL：04-7093-7111

貴事業所が実施している事業についてお答えいたします

問3 貴事業所が実施している介護保険事業（サービス）の状況や今後の意向を、それぞれどの項目についてお答えください。あてはまるものすべての番号に○をつけ、3～5に○をつけた場合は予定年月も記入してください。

サービス種類	実施中	現状維持	拡大予定 (年 月 月)	縮小・ 撤退予定 (年 月 月)	新規予定 (検討中)
① 訪問介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
② 訪問入浴介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
③ 訪問看護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
④ 訪問リハビリテーション	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑤ 居宅療養管理指導	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑥ 通所介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑦ 通所リハビリテーション	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑧ 短期入所生活介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑨ 短期入所療養介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑩ 特定施設入居者生活介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑪ 福祉用具貸与	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑫ 特定福祉用具販売	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑬ 住宅改修	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑭ 夜間対応型訪問介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑯ 認知症対応型通所介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑰ 小規模多機能型居宅介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)

サービス種類	実施中	現状維持	拡大予定 (年 月 月)	縮小・ 撤退予定 (年 月 月)	新規予定 (検討中)
⑱ 認知症対応型共同生活介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑲ 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
⑳ 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉑ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉒ 地域密着型通所介護	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉓ 居宅介護支援(介護予防支援)	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉔ 介護老人福祉施設	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉕ 介護老人保健施設	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉖ 介護医療院	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)
㉗ 介護療養型医療施設	1	2	3 (年 月 月)	4 (年 月 月)	5 (年 月 月)

○介護保険事業（サービス）の拡大、縮小、新規等の予定で、今後の意向等があればご記入ください。

問4 介護療養型医療施設を運営している、またはほしていた事業所にお答えください。施設について、他種の事業に転換等しましたか。また、今後転換する予定はありますか。(1つに○)

1 医療療養病床へ転換	2 医療内泊型施設へ転換
3 医療外付型施設へ転換	4 介護療養型老人保健施設へ転換
5 介護老人保健施設(従来型)へ転換	6 一般病棟へ転換
7 介護老人福祉施設へ転換	8 介護医療院へ転換
9 その他の施設へ転換()	
10 廃止する、または廃止した	11 未定・検討中

貴事業所の事業運営についておうかがいします

問5 貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、問題点はどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 事務作業が多い	2 施設・設備の改善が難しい
3 必要な情報が入手にくい	4 従事者の確保が難しい
5 従事者の資質向上を図ることが難しい	
6 利用者や家族の介護保険制度に対する理解が進んでいない	
7 市との連携を図ることが難しい	8 介護報酬が安い
9 その他 ()	
10 特に困難を感じていることはない	

問6 貴事業所が事業の拡大を考える場合の課題や問題点はどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 事務作業の簡素化・システム化	2 施設・設備の改善
3 情報の不足	4 従事者の確保
5 利用者の確保	6 規制・基準の緩和
7 事業実施地域の見直し	8 PRの強化
9 経費の削減	
10 その他 ()	
11 特に課題や問題点はない	

問7 貴事業所において、下記の職種の人材不足がある場合、その不足数を記入してください。また、現在特に人材確保に苦慮している職種について、上位3つまで番号に○をつけてください。

職種	不足数 (不足があれば)	特に苦慮しているもの (3つまでに○)
1 介護職員(介護福祉士などを含む)	人	1
2 看護師(訪問看護師を含む)	人	2
3 理学療法士	人	3
4 作業療法士	人	4
5 相談員(通所・施設)	人	5
6 ケアマネジャー(在宅・施設)	人	6
7 福祉用具専門相談員	人	7
8 その他(職種:)	人	8

問8 これまで、利用者や家族から苦情を受けたことはありませんか。また、どのような苦情でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1 特に苦情は受けていない	2 サービス内容に関するもの
3 利用手続きに関するもの	4 職員の態度に関するもの
5 施設や設備に関するもの	6 利用者の負担する費用に関するもの
7 その他 ()	

問9 貴事業所は、サービスの質の確保や向上に関して、どのようなようにお考えですか。
①～⑧それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

問	選択肢
① 利用者の満足度の把握や利用者からのサービスの質の評価に取り組んでいますか。	1 取り組んでいる 2 現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定 3 取り組む予定はない
② サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を配置していますか。	1 設置している 2 設置していない
③ サービスに関する利用者や家族の不満や要望について、十分な対応を行っていますか。	1 対応している 2 あまり対応できていない(できない) 3 ほとんど対応できていない(できない)
④ 利用者の事故など緊急の場合に家族などに連絡がとれる体制になっていますか。	1 連絡がとれるようにしてある 2 あまり連絡がとれるようにはしていない 3 連絡がとれるようにはしていない
⑤ 事業所運営にあたり、苦情に対する手続きや事故対応などについて、文書やマニュアルなどで明確にし、適切に対応していますか。	1 文書やマニュアルにより適切に対応している 2 文書やマニュアルはない
⑥ 災害発生時の対応方法について、文書やマニュアルなどで明確にし、適切に対応していますか。	1 文書やマニュアルはない 2 文書やマニュアルはない
⑦ 定期的な訓練(避難訓練等)を行っていますか。	1 半年に1回以上行っている 2 1年に1回以上行っている 3 定期的な訓練は行っていない
⑧ サービスが提供された後に、(利用者)の状況変化に応じてサービス内容の見直しを行っている、利用者や家族に何らかの提案(ケアマネジャーへの相談を含みます)を行いますか。	1 サービス内容の見直しの提案をしている 2 サービス内容の見直しの提案をしない場合がある 3 サービス内容の見直しの提案をする場合は少ない

問	選択肢
⑨ 利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業所が提供する以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業所を紹介していますか。	1 紹介している 2 紹介できない場合がある 3 紹介できないことが多い
⑩ 介護負担の軽減に向けた、「介護ロボット」の導入についてどうお考えですか。	1 現在導入している 2 今後導入したい 3 導入する気はない
⑪ 外国人介護人材の受け入れについてどうお考えですか。	1 現在受け入れれている 2 受け入れていないが、すぐに受け入れたい 3 受け入れていないが、そのうち受け入れたい 4 受け入れておらず、今後も予定はない
⑫ 介護従事者の資格取得時の費用補助や勤務時間の配慮をしていますか。	1 配慮している 2 配慮しておらず、今後も予定はない 3 配慮していない
⑬ 介護従事者の質の向上のための研修を実施していますか。	1 実施している 2 実施していないが、今後したい 3 実施しておらず、今後も予定はない
⑭ 職員の研修や事例検討、勉強会について、外部の研修や事例検討に参加できるよう支援していますか。	1 十分支援している 2 十分ではないが支援している 3 ほとんど支援していない
⑮ 「サービス担当者会議」について、十分実施できていますか。	1 十分実施している 2 十分ではないが実施している 3 文書での実施が多い
⑯ 事業所内での講習会・研修について、十分実施できていますか。	1 十分実施している 2 十分ではないが実施している 3 ほとんど実施できていない
⑰ 介護従事者の処遇改善を行っていますか。	1 実施している 2 実施していないが、今後したい 3 実施しておらず、今後も予定はない
⑱ 地域ケア会議に参加していますか。	1 参加している 2 参加していないが、今後したい 3 参加しておらず、今後も予定はない
⑲ 職員の ICT スキル向上の必要性を感じますか。	1 感じており、向上に取り組んでいる 2 感じているが、特に取り組めていない 3 感じていない
⑳ 利用者の家族にヤングケアラー（18 歳未満（*））がいるケースはありますか	1 そのケースがあり、対応の難しさを感じる（内容：） 2 あるが、対応に難しさは感じない 3 そのケースはない

(*）本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと

問 10 貴事業所において外国人介護人材を受け入れる上での懸念点、問題点はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1 特になし
2 利用者が従事者とのコミュニケーション（書き言葉によるものを含む）
3 2以外の実務能力
4 受け入れに対する周囲（利用者・従事者）からの理解
5 受け入れに伴い生じる負担（事務手続きや、外国人材の教育など）
6 業務時間外の私生活のサポート
7 文化や価値観の違い
8 実際の雇用事例や制度に関する情報不足
9 その他（ ）

問 11 貴事業所において、今後、市や住民等とどのような関係をつくっていききたいと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

1 市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい
2 市等と介護保険や保健福祉施策等について話し合う機会を増やしたい
3 高齢者を通じて地域の行事などに参加、協力したい
4 学校、認定こども園等との交流を活発化したい
5 権利擁護・個人情報等の取扱いなどで、法務の専門家と協力したい
6 地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい
7 指定管理者制度などを活用し、市の保健福祉事業にも参加したい
8 公共施設（利用していない施設を含む）の利用を図りたい
9 その他（ ）
10 特に予定や希望はない

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

5 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査 調査票

介護支援専門員調査票

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査

平素より、鴨川市の介護保険事業につきましてご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第9期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。

そこで、日頃ケアプランの作成をはじめとして、介護保険制度の実施や高齢者支援に尽力をされているケアマネジャーの方々の業務状況等を把握して計画策定の基礎資料とするともに、今後の介護保険制度運営に反映させるため、アンケート調査を実施することいたしました。

いただきましたお答えはすべてコンピューターにより統計的に処理し、上記以外の目的には決して使用することとはございませんので、お忙しいところ恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月

鴨川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 調査は、令和5年1月1日現在でお答えください。
(鉛筆またはボールペンで記入してください。)
- 2 質問には、1つだけ回答していただくものと、複数（「あてはまるものすべて」等）回答していただくものがあります。
- 3 回答は、別に指示がある場合を除き、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
- 4 「その他」とお答えの方は、後の（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、回封の返信用封筒に入れて、
令和5年2月14日（火）までに投函してください。

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。
 <連絡先> 鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）内
 鴨川市民福祉部健康推進課介護保険係 TEL：04-7093-7111

あなたの年齢や業務状況等についてお答えをお願いします

問1 令和5年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

1 29歳以下	2 30～39歳	3 40～49歳
4 50～59歳	5 60～64歳	6 65歳以上

問2 介護保険のケアプランを立てる等の経験はどれくらいですか。(1つに○)

1 1年未満	2 1年から3年未満
3 3年から5年未満	4 5年以上

問3 業務形態は次のどれにあたりますか。(1つに○)

1 常勤で専任	2 常勤で兼務
3 非常勤で専任	4 非常勤で兼務

問4 何の資格をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

1 医師	2 歯科医師
3 薬剤師	4 保健師
5 看護師	6 介護福祉士
7 社会福祉士	8 理学療法士
9 作業療法士	10 歯科衛生士
11 精神保健福祉士	12 その他 ()

問5 市外を含め月平均のケアプラン作成数はどのくらいですか。(1つに○)

1 0～9件	2 10～19件	3 20～29件
4 30～39件	5 40件以上	

問6 鴨川市で何人の要支援・要介護者のケアマネジメント（総合事業分は除く）を担当していますか。（令和5年1月1日現在の人数を記入）

予 防 人 介 護 人

問7 日頃、ケアプランを作成する時に相談する人は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 職場・同僚のケアマネジャー	2 他事業所のケアマネジャー
3 医師	4 サービス提供者
5 地域包括支援センターの担当者	6 市の介護保険担当者
7 その他（ ）	8 相談する人はいない

問8 利用者やその家族からの苦情はありますか。（1つに○）

1 ある → 問9へ
2 ない → 問10へ

問9 問8で「1 ある」と答えた方におきます。どのような内容でしたか。（あてはまるものすべてに○）

1 ケアプランの内容
2 サービスの不足
3 サービスの内容やサービスの質
4 サービス提供者の態度
5 ケアマネジャーの態度
6 利用者が負担する費用
7 要介護認定の結果
8 介護保険制度全般に関すること
9 その他（ ）

問10 ケアプランを作成する上で困ることはありませんか。（1つに○）

1 ある → 問11へ 2 ない → 問13へ

問11 問10で「1 ある」と答えた方におきます。ケアプラン作成上困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 サービスが不足している（→問12へ）
2 希望事業所のサービスが提供できない
3 希望時間帯にサービスが提供できない
4 利用限度額以上のサービス希望がある
5 利用者負担があるため必要なサービス利用を抑える
6 利用者・家族の意向が合わない
7 利用者・家族と自分の意見が合わない
8 家族が遠方のため連絡がとりづらい
9 利用者が独居などのため相談相手がいらない
10 他事業所の情報が不足している
11 主治医と連携がとれない
12 行政と連携がとれない
13 必要以上のサービスを要求される
14 その他（ ）

※「1 サービスが不足している」に○をつけた方は問12へ、それ以外の方は問13へ進んでください。

問12 問11で「1 サービスが不足している」と答えた方におきます。ケアプランの作成にあたり、利用者が要望しているにもかかわらず不足しているサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 居宅療養管理指導	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 短期入所生活介護
9 短期入所療養介護	10 特定施設入居者生活介護
11 福祉用具貸与	12 夜間対応型訪問介護
13 定期巡回・随時対応型訪問看護	14 認知症対応型通所介護
15 認知症対応型共同生活介護	16 看護小規模多機能型居宅介護
17 地域密着型特定施設入居者生活介護	18 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
19 地域密着型通所介護	20 その他（ ）

問 13 円滑な事業運営を進めていく上での問題点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 ケアプラン作成の事務量が多い |
| 2 介護報酬請求の事務量が多い |
| 3 介護報酬に結びつかない業務が多い |
| 4 ケアプランの作成料が安い |
| 5 ケアプランの変更が多すぎる |
| 6 必要な情報が入手にくい |
| 7 アセスメントが十分行われていない |
| 8 サービス担当者会議が開催しづらい |
| 9 サービス事業者との連絡調整が円らづらい |
| 10 医療機関との連携が円らづらい |
| 11 住宅改修事業者等との連絡調整が円らづらい |
| 12 行政との連携を図ることが難しい |
| 13 その他 () |
| 14 特に問題を感じることはない |

問 14 利用者や家族へは月平均どのくらいの頻度で訪問していますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1 月4回以上 | 2 月3回 | 3 月2回 |
| 4 月1回 | | |

問 15 利用者の家族にヤングケアラー(18歳未満)(*)がいるケースはありますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 そのケースがあり、対応の難しさを感ずる
→対応の難しさについて記入してください。
() |
| 2 そのケースはあるが、対応に難しさは感じない |
| 3 そのケースはない |

(*) 本人が担うと想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと

問 16 サービス提供者との関係において問題があると感じることありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1 双方で打ち合わせをする時間が持たない |
| 2 適切な情報提供をしてもらえない |
| 3 利用者への説明にケアマネジャーとく異なる点がある |
| 4 その他 () |
| 5 特に問題はない |

問 17 医療系サービスの提供を検討する際に、かかりつけ医とはどのように連絡をとっていますか。(最もよく使う連絡方法1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 電話やFAX、電子メール | 2 面談 |
| 3 主治医見書で確認 | 4 医療・介護連携シート |
| 5 その他 () | 6 特に連絡はとっていない |

問 18 かかりつけ医との連携で問題点を感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 連絡手段がない |
| 2 かかりつけ医が介護をする上で適切な情報提供をしてもらえない |
| 3 ケアプランを立てることに協力的でない |
| 4 双方で協議・調整する機会がない |
| 5 その他 () |
| 6 特に問題はない |

問 19 千葉県ケアマネジャー協会、鴨川市等で実施するケアマネジャー向け研修会に、どの程度参加していますか。(1つに○)

- | |
|---------------|
| 1 ほとんど参加している |
| 2 半分程度は参加している |
| 3 あまり参加していない |
| 4 まったく参加していない |

問 20 地域ケア会議に、参加したことがありますか。また今後参加したいですか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 参加しており、今後も参加したい |
| 2 参加したことはあるが、今後は参加予定はない |
| 3 参加したことはないが、今後参加したい |
| 4 参加したことはなく、今後も参加予定はない |

問21 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 自主的な勉強会を行っている |
| 2 | 事業者連絡会等に積極的に参加している |
| 3 | ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている |
| 4 | 法人内でのOJTによる指導を受けている |
| 5 | 主任ケアマネジャー等に相談している |
| 6 | 法人内の研修に積極的に参加している |
| 7 | 外部研修に積極的に参加している |
| 8 | 参考書などを読んでいる |
| 9 | 第三者評価員として他事業所の取り組み状況に接している |
| 10 | その他() |
| 11 | 特になし |

問22 課題整理統合表を活用していますか。(1つに○)

- | | |
|---|------------|
| 1 | いつも活用している |
| 2 | ときどき活用している |
| 3 | あまり活用していない |
| 4 | 活用していない |

問23 介護負担軽減に向けた介護ロボットの導入についてどうお考えですか。(1つに○)

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 積極的に導入するべきだと思う |
| 2 | 可能であれば導入すると思う |
| 3 | 導入しない方がよいと思う |
| | (理由:) |

問24 ケアマネジャーの活動を通して、施設サービスを受けるべき要介護者がサービスを受けられない状況(待機状況)は市内で多いと感じますか。(1つに○)

- | | |
|---|------------------|
| 1 | 多いと感じる |
| 2 | どちらかというときと多しと感じる |
| 3 | どちらかというときと少しと感じる |
| 4 | 少ないと感じる |
| 5 | わからない |

問25 ケアマネジャーとして行政に望むことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|--------------------------|
| 1 | 最新の的確な情報の提供 |
| 2 | 給付管理の相談体制の充実 |
| 3 | 介護サービス提供の相談体制の充実 |
| 4 | ケアマネジャーの資質向上のための研修の充実 |
| 5 | 処遇の向上のための環境整備の推進 |
| 6 | 介護相談員の活動の充実 |
| 7 | ボランティアやNPOの育成 |
| 8 | 介護予防や認知症予防のための取り組み |
| 9 | ケアマネジャー同士が相談・意見交換できる場の拡充 |
| 10 | 成年後見制度の利用支援の充実 |
| 11 | その他() |
| 12 | 望むことはない |

下記設問についてご意見等がありましたら、ご記入ください。

○介護保険の制度改正について、ケアマネジャーの立場としてご意見があればお聞かせください。
○ケアマネジャーの業務を遂行するにあたって市に期待することや要望したいことなどがあればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

6 介護人材雇用に関するアンケート調査 調査票

③事務職	事務職員	その他	小計
()	()	()	()
合計	()	()	()

問3 過去3か年の職員採用(退職)状況を記入してください。上段に正規職員数、下段 () 内に非正規職員数を外書きでご記入下さい。

(1) 入職者数について

	④医療職・介護職	⑤事務職	計
P1年度 入職者数	()	()	()
P2年度 入職者数	()	()	()
P3年度 入職者数	()	()	()

(2) 退職者数について

	④医療職・介護職	⑤事務職	計
P1年度 退職者数	()	()	()
P2年度 退職者数	()	()	()
P3年度 退職者数	()	()	()

問4 現在、貴事業所では介護職員の確保について、悩みや日増していることはありませんか。(あてはまる番号に○をつけてください。)

1	機能的に不足し、支障がある
2	不足気味で支障を感じる時がある
3	不足する時もあるが、おおむね充足し、支障ない
4	充足しており、全く支障ない
5	その他の外圍について自由にご記入ください

令和4年度 鶴川市 介護保険制度における介護人材雇用に関するアンケート調査

* 記入に関する注意点

- ・ 職員人数は令和4年9月1日現在の定員数を記載してください。
- ・ 複数の事業所で業務している場合には、いずれかの事業所で社上してください。
- ・ 複数の事業所を運営している法人においては事業所ごとにご回答ください。
- ・ 調理業務を委託している場合でも、把握している範囲で人数をご回答ください。
- ・ 入退職者数については可能な範囲でご回答ください。

※ 回答期限 令和4年9月30日(金) メールまたはFAXでご回答ください。

メールアドレス: kenko@city.kampogawa.lg.jp FAX: 04-7093-7321

事業所名

回答者

連絡先

不明な点等があった場合ご連絡させていただきます

問1 貴事業所で業務しているサービスは何ですか。(あてはまる番号に○をつけてください。)

1	居宅介護支援
2	訪問介護
3	訪問入浴介護
4	訪問看護
5	訪問リハビリテーション
6	通所介護、地域密着型通所介護
7	通所リハビリテーション・ショートサービス
8	短期入所介護、短期入所療養介護
9	特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
10	福祉用具貸与・福祉用具販売
11	認知症対応型通所介護
12	小規模多機能型居宅介護
13	認知症対応型共同生活介護
14	介護老人福祉施設
15	介護老人保健施設
16	介護療養型医療施設
17	介護医療院
18	地域密着型介護老人福祉施設

問2 職員数を記入してください。上段に正規職員数、下段 () 内に非正規職員数を外書きでご記入下さい。

(令和4年9月1日現在)

④医療職	看護師	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	その他	小計
()	()	()	()	()	()	()
⑤-1 福祉職	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	福祉用具専門相談員	調理員	その他
()	()	()	()	()	()	()
⑤-2 福祉職・介護職	社会福祉士	介護福祉士	ヘルパー	その他・介護職員	初任研修修了済み	未把握
()	()	()	()	()	()	()
⑥ 職員数の資格取得、研修の研修を修了した職員数は	()	()	()	()	()	()
修了済み研修	()	()	()	()	()	()

※ 資格の資格取得、研修の研修を修了済みの場合は、該当するものを全てご記入ください。

問5 現在、貴事業所で介護職員の確保について、苦労していることや困っていることはありませんか、
（あてはまる番号に○をつけてください。）

1	応募者がいない
2	定着しない（離職が多い）
3	人材育成に取組めない
4	料にない
	その他の内容について自由にご記入ください
5	

問6 介護職員の定着、退職防止のために貴事業所で取組んでいることはありますか、
（あてはまる番号に○をつけてください。）（複数回答可）

1	採用時、業務内容や就労条件等の詳細な説明を行う
2	個人の希望に配慮した業務配置やシフト（労働時間）
3	上司による個別面談や相談体制の充実
4	先輩職員の指導制度やフォロー制度
5	体系的な教育・研修の充実
6	自主的な資格取得・研修受講等スキルアップを支援
7	マンダヘルネスを含む健康管理体制の充実
8	産休・育休・介護休暇の取得促進
9	報酬を取得しやすい体制
10	料に取組んでいることばない
	その他の内容について自由にご記入ください
11	

問7 介護職員の定着、退職防止のために貴事業所で効果のあった取組み等はありませんか、
（あてはまる番号に○をつけてください。）（複数回答可）

1	採用時、業務内容や就労条件等の詳細な説明を行う
2	個人の希望に配慮した業務配置やシフト（労働時間）
3	上司による個別面談や相談体制の充実
4	先輩職員の指導制度やフォロー制度
5	体系的な教育・研修の充実
6	自主的な資格取得・研修受講等スキルアップを支援
7	マンダヘルネスを含む健康管理体制の充実
8	産休・育休・介護休暇の取得促進
9	報酬を取得しやすい体制
10	どの取組みもあまり効果が感じられない
	その他の内容について自由にご記入ください
11	

問8 現在、国では介護分野における外国人材の活用についての取組が進められていますが、外国人介護職員の受け入れ
についてどのように考えますか？（あてはまる番号に○をつけてください。）

1	関心があり、積極的に受け入れを行っている
2	関心があり、今後受け入れる予定または準備中である
3	関心があり、受け入れに関して検討中である
4	関心はあるが、受け入れに際しては検討していない（受け入れの予定はない）
5	関心はなく、受け入れる予定もない
6	よくわからない

問9 貴事業所では現時点で外国人介護職員の受け入れを行っていますか？（あてはまる番号に○をつけてください。）

1	はい（受け入れあり）	⇒問10へ
2	今後予定している（受け入れ予定あり）	⇒問11へ
3	いいえ（受け入れなし）	⇒問12へ

問10 貴事業所で雇用している外国人介護職員は何人いますか？（令和4年6月1日現在）

_____人

問11 現在、外国人の介護職員を採用している事業所に伺います。
貴事業所の外国人介護職員の雇用において、どのような制度を利用しましたか、
（あてはまる番号に○をつけてください。）

1	FEPA（経済連携協定）に基づく外国人介護福祉士候補者
2	日本の介護福祉養成校を卒業した外国資格「介護」を持つ外国人
3	技能実習制度を活用した外国人（技能実習生）
4	在留資格「特定技能1号」を持つ外国人
5	その他の就業制度のない在留資格をもつ外国人（例：永住者・日本人の配偶者等）
6	千葉県外国人材受け入れプログラム

問12 外国人介護職員に対する職員の反応はいかがですか？（あてはまる番号に○をつけてください。）（複数回答可）

1	好意的に受け止めている職員が多い
2	いい印象を受け、職員の言葉遣いなどが丁寧になった、または笑顔があらわれたようになった
3	職員間の交流が増え、明るく職場になったように感じる
4	業務量の交流が薄れ、また、介護の質の向上につながったと思う
5	好意的に受け止めていない職員が少ない
6	教育面・コミュニケーション等、業務量が増えたり負担を感じている職員が多い
7	その他の内容について自由にご記入ください

問13 外国人介護職員に対するサービス利用者の反応はいかがですか？（あてはまる番号に○をつけてください。）（複数回答可）

1	ほとんどの利用者が好意的に受け止めている
2	どちらかといえば、好意的に受け止めている利用者が多い
3	どちらかといえば、好意的に受け止めていない利用者が少ない
4	好意的に受け止めていない利用者がほとんどいない
	その他の内容について自由にご記入ください
5	

問14 大学や介護福祉士養成施設等の学生（外国人含む）の実習やインターンの受け入れをしていますか。

1	受け入れており、更に増やしていきたい
2	受け入れられる体制は整っているが、まだ受け入れていない(希望者がいない等含む)
3	受け入れていないが、今後受け入れたい(使用中等含む)
4	受け入れていないし、受け入れ希望もない
	その他の理由について自由にご記入ください
5	

問15 外国人介護職員を受け入れるにあたり、どのような課題があると思いますか？（自由記載）

問16 外国人介護職員を雇戸(家賃等も含む)して、良かった点がありましたか？（自由記載）

問17 介護人材確保について、市に対する要望がありますか。（自由記載）

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

鴨川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
策定のための調査結果報告書

発行：令和5年3月
編集：鴨川市 市民福祉部 健康推進課・福祉課
〒296-0033
千葉県鴨川市八色 887-1